

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載
ブルーレイディスク™/DVDレコーダー

取扱説明書

各部のなまえ

ここから
はじめましょう

接続と準備をする > 9 ページ

基本の使いかた > 18 ページ

録画する

視聴する

削除／編集する

ダビングする

ネットワーク機能で楽しむ
(スマートフォンやタブレットで楽しむ)

その他の機器と接続して使う

設定を変更する

困ったときは

その他



目次

安全のために	4
各部のなまえ	6

初めてお使いになる方は、まずこちらをご覧ください。

接続と準備をする 9

基本の使いかた 18



やりたいことを一覧から選ぶ
録画／再生／削除をしよう



番組をすばやく探して録画する



録画した番組や映像をすばやく探して
再生／削除／ダビングする

録画する

録画できるディスク／ハードディスクの種類	27
録画の前に知っておきたいこと	28
録画モードとは	29
番組表から録画予約したい	30
毎回または同じ番組名を全部録画したい	32
ドラマ・アニメの新作番組や人気のある番組を 録画したい(新作ドラマ・アニメガイド)	32
人気のある番組を録画したい(予約ランキング)	35
日時を指定して録画予約したい	36
番組を検索して録画予約したい	37
録画予約状況を確認／修正／取り消したい	38
好みの番組を自動で探して録画してほしい (おまかせ・まる録)	39
ジャンルや検索条件を登録して録画予約したい	41
いま見ている番組を録画したい	41
録画先の残量を確認したい	42
二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい	42
複数の番組を同時に録画したい	42
スカパー！やCATVの番組を録画したい	43
ブラビアの番組表から録画予約したい (ネットワーク録画予約)	43
外出先から録画予約したい(外から録画予約)	43

視聴する

本機や外付けハードディスクに録画した番組や映像を 再生したい	44
-----------------------------------	----

録画した番組や映像を検索して再生したい	47
録画した番組に関連する番組を録画・再生したい (関連動画)	49
録画した番組を分類／整理したい	50
放送中の番組を見たい	51
外部入力映像を見たい	51
ディスクに録画した番組や映像を再生したい	51
再生中の操作一覧	53
映像の区切りで頭出ししたい	54
見たい場面をすばやく探したい(シーンサーチ)	54
高画質／高音質で再生したい(AVピュア出力)	55
好みの画音質で再生したい	55
番組を別の部屋で見たい (ルームリンク／家じゅうどこでも視聴)	56
外出先で番組を見たい(外からどこでも視聴)	56
音楽を再生したい	57
番組や音楽をハイレゾ相当の高音質で楽しみたい (DSEE HX)	58
写真を再生したい	58

削除／編集する

編集の前に知っておきたいこと	60
見終わった番組や映像を削除したい (タイトル削除)	60
取り込んだ写真を削除したい	62
映像を削除できないようにしたい	62
録画した映像にグループを設定したい	63
タイトル名を変更したい	63
録画した映像を自動で削除したい	64
NEW マークを付けたい	64
サムネイル画像を変更したい	64
チャプターを分割／削除／結合したい	65
映像の一部をカットしたい(タイトル部分削除)	66
ひとつの映像を分割したい(タイトル分割)	66
複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)	67
映像のプレイリストを作成したい	67
録画した映像の録画モードを変更したい	68
録画した映像のおでかけファイルを作成したい	69
ディスクに名前を付けたい	69
BDを保護(プロテクト)したい	69
BDに暗証番号を設定して 再生できないようにしたい	69
ディスクをファイナライズしたい	70
本機で作成したDVDを他機器で再生したい	70
ディスクを買ってきた状態に戻したい(初期化)	70
ビデオカメラなどの機器から取り込んだMP4形式の 映像を編集したい	70

ダビングする

コピー／ダビングできるディスク／映像の種類	71
コピー／ダビングの前に知っておきたいこと	72
ディスクにコピーしたい(タイトルダビング)	73
ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい	76
内蔵と外付けハードディスクの間でコピーしたい	77
高画質／高速でディスクにコピーしたい	78
ディスクにおさまるようにコピーしたい	79
二か国語放送／字幕付きの番組を ディスクにコピーしたい	79
ダビングモードを変更したい	80
コピーを途中で止めたい	80
ビデオカメラなどの機器から動画を取り込みたい (4K映像対応)	80
ディスクに保存した動画を取り込みたい	83
他のBD/DVDレコーダーから映像を取り込みたい	84
写真を取り込みたい(4K写真対応)	84
取り込んだ写真をコピーしたい	85
他のBDレコーダーから取り込みたい (お引越しダビング)	86
パソコンから音楽を取り込みたい (ハイレゾ音源対応)	88

ネットワーク機能で楽しむ

ネットワーク機能でできること	90
準備1: インターネットにつなぐ	91
準備2: かんたんネットワーク設定をする	92
準備3: ホームサーバー上の機器を登録する	94
人気のある番組を録画したい(予約ランキング)	95
BDの特典映像を楽しみたい	95
ドラマ・アニメの新作番組や人気のある番組を 録画したい(新作ドラマ・アニメガイド)	95
録画した番組に関連する番組を録画・再生したい (関連動画)	95
番組を別の部屋で見たい (ルームリンク／家じゅうどこでも視聴)	96
外出先で番組を見たい(外からどこでも視聴)	97
外出先から録画予約したい(外から録画予約)	98
ワイヤレスおでかけ転送したい	98
「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを 録画したい(LAN録画)	99
ブラビアの番組表から録画予約したい (ネットワーク録画予約)	101
他のBDレコーダーから取り込みたい (お引越しダビング)	101
パソコンから音楽を取り込んで聴きたい (ハイレゾ音源対応)	101

その他の機器と接続して使う

CATVやスカパー！との接続	102
AVアンプやホームシアターシステムとの接続	103
外付けハードディスクとの接続／登録 (SeeQVault対応)	104
ビデオデッキとの接続	106
ビデオカメラなどの機器との接続	106

設定を変更する

本機の設定を変更したい	107
ブラビアリンクを設定したい	117
本機のリモコンの設定を変更したい	118

困ったときは

1. こんな場合は故障ではありません	120
2. 操作を受け付けなくなった場合は	121
3. 本機のメッセージを確かめる	122
4. よくあるトラブルと解決方法	123
5. それでも困ったときは	133
保証書とアフターサービス	134
修理カルテ	135

その他

文字入力のしかた	137
ソフトウェアアップデートについて	138
主な仕様	139
使用上のご注意	148
ソフトウェア等に関する重要なお知らせ	152
画面別アイコン一覧	153
オプション項目一覧	157
用語集	160
索引	162

本書の記載について

- 本書では、BDZ-FW1000のイラストを使用しています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書では、「ハードディスク」のことを「ハードディスク」または「HDD」、「ブルーレイディスク」のことを「BD」と記載しています。
- 本書中の《 》内の項目はボタン名、[]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本書記載のサービスや問い合わせ先、別売アクセサリ、接続機器については、2018年2月現在のものです。
- 本書で使われている画面イラスト内の番組名は一例であり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などに関係ありません。
- 放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス内容(ソニーグループが提供するものを含む)は、変更・中止される場合がありますが、ソニーは一切の責任を負わないものとします。

警告 安全のために

→「使用上のご注意」148~151ページ
もあわせてお読みください。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

4~5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
「使用上のご注意」(148ページ)もあわせてお読みください。

定期的に点検する

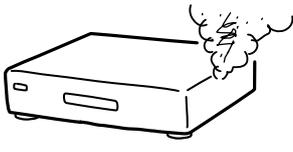
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店または修理相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 電源コードをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店または修理相談窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに
注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工しない。
 - 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
 - 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - 移動させるときは、電源コードを抜く。
 - 電源コードは必ずプラグを持って抜く。
- 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店または修理相談窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。



禁止

→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または修理相談窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。



指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない
火災や感電、けがの原因となることがあります。

→ 内部の点検や修理はお買い上げ店または修理相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。



指示

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかける、じゅうたんの上や、壁や家具に密接して置く、通風孔をふさぐなど、放熱の妨げになるようなことはしないでください。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



禁止

特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。

→呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに注意

コード類は正しく配置する

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

長期間使わないときは安全のために電源コードを抜く

絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべての信号ケーブルや電源コードを抜く

信号ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



指示

お手入れの際、電源コードを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

→液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



指示

→液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

→万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

→機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

→フタを閉めて使用してください。



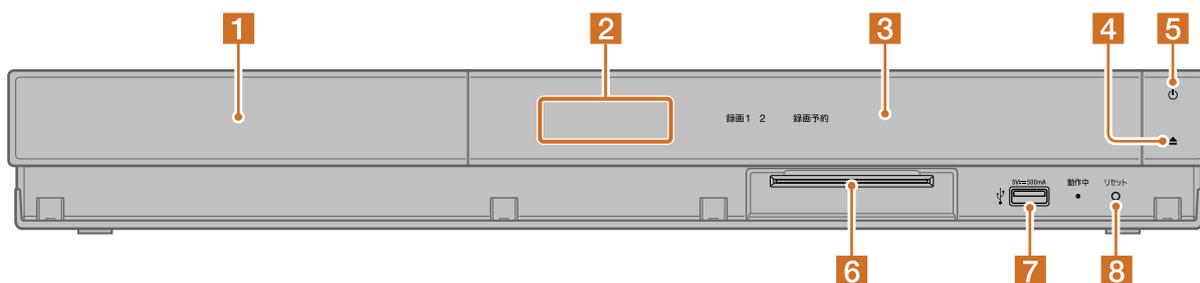
指示

各部のなまえ

各部の説明は()内のページをご覧ください。

本体前面

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。



イラストは、前面の扉が開いているBDZ-FW1000です。

ちょっと一言

- [本体表示の明るさ]で表示窓の明るさを設定できます(111ページ)。

1 ディスクトレイ

2 表示窓(122)

再生経過時間やダビング進行状況、メッセージなどを表示します。

3 リモコン受光部 

4 ▲(開/閉)ボタン(51)

ディスクトレイを開閉します。

5 電源ボタン

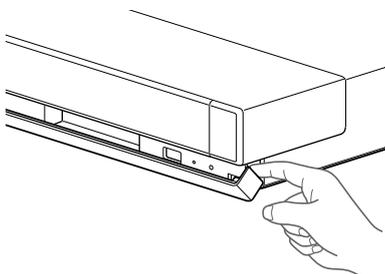
6 B-CASカード挿入口

7 ♪(USB)AV周辺機器用端子(80、104)

AV周辺機器専用です。ビデオカメラなどからの動画の取り込みやSeeQVault対応外付けハードディスクの再生ができます。

8 リセットボタン(121)

前面の扉の開きかた

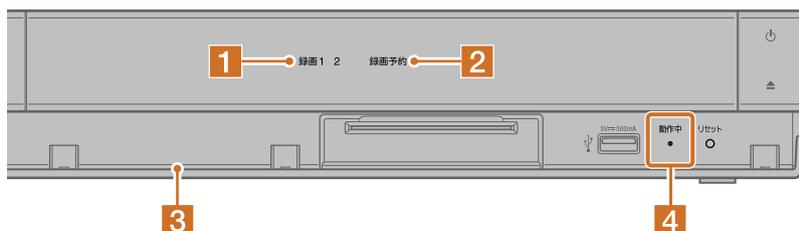


本体前面のランプ

本体前面のランプの点灯や点滅は、本機の状態をあらわしています。

点灯しているときは、以下をご覧ください。

ランプが点滅しているときは、122ページをご覧ください。



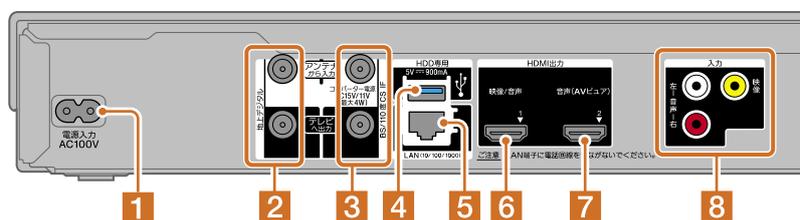
イラストは、前面の扉が開いているBDZ-FW1000です。

ちょっと一言

- [本体表示の明るさ]でランプの明るさを設定できます(111ページ)。

表示／ランプ(色)	名称	説明
1 録画1 2 (赤)	「録画」ランプ	録画しているとき点灯します(28、41ページ)。 1番組録画中に録画1が、2番組同時録画中に録画1/2が、3番組同時録画中に録画1/2/3* がそれぞれ点灯します。 * 対象機種: BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000
2 録画予約 (赤)	「録画予約」ランプ	録画予約が設定されているとき点灯します。
3 センターLED (白)	センターLED	電源「入」のとき点灯します。
4 動作中 (オレンジ) ●	動作中ランプ	電源「切」でも、番組表データなどの取得のため、内部で動作しているとき点灯します。 詳しくは、「1. こんな場合は故障ではありません」(120ページ)をご確認ください。

本体後面



- | | |
|---|--|
| 1 電源入力端子 | 6 HDMI1出力端子(映像／音声)
映像と音声信号を出力します。 |
| 2 地上デジタル入力／出力端子 | 7 HDMI2出力端子(音声(AVピュア)) (55、104)
音声のみ出力します。
シールを剥がして端子をご利用ください。 |
| 3 BS/110度CS-IF入力／出力端子 | 8 音声／映像入力端子(82、103) |
| 4 ψ (USB) HDD専用端子(104)
SuperSpeed USB (USB 3.0準拠) | |
| 5 LAN (10/100/1000) 端子(91) | |

各部のなまえ(つづき)

リモコン

各部のなまえ



* 凸(突起)が付いています(数字ボタンは「5」のみ、《チャンネル+/-》ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 次のボタンを押すと、本機の電源が入ります。
《録画リスト》ボタン/《開/閉》ボタン/《ホーム》ボタン/《番組表》ボタン/《再生》ボタン。

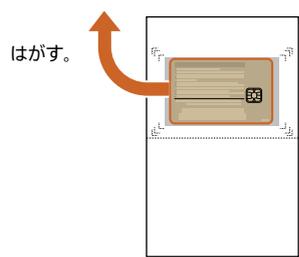
- | | |
|--|---|
| <p>1</p> <p>開/閉 (51)
ディスプレイの開け閉めをします。</p> <p>TV電源
テレビの電源を入/切します。</p> <p>電源
本機の電源を入/切します。</p> | <p>TV操作 (118)
テレビを操作するときを押します。操作時には光ります。</p> <p>TV入力切換
テレビの入力を切り換えます。</p> <p>10キー (51)
番組視聴中に、チャンネル番号を入力して選局するときに使います。</p> |
| <p>2</p> <p>数字ボタン1~12*
数字ボタンに登録されたチャンネルを選局したり、数字や文字を入力したりします(51、69、137ページ)。</p> <p>外部入力
本機の外部入力に切り換えます。</p> <p>カラーボタン (23、45、47、50、54、137)</p> | <p>地デジ/BS/CS (51)
(地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル)放送を切り換えます。
同じボタンをくり返し押すと、テレビ→ラジオ→データの順で放送に合わせて切り換えます。</p> |
| <p>3</p> <p>番組説明 (153)</p> <p>削除 (60)</p> <p>画面表示 (53)
その時の画面に合わせて情報を表示します。</p> <p>番組表 (22、30)</p> <p>録画リスト (24、44)</p> | <p>決定
戻る
前の画面に戻ります。</p> <p>オプション (22、53、157)
その画面ごとにできることを表示します。</p> <p>ホーム
ホームメニューを表示します。</p> |
| <p>4</p> <p>前 (53)</p> <p>10秒戻し/15秒送り (53)</p> <p>次 (53)</p> <p>早戻し (53)</p> <p>再生*</p> | <p>早送り (53)</p> <p>録画 (41)</p> <p>一時停止 (53)</p> <p>停止
録画、再生などを停止します。</p> |
| <p>5</p> <p>チャプター書込み (54)</p> <p>音声切換*/字幕切換 (53)</p> <p>ポップアップ/メニュー (53)</p> <p>音量+/-
音量を調節します。</p> | <p>d連動データ
視聴中の番組とその番組に連動するデータ放送を切り換えます。</p> <p>消音
音量を消します。</p> <p>チャンネル+*/-(51)
チャンネルを切り換えます。</p> |

接続と準備をする

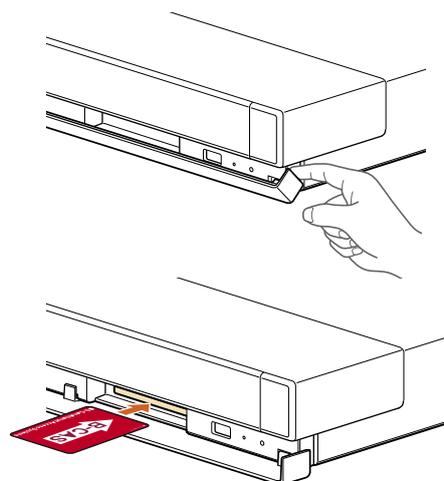
STEP 1

B-CASカードを入れる

- 1 同封の「ビーキャス (B-CAS) カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解されたうえで、台紙からB-CASカードをはがす。



- 2 本機前面の扉を開き、B-CASカードを奥までしっかり挿入する。



図のとおり、色のついた面を上にして、矢印の方向に挿入する。

番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと録画や視聴をすることができません。

B-CASカードが貼ってある台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。

STEP 2

HDMIケーブルを準備する

テレビとの接続にはHDMIケーブルが必要です。接続するテレビや用途に合ったHDMIケーブルをご用意ください。

ちょっと一言

- AVアンプやホームシアターシステムとつないで高音質で映像を楽しみたい場合は、テレビ接続用とは別にHDMIケーブルが必要です(103ページ)。

お使いのテレビが 4K/HDR (18Gbps) 対応 の場合

4K Ultra HD Blu-rayのHDR映像を楽しむには、4K/HDR (18Gbps) 対応テレビと本機の接続用にプレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps対応のHDMIケーブルを用意します。



別売
プレミアムハイスピードHDMIケーブル、
または18Gbps対応のHDMIケーブル

テレビの接続と設定について

- 18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでください。
- テレビのHDMI信号フォーマット設定を確認してください。
ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。
詳しくは、つないだテレビの取扱説明書や下記ホームページをご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>

お使いのテレビが 4K/HDR (18Gbps) 非対応 の場合

4K/HDR (18Gbps) に対応していないテレビと本機の接続用にハイスピードHDMIケーブルを用意します。



別売
ハイスピードHDMIケーブル
(プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps
対応のHDMIケーブルもご利用頂けます)

接続と準備をする(つづき)

STEP 3

アンテナをつなぐ ▶ ご家庭はどのタイプですか？

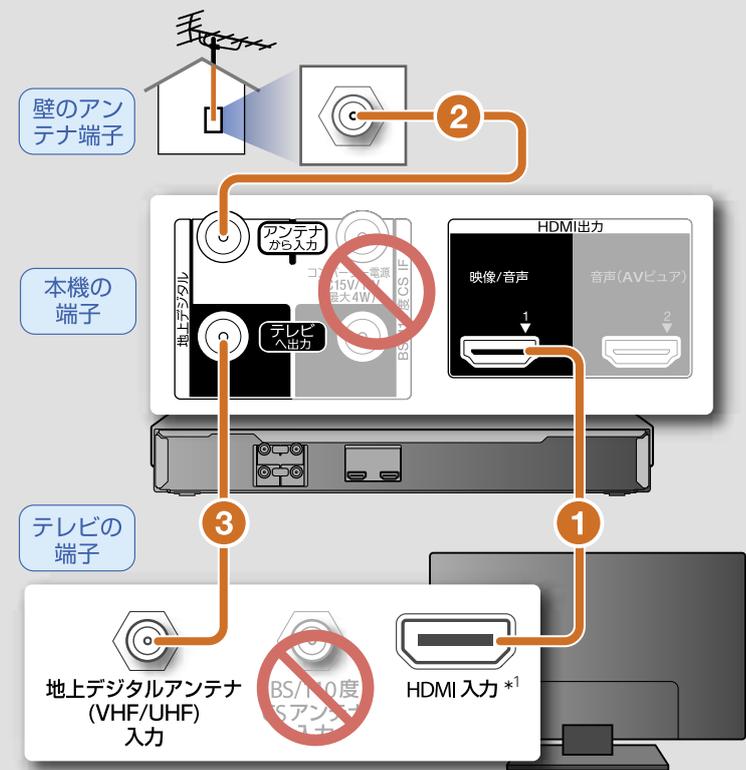
地デジのみを見ることができる	▶	タイプA このページ
地デジ/BS/110度CSを見ることができる	壁の端子が2つの場合	タイプB となりのページ
	壁の端子が1つの場合	タイプC 12ページ
STB (CATVチューナー) を利用している CATVを利用していてもCATVチューナーがない場合は、タイプA~Cの接続を行ってください。	▶	タイプD 13ページ

接続と準備をする

タイプ A 地デジのみを見ることができる

まず、必要な物をご用意ください

別売とあっても、お使いのテレビについている物をそのまま利用できる場合もあります。足りない物だけお買い求めください。



映像・音声接続

- STEP2で用意したHDMIケーブルで本機とテレビをつなぐ*1



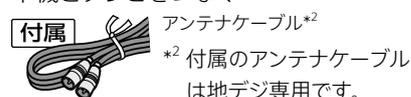
アンテナ接続

- テレビにつながっているアンテナケーブルを本機につなぎかえる



放送信号は本機をいったん通ってテレビにも送られるようになります。

- 本機とテレビをつなぐ



*1 4K映像を楽しむには、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子についてください。

STEP 4 (14ページ) に進む

熱のこもらない所に設置してください

• 詳しくは「使用上のご注意」(148ページ)をご覧ください。

動画で接続方法を紹介しています

• 買い替えや追加購入したときの接続方法の紹介もあります。インターネットで下記アドレスを入力してください。

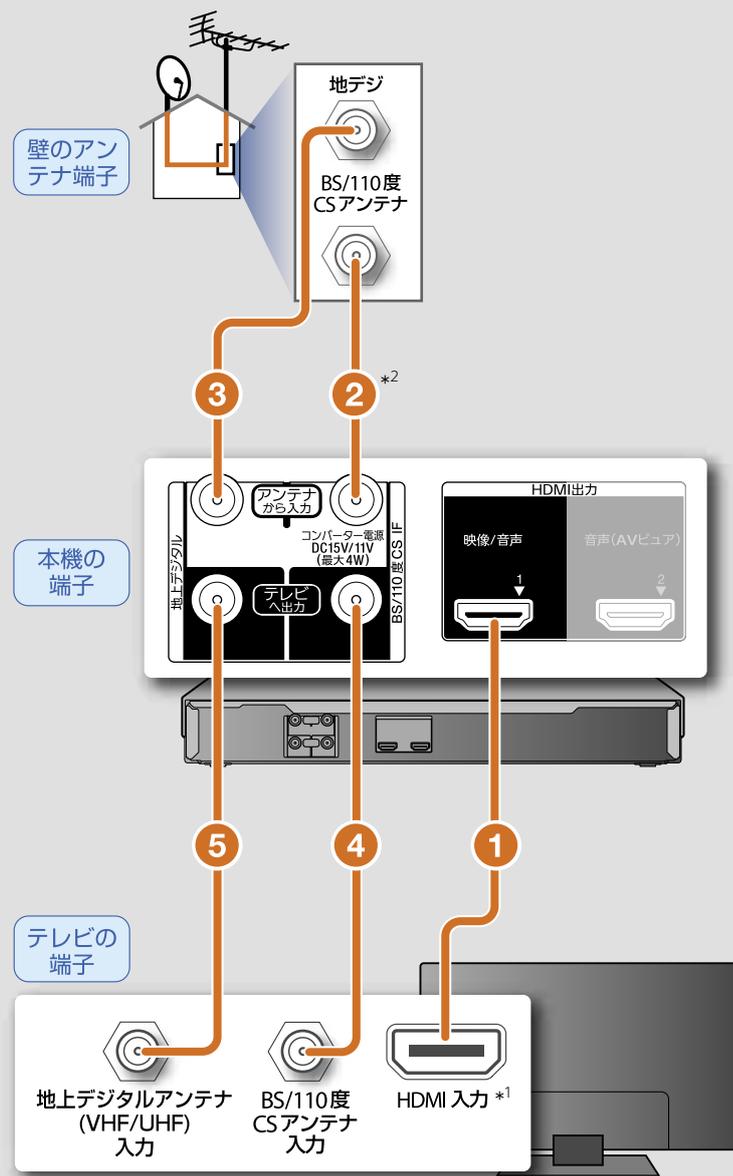
<https://www.sony.jp/support/bd/>

タイプ B

地デジ/BS/110度CSを 見ることができる (壁のアンテナ端子が2つ)

まず、必要な物をご用意ください

別売 とあっても、お使いのテレビについている物をそのまま利用できる場合もあります。足りない物だけお買い求めください。



*1 4K映像を楽しむには、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでください。

*2 BS・110度CSによる4K・8K放送対応チューナー搭載機器(テレビ、STB、録画機器など)と接続するときは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

映像・音声接続

1 STEP2で用意したHDMIケーブルで本機とテレビをつなぐ*1

別売

HDMIケーブル



アンテナ接続

2 テレビにつながっているアンテナケーブルを本機につなぎかえる*2

別売

BS/CSアンテナケーブル



放送信号は本機をいったん通ってテレビにも送られるようになります。

3 テレビにつながっているアンテナケーブルを本機につなぎかえる

別売

地上デジタルアンテナケーブル



4 本機とテレビをつなぐ

別売

BS/CSアンテナケーブル



5 本機とテレビをつなぐ

付属

アンテナケーブル*3



*3 付属のアンテナケーブルは地デジ専用です。

接続と準備をする

STEP 4 (14ページ) に進む

接続と準備をする(つづき)

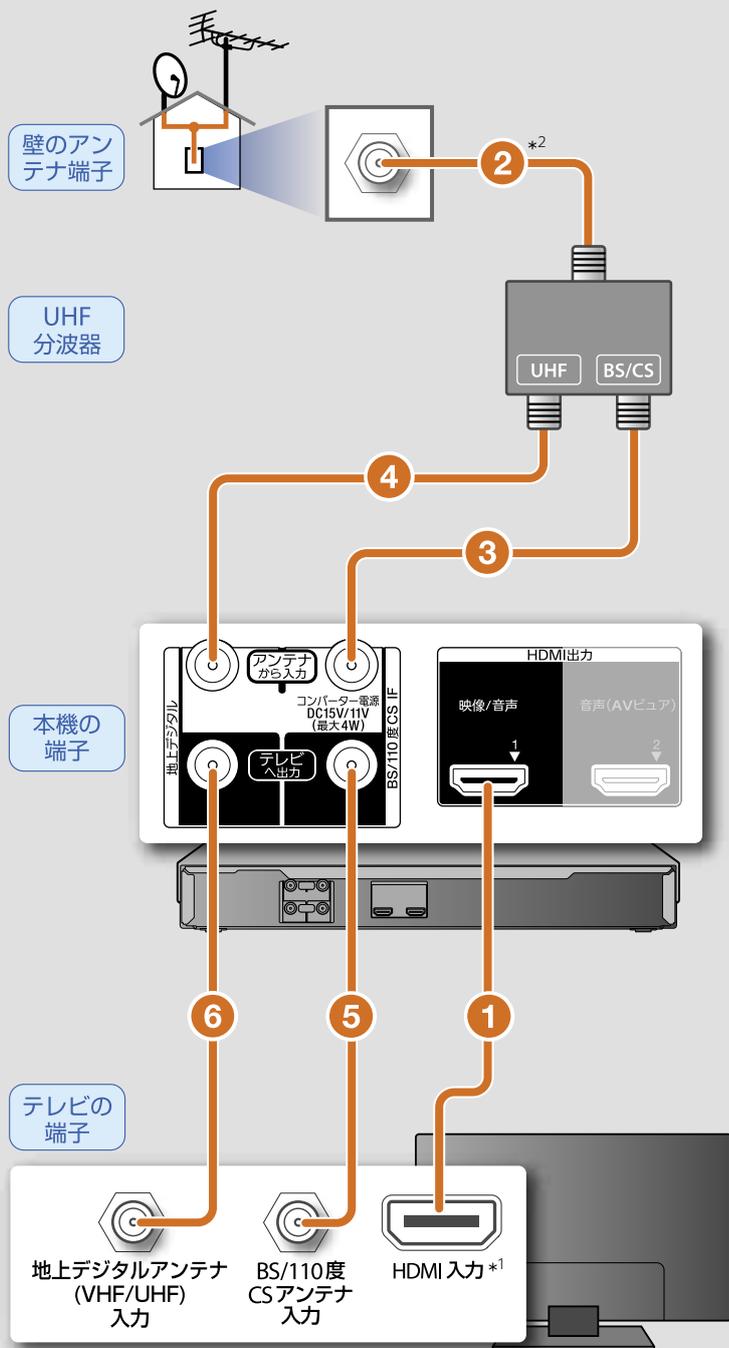
タイプ C

地デジ/BS/110度CSを 見ることができる(壁のアンテナ端子が1つ)

まず、必要な物をご用意ください

別売 とあっても、お使いのテレビについている物をそのまま利用できる場合もあります。足りない物だけお買い求めください。

接続と準備をする



*1 4K映像を楽しむには、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子についてください。

*2 BS・110度CSによる4K・8K放送対応チューナー搭載機器(テレビ、STB、録画機器など)と接続するときは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

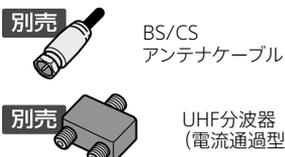
映像・音声接続

- STEP2で用意したHDMIケーブルで本機とテレビをつなぐ*1



アンテナ接続

- 壁のアンテナ端子とUHF分波器をつなぐ*2



- テレビにつながっているアンテナケーブルを本機につなぎかえる



放送信号は本機をいったん通ってテレビにも送られるようになります。

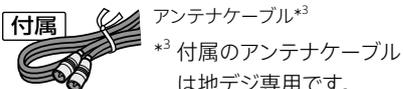
- テレビにつながっているアンテナケーブルを本機につなぎかえる



- 本機とテレビをつなぐ



- 本機とテレビをつなぐ



STEP 4 (14ページ) に進む

熱のこもらない所に設置してください

• 詳しくは「使用上のご注意」(148ページ)をご覧ください。

動画で接続方法を紹介しています

• 買い替えや追加購入したときの接続方法の紹介もあります。インターネットで下記アドレスを入力してください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

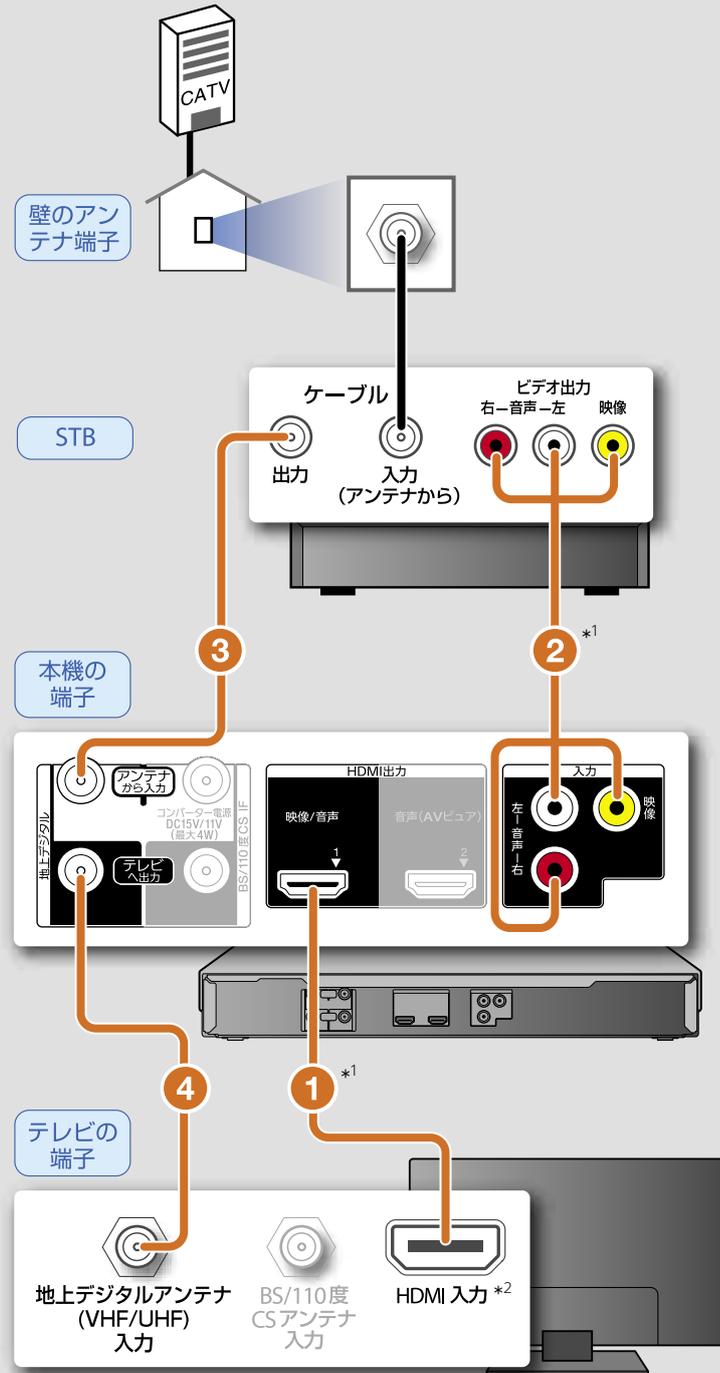
タイプ D

STB (CATVチューナー) を利用している

(CATVを利用していてもCATVチューナーがない場合は、タイプA~Cの接続を行ってください)

まず、必要な物をご用意ください

別売 とあっても、お使いのテレビにつないでいる物をそのまま利用できる場合もあります。足りない物だけお買い求めください。



*1 STBとテレビをつないでいるHDMIケーブルや音声/映像ケーブルとは別に、新たにつなぎます。

*2 4K映像を楽しむには、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでください。

地上デジタル放送はアンテナケーブル(パススルー方式)、BS/110度CSデジタル放送は音声/映像ケーブル(トランスモジュレーション方式)を使う場合の接続例です。受信できる放送や方式はCATV局や、マンション管理会社などの共同受信システム管理者へお問い合わせください。

映像・音声接続

1 STEP2で用意したHDMIケーブルで本機とテレビをつなぐ*1*2

別売

HDMIケーブル

2 本機とSTBをつなぐ*1

別売

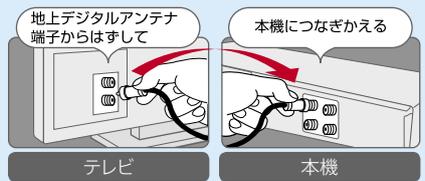
音声/映像ケーブル

アンテナ接続

3 テレビにつなごうアンテナケーブルを本機につなぎかえる

別売

地上デジタルアンテナケーブル



放送信号は本機をいったん通ってテレビにも送られるようになります。

4 本機とテレビをつなぐ

付属

アンテナケーブル*3
*3 付属のアンテナケーブルは地デジ専用です。

この接続の場合、地上デジタル放送は本機の番組表から録画予約できますが、BS/110度CSデジタル放送は、日時指定予約を使って録画予約する必要があります。詳しくは、「スカパーノヤCATVの番組を録画したい」(43ページ)をご覧ください。

接続と準備をする

STEP 4 (14ページ) に進む

接続と準備をする(つづき)

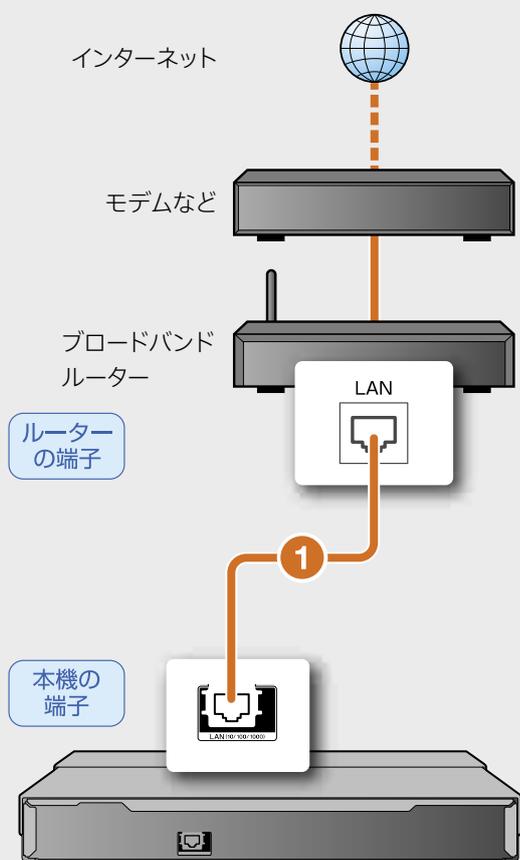
STEP 4

インターネットにつなぐ

本機をインターネットにつなぐと、「ネットワーク機能でできること」(90ページ)の機能をお使いいただけます。インターネットに接続しない、またはあとで接続する場合は、STEP5に進んでください。

有線をつなぐ場合

すでにインターネットに接続しているパソコンやスマートフォン、タブレットと同じルーターに本機をつないでください。本機につなぐルーターなどは、電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。



LAN接続

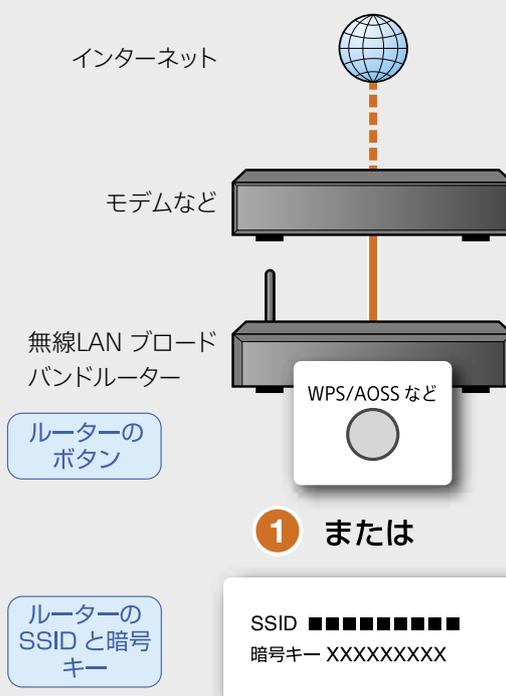
1 本機とルーターをつなぐ



* LANケーブルは、カテゴリ5e以上のご使用をおすすめします。

無線をつなぐ場合

すでにインターネットに接続しているパソコンやスマートフォン、タブレットと同じルーターに本機をつないでください。本機につなぐルーターなどは、電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。



1 または

SSID ■■■■■■■■
暗号キー XXXXXXXXX

次のページもあわせてお読みください。

- 「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)
- 「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

準備

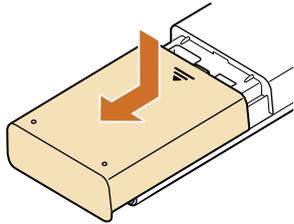
1 お使いのルーターのWi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタン*の位置を確認する
お使いのルーターにWi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタン*がないときは、SSIDと暗号キーが必要です。ルーター本体やルーターの取扱説明書で確認して控えておいてください。暗号キーの名称はメーカーによって「暗号化キー」、「KEY」、「ネットワークキー」、「パスワード」など異なります。

* ルーターの機種によっては、AOSSやらくらく無線スタートなどと記載されています。

STEP 5

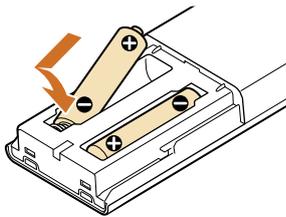
リモコンを準備する

- 1 電池カバーをはずす。



- 2 リモコンに電池を入れる。

⊕と⊖の向きをリモコンの表示にあわせ、単4形乾電池(付属)を⊖側から入れてください。



ソニー製ブルーレイディスクレコーダーをすでにお持ちの場合はリモコンモードの変更が必要です:
本機のリモコンモードがお買い上げ時の設定のままだと、他のソニー製機器も一緒に動作してしまいます。
「かんたん設定」(16ページ)が終わったあとに次のページをご覧ください、リモコンモードを変更してください。

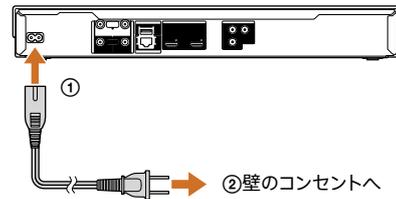
- 「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」(119ページ)
- 「リモコンモードを変更する(本体、リモコン)」(119ページ)

STEP 6

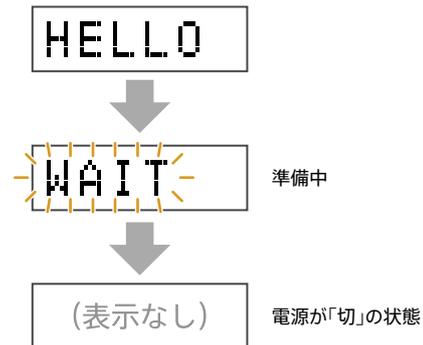
電源コードをつなぐ

- 1 すべての接続が終わった後、電源コード(付属)をつなぐ。

電源コードをつないだ後、本機を移動しないでください。振動や衝撃を与えると、ハードディスクが故障することがあります。



電源コードをつなぐと、本機の準備が始まります。準備中は本体の表示窓に次の表示が出ます。



「表示なし」になっても、本機を操作できるまでにしばらく時間がかかることがあります。

「使用上のご注意」(148～151ページ)もあわせてお読みください。

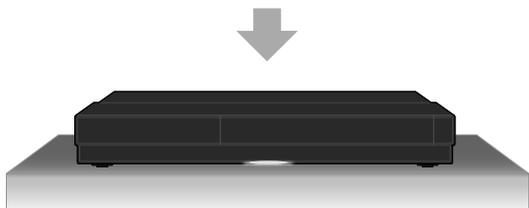
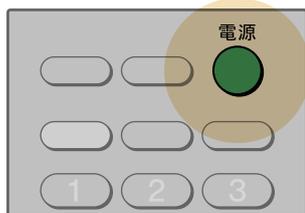
- 内蔵ハードディスクについての重要なお願い
- 本機の起動と終了について
- 設置場所について

接続と準備をする(つづき)

STEP 7

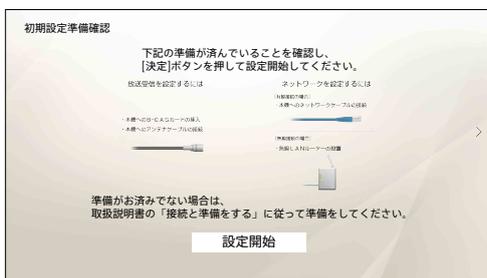
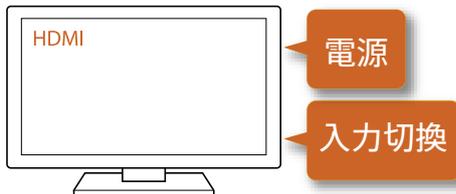
電源を入れ、テレビに本機の画面を表示する

- 1 本機の電源を入れる。
センターLEDが点灯するまでお待ちください。



準備が完了しても、本機を操作できるまでにしばらく時間がかかることがあります。

- 2 テレビの電源を入れ、以下の画面が映るようにテレビの入力を切り換える。



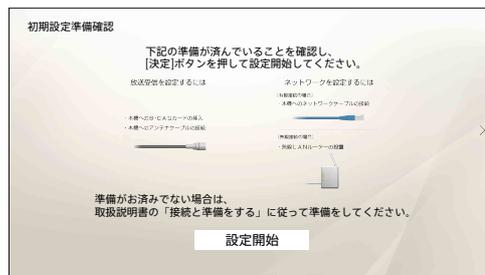
初期設定画面が表示されないときは：

- HDMIケーブルの接続を確認する。
 - ハイスピードタイプのHDMIケーブルで、つないで試してください。
 - つなぎ直してみてください。しっかり差し込まれていない可能性があります。
 - 音声/映像ケーブル(赤・白・黄)ではテレビと接続できません。
 - アンテナケーブルだけでは表示できません。
 - 断線している可能性があります。別のハイスピードタイプのHDMIケーブルで、つないで試してください。

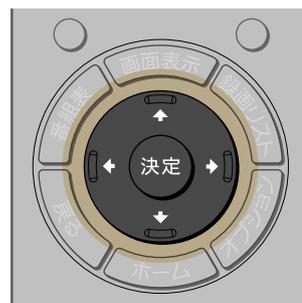
STEP 8

かんたん設定をする

- 1 →を押し、かんたん初期設定を開始する。



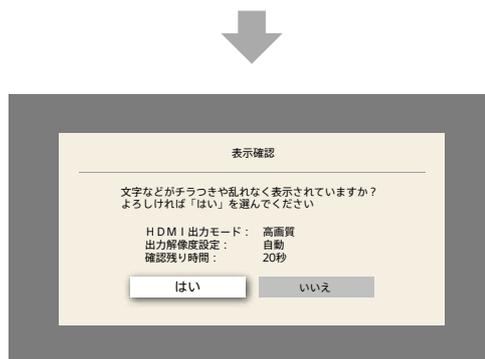
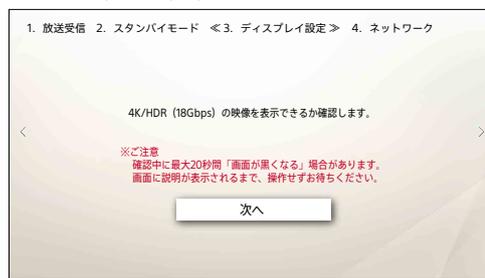
- 2 画面に従って↑↓←→で項目を選び、決定ボタンで確定する。



リモコンの操作

- :進む ↑↓:項目を選ぶ
- ←:戻る 決定:決定する

4K対応ディスプレイをご使用の場合
4K/HDR (18Gbps) の映像が表示できるか確認します。



かんたん設定の設定方法を紹介しています

- インターネットで下記アドレスを入力してください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>

確認できないときは:

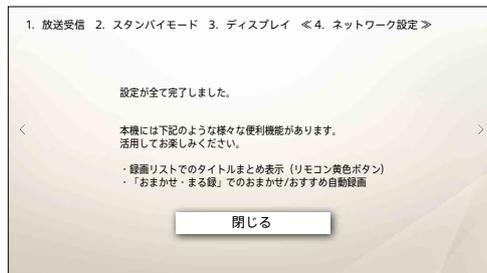
[いいえ]を選び、テレビの接続と設定を確認してください。

- プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps対応のHDMIケーブルで、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでいるか確認してください。
- テレビのHDMI信号フォーマット設定を確認してください。
ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。
詳しくは、つないだテレビの取扱説明書や下記ホームページをご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>

3 かんたんネットワーク設定を行う。

STEP4でインターネットにつなぐ準備をした場合は、つづけてかんたんネットワーク設定を行ってください。

これで接続と準備ができました！



かんたん初期設定とは:

本機を使うために必要な設定です。必ず最後まで行ってください。

- 地上デジタル放送受信設定
- BS/CSデジタル放送受信設定
- スタンバイモードの設定
- ディスプレイ設定
- リモコン設定
本機のリモコンでテレビの操作も行う場合に設定します。
- 番組表取得

かんたんネットワーク設定とは:

ネットワークで楽しむ機能のための設定です。設定の前にネットワーク接続が必要です。後からでも設定できます(92ページ)。

設定をやり直すには:

- 《ホーム》ボタンを押す。
- [設定/お知らせ] > [かんたん設定]を選ぶ。
以下、やり直したい設定を選びます。

[かんたん初期設定]

引越しやテレビの買い替え時に設定します。

[かんたんネットワーク設定]

ネットワーク機能を使うときやネットワーク環境が変わったときに設定します。

本機のリモコンで他のソニー製のBD対応機器が動作してしまうときは:

「本機のリモコンの設定を変更したい」(118ページ)をご覧ください。

基本の使いかた

本機の主な機能は、《ホーム》ボタン、《番組表》ボタン、《録画リスト》ボタンを押すと表示される画面から選びます。

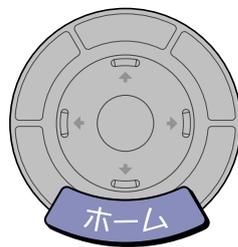
基本の使いかた



やりたいことを一覧から選ぶ

右ページ

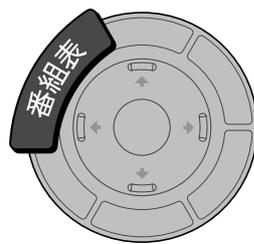
本機でできる機能や設定の入り口です。やりたいことから、本機でできる録画、編集、再生のしかたを選んだり、設定を選んだりするときに使います。



番組をすばやく探して録画する

22ページ

ホームメニューを使わずに、目的の番組をすばやく探して録画するときに使います。



録画した番組や映像をすばやく探して再生/削除/ダビングする

24ページ

ホームメニューを使わずに、録画した番組や映像をすばやく探して再生や削除、ダビングするときに使います。





やりたいことを一覧から選ぶ

《ホーム》ボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。
やりたいことに合ったカテゴリを選び、詳細項目を選びます。

ホームメニュー



カテゴリ

やりたいことからカテゴリを
⇔で選びます。

カテゴリ詳細

カテゴリ詳細から目的に合った
項目を⇕⇔で選び、《決定》ボタ
ンを押します。
カテゴリによって、カテゴリ詳細の
数は異なります。

カテゴリー一覧

カテゴリー名	できること	カテゴリー名	できること
録画する	<ul style="list-style-type: none"> 番組表から予約 (30ページ) 新作ドラマ・アニメガイド (32ページ) 日時指定して予約 (36ページ) 検索して予約 (37ページ) 予約リスト確認 (38ページ) ランキングから予約 (35ページ) おまかせ・まる録設定 (39ページ) 	削除/編集	<ul style="list-style-type: none"> タイトル削除 (60ページ) タイトル保護設定 (62ページ) タイトルグループ設定 (63ページ) タイトル管理 (63ページ) タイトル編集 (65ページ) プレイリスト作成 (67ページ) タイトル変換 (68ページ) ディスク管理 (69ページ)
視聴する	<ul style="list-style-type: none"> 録画タイトルを視聴 HDD/後面USB (44ページ) 放送中番組を視聴 (51ページ) 音楽タイトルを聴く (57ページ) 外部入力を視聴 (51ページ) ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD (51ページ) 録画タイトルを視聴 前面USB (44ページ) 写真を見る (58ページ) 	ダビング	<ul style="list-style-type: none"> タイトルダビング (73ページ) カメラ動画ダビング (80ページ) カメラ写真取り込み (84ページ) お引越しダビング (86ページ) 音楽取り込み (88ページ)
		設定/お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> かんたん設定 (107ページ) 詳細設定 (108ページ) 設定値一覧 (115ページ) お知らせ (115ページ) 困ったときは (116ページ)

現在放送中の番組を見るには
《ホーム》ボタンを押して、[視聴する] > [放送中番組を
視聴]を選びます。

基本の
使いかた



録画／再生／削除をしてみよう

STEP 1

番組を録画予約する

1 《ホーム》ボタンを押す。

2 [録画する]カテゴリーの[番組表から予約]を選び、決定する。



- [新作ドラマ・アニメガイド]: ドラマ・アニメの新作番組情報を最長1か月前から表示し、旬な番組を逃さず先行予約できます(32ページ)。利用するにはインターネット接続が必要です(90ページ)。
- [日時指定して予約]: 日時やチャンネルを指定して録画予約できます(36ページ)。
- [検索して予約]: キーワード、ジャンルなど条件を組み合わせて番組を検索して選べます(37ページ)。
- [予約リスト確認]: 録画予定番組の確認・修正ができます(38ページ)。
- [ランキングから予約]: 人気のある番組から選べます(35ページ)。利用するにはインターネット接続が必要です(90ページ)。
- [おまかせ・まる録設定]: 指定した条件に合った番組を自動録画します(39ページ)。

3 《地デジ》／《BS》／《CS》ボタンを押して、見たい放送の番組表に切り換える。



4 番組を選び、決定する。

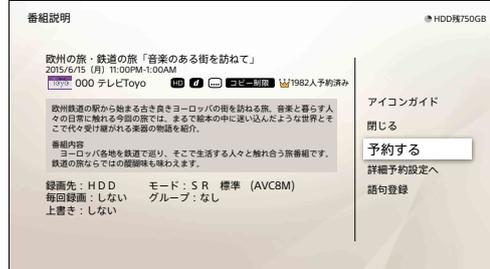


番組を選んで●《録画》ボタンを押すと、すぐ予約ができます(一発予約)。

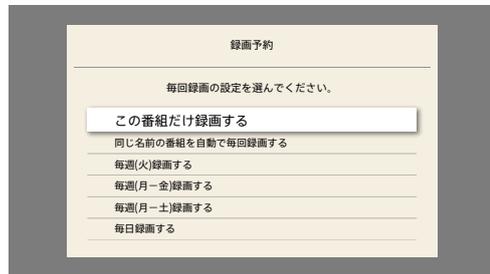
ご利用開始直後は番組表を表示できるまでに1日程度かかります。

番組表の全部または一部が表示されないときは、表示させたい放送局をしばらく視聴するか、番組表表示中に《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選ぶと表示されます。

5 [予約する]を選び、決定する。



6 毎回録画の条件を選び、決定する。



これで内蔵ハードディスクに録画予約ができました!

放送中の番組を視聴したいときは
手順5で[選局する]を選び、決定します。

録画モードを設定したいときは
手順5で[詳細予約設定へ]を選び、決定します(30ページ)。

STEP 2 録画した番組を視聴する

- 1 《ホーム》ボタンを押す。
- 2 [視聴する]カテゴリーの[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]を選び、決定する。



ディスクに録画した番組を視聴する場合は [視聴する]カテゴリーの[ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内の録画番組を視聴する場合は [視聴する]カテゴリーの[録画タイトルを視聴 前面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。

- 3 番組(タイトル)を選び、決定する。



これで再生が始まります！

STEP 3 録画した番組を削除する

- 1 《ホーム》ボタンを押す。
- 2 [削除/編集]カテゴリーの[タイトル削除]を選び、決定する。



録画リストを選ぶ画面が表示されたときは本機前面のUSB端子にSeeQVault対応外付けハードディスクをつないでいる場合、ディスクトレイにディスクが入っている場合に表示されます。削除したいタイトルがある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

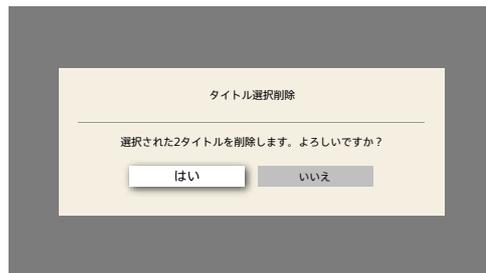
- 3 番組(タイトル)を選び、決定する。
タイトルの左側にチェックマークが付きます。



表示中のすべてのタイトルをまとめて削除するには、[表示中タイトル全選択]を選びます。

- 4 →を押し[削除実行]を選び、決定する。

- 5 [はい]を選び、決定する。



これで削除ができました！

基本の使いかた



番組をすばやく探して録画する

本機の電源が「切」のときに《番組表》ボタンを押すと、本機の電源が入り、1週間先までの番組表が表示されます。番組を選んですぐに録画を開始したり、お好みに合う番組を条件から探して録画予約したりできます。

番組表



基本の使いかた

A 番組表の種類

地上波、BS放送、CS放送など番組表の種類を表示します。

B アイコン

録画状況と有料放送、人気番組をアイコンで表示します。

アイコンの説明を画面上で見ると

《オプション》ボタンを押して、[アイコンガイド]を選び、決定します。



	録画中の番組
	録画予約した番組
	予約の一部が録画できない番組
	日時指定予約した番組
	日時指定予約のうち、一部が録画できない番組
	予約ランキングに入っている番組
	有料番組

C 操作ガイド

リモコンを操作してできること(例:《黄》ボタンを押すと文字サイズを変更できる)をガイドとして表示します。

STEP 1

番組を探す

1 《番組表》ボタンを押す。

本機の電源が「切」のときに《番組表》ボタンを押すと、本機の電源が入り番組表が表示されます。



2 《地デジ》／《BS》／《CS》ボタンを押して、見たい放送の番組表に切り換える。



3 番組を探す。

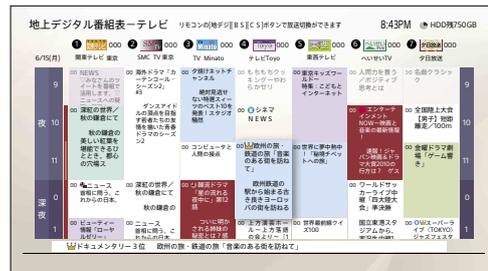


- 前日／翌日を表示:《前》／《次》ボタンを押す。
- 日時指定して表示:《オプション》ボタンを押して、[日時指定]を選ぶ。
- 番組検索:《青》ボタンを押す。
- 予約ランキングを表示:《赤》ボタンを押す。

STEP 2

録画する

1 番組を選び、決定する。



番組を選んで●《録画》ボタンを押すと、すぐ予約ができます(一発予約)。

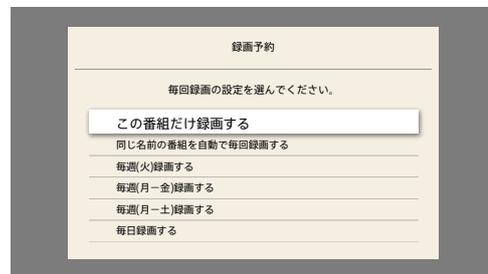
ご利用開始直後は番組表を表示できるまでに1日程度かかります。

番組表の全部または一部が表示されないときは、表示させたい放送局をしばらく視聴するか、番組表表示中に《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選ぶと表示されます。

2 [予約する]を選び、決定する。



3 毎回録画の条件を選び、決定する。



放送中の番組を視聴したいときは
手順2で[選局する]を選び、決定します。

録画モードを設定したいときは
手順2で[詳細予約設定へ]を選び、決定します(30ページ)。

基本の使いかた



録画した番組や映像をすばやく探して再生／削除／ダビングする

《録画リスト》ボタンを押すと、録画した番組や映像(タイトル)が一覧表示されます。目的のタイトルを条件から探して、再生したり、削除したり、編集やダビングをしたりできます。

録画リストの画面遷移



絞り込み検索メニュー

◀を押すと表示されます。キーワードやその他の条件を組み合わせ、タイトルを絞り込む条件を設定します。

タイトル分類

タイトル一覧で▶を押すと選択できます。▲▼でジャンルや録画先など、タイトルの分類条件を選びます。

タイトル一覧

絞り込み検索メニューの設定、タイトル分類の条件に合わせて、タイトルを表示します。

操作メニュー

▶を押すと表示されます。再生方法を選んだり、タイトルの削除、編集、ダビングをしたりできます。

基本の使いかた

録画リストの表示項目

分類条件切替ボタン

プルダウンからお好みの分類条件を選びます。



操作ガイド

リモコンを操作してできることをガイドとして表示します。

タイトル

タイトルがサムネイル表示されます。

まとめタイトル

《黄》ボタンを押すと、同じ番組名や毎回予約の設定ごとに複数のタイトルをまとめて表示できます。



まとめタイトルのサムネイルには、まとめられたタイトル数が表示されます。

まとめタイトルを選び、《決定》ボタンを押すと、まとめられたタイトルの表示／非表示を切り換えできます。

STEP 1

再生する

- 1 《録画リスト》ボタンを押す。
- 2 お好みの番組(タイトル)を選び、決定する。



並び替えたいときは
《緑》ボタンを押します。
日付順(新しい順/古い順)、サイズ順、タイトル名順などに切り換わります。

STEP 2

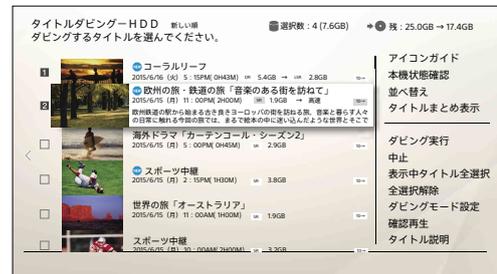
削除/ダビングする

- 1 ➡を押して操作メニューを表示し、[ダビング]を選び、決定する。



- 2 ダビング先を選び、決定する。
目的に合ったディスクを選ぶには、「コピー/ダビングできるディスク/映像の種類」(71ページ)をご覧ください。

- 3 番組(タイトル)を選び、決定する。
タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。



- 4 ➡を押して[ダビング実行]を選び、決定する。
ダビングを開始します。



録画した番組(タイトル)を削除するには
手順1で[削除]を選び、決定します。1つのタイトルを削除するには[1タイトル削除]、複数削除するには[選択して削除]を選び、画面の指示に従って操作してください。

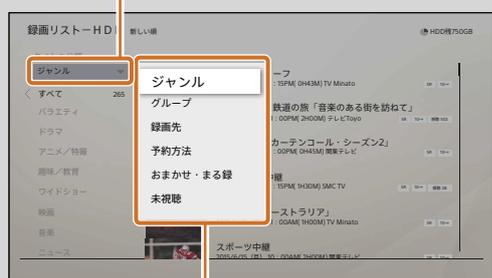
録画した番組や映像をすばやく探して再生／削除／ダビングする(つづき)

録画した番組や映像を絞り込んで探すには

目的のタイトルを条件から絞り込み、再生したり、削除したり、編集やダビングをしたりできます。

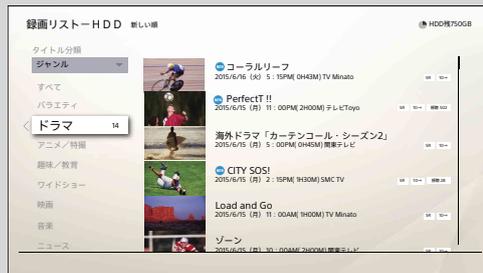
- 1 《録画リスト》ボタンを押す。
- 2 ◀を押して、分類条件切替ボタン▶お好みの分類条件を選び、決定する。

分類条件切替ボタン



分類条件

- 3 お好みの条件を選ぶ。
▲▼で選んだ条件に一致する番組(タイトル)を表示します。



- 4 ▶でタイトル一覧に移動し、お好みのタイトルを選び、決定する。



基本の使いかた

さらに条件を指定して録画した番組や映像を絞り込めます:

手順3で▶を押すと、絞り込み検索メニューを表示します。
お好みの検索条件を選び、決定します。
条件を組み合わせることで、タイトルを絞り込めます。



絞り込み検索メニュー

録画する

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

録画できるディスク／ハードディスクの種類

内蔵ハードディスクに録画したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画先の残量を確認したい(42ページ)。

通常は、内蔵ハードディスクに録画します。

ちょっと一言

- 保存できる番組(タイトル)数は、最大10,000です。

外付けハードディスクに直接録画したい(SeeQVault™対応)

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機後面のUSB端子につなぎ、[USB HDD登録]で外付けハードディスクを登録する(104ページ)。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画先の残量を確認したい(42ページ)。

本機はSeeQVault対応の外付けハードディスクに対応しています。録画先として使用すると、録りためた番組(タイトル)をもう1台のSeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。詳しくは「外付けハードディスクとの接続／登録(SeeQVault対応)」(104ページ)をご覧ください。

録画予約設定画面(31、36ページ)で[録画先] > [後USB]に設定してください。

録画予約のたびに選ばずに、外付けハードディスクに録画するには、ホームメニュー > [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [録画／ダビング設定] > [予約録画「録画先」初期値] > [後面USB]に設定します(111ページ)。

ちょっと一言

- 外付けハードディスク1台に保存できるタイトル数は、最大10,000です。
- USB3.0対応外付けハードディスクは、複数番組を同時録画できます。USB2.0対応外付けハードディスクは、同じ時間に1番組しか録画できません。
- 外付けハードディスクが接続／登録されていない場合、内蔵ハードディスクに残量(空き容量)があれば振り替えて録画します。

以下のことはできません

- 外付けハードディスクへの、LAN録画／LANムーブ。
- 外付けハードディスクに録画中の、内蔵HDD⇄USB HDDで記録モードを変更したダビング。

BDに直接録画したい

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- BDを用意する。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画先の残量を確認したい(42ページ)。
- 利用できるディスクを確認したい(141ページ)。

- 1 ディスクを入れ、録画先を設定する。
録画予約設定画面(31、36ページ)で[録画先] > [BD]に設定してください。

ちょっと一言

- 1枚に保存できる番組(タイトル)数は、最大200です。

ご注意

- BDへの直接録画では、録画モードはDRモードのみとなり、変更できません。
- コピー制限付きの番組をBDに録画／記録した場合は、ダビング可能回数は必ず1回(1→)になります。内蔵ハードディスクに移動(ムーブバック)できます(76ページ)。

以下のことはできません

- BDへの自動録画、LAN録画／LANムーブ、複数番組の同時録画、外部入力録画。
- BDに録画中の
 - BDの再生、編集、ダビング。
 - ディスク管理(ディスク名変更など)。

DVDに直接録画したい

DVDには直接録画できません。内蔵／外付けのハードディスクに録画してからダビングしてください(30、74ページ)。DVDへのダビングには、録画時間と同じくらいの時間がかかります。ダビング中は他の操作はできません。

録画の前に知っておきたいこと

録画を始めるとき／録画を途中で止めるとき

録画を始めるとき

電源「入」／「切」にかかわらず、録画開始時刻になると録画を開始します。「録画」ランプ(7ページ)が点灯します。終了時刻になると、自動で録画が終了します。

録画を途中で止めるとき

録画リストなどで録画中(●)の番組を選び、リモコンの■《停止》ボタンを押します。

録画中の操作制限

録画中は次の操作はできません。

- DVDダビングや、BDなどで記録モードを変更したダビング。
- 録画中の番組の編集。
- おでかけファイルの作成。
- 録画中の予約の修正。
- 録画モード変更。

録画の種類	できないこと
複数番組同時録画中*	<ul style="list-style-type: none">• 他のチャンネルを視聴すること。• ブラビアリンクの「見て録」。• 外部入力録画。
LAN録画／LANムーブ中	<ul style="list-style-type: none">• ワイヤレスおでかけ転送。• お引越しダビング。
外部入力録画中	<ul style="list-style-type: none">• MP4形式の映像(タイトル)の再生• 他機器で撮影した1080/60p、3D映像の再生• 「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクの再生• BD-ROMの再生• Ultra HD Blu-rayの再生• DVD(AVCHD形式)の再生• 写真の再生

* BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500では2番組同時録画中、BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000では3番組同時録画中。

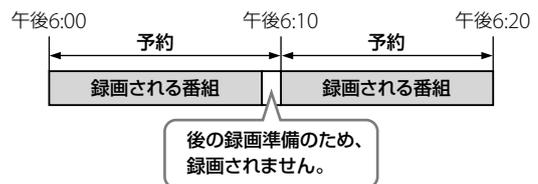
ちょっと一言

- 録画を優先するため、リモコン操作などが一時的に遅くなることがあります。
- 複数番組同時録画中に他のチャンネルを見たい場合は、テレビの入力切替設定で、入力をテレビ側に切り換えてお使いのテレビのチューナーで視聴してください。
- 番組の特定の場面を選んで録画することはできません。録画したあとに、不要な場面を削除したり(65ページ)、映像の区切りで頭出ししたり(54ページ)できます。

連続した番組を録画するときの制限

前の録画予約の終了時刻と後の録画予約の開始時刻が同じ場合、後の録画予約番組を最初から録画するため、前の録画予約は終了予定時刻より早く録画停止します。

- BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500をお使いで、後の録画予約の開始時刻に他の番組が2番組同時録画されている場合。
- BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000をお使いで、後の録画予約の開始時刻に他の番組が3番組同時録画されている場合。



録画予約が連続しているかを確認するには

「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」(38ページ)の手順で確認できます。

視聴・再生中に録画するときの制限

録画状況や本機の使用状況によっては、いずれかの予約が予約時に指定した録画モードではなく、DRモードで録画されることがあります。

変更の対象となる番組(タイトル)は、状況に応じて、本機が録画時に自動で決めます。

録画後、予約時に指定した録画モードへの変更を自動で行います。

録画モードの自動変更について

▶SR(▶マークあり)などのアイコンがついた番組(タイトル)については、録画後、録画モードの変更とおでかけファイルの作成を行います。

変更が終わると ▶SR(▶マークあり)などのアイコンが ▶SR(▶マークなし)などのアイコンに変わります。

ご注意

- 変更には放送と同じぐらいの時間が必要です。変更可能な空き時間があると本機が判断したタイトルから順に行います。
- 複数番組録画中やBD-ROM再生中などは変更を行いません。
- 内蔵／外付けのハードディスクの残量が少ない場合、変更できないことがあります。
- 保護設定されたタイトルやプレイリストから参照されているタイトル、録画中のタイトルは変更されません。

録画モードとは

- 次のタイトルは、録画モードの自動変更対象ではなくなります。
 - 編集したタイトル(チャプター編集、部分削除、タイトル分割、タイトル結合)
- SeeQVault対応外付けハードディスク内の自動変更対象タイトルは、本機後面のUSB端子に接続しているときのみ自動変更を行います。

録画モードをすぐに変更するには(手動変更)

SR(▶▶マークあり)などのアイコンがついた番組(タイトル)は、自動変更を待たずに、手動でタイトルを選んで変更できます。

「録画した映像の録画モードを変更したい」(68ページ)をご覧ください。

おでかけファイルをすぐに作成するには

録画の状況によっては、SR(▶▶マークあり)などのアイコンが見つからないことがあります。ワイヤレスおでかけ転送できないときは、おでかけファイルを作成してください。

「録画した映像のおでかけファイルを作成したい」(69ページ)をご覧ください。

本機の録画予約状況について

ホームメニューや録画リストの画面右上で、本機の録画予約状況をお知らせします。以下は主な表示例です。表示されたときは、対処方法をご確認ください。

主な表示例	対処方法
7/13(月) USB録画不可	録画可能なBDや外付けハードディスクに交換してください。
7/14(火) BD録画不可	
7/13(月) 予約重複	録画予約の重複を確認して、優先順位などを修正してください。「録画予約状況を確認/修正/取り消したい」(38ページ)をご覧ください。
7/14(火) 録画残量不足	不要な番組(タイトル)を削除してください。「見終わった番組や映像を削除したい(タイトル削除)」(60ページ)をご覧ください。

録画モードによる違い

録画後の楽しみ方に合わせて、録画モードを選べます。

	DRモード	XR~EERモード
録画画質	放送そのまま	画質/容量を抑える
二か国語放送	すべての音声(再生時に切り換え可)	
字幕	再生時に入/切可	
外部入力録画時	選択不可	選択可

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定はSRモードです。

録画モードとBDへのコピー

録画した番組(タイトル)をBDにコピーする場合は、お使いのBDの容量にあわせてあらかじめ録画モードを設定しておく、高速ダビング(78ページ)ができます。

例:1時間ドラマ24話分をBDにコピーする場合の目安*

録画モード	画質/容量	必要なBD枚数
DR		約8枚
XR	高画質/大容量	約8枚
XSR		約6枚
SR		約4枚
LSR		約2枚
LR		約2枚
ER		約1枚
EER	低画質/小容量	約1枚

詳しくは、「録画モードと録画/ダビング可能時間について」(143ページ)をご覧ください。

* 地上デジタル(HD)放送の番組を録画して、BD(1層、25GB)にコピーする場合。

ご注意

- 映像や音声の情報量は番組や放送局などにより異なります。そのため、録画時間が同じでも、録画後の容量は異なることがあります。DRモードでの録画は、タイトルによってはDR以外のモードで録画したタイトルよりも、容量が少なくなることがあります。

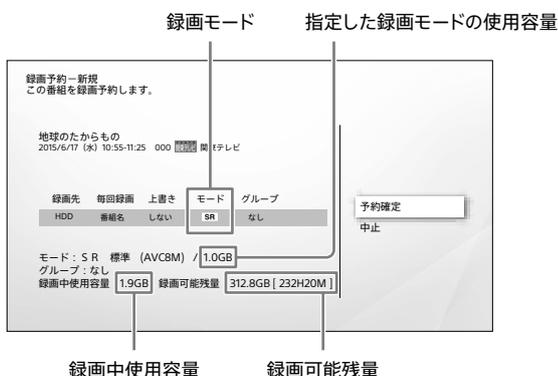
以下のことはできません

- データ放送や、BS/110度CSデジタル放送のラジオ放送を録画すること。

番組表から録画予約したい

録画モードを設定／変更したい

- 1 録画したい番組を選ぶ。
《番組表》ボタンを押します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 録画予約方法を選ぶ。
[詳細予約設定へ]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 3 録画モードを設定する。
[モード] > 変更したい録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。指定した録画モードで使用する容量と録画可能残量(空き容量と時間)が表示されます。



- 4 録画予約する。
操作メニューの[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。番組表に☺が表示されます。

いま見ている番組を録画するときは番組視聴中に、《オプション》ボタンを押して[録画モード設定] > 変更したい録画モードを選びます。●《録画》ボタンを押して録画します(41ページ)。

録画予約した番組の録画モードを変更するには「録画予約状況を確認／修正／取り消したい」(38ページ)の手順2で、[モード] > 変更したい録画モードを選んでください。

ちょっと一言

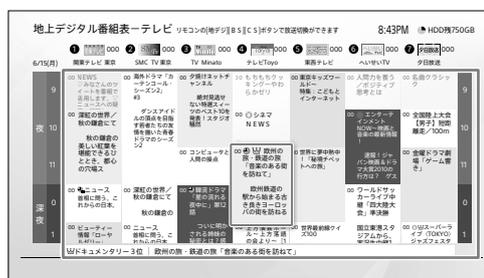
- [おでかけ設定] > [録画後自動作成] > [入]に設定している場合、使用容量におでかけファイルの容量も含まれます。
- 長時間録画(AVC)の場合、指定した録画モードの使用容量より多くの容量が録画中に必要となります。
- 録画可能残量は自動削除設定されたタイトルの容量も含まれます。

ご注意

- LAN録画／LANムーブ、BDへの直接録画では、録画モードはDRのみとなり、変更できません。

番組表から録画予約したい(一発予約)

- 1 《番組表》ボタンを押して、番組表を表示する。
番組表の操作については、「番組をすばやく探して録画する」(22ページ)をご覧ください。
- 2 番組を録画予約する。
録画したい番組を選び、●《録画》ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと、予約を解除できます。録画モード(29ページ)は前回の録画予約と同じ設定になります。
番組表に☺が表示されます。



現在放送中の番組の場合は、すぐ録画が始まります。番組表には●が表示されます。

ちょっと一言

- 《黄》ボタンを押すと、番組表の文字サイズを変更することができます。
- 《オプション》ボタンを押し、[表示設定] > [表示サイズ]を選んで《決定》ボタンを押すと、番組表の表示タイプごとに文字サイズを設定できます。

ご注意

- 番組表の一部が表示されない場合は、表示したい放送局をしばらく視聴するか、《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選びます。これは、初めてお使いになるときや、数日間本機の電源コードを抜いていた場合に起こります。

毎回または同じ番組名で予約したい

- 1 録画したい番組を選ぶ。
《番組表》ボタンを押します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 録画予約方法を選ぶ。
[予約する]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 毎回録画の条件を設定し、録画予約する。

条件を選び、《決定》ボタンを押します。
番組表に ☺ が表示されます。



毎回録画の条件

[毎週(月-金)録画する]などの毎回録画の条件を選ぶと
毎日/毎週同じ曜日の同じ時間に録画します。

[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]を選ぶと
同一チャンネル内を番組名で検索して自動録画します。

「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい
(詳細設定)」(31ページ)の手順3で、[毎回録画]を
選び、[番組名]で設定もできます。

番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)

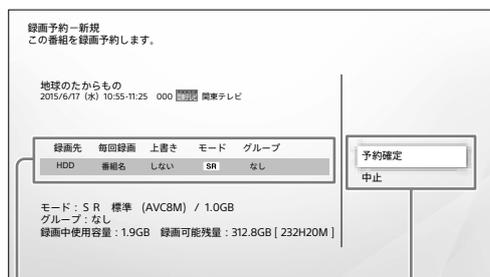
1 録画したい番組を選ぶ。

《番組表》ボタンを押します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画予約方法を選ぶ。

[詳細予約設定へ]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ↑↓↔で、録画の条件を設定する。



設定エリア

操作メニュー

録画の条件を変更するには

設定エリアで各項目を選び、《決定》ボタンを押します。

項目	できること
録画先	[HDD]内蔵ハードディスク/[後USB]外付けハードディスク/[BD]ブルーレイディスクを選べます。
毎回録画	定期的に録画する条件を設定できます。 [番組名]を設定すると、番組名を検索して自動で録画予約します。
上書き	[録画先]を[HDD]/[後USB]に設定時、前回録画した番組(タイトル)を、次の録画を開始する前に削除します。
モード*	録画モードについては、29ページをご覧ください。
グループ	[録画先]を[HDD]/[後USB]に設定時、タイトルの分類に使えます(63ページ)。

* 録画先がBDの場合、録画モードはDRモードとなります。

4 録画予約する。

操作メニューの[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
番組表に ☺ が表示されます。

12時間以上の番組を録画したい

12時間を超える番組は連続して録画できません。

1 番組を12時間以内に区切って録画予約する。

「日時を指定して録画予約したい」(36ページ)の手順1~3を行い、12時間以内になるように[開始時刻]と[終了時刻]を設定してください。

毎回または同じ番組名を全部録画したい

毎回または同じ番組名を全部録画したい

「毎回または同じ番組名で予約したい」(30ページ)で、毎回録画の条件を選びます。

番組を自動で録画したい

次の録画予約方法は、異なる曜日や時間で放送される場合でも、本機が条件に合った番組を録画します。

- 毎回録画(30ページ)の条件で、[同じ名前の番組を自動で毎回録画する]、または録画予約設定画面(31ページ)の[毎回録画]で[番組名]を選ぶ。
- おまかせ・まる録(39ページ)。

自動で録画するときの二度録り回避について

連続ドラマやアニメなど話数がある番組では、一度録画した話は再放送があっても録画を回避します。同じタイトル名で、「第2話」や「#2」など、話数が付いている番組が対象です。

ちょっと一言

- 本機から削除された番組でも、再放送は録画しません。
- 番組名での毎回録画で再放送も録画したいときは、予約リストで✦を押して[二度録り回避]>[いいえ]を選びます。おまかせ・まる録では設定できません。
- 一度録画した番組が再放送されたときに、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です。
- 録画した番組の学習情報は、ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[設定初期化]>[学習情報の初期化]>[二度録り回避学習情報]で、初期化できます。
- 同じ番組でも、番組情報や放送局が異なる場合は再び録画されることがあります。

初回や最終回だけ放送延長されても最後まで録画したい(番組追跡録画)

連続ドラマの番組を毎回予約したときに最終回だけ放送時間が違って、番組名を追跡して予約するため、逃さず録画できます。追跡できる範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。本機が自動的に録画して対応します。

スポーツ中継の放送延長のため、予約した番組の放送時刻が変更されるとき(スポーツ延長対応)、また放送時間内に終わらなかったときや、延長部分の放送が他のチャンネルで継続されるとき(イベントリレー対応)でも、本機が自動的に録画して対応します。

ドラマ・アニメの新作番組や人気のある番組を録画したい(新作ドラマ・アニメガイド)

新作のドラマやアニメ番組の情報を最長1か月前から表示し、番組を選んで先行予約できます。新作番組や人気のある番組に関する情報はインターネット経由で取得するため、本機能を利用する場合は、ネットワークへの接続と設定が必要です。

情報の取得について

- 取得/利用に際しては、操作履歴情報の使用について同意が必要です。
ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[機能使用に関する情報送信の同意確認]で設定できます(115ページ)。

ちょっと一言

- 新作ドラマ・アニメガイドをご使用になる場合は、インターネットへの常時接続をおすすめします。

ご注意

- 「新作ドラマ・アニメガイド」における先行予約対象の番組は、お住まいの地域(受信設定しているチャンネル)や放送局の番組編成によっては、放送日時が遅れたり、放送されない可能性があります。また、お住まいの地域で放送が確定した場合、表示される日時、チャンネル情報がお住まいの地域での放映日時、チャンネル表示に変わります。
- 先行予約した番組の情報に変更があった場合は、ごくまれに番組表予約に置き換えができず、録画予約に失敗する可能性があります。
- 新作番組や人気のある番組に関する情報の取得は半日程度かかり、情報を再取得するまでは取得済みの情報を表示します。

新作番組や人気のある番組を録画予約したい

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。
「準備1:インターネットにつなぐ」(91ページ)
「準備2:かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

2 番組一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[録画する]>[新作ドラマ・アニメガイド]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 上下で、番組一覧を切り換える。

一覧選択エリアで番組一覧を選びます。



一覧選択エリア

番組一覧

番組一覧の種類

- ドラマ／アニメ
 - 新作番組 (新作番組を一覧表示します。番組表に表示される前の番組も表示されます)
 - 予約ランキング (予約数の多い番組をランキング表示します)
 - クチコミランキング (クチコミ数の多い番組をランキング表示します)
- 映画＆スポーツ
 - 映画 (映画番組を一覧表示します)
 - スポーツイベント (スポーツ番組を一覧表示します)

ちょっと一言

- 「映画＆スポーツ」の番組は、放送開始日時の8日前から録画予約できます。
- 「映画＆スポーツ」の番組は、サムネイル表示されません。

4 録画したい番組を選ぶ。

番組をひとつだけ選ぶ場合

- ➡で番組一覧に移動し、上下で録画したい番組を選び、●《録画》ボタンを押します。
- 選んだ番組が録画予約されます。

複数の番組を選ぶ場合

- ➡で番組一覧に移動し、《赤》ボタンを押します。
- 表示している番組一覧のすべての番組が選択されます。
- 録画したくない番組がある場合は、上下でその番組を選び、《決定》ボタンを押して番組の左側に付いたチェックマークをはずしてください。



番組一覧

操作メニュー

5 録画予約する。

- ➡で操作メニューに移動し、[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 手順4で選んだ複数の番組 (チェックマークが付いた番組) が録画予約されます。

ちょっと一言

- 新作ドラマ・アニメガイドに表示される番組は、地上デジタル放送の番組およびBSデジタル放送の無料放送番組です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>
 - 予約ランキングに表示される新作番組ではない番組や、映画＆スポーツの番組を●《録画》ボタンを押して録画予約する場合は、一回録画の設定となります。
- 新作番組の場合は、番組名で毎回録画する (31ページ) 設定になります。
- 毎回録画の条件を設定したい場合は、番組を選んで《決定》ボタンを押し、[予約する]から設定できます。

ご注意

- 複数の放送局で放送される番組の場合、地上デジタル放送での放送日時が早い番組が新作ドラマ・アニメガイドに表示されます。
- 現在放送中の番組および30分以内に放送開始する番組は新作ドラマ・アニメガイドに表示されません。
- お住まいの地域での放送開始日が他の地域より7日以上遅い新作ドラマまたは新作アニメの番組は、新作ドラマ・アニメガイドに表示されない場合があります。
- 録画予約した番組の録画モードは、前回の録画予約と同じ設定になります。

先行予約した番組を確認したい

番組表に表示される前の新作番組を録画予約した場合、その番組は先行予約として予約リストに表示されます。

1 [予約リスト]の[先行予約]を表示する。

- 《ホーム》ボタンを押します。
- [録画する] > [予約リスト確認] > [先行予約]を選ぶ。

ちょっと一言

- 先行予約は番組名で毎回録画する (31ページ) 設定になります。
 - 先行予約は最大130件まで登録できます。
 - お住まいの地域で放送されることが確定した先行予約番組は、放送の8日前に[予約リスト]の[先行予約]から[予約]に自動で置き換わります。
- [予約]に置き換わると、録画予約した番組の毎回録画、録画モード、録画先などの条件を変更できるようになります (38ページ)。

ご注意

- 先行予約した後にインターネット接続 (90ページ) していない場合や、[機能使用に関する情報送信の同意確認]に同意 (115ページ) していない場合に先行予約がエラーになります。

- 先行予約した番組が[予約リスト]の[予約]に表示されると、状況によっては録画予約が重複して同時録画できる番組数を超えることがあります。その場合は、録画優先順の変更(38ページ)や不要な予約の削除を行ってください。
- 先行予約した番組は、[予約リスト]の[予約]に表示されないまま90日経過すると予約リストから自動で削除されます。

新作番組や人気のある番組に関連する番組を録画予約したい

1 番組一覧を選ぶ。

「新作番組や人気のある番組を録画予約したい」(32ページ)の手順1~3を行います。

2 番組説明を表示する。

▶で番組一覧(33ページ)に移動し、◀▶で番組を選び、《決定》ボタンを押します。

3 関連動画一覧を表示する。

◀▶で関連動画一覧エリアに移動します。

関連番組は、[この番組の出演者はこんな番組にも出演しています]および[この番組と同じジャンルで話題の番組]の一覧に表示されます。



関連動画一覧エリア

新作ドラマまたは新作アニメの番組が表示されます。

4 録画したい番組を選ぶ。

◀▶▶で録画したい関連番組を選び、《決定》ボタンを押します。

5 録画予約する。

[予約する]を選び、《決定》ボタンを押します。

毎回録画の条件を選び、《決定》ボタンを押します。

新作番組や人気のある番組の録画済みエピソードをまとめて再生するには

関連動画一覧エリアの[この番組の録画済みエピソード]の一覧に移動し、◀▶で映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押します。

一覧には最大500件まで表示されます。

新作番組や人気のある番組のクチコミをチェックするには

関連動画一覧エリアの[この番組へのクチコミ]の一覧に移動し、◀▶でクチコミを選び、《決定》ボタンを押します。

一覧には最大4件まで表示されます。

情報の提供について

- 本機能の一部に対し、株式会社KADOKAWAおよび「Gガイド.テレビ王国」(運営:ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社)より情報提供を受けております。ソニーでは、番組の内容やクチコミの内容に対し、一切の責任を負いません。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

接続先とその目的について

情報提供に伴う通信のため、下記へ接続します。

- 接続先: データベースサーバー
- 情報提供元: 株式会社 KADOKAWA
: 「Gガイド.テレビ王国」(運営:ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社)
: ソニー株式会社

人気のある番組を録画したい(予約ランキング)

予約数の多い番組をランキング表示します。人気のある番組を選んで録画できます。ランキングに関する情報はインターネット経由で取得するため、ネットワークへの接続と設定が必要です。

人気のある番組を録画したい

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

2 予約ランキングを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[録画する] > [ランキングから予約] を選び、《決定》ボタンを押します。

予約数の多い番組を上位から最大20番組まで一覧で表示します。



◆◆で、ジャンル別のランキングに切り換えます。

放送を切り換えるには◆を2回押して、[放送切換] > [地上デジタル] / [BSデジタル] / [CSデジタル] を選びます。

3 録画したい番組を選ぶ。

番組を選び、《決定》ボタンを押します。

4 録画方法を選ぶ。



そのまま/毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(30ページ)。

録画モードなども設定する場合

[詳細予約設定へ]を選んでください(31ページ)。

ちょっと一言

- ランキング画面で、番組を選んで●《録画》ボタンを押すと、一発予約できます。
- 予約ランキングに入った番組は、番組表、番組検索結果、予約リスト、番組情報画面に👑が表示されます。
- ランキング画面で予約した番組の修正や削除ができます。予約した番組を選び▶を押して、[予約修正]または、[予約削除]を選びます。
- 受信環境や取得のタイミングにより、20位まで表示されないことがあります。

人気のある番組を再生したい

「人気のある番組を再生したい」(48ページ)をご覧ください。

予約/再生情報の提供について

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーおよび「Video & TV SideView」アプリで、録画予約した番組や再生したタイトルの操作履歴をもとに集計して情報を提供します。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>

情報の取得について

- 取得/利用に際しては、操作履歴情報の使用について同意が必要です。
ホームメニュー > [設定/お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [機能使用に関する情報送信の同意確認] で設定できます(115ページ)。
- 予約ランキングは8日先の番組までの情報を取得します。
- ホームメニュー > [録画する] > [ランキングから予約] で表示されるランキングは、4時間ごとに情報を取得します。
- 視聴数は、放送終了日から180日後までの情報を取得します。

接続先とその目的について

予約ランキングや再生数の情報提供に伴う通信のため、下記へ接続します。

- 接続先: データベースサーバー
- 情報提供元: ソニー株式会社

ご注意

- 地上デジタル放送で同じ系列の放送局を複数受信している場合、同じ番組でも放送局ごとに集計します。
- ホームメニュー > [録画する] > [ランキングから予約] の画面を表示したまま1時間経過してもランキング情報の取得はしません。画面を閉じてから表示し直してください。
- 受信できない番組は「番組はありません」と表示されます。

番組を検索して録画予約したい

いろいろな条件を組み合わせて番組検索したい

1 番組検索画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[録画する]>[検索して予約]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 検索するための条件を設定する。

検索条件を選んで《決定》ボタンを押します。
よく録画する人名や番組は、[キーワード]>[よく録る人名]／[よく録る番組]で検索できます。



3 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。
日付順と番組名順が切り換わります。

指定した検索条件をおまかせ・まる録へ登録するには

➡を押して、[この条件で自動録画]を選び、《決定》ボタンを押します。

選んだ番組を含む番組表を表示するには

《番組表》ボタンを押します。

4 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(30ページ)。

録画モードなども設定する場合

[詳細予約設定へ]を選んでください(31ページ)。

ちょっと一言

- 手順2で設定した条件を保存すると、いつでも同じ条件を呼び出すことができます(41ページ)。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

見ている番組の出演者や話題に関連する番組がほかにもないか検索したい(気になる語句で検索)

1 検索する。

番組を視聴中に《オプション》ボタンを押します。
[気になる語句で検索]>[人名]や[ワード]>人名やワードを選び、《決定》ボタンを押します。
[番組表]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画したい番組を選ぶ。

最大200件まで表示します。
番組を選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。
日付順と番組名順が切り換わります。

指定した検索条件をおまかせ・まる録へ登録するには

➡を押して、[この条件で自動録画]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画予約方法を選ぶ。

そのまま／毎回録画予約する場合

[予約する]を選んでください(30ページ)。

録画モードなども設定する場合

[詳細予約設定へ]を選んでください(31ページ)。

ご注意

- 電源を入れてから数分間は、番組の検索に時間がかかることがあります。

録画予約状況を確認／ 修正／取り消したい

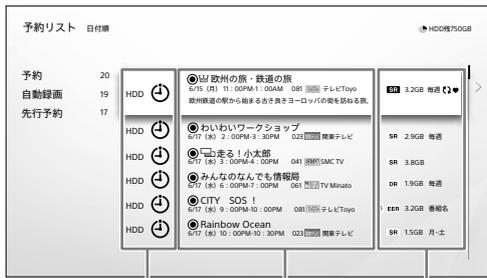
予約リストを使って重複の確認、録画優先順の変更などもできます。

1 予約リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[録画する] > [予約リスト確認] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 予約を修正する。



録画先 番組の情報 アイコン (154 ページ)

予約を取り消すには

予約リストから録画予約を選び、《決定》ボタンを押します。

[予約削除] を選び、《決定》ボタンを押します。

毎回予約では、直近1回の予約だけの削除もできます。

表示の日付順と録画優先順を切り換えるには

《緑》ボタンを押して切り換えます。

修正するには

予約リストから録画予約を選び、《決定》ボタンを押します。

修正したい項目を選んで修正し、[予約確定] を選び、《決定》ボタンを押します。

録画中の予約の修正／確定はできません。

録画中の番組の予約を取り消すには

▶を押して、[削除] を選び、《決定》ボタンを押します。

削除したい予約を選び、[削除実行] > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。

日時指定予約を番組予約に変更するには

日時指定予約は番組表取得後、番組予約に変更できます。放送時間が変更されても録画されるようになります。

日時指定予約を選び、▶を押します。[番組予約へ変更] を選び、《決定》ボタンを押します。日時指定予約で指定した時間帯の番組が表示されます。予約したい番組を選んで、《決定》ボタンを押します。

予約した番組を確認するには

対象番組なしアイコン⚠が表示された予約について、元の予約番組と今回録画される番組の情報を確認できます。

対象番組が存在しない予約を選び、▶を押します。

[予約した番組の確認] を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 毎回録画の条件を設定している場合、予約リストには直近の1件しか表示されませんが、番組表で実際の予約状況が確認できます。番組表では、ひとつの番組名を最大で直近の8件まで確認でき、それ以降の予約は、自動的に更新され最大8件の予約が番組表で確認できます。
- 「スカパー！プレミアムサービス」チューナーや、CATV チューナーから録画予約した、視聴年齢制限のある番組は「****」で表示されます。
- 「スカパー！プレミアムサービス」チューナーや、CATV チューナーで録画予約した番組は、手順2の予約リストに番組名が表示されないことがあります。録画が完了すると、録画リストに番組名が表示されるようになります。
- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります(番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合)。
- 他の予約と重なる場合、LAN録画／LANムーブは、予約の優先順位を最優先にしないと録画されないことがあります。

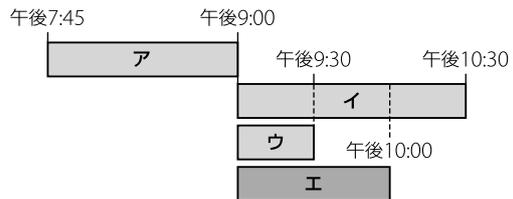
録画予約が重なったときは

同じ時間帯に録画予約が重なった場合、実際の録画は優先順位に従って行われます。

後から設定した録画予約ほど優先順位が高くなります。優先順位の低い録画予約で、一部またはすべてが録画されない場合、予約リストに重複マーク  が表示されます。

優先順位を変更するには、予約リストで  のついた予約を選び、▶を押します。[録画優先順位変更] > [はい] を選び《決定》ボタンを押すと、優先順位を最上位に変更できます。

例: 番組 [ア]、[イ]、[ウ]、[エ] の順に予約した場合 (番組 [エ] の優先順位が一番高い)



• 実際の録画

BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000の場合: すべて録画されます。

• 実際の録画

BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500の場合: [ア]、[ウ]、[エ] と、[イ] の一部が録画されます。



好みの番組を自動で探して録画してほしい(おまかせ・まる録)

例:番組[ア]が、ドラマの初回や最終回、スポーツ番組の延長などで、15分延長した場合

上の例では、優先度の低い[ア]の延長分は録画されません。

番組[ア]の優先順位を最優先にすると、[ア]の延長分を録画できます(優先順は[ア]、[エ]、[ウ]、[イ])。ただし、重なった時間分、他の番組の一部が録画されません。

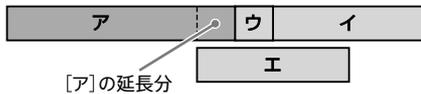
• 実際の録画

BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000の場合:
[ア]、[ウ]、[エ]と、[イ]の一部が録画されます。



• 実際の録画

BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500の場合:
[ア]、[エ]と、[イ]の一部、[ウ]の一部が録画されます。



他の録画予約との重複を確認するには

予約リストで▶を押して[重複確認]を選びます。複数ある場合は↕で確認します。重複する予約がない場合、[重複確認]は表示されません。

ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい

ジャンルやキーワードなどの条件を設定すると、番組表データの中から本機が自動でその条件に合った番組を探し、1日最大で20件まで録画します。

1 おまかせ自動録画設定の新規登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。

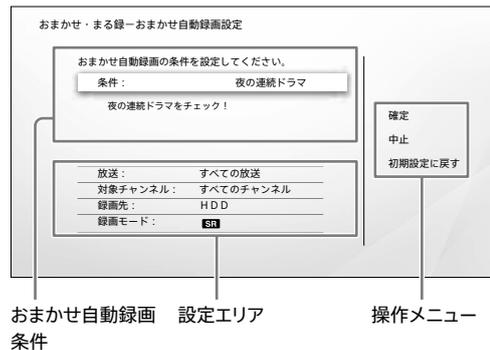
[録画する] > [おまかせ・まる録設定] > [新規登録]を選び、《決定》ボタンを押します。

10件まで登録できます。

2 ↕↔で、自動録画のための条件を設定する。

[条件]と設定エリアで各項目を設定します。

キーワードは複数登録できます。



3 条件を確定する。

操作メニューの[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おまかせ・まる録で録画される番組や番組数は、本機が学習した情報によって変わります。

ジャンルやキーワードを取り消すには

操作メニューの[初期設定に戻す]を選び、《決定》ボタンを押して[確定]してください。

おすすめ番組を自動録画したい

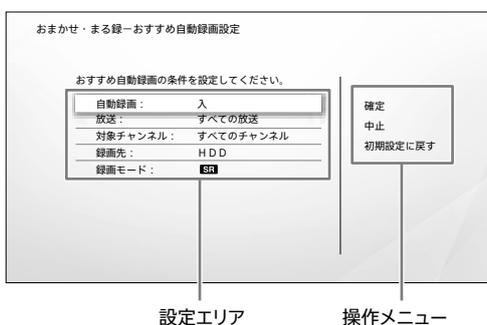
お客様の好みを学習し、本機がおすすめする番組を自動で1日最大4件まで録画します。

1 おすすめ設定の登録をする。

《ホーム》ボタンを押します。

[録画する] > [おまかせ・まる録設定] > [おすすめ自動録画]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 $\updownarrow\leftrightarrow$ で、自動録画のための条件を設定する。



3 条件を確定する。

操作メニューの[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

おすすめ番組の自動録画をやめるには

手順2で[自動録画] > [切]を選び、《決定》ボタンを押します。

自動録画候補の番組を確認するには

おまかせ・まる録で録画予定となっている番組を60件まで確認できます([予約リスト]の[自動録画])。

1 [予約リスト]の[自動録画]を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[録画する] > [予約リスト確認] > [自動録画]を選ぶ。

ちょっと一言

- [予約リスト]の[自動録画]にあっても、他の録画や学習情報の変化などで録画されないことがあります。確実に録画したいときは、 \blacktriangleright を押して[予約へ変更]を選び、録画予約をしてください。
- 番組表からは確認できません。

おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

おまかせ・まる録は他の録画より優先されることはありません。他の録画予約が優先されると、[予約リスト]の[自動録画]からは削除されます。



おまかせ・まる録同士の録画予約が重なったら

おすすめ度の高い番組を優先して録画します。同じおすすめ度では、録画開始時刻が先のが優先されます。

外付けハードディスクに録画するには

④ あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクとの接続/登録(SeeQVault対応)(104ページ)。

1 [録画先]で[後面USB]を選ぶ。

「ジャンルやキーワードを指定して自動録画したい」(39ページ)または「おすすめ番組を自動録画したい」(40ページ)の手順2で設定してください。

ちょっと一言

- USB3.0対応外付けハードディスクは、複数番組を同時録画できません。
- USB2.0対応外付けハードディスクは、同じ時間に1番組しか録画できません。他の録画が行われている場合、内蔵ハードディスクに残量(空き容量)があれば振り替えて録画します。

録画した番組を自動で削除されないようにするには

内蔵/外付けのハードディスク残量が少なくなると、おまかせ・まる録で録画した番組(タイトル)は自動で削除されます。自動削除対象のタイトルには 🗑 が付いています(156ページ)。

削除されないように設定するには、ホームメニュー > [削除/編集] > [タイトル管理] > [自動削除設定]を選びます。タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 本機が学習した情報は、[お買い上げ時の状態に設定]で初期化できます(115ページ)。

ご注意

- おまかせ・まる録では、契約をしていないチャンネルの有料番組は録画されません。
- おまかせ・まる録設定の内容を変更/削除しても、変更直後は、変更前の設定で録画されることがあります。変更直後に確実に録画したい番組があるときは、番組表を使って録画予約してください。

ジャンルや検索条件を登録して録画予約したい

番組検索で設定した条件を保存すると、いつでも同じ条件を呼び出すことができます。

1 番組検索する (37ページ)。

2 検索条件を保存する。

[条件保存] > 条件の保存先を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 条件は10個まで保存できます。
- 検索条件のうち、[日時] > [日付] で指定した条件は保存されません。

保存した番組検索条件を呼び出すには

手順2で[条件呼び出し] > 呼び出したい条件を選び、《決定》ボタンを押します。

いま見ている番組を録画したい

放送中の番組や外部入力映像などを見ながら録画できます。(クイックタイマー)

1 録画する。

番組視聴中に●《録画》ボタンを1回押します。

録画が開始されると、本機前面の「録画」ランプが点灯します。

デジタル放送は番組終了まで録画します。

途中で録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

外部入力を録画するには

外部入力を視聴中に●《録画》ボタンをくり返し押しして録画時間を設定します。

録画を終了させたい時間を30分単位で最長6時間まで設定できます。《決定》ボタンを押すか、録画時間の設定表示が消えると録画が開始されます。途中で録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 録画中に電源を切っても、指定した終了時間まで録画されます。
- 録画モードを変更するには、番組視聴中に《オプション》ボタンを押して[録画モード設定] > 変更したい録画モードを選びます。

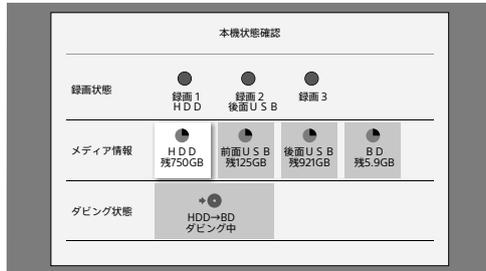
録画先の残量を確認したい

1 残量(空き容量)を確認する。

現在放送中の番組を視聴中、番組表や録画リストを表示中に《オプション》ボタンを押します。

[本機状態確認]>残量を確認したいメディアを選び、《決定》ボタンを押します。

BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000の場合



二か国語放送／字幕付きの番組を録画したい

録画モードにかかわらず、二か国語の音声すべてと字幕は記録され、再生時に音声や字幕を切り換えられます。

録画する

複数の番組を同時に録画したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画中の操作制限(28ページ)。
- 録画中のランプについて(7ページ)。

ご注意

- 内蔵ハードディスクと外付けハードディスクは、複数番組の録画先として選べます。USB2.0対応外付けハードディスクは、同じ時間に1番組しか録画できないため、複数番組の録画先として予約した場合、2番目以降の予約は内蔵ハードディスクに残量(空き容量)があれば振り替えて録画します。
- BDは同じ時間に1番組しか録画先として選べません。内蔵ハードディスクとあわせてお使いください。

2つの番組を同時に録画したい (2番組同時録画)

次の組み合わせで2番組同時録画できます。

- デジタル放送2番組。
 - デジタル放送&外部入力録画。
 - デジタル放送&LAN経由の録画* /ムーブ。
 - LAN経由の録画* /ムーブ&外部入力録画。
- * CATV録画 / 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)。

おまかせ・まる録は2番組までです。

(対象機種:BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500)

3つの番組を同時に録画したい (3番組同時録画)

▶ 対象機種:BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000

次の組み合わせで3番組同時録画できます。

- デジタル放送3番組。
 - デジタル放送2番組&外部入力録画。
 - デジタル放送2番組&LAN経由の録画* /ムーブ。
 - デジタル放送&LAN経由の録画* /ムーブ&外部入力録画。
- * CATV録画 / 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)。

おまかせ・まる録は3番組までです。

スカパー！やCATVの番組を録画したい

スカパー！やCATVを外部チューナーで受信している場合の録画方法です。CATVの番組を録画するための接続などについては、ご利用のCATV局にお問い合わせください。

スカパー！やCATVをLAN経由で録画したい

「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画したい(LAN録画)」(99ページ)をご覧ください。

CATVの番組を本機の番組表から録画したい

CATVチューナーからの映像をパススルー方式(102ページ)で受信している場合、本機の番組表から録画できます。一般的なCATVは、地上デジタル放送はパススルー方式ですが、BS/110度CSデジタル放送はパススルー方式ではありません。パススルー方式ではない放送は、本機の番組表からは録画できません。次の手順で録画してください。

外部入力から録画するには

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- 本機と外部チューナーをつなぐ(103ページ)。
- [外部入力録画横縦比]で映像サイズを設定する(111ページ)。

CATV局のBS/110度CSデジタル放送や、有料チャンネルなどを録画する場合、本機と外部チューナーをつなぎ、日時指定予約を使って録画予約します。

1 外部チューナーの映像を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [外部入力を視聴]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 外部チューナーの録画予約を設定する。

外部チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画したい日時、チャンネルで録画予約を設定してください。

3 本機で日時指定予約の条件を設定する。

「日時を指定して録画予約したい」(36ページ)の手順2で、[CH]を[入力]にしてください。

4 録画予約する。

[予約確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- AVマウスでの録画には対応していません。

ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)

ネットワーク録画予約対応のブラビアをお使いの場合、ブラビアの番組表から本機に録画予約できます。詳しくは「ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)」(101ページ)をご覧ください。

外出先から録画予約したい(外から録画予約)

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で外出先からインターネットを経由して、本機に録画予約したり、本機に録画した番組を整理したりできます(リモート録画予約)。詳しくは「外出先から録画予約したい(外から録画予約)」(98ページ)をご覧ください。

視聴する

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

本機や外付けハードディスクに録画した番組や映像を再生したい

☑ あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクとの接続／登録(SeeQVault対応)(104ページ)。

録画した番組や映像を再生したい

内蔵ハードディスクの映像(タイトル)と本機後面のUSB端子につないだ外付けハードディスクのタイトルは[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]にまとめて表示されます。

1 タイトルを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する]>[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。



再生したいタイトルが表示されないときは録画リストのタイトル分類で[ジャンル]>[すべて]を選んでください(47ページ)。

2 再生する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトル一覧(録画リスト)画面(155ページ)



タイトル

- 録画中でも再生できます(追いかけ再生)。再生したことがあるタイトルは、前回再生を止めた位置から再生が始まります(つづき再生)。

ちょっと一言

- 外付けハードディスクのタイトルのみ表示するには、分類条件切替ボタン>[録画先]>[後面USB]を選びます(47ページ)。

ご注意

- 録画が完了していないタイトルは、サムネイル表示されることがあります。
- ビデオカメラで4K HDR撮影したタイトルを再生してもSDR映像として出力されます。

再生を止めるには

- 《停止》ボタンを押します。

視聴年齢制限で表示されない番組や映像を再生するには

18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のある映像(タイトル)は、視聴年齢制限されていると表示されません。設定の変更については、[HDDタイトル視聴年齢制限](113ページ)をご覧ください。

本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内の番組や映像を再生したい

SeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーで録画した、SeeQVault対応外付けハードディスク内の映像(タイトル)を再生できます。

1 タイトルを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する]>[録画タイトルを視聴 前面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。



2 再生する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- SeeQVault非対応の外付けハードディスクは、接続しても再生できません。
- SeeQVault対応外付けハードディスク内のMP4形式のタイトルは、SeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーで保存した場合のみ表示されます。
- MP4(4K)のタイトルを再生すると、映像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
安定して再生したい場合は、本機に取り込んでから再生してください。

再生を止めるには

■《停止》ボタンを押します。

録画した番組をはじめから再生したい

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]、[ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD]を選び、《決定》ボタンを押します。
映像(タイトル)を選び、▶を押します。
[再生] > [はじめから再生]を選び、《決定》ボタンを押します。

録画した番組を早見再生したい (音声付き早見)

映像(タイトル)を再生し、《黄》ボタンを押します。
通常再生に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。

ご注意

- 次のタイトルは早見再生できません。
 - Ultra HD Blu-ray/BD/DVDのタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像。
 - 他機器で撮影した1080/60p、1080/24p映像。
 - MP4形式の映像。

録画中の番組を追いかけて再生したい

内蔵/外付けのハードディスクに録画中の映像(タイトル)を再生できます。

詳しくは、「録画した番組や映像を再生したい」(44ページ)をご覧ください。

ご注意

- BDに録画中のタイトルは追いかけて再生できません。録画が終了してから再生してください。

録画した3D番組を再生したい

3D放送の番組は、本機からはサイドバイサイド方式などの2映像で出力され、3D対応テレビで3D映像に切り換えます。

1 再生する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]、[ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD]を選び、《決定》ボタンを押します。

3Dのタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

2 テレビ側の設定を切り換える。

テレビによっては自動的に切り換わることもありますので、テレビ側の設定を確認してください。

ブラビアの場合

ブラビア付属のリモコンの《3D》ボタンを3D表示に切り換わるまでくり返し押します。
詳しくは、お使いのブラビアの取扱説明書などをご覧ください。

ブラビア以外の場合

お使いの3D対応テレビの取扱説明書などをご覧ください。

ご注意

- テレビを3D表示に切り換えた状態では、本機のホームメニューや操作メニューなどが正しく表示されません。テレビ側で2D表示に切り換えて操作してください。

複数のMP4形式の映像を続けて再生したい

内蔵／外付けハードディスク内のMP4形式の映像(タイトル)を再生する際、複数のタイトルを続けて再生することができます。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する]>[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 MP4形式のタイトルをまとめて表示する。

《黄》ボタンを押します。

まとめタイトルのサムネイルには、まとめられたタイトル数が表示されます。

タイトルの個別表示に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。

3 連続再生する。

まとめタイトルを選び、▶で操作メニューに移動します。

▲▶で[連続再生(MP4のみ)]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 連続再生できるMP4形式のタイトル数は、最大255です。

ご注意

- MP4形式タイトルの連続再生中は、《番組説明》ボタンでの操作は無効です。
- MP4形式タイトルの連続再生中に、連続再生対象のMP4形式タイトルを含んでいる外付けハードディスクを取りはずした場合、連続再生は停止します。
- まとめタイトルの中にMP4形式以外のタイトルがある場合、MP4形式のタイトルのみが連続再生されます。
- ダビング中は、MP4形式のタイトルを連続再生できません。



まとめられたタイトルが連続で再生されます。

前／次のタイトルを再生するには

連続再生中に◀◀／▶▶《前／次》ボタンを押します。

1タイトルずつ再生するには

手順2でタイトルを個別に表示し、タイトルを選んで《決定》ボタンを押します。

録画した番組や映像を検索して再生したい

内蔵／外付けのハードディスクに録画した番組や映像を、さまざまな条件で検索できます。
録画済み番組をグループ別に表示するには、「録画した映像にグループを設定したい」(63ページ)をご覧ください。

録画した番組や映像を分類して検索したい

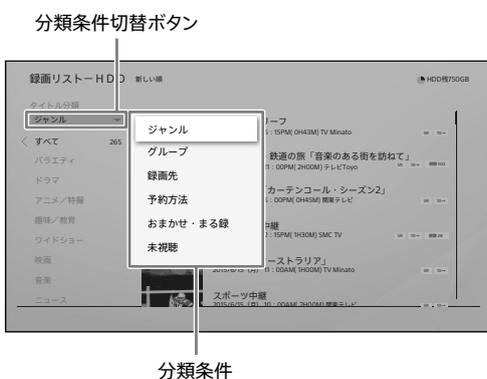
1 映像(タイトル)一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを分類して表示する。

分類条件切替ボタンを選んで、《決定》ボタンを押します。次の項目で分類できます。

- ジャンル
- グループ
- 録画先
- 予約方法
- おまかせ・まる録
- 未視聴



ご注意

- 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトルは、「ジャンル」で分類できます。つないだSeeQVault対応外付けハードディスクが本機に登録されていると、「グループ」「未視聴」による分類もできます。

3 分類条件を選ぶ。

▲▼で選んだ条件に一致するタイトルを表示します。



4 再生したい映像を選ぶ。

▶でタイトル一覧に移動し、▲▼でタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

日付順(新しい順/古い順)、サイズ順、タイトル名順などに切り換わります。

検索結果に戻るには

再生中に《戻る》ボタンを押します。他のタイトルの再生ができます。

ちょっと一言

- 分類条件を変更すると、次回も同じ分類条件でタイトルを表示します。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けハードディスクを接続してから数分間は、タイトルの検索に時間がかかることがあります。
- タイトル数が多いと検索に最大約30秒かかることがあります。
- ジャンル分類は、放送時にひとつのタイトルに対し放送局で付けられた最大3つのジャンル情報を使った分類のため、変更できません。放送回によって、放送局で付けられたジャンル情報が異なることもあります。

条件を組み合わせて録画した番組や映像を検索したい

1 映像(タイトル)を分類する。

「録画した番組や映像を分類して検索したい」(47ページ)の手順1~3を行い、タイトルを分類して表示します。

2 検索するための条件を設定する。

◀で絞り込み検索メニューを表示します。検索する条件を選び、《決定》ボタンを押します。次の検索条件を設定できます。

- キーワード
- ジャンル
- グループ
- 録画先
- その他の条件(放送種別、時間帯など)

分類条件と検索条件を組み合わせることで、タイトルを絞り込みます。よく録画する人名や番組は、[キーワード] > [よく録る人名] / [よく録る番組]で検索できます。

ちょっと一言

- 分類条件と検索条件を保存すると、いつでも同じ条件でタイトルを絞り込みできます(48ページ)。

ご注意

- 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトルは、「キーワード」と「ジャンル」で検索できます。つないだSeeQVault対応外付けハードディスクが本機に登録されていると、「グループ」「その他の条件」による検索もできます。

3 再生したい映像を選ぶ。

➡でタイトル一覧に移動し、▲▼でタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

録画した番組や映像を検索する条件を保存したい

1 映像(タイトル)を検索する(47ページ)。

2 検索条件を保存する。

◀で絞り込み検索メニューを表示します。
[条件保存] > 条件の保存先を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 条件は10個まで保存できます。

保存した検索条件を呼び出すには

手順2で[条件呼び出し] > 呼び出したい条件を選び、《決定》ボタンを押します。

出演者や話題に関連する映像がほかにもないか検索したい(気になる語句で検索)

1 検索方法を選ぶ。

映像(タイトル)を再生中に、《オプション》ボタンを押します。
[気になる語句で検索] > [人名]や[ワード] > 人名やワードを選び、《決定》ボタンを押します。
[録画リスト(HDD)]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 再生したい映像を選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。
日付順(新しい順/古い順)、サイズ順、タイトル名順などに切り換わります。

検索結果に戻るには

再生中に《戻る》ボタンを押します。他のタイトルの再生ができます。ただし、再生中に《録画リスト》ボタンや《ホーム》ボタンを押すと、検索結果に戻れないことがあります。

ご注意

- 電源を入れたり、外付けハードディスクを接続してから数分間は、タイトルの検索に時間がかかることがあります。
- タイトル数が多いと検索に最大約30秒かかることがあります。

人気のある番組を再生したい

🔍 あらかじめ、次のことをしてください。

- インターネットにつなぐ(91ページ)。
- かんたんネットワーク設定をする(92ページ)。
- [機能使用に関する情報送信の同意確認]を設定する(115ページ)。

🔍 次のページも参考にしてください。

- 情報の提供/情報の取得/接続先とその目的について(35ページ)。

番組表やおまかせ・まる録で録画した番組(タイトル)から、視聴数の多い番組を選んで再生できます。

視聴数に関する情報はインターネット経由で取得するため、ネットワークへの接続と設定が必要です。

1 録画リストで、視聴数を確認する。

《ホーム》ボタンを押します。
[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。



視聴数

録画リストのタイトル横に視聴数が表示されます。

➡を押して、[並べ替え] > [視聴数順]を選ぶと、視聴数順で並べ替えできます。

ご注意

- 視聴数の情報取得に時間がかかることがあります。
- 視聴数の取得後にタイトル結合したタイトルは視聴数の表示はできません。
- 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトルは視聴数を表示できません。

録画した番組に関連する番組を録画・再生したい(関連動画)

🔍 あらかじめ、次のことをしてください。

- インターネットにつなが(91ページ)。
- かんたんネットワーク設定をする(92ページ)。

🔍 次のページも参考にしてください。

- 情報の提供/情報の取得/接続先とその目的について(32、34ページ)。

同じシリーズの録画済み番組(タイトル)を一覧表示して再生したり、録画した番組(タイトル)に関連する番組を選んで録画できます。

番組に関する情報はインターネット経由で取得するため、本機能を利用する場合は、ネットワークへの接続と設定が必要です。

関連動画が表示されるのは、インターネット接続時に録画予約(先行予約を含む)された、ドラマ・アニメガイドの新作ドラマやアニメです。番組によっては、関連動画が表示されないことがあります。

録画した番組を同じシリーズでまとめて再生したい

同じシリーズの録画済み番組(タイトル)を一覧表示し、選んで再生できます。インターネットに接続した状態で録画したタイトルが対象です。

ご注意

- インターネットに接続していない状態で録画した番組は、録画されていても録画済みエピソード一覧には表示されません。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 関連動画一覧を表示する。

⬆️でタイトルを選び、《オプション》ボタンを押します。

[関連動画] を選び、《決定》ボタンを押します。

3 再生する。

⬆️で[この番組の録画済みエピソード]の一覧に移動し、

⬅️でタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

一覧には最大500件まで表示されます。



関連動画一覧

ご注意

- 以下のタイトルは関連動画一覧に表示されません。
 - タイトル結合したタイトル。
 - 内蔵ハードディスク/本機に登録した外付けハードディスク以外に録画やダビングしたタイトル。
 - 録画中のタイトル。

録画した番組の出演者に関連する番組を録画・再生したい

1 関連動画一覧を表示する。

「録画した番組を同じシリーズでまとめて再生したい」(49ページ)の手順1~2を行います。

2 録画予約・再生する。

録画予約する場合

⬆️で[この番組の出演者はこんな番組にも出演しています]の一覧に移動し、⬅️で番組を選び、●《録画》ボタンを押します。

一覧には番組が最大10件まで表示されます。

再生する場合

⬆️で[この番組の出演者はこんな番組にも出演しています]の一覧に移動し、⬅️で映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押します。

一覧には映像(タイトル)が最大10件まで表示されます。

視聴する

録画した番組と同じジャンルで人気のある番組を録画予約したい

1 関連動画一覧を表示する。

「録画した番組を同じシリーズでまとめて再生したい」(49ページ)の手順1~2を行います。

2 録画予約する。

⬆️で[この番組と同じジャンルで話題の番組]の一覧に移動し、⬅️で映像(タイトル)を選び、●《録画》ボタンを押します。

録画した番組のクチコミをチェックしたい

- 1 関連動画一覧を表示する。
「録画した番組を同じシリーズでまとめて再生したい」(49ページ)の手順1~2を行います。
- 2 クチコミを表示する。
▲▼で[この番組へのクチコミ]の一覧に移動し、↔でクチコミを選び、《決定》ボタンを押します。
一覧には最大4件まで表示されます。

録画した番組を分類／整理したい

ハードディスクに録画した映像を番組名ごとにまとめたい

内蔵／外付けのハードディスクに保存した映像(タイトル)を、同じ番組名や毎回予約の設定ごとにまとめることができます。

- 1 タイトル一覧を表示する。
《ホーム》ボタンを押します。
[視聴する]>[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 同じ番組名ごとにまとめて表示する。
《黄》ボタンを押します。
まとめタイトルのサムネイルには、まとめられたタイトル数が表示されます。
まとめタイトルを選び、《決定》ボタンを押すと、まとめられたタイトルの表示／非表示を切り換えできます。
タイトルの個別表示に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。

ご注意

- 番組名によっては、タイトルがまとめられないことがあります。

BD/DVDに保存した映像を番組名ごとにまとめたい

同じ番組名や毎回予約の設定ごとにまとめて表示できるのは、内蔵／外付けのハードディスクに録画した映像(タイトル)だけです。

録画した映像を並べ替えたい

内蔵／外付けのハードディスク、BD、DVDに保存した映像(タイトル)を並べ替えます。

- 1 タイトル一覧を表示する。
《ホーム》ボタンを押します。
[視聴する]>[録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]または[録画タイトルを視聴 前面USB]、[ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 並べ替える。
《緑》ボタンを押します。
並び順を変更するには、くり返し《緑》ボタンを押します。

放送中の番組を見たい

1 番組を見る。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [放送中番組を視聴]を選び、《決定》ボタンを押します。

放送を切り換えるには

リモコンの《地デジ》/《BS》/《CS》ボタンを押します。

チャンネルを切り換えるには

リモコンの数字ボタンや《チャンネル+/-》ボタンを押します。

《10キー》ボタンを押し、チャンネル番号を入力してもチャンネルを切り換えられます。

ラジオやデータ放送を見るには

リモコンの《地デジ》/《BS》/《CS》ボタンを押します。同じボタンをくり返し押すと、テレビ→ラジオ→データの順で切り換えます。

視聴中の番組をすぐに録画するには

●《録画》ボタンを1回押します。

録画を停止するには、■《停止》ボタンを押します。

放送中の番組を探すには



番組視聴中に《オプション》ボタンを押し、[選局番組表]を選んで《決定》ボタンを押すと、放送中の番組の番組情報が表示されます。

外部入力映像を見たい

外部入力に接続した機器の映像/音声を視聴できます。

1 映像を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [外部入力を視聴]を選び、《決定》ボタンを押します。

外部入力を録画するには

外部入力を視聴中に●《録画》ボタンをくり返し押しして録画時間を設定します。(41ページ)

放送中の番組を見るには

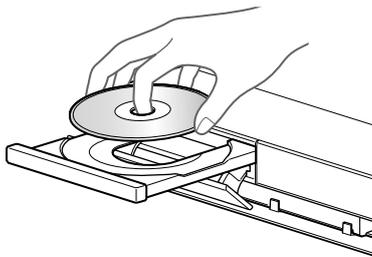
リモコンの《地デジ》/《BS》/《CS》ボタンを押します。

ディスクに録画した番組や映像を再生したい

BDやDVD、CDを再生したい

1 ディスクを入れる。

▲《開/閉》ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。ラベル面を上にしてディスクを入れてください。両面ディスクの場合は、再生したい側を下にして入れてください。



2 ▲《開/閉》ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

3 再生する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像(タイトル)を選び、《決定》ボタンを押します。



市販のディスクを入れると自動で再生が始まります。操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 24p映像で記録されたBDを本機で再生し、24p映像対応のテレビやプロジェクターで映すと、映画本来の映像が楽しめます(108ページ)。

ご注意

- 他機器で記録したDVDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDは再生できません。
- AVCREC形式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。
- CDに保存したタイトルは本機では再生できません。
- 写真は本機では再生できません。

音楽CDを再生するには

「音楽を再生したい」(57ページ)をご覧ください。

4K Ultra HD Blu-rayを再生したい

1 4K/HDR (18Gbps) 対応テレビとプレミアムハイスピードHDMIケーブル、または18Gbps対応のHDMIケーブルでつなぐ。18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子に接続してください。

2 テレビのHDMI信号フォーマット設定を確認する。
ブラビアの場合は、「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご確認ください。

3 ディスクを入れる。
操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- ディスクによっては、著作権保護のため、インターネット接続が必要となる場合があります。
- 4K/HDR映像を楽しむには、テレビとコンテンツの両方がHDRに対応している必要があります。
- 4K非対応のテレビに接続した場合、2K映像で再生します。

ご注意

- 4Kもしくは4K/HDRの映像が正しく表示されない場合は、かんたん設定をやり直してください(107ページ)。

Blu-ray 3Dやディスクに記録された3D番組を再生したい

サイドバイサイド方式の3D番組やBlu-ray 3Dロゴ*が記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。



1 3D対応テレビとハイスピードHDMIケーブルでつなぐ。

ご注意

- 本機と3D対応テレビの間に他機器をつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。対応していない場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターやAVアンプなどの他機器をつなぐこともできます。

2 本機の設定を確認する。

《ホーム》ボタンを押します。
[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [映像設定] > [3D出力] > [自動] を選び、《決定》ボタンを押します。

3 「BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ」を設定する。
続けて、[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ] > お使いのテレビのインチサイズを選び、《決定》ボタンを押します(108ページ)。

お使いのテレビのインチサイズについて詳しくは、テレビの取扱説明書などをご覧ください。

4 ディスクを入れて、再生する。

5 3D番組の場合は、テレビ側の設定を切り換える(45ページ)。

Blu-ray 3Dディスクの場合に3D表示に切り換わらないときはテレビ側の設定を確認してください。

ご注意

- テレビを3D表示に切り換えた状態では、本機のホームメニューや操作メニューなどが正しく表示されません。テレビ側で2D表示に切り換えて操作してください。

BDの特典映像を楽しみたい

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、インターネット経由からダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されているものがあります。



1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

2 USBメモリーを接続する。

ローカルストレージとして使用するUSBメモリー(最大容量6TBまで)を本機前面のUSB端子に差し込みます。

3 BDのインターネット接続を許可する。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [BD/DVD視聴設定] > [BDインターネット接続] > [許可する] (111ページ) を選び、《決定》ボタンを押します。

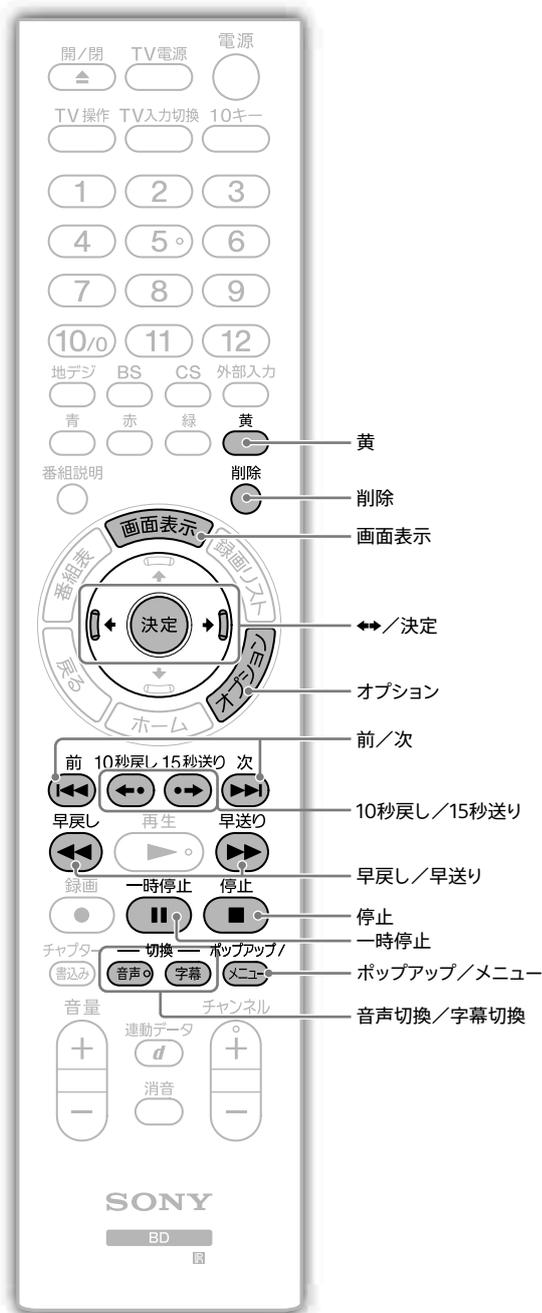
4 BONUSVIEW(ボーナスビュー)やBD-LIVE(BDライブ)対応のディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- USBメモリー内のデータを消去するには、ホームメニュー > [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [BD/DVD視聴設定] > [BD-LIVEデータ削除] を選び、《決定》ボタンを押します。

再生中の操作一覧



再生中にリモコンでいろいろな操作ができます。

ボタン	できること
《黄》	再生中に押すと、音声付き早見再生します(45ページ)。
《削除》	再生中に押すと、映像(タイトル)を削除できます。
《画面表示》	再生中に押すと、経過時間やディスクの種類などの情報を確認できます。
◀▶	◀◀/▶▶ボタンと同じ操作ができます。
《決定》	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止または再生を再開します。 早戻し/早送り、コマ戻し/コマ送り再生中に押すと通常の再生に戻ります。 スロー再生中に続けて2回押すと通常の再生に戻ります。
《オプション》	画質や音声を設定できます(55ページ)。
◀◀/▶▶《前/次》	前または次のチャプター(本編からCMなど)/トラック/ファイルの先頭に進みます。1つ前のチャプターの先頭に戻るには、◀◀《前》ボタンを続けて2回押ししてください。
《10秒戻し/15秒送り》	少し前に戻る、または先に進みます。
◀◀/▶▶《早戻し/早送り》	<ul style="list-style-type: none"> 再生中に押すと、早送り再生や早戻し再生します。 ビデオ再生中は押すたびに速さが切り換わります。 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 一時停止中に押すと、コマ送り再生します。
⏸《一時停止》	一時停止または再生を再開します。
《停止》	再生を停止します。
《音声切換》	視聴中のタイトルにセリフが複数の言語で記録されているときや、音声トラックに主音声/副音声が記録されている場合、押すたびに切り換わります。
《字幕切換》	視聴中のタイトルに字幕が複数の言語で記録されている場合、押すたびに字幕の言語が切り換わります。
《ポップアップ/メニュー》	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示または閉じます。

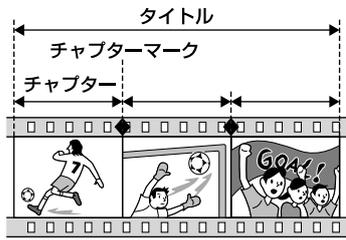
視聴する

ちょっと一言

- BD-ROM再生時にカラーボタン(《青》ボタン、《赤》ボタン、《緑》ボタン、《黄》ボタン)や数字ボタン、◀▶◀▶を使用することがあります。
- 再生するディスクやタイトルによって、利用できる機能が異なります。

映像の区切りで頭出ししたい

映像(タイトル)内にチャプターマークがある場合に頭出しできます。本機で録画した映像には、自動的にチャプターマークが付きます。



- 1 タイトル再生中に、チャプターを頭出しする。
リモコンの◀◀/▶▶《前/次》ボタンを押します。
前または次のチャプターの先頭に移動します。

好みの場面にチャプターマークを付けるには

録画中や、再生/再生一時停止中に《チャプター書込み》ボタンを押すとチャプターマークが付けられます。
内蔵/外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに録画したタイトルが対象です。

自動チャプターマークとは

録画時に、画面と音声の変化(本編とCMの切り換わりなど)から自動的にチャプターマークを付けます。通常は[入]に設定します(111ページ)。ただし、必ずしも正確なものではありません。LAN録画/LANムーブしたタイトル、外部入力録画したタイトルや変化の少ない番組では、約6分間隔でマークを付けます。

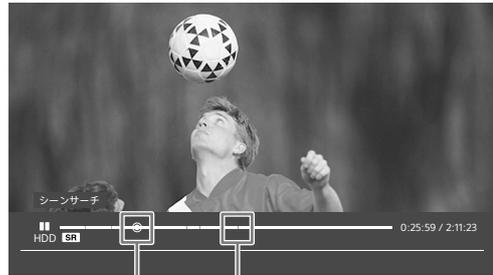
以下のことはできません

- MP4形式のタイトルでチャプターサーチすること。

見たい場面をすばやく探したい(シーンサーチ)

映像(タイトル)の見たい場面にすばやく移動できます。

- 1 タイトルを再生し、見たい場面を探す。
《青》ボタンを押します。
◀▶で見たい場面の位置まで移動します。
見たい場面の位置まで移動したら、ボタン操作を停止します。



現在位置 シーンインジケータ

- 2 再生する。
《青》ボタンを押します。
押した場面から再生が始まります。

以下のことはできません

- 100秒未満、または100時間以上のタイトルでシーンサーチすること。
- 市販のBD-ROMや「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクをシーンサーチすること。
- MP4形式のタイトルでシーンサーチすること。

高画質／高音質で再生したい (AVピュア出力)

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- 4K非対応のAVアンプやホームシアターシステムにつなぐ (104ページ)。

AVピュア出力機能を使うと、HDMI出力1端子から高画質の映像を、HDMI出力2端子から高音質の音声を同時に出力できます。映像出力はHDMI出力1端子、音声出力はHDMI出力2端子に固定されます。

1 映像(タイトル)を再生する。

2 HDMI出力を切り換える。

《オプション》ボタンを押します。

[画質／音声設定] > [AVピュア出力設定] > 設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

AVピュア出力設定

項目	説明
自動	HDMI出力2端子につないだ他機器の電源を本機が「入」と判断したときだけ、HDMI出力1端子からの出力が映像のみ、HDMI出力2端子からの出力が音声のみになります。HDMI出力2端子につないだ他機器の電源が「切」のときは、HDMI出力1端子からの出力が映像／音声になり、HDMI出力2端子からの出力はありません。
切	HDMI出力1端子からの出力が映像／音声になります。HDMI出力2端子からの出力はありません。
入	HDMI出力1端子からの出力が映像のみ、HDMI出力2端子からの出力が音声のみになります。

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定は[自動]です。

ご注意

- HDMI機器制御機能は、HDMI出力1端子のみ有効です。ただし、AVピュア出力機能を使用している間はHDMI機器制御機能が無効になります。
- 設定が[自動]の場合、他機器の設定によっては本機が他機器の電源を「入」と判断していることがあります。その場合にHDMI1端子から音声を出力するには、設定を[切]にしてください。
- AVアンプやサウンドバーをテレビとつないでいる場合、設定によっては、AVアンプ／サウンドバーの音が出なかつたりすることや、AVピュア出力機能が自動で有効になったり解除されたりを繰り返すことがあります。対処方法については「困ったときは」の「AVピュア出力機能使用時に音声が出ない」(130ページ)をご覧ください。

好みの画音質で再生したい

好みの画質に設定したい (画質設定)

お使いのテレビなどに合わせてきれいな画質に設定できます。

1 映像(タイトル)を再生する。

2 画質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。

[画質／音声設定] > [画質設定] > 設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

画質設定

項目	説明								
HDR→SDR変換レンジ	HDRに対応していないテレビやプロジェクターにつないでいるとき、HDR(ハイダイナミックレンジ)信号をSDR(スタンダードダイナミックレンジ)信号に変換します。大きな値を選ぶとHDRに近い画像になりますが、全体の明るさは暗くなります(-3:狭い、3:広い)。								
画質モード	[スタンダード]、[ナチュラル]、[ダイナミック]に設定すると、再生する映像ごとに最適な画質となるよう自動的に調整します。 <ul style="list-style-type: none">• スタンダード: 標準的な設定です。通常は[スタンダード]がおすすめです。• ナチュラル: 自然さを重視した設定です。映画を観賞するのに適した映像になります。• ダイナミック: めりはりを効かせた設定です。鮮やかな映像になります。• カスタム1/カスタム2: お好みに合わせて設定ができます。								
標準に戻す	[カスタム1/カスタム2]選択時の設定値を、お買い上げ時の設定に戻します。								
くっきり	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>精細感</td><td>ディテールの精細感を調整します(-6:ソフト、6:くっきり)。</td></tr><tr><td>超解像</td><td>解像感を向上させます(0:切、3:強)。</td></tr></tbody></table>	項目	説明	精細感	ディテールの精細感を調整します(-6:ソフト、6:くっきり)。	超解像	解像感を向上させます(0:切、3:強)。		
項目	説明								
精細感	ディテールの精細感を調整します(-6:ソフト、6:くっきり)。								
超解像	解像感を向上させます(0:切、3:強)。								
すっきり	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>フレームノイズ除去</td><td>画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します(0:切、3:強)。</td></tr><tr><td>ブロックノイズ除去</td><td>画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します(0:切、3:強)。</td></tr><tr><td>モスキートノイズ除去</td><td>映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します(0:切、3:強)。</td></tr></tbody></table>	項目	説明	フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します(0:切、3:強)。	ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します(0:切、3:強)。	モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します(0:切、3:強)。
項目	説明								
フレームノイズ除去	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します(0:切、3:強)。								
ブロックノイズ除去	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します(0:切、3:強)。								
モスキートノイズ除去	映像の輪郭部に現れる細かいノイズ(モスキートノイズ)を低減します(0:切、3:強)。								

項目	説明
明るさ・色	
クリアブラック	映像の黒い部分の表現を好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます(−6:明るい黒、6:沈んだ黒)。
色の濃さ	色の濃さを調整します(−3:薄、3:濃)。
色合い	全体の色のバランスを調整します(−3:赤、3:緑)。
すべて標準	画質設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

ご注意

- 映像や写真によっては画質設定の一部が効かないことがあります。
- HDRで視聴中は[HDR→SDR変換レンジ]の設定を変更しても反映されません。

好みの音質に設定したい(音声設定)

音質効果を調整したり、出力する音声を設定したりできます。

1 映像(タイトル)を再生する。

2 音質を調整する。

《オプション》ボタンを押します。
[画質/音声設定] > [音声設定] > 設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

音声設定

項目	説明
DSEE HX	ハイレゾ相当の音質にアップスケーリングします。テレビ放送を高音質で楽しめます。 • 自動:2チャンネル音声の再生時のみ有効にします。 • 入:2チャンネル音声、マルチチャンネル音声に対して機能を有効にします。出力音声はダウンミックスされた2チャンネル音声になります。 • 切:無効にします。
ナイトモード	セリフの強調および効果音などの音量バランスを最適化することで、深夜などに小音量で再生する場合でも聴きやすい音声になるようにします。
音質優先HDMI設定*	出力される映像の解像度が1080p以上の場合、出力解像度を1080iに落とすことで音質を改善します。お買い上げ時の設定は[切]です。 • 入:有効にします。 • 切:無効にします。

項目	説明
外部入力音声	外部入力(音声入力端子)からの音声を[ステレオ]や[二重音声]に設定します。
すべて標準	音声設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

* 音楽リストでのみ表示されます。

ご注意

- [DSEE HX]を[自動]または[入]に設定した場合、自動的に[ナイトモード]が[切]に設定されます。また、[ナイトモード]を[入]に設定した場合、自動的に[DSEE HX]が[切]に設定されます。
- [HDMI出力解像度設定]が[自動]または[1080p]に設定されている場合のみ、[音質優先HDMI設定]の設定ができます。

番組を別の部屋で見たい(ルームリンク/家じゅうどこでも視聴)

ネットワークを経由して、録画タイトルや放送中のテレビ番組をテレビやパソコン、スマートフォン、タブレットで再生できます。

詳しくは「番組を別の部屋で見たい(ルームリンク/家じゅうどこでも視聴)」(96ページ)をご覧ください。

外出先で番組を見たい(外からどこでも視聴)

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で外出先からインターネットを経由して、本機に録画した番組を操作・再生することができます。

詳しくは「外出先で番組を見たい(外からどこでも視聴)」(97ページ)をご覧ください。

音楽を再生したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 好みの音質に設定したい(音声設定)(56ページ)

音楽CDを再生したい

1 音楽CDを入れる。

▲《開/閉》ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。ラベル面を上にしてディスクを入れてください。

▲《開/閉》ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

2 音楽リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [ディスクを再生 Ultra HD Blu-ray/BD/DVD/CD] を選び、《決定》ボタンを押します。

3 音楽を再生する。

再生したい曲を選び、《決定》ボタンを押します。



プレーヤー*

* 再生中の曲名や状態を表示します。

くり返し再生するには

▶を押して、[リピート再生設定] > 設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。[全曲リピート] / [リピートしない] から選べます。プレーヤーにリピート再生設定アイコンが表示されます。

音楽CDを再生中、再生音声(L/R)を切り換えるには
リモコンの《音声切換》ボタンを押します。

パソコンから取り込んだ音楽を再生したい(ハイレゾ音源対応)

ネットワーク経由でパソコンから本機に音楽を取り込みます。AVアンプおよびハイレゾ対応のスピーカーとつなぐと、ハイレゾ音源による高音質な音楽再生を楽しめます。

1 音楽リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [音楽タイトルを聴く] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 音楽を再生する。

アルバム名を選び、《決定》ボタンを押すと、アルバム内の曲を表示します。ハイレゾ楽曲には **HR** アイコンが表示されます。

再生したい曲を選び、《決定》ボタンを押します。



プレーヤー*

ハイレゾ対応アイコン

* 再生中の曲名や状態を表示します。

アーティスト名で絞り込むには

◀でアーティスト一覧に移動し、▶でアーティストを選び、《決定》ボタンを押します。

並べ替えたいときは

《緑》ボタンを押します。

アーティスト名順、アルバム名順、曲名順、取り込み日順に切り換わります。

くり返し再生するには

▶を押して、[リピート再生設定] > 設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。[全曲リピート] / [アルバムリピート] / [1曲リピート] / [リピートしない] から選べます。プレーヤーにリピート再生設定アイコンが表示されます。

取り込んだ音楽を削除するには

▶を押して、[削除] > [1曲削除] または [アルバム削除]、[全曲削除] を選び、《決定》ボタンを押します。アルバム名を選んでいるとき、[1曲削除] はできません。

番組や音楽をハイレゾ相当の高音質で楽しみたい(DSEE HX)

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- ハイレゾ対応テレビ、またはハイレゾ対応のAVアンプやホームシアターシステムと本機をHDMIケーブルでつなぐ。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 接続と準備をする(16ページ)。
- AVアンプやホームシアターシステムとの接続(103ページ)。

放送中や録画した番組(タイトル)、またはディスクや本機に取り込んだ音楽をハイレゾ相当の情報量を持つ高解像度音源にアップスケーリングすることができます。

1 DSEE HX機能を有効にする。

番組視聴中またはタイトルや曲を再生中に《オプション》ボタンを押します。

[画質/音声設定] > [音声設定] > [DSEE HX] を選び、《決定》ボタンを押します。

[自動] を選ぶと

2チャンネル音声の再生時のみ有効にします。

[入] を選ぶと

2チャンネル音声、マルチチャンネル音声に対して機能を有効にします。

出力音声はダウンミックスされた2チャンネル音声になります。

ご注意

- 市販のBD-ROMや「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスク、DVD (AVCHD形式) はDSEE HXの設定はできません。
- 外部入力からの映像に対してDSEE HXの設定はできません。

視聴する

写真を再生したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 写真を取り込みたい(4K写真対応)(84ページ)。
- 本機で取り込み/再生できる写真について(145ページ)。

本機に取り込んだ写真を見たい

1 写真リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [写真を見る] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 写真を撮影年月ごとに表示する。

撮影年月リストで年月を選びます。

撮影年月リストで選んだ年月の写真が写真リストに表示されます。

[すべての写真] を選ぶと、本機に取り込んだすべての写真が表示されます。



写真リスト

3 再生したい写真を選ぶ。

▶で写真リストに移動し、▲▼で写真を選び、《決定》ボタンを押します。

写真が表示されます。

前/次の写真を表示するには

《オプション》ボタンを押して[次写真表示]、[前写真表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

スライドショーにするには

《オプション》ボタンを押して[スライドショー表示]を選び、《決定》ボタンを押します。

スライドショーを停止するには■《停止》ボタンを押します。

スライドショーの速さを変更するには

《オプション》ボタンを押して[スライドショーの速さ] > [速い]または[標準]、[遅い]を選び、《決定》ボタンを押します。

写真の表示を回転するには

《オプション》ボタンを押して[左に回転]または[右に回転]、[180度回転]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機の前面USB端子につないだ他機器内の写真を見たい

いったん他機器内の写真を本機の内蔵ハードディスクに取り込んでください。

写真の取り込みについて詳しくは、「写真を取り込みたい(4K写真対応)」(84ページ)をご覧ください。

取り込んだ写真の再生について詳しくは、「本機に取り込んだ写真を見たい」(58ページ)をご覧ください。

編集の前に知っておきたいこと

次のディスクは編集できません。

- 「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスク。
- DVDの映像(タイトル)。

ご注意

- 編集中にディスクを取り出したたり、録画予約で設定した録画が始まったりすると、編集内容が取り消されることがあります。
- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してから編集してください(113ページ)。
- **MSR** などのアイコンがついたタイトルは、編集(チャプター削除、タイトル部分削除、タイトル分割、タイトル結合)を行うと変更対象ではなくなります。ただし、チャプター書き込み、サムネイル変更、名前変更、グループ設定を行った後では変更されません。
- SeeQVault対応外付けハードディスクを本機前面のUSB端子につないだ場合、そのハードディスク内のタイトルは削除のみ可能です。その他の編集はできません。
- 他機器から取り込んだMP4形式のタイトルは、編集*できません。
* タイトル名変更、未視聴設定、保護設定、グループ設定のみできます。

見終わった番組や映像を削除したい(タイトル削除)

ご注意

- 一度削除した映像(タイトル)は元に戻せませんのでご注意ください。

ハードディスクの映像を削除したい

内蔵／外付けのハードディスクに記録した映像(タイトル)を削除できます。

ひとつだけ削除するときは

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB]を選び、《決定》ボタンを押します。

削除したいタイトルを選び、リモコンの《削除》ボタンを押します。

[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

同じ番組名のタイトルをまとめて削除するときは

1 同じ番組名ごとにまとめて表示する。

《黄》ボタンを押します。

映像(タイトル)の個別表示に戻すには、もう一度《黄》ボタンを押します。

2 同じ番組名のタイトルをまとめて削除する。

まとめタイトルを選び、リモコンの《削除》ボタンを押します。

[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

複数削除するとき

1 映像(タイトル)一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除／編集] > [タイトル削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

本機前面のUSB端子にSeeQVault対応外付けハードディスクをつないでいる場合、ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。削除したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 削除したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトルの左側にチェックマークが付きます。

ちょっと一言

- ◀を押して、[表示中タイトル全選択]を選ぶと、タイトル一覧に表示中のすべてのタイトル(最大999個)が削除対象となります。

3 削除する。

▶を押して、[削除実行] > [はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

タイトルを検索して削除するとき

1 映像(タイトル)を検索する。

◀でタイトル分類メニューを表示します。

分類条件を選び、《決定》ボタンを押します。

さらにタイトルを絞り込む場合は、◀で絞り込み検索メニューを表示し、検索条件を設定します。

2 タイトルを削除する。

▶でタイトル一覧に移動し、▶◀でタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

[削除実行] > [はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- タイトル分類や絞り込み検索メニューでタイトルを絞り込み後、[表示中タイトル全選択]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて(最大999個)選択します。[全選択解除]を選ぶと、表示されていないタイトルも含め、すべての選択を解除します。
- 削除を実行した場合、タイトルを選択後に検索条件を変更し、表示されなくなったタイトルも削除されます。

BDの映像を削除したい

「複数削除するとき」(61ページ)の手順1で、[ディスク]を選んでください。

ご注意

- BD-Rは映像(タイトル)を削除しても残量は増えません。
- BDでは同じ番組名ごとにまとめて表示し、削除することはできません。

DVDの映像を削除したい

映像(タイトル)を選んで削除できません。

DVD-RWを初期化すると、ディスクのタイトルをすべて削除できます。DVDの初期化はダビングの手順の中で行います(74ページ)。

プレイリストに追加したオリジナルタイトルを削除したい

プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを削除することはできません。先にプレイリスト(67ページ)を削除してからオリジナルタイトルを削除してください。

取り込んだ写真を削除したい

- 1 写真リストを表示する。
《ホーム》ボタンを押します。
[視聴する]>[写真を見る]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 削除方法を選ぶ。
写真を選び、➡ボタンを押します。
[削除]>削除方法を選び、《決定》ボタンを押します。

[1ファイル削除]を選ぶと
手順2で選んだ1つの写真を削除します。

[日付まとめ削除]を選ぶと
手順2で選んだ写真と撮影した日付が同じ写真をまとめて削除します。

[ファイル選択削除]を選ぶと
写真を複数選んで削除します。手順3に進んでください。
- 3 写真を選ぶ。
削除したい写真を選び、《決定》ボタンを押します。
写真の左側にチェックマークが付きます。
- 4 削除する。
[削除実行]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

映像を削除できないようにしたい

内蔵/外付けのハードディスクやBD-R/BD-REの映像(タイトル)を削除やムーブできないように、保護設定(プロテクト)できます。

- 1 タイトル一覧を表示する。
《ホーム》ボタンを押します。
[削除/編集]>[タイトル保護設定]を選び、《決定》ボタンを押します。
ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。保護設定したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 保護設定したいタイトルを選ぶ。
タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルの左側に🔒が付きます。
保護設定されているタイトルを選び、《決定》ボタンを押すと、保護設定を解除できます。

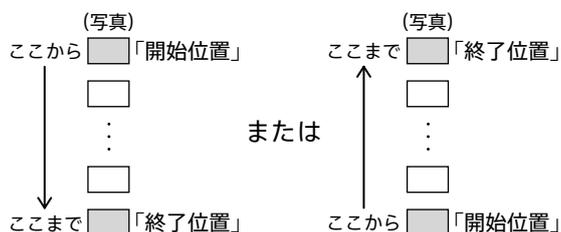
ちょっと一言

- タイトル分類や絞り込み検索メニューでタイトルを絞り込み後、[表示中タイトル全設定]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて(最大99個)設定します。[表示中タイトル全解除]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて設定を解除します。

削除範囲を指定するには

写真リスト上で削除範囲を指定(開始位置と終了位置を設定)して写真を削除できます。
範囲指定するには、手順3で➡ボタンを押して[範囲指定削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

<範囲指定のイメージ>



録画した映像にグループを設定したい

内蔵／外付けのハードディスクの映像(タイトル)にグループを設定すると、グループで分類したり、検索条件として指定したりできます。お好みのグループ名に変更することもできます。

ハードディスクに録画した映像にグループを設定したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画した番組や映像を検索して再生したい(47ページ)。

1 映像(タイトル)一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除／編集] > [タイトルグループ設定] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 グループ設定したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

タイトルの左側にチェックマークが付きます。

3 グループを設定する。

[グループ選択へ] を選び、《決定》ボタンを押します。

グループ一覧からグループを選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 「番組表から録画予約するときに細かい設定もしたい(詳細設定)」(31ページ)で、録画予約時にも設定できます。

ご注意

- タイトル分類や絞り込み検索メニューでタイトルを絞り込み後、[表示中タイトル全選択] を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて(最大99個) 選択します。[全選択解除] を選ぶと、表示されていないタイトルも含め、すべての選択を解除します。
- [グループ選択へ] を選び、グループ変更を実行した場合、タイトルを選択後に検索条件を変更し、表示されなくなったタイトルに対しても実行されます。

グループの名前を変更したい

内蔵／外付けのハードディスクの映像(タイトル)のグループ名を変更できます。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [録画タイトルを視聴 HDD/後面USB] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 グループを選び、名前入力画面を表示する。

◀を押して、分類条件切替ボタン > [グループ] を選び、《決定》ボタンを押します。

名前を変更したいグループを選び、《赤》ボタンを押します。

3 グループ名を入力する。

文字入力画面(137ページ)でグループ名を入力します。

ちょっと一言

- [グループ名設定](111ページ)でも、グループ名を変更できます。

BD/DVDの映像にグループを設定したり、名前を変更したりしたい

グループを設定できるのはハードディスクの映像(タイトル)だけです。

タイトル名を変更したい

内蔵／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)のタイトル名を変更できます。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除／編集] > [タイトル管理] > [タイトル名変更] を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスプレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。タイトル名を変更したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選び、名前を変更する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

新しくタイトル名を入力できます(137ページ)。

録画した映像を自動で削除したい

内蔵／外付けのハードディスクの残量が少なくなったとき、自動で削除する映像(タイトル)を設定できます。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集]>[タイトル管理]>[自動削除設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 自動削除を設定したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
自動削除対象のタイトルには  が付き(156ページ)、ハードディスクの残量が少なくなると自動で削除されます。
自動削除設定されているタイトルを選び、《決定》ボタンを押すと、自動削除設定を解除できます。

ちょっと一言

- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してから削除してください(113ページ)。
- タイトル分類や絞り込み検索メニューでタイトルを絞り込み後、[表示中タイトル全設定]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて(最大99個)設定します。[表示中タイトル全解除]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて設定を解除します。

サムネイル画像を変更したい

内蔵／外付けのハードディスクやBD-R/BD-REに記録した映像(タイトル)のサムネイルを変更できます。



1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集]>[タイトル管理]>[サムネイル設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。サムネイルを変更したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選び、設定画面を表示する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 サムネイルを変更する。

サムネイルにしたい場面が表示されたら[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

マークを付けたい

内蔵／外付けのハードディスクの再生済みの映像(タイトル)に、再度  マークを付けられます。まだ見終わっていないタイトルを探しやすくしたり、誤って消去したりしないようにするなど、 マークを目印代わりに使えます。
まだ再生していないタイトルの  マークをはずすこともできます。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集]>[タイトル管理]>[未視聴設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 マークを付けたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
 マークが設定されているタイトルを選び、《決定》ボタンを押すと、 マークをはずせます。

ちょっと一言

- タイトル分類や絞り込み検索メニューでタイトルを絞り込み後、[表示中タイトル全設定]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて(最大99個)設定します。[表示中タイトル全解除]を選ぶと、表示されているタイトルのみすべて設定を解除します。

CHAPTERを分割／削除／結合したい

映像にCHAPTERマークを付けたい

《CHAPTER書き込み》ボタンで、好みの場面にCHAPTERマーク(54ページ)を付けることができます。

ちょっと一言

- CHAPTERマークを削除するには、「CHAPTERを分割／削除／結合したい(CHAPTER編集)」の「前のCHAPTERと結合するときは」で、CHAPTERを結合することでできます(65ページ)。

CHAPTERを分割／削除／結合したい(CHAPTER編集)

映像(タイトル)のCHAPTERを好みに合わせて編集できます。また、不要な場面をまとめて削除することもできます。CHAPTERを削除すると、元に戻せないのをご注意ください。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除／編集] > [タイトル編集] > [CHAPTER編集]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスプレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。CHAPTER編集したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選び、編集画面を表示する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 CHAPTERを選び、編集する。



操作メニュー

CHAPTERエリア

分割するときは

- CHAPTERエリアで分割したいCHAPTERを◀▶で選ぶ。
▶《再生》ボタンを押して、再生する。
分割したい場面で⏏《一時停止》ボタンを押す。
- ▼で操作メニューに移動して[分割]を選び、《決定》ボタンを押す。

前のCHAPTERと結合するときは

- CHAPTERエリアで結合したいCHAPTERを◀▶で選ぶ。
- ▼で操作メニューに移動して[前と結合]を選び、《決定》ボタンを押す。

削除するときは

- CHAPTERエリアで削除したいCHAPTERを◀▶で選ぶ、《決定》ボタンを押す。
複数のCHAPTERを一度に削除するときは、削除するCHAPTERをすべて選んでおきます。
- ▼で操作メニューに移動して[削除実行]を選び、《決定》ボタンを押す。

4 画面を終了する。

操作メニューの[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- CHAPTERの時間が短いと、削除できないことがあります。
- CHAPTERを削除した場所の映像や音声途切れることがあります。

映像の一部をカットしたい (タイトル部分削除)

映像(タイトル)の場면을削除すると元に戻せないのをご注意ください。

プレイリスト(67ページ)を利用すると便利です。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集]>[タイトル編集]>[タイトル部分削除]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。部分削除したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選び、削除画面を表示する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 削除する部分を選ぶ。

削除を開始する場面が表示されたら、[開始点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

削除を終了する場面が表示されたら、[終了点設定]を選び、《決定》ボタンを押します。



開始点設定 終了点設定

操作メニュー

4 確定する。

操作メニューの[確定]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

続けて他の場면을削除するときは、手順3、4をくり返します。

5 画面を終了する。

操作メニューの[終了]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- [タイトル部分削除]で場면을削除した場所にはチャプターマークが入り、前後の場面はそれぞれ別のチャプターになります。
- 削除設定した場面が少しずれて削除されることがあります。
- 削除した場所の映像や音声途切れることがあります。

ひとつの映像を分割したい (タイトル分割)

高画質で長時間の容量が大きい映像(タイトル)を、画質を落とさずにディスクへダビングしたいときに便利です。

1 タイトル一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集]>[タイトル編集]>[タイトル分割]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。分割したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 タイトルを選び、分割画面を表示する。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 タイトルを分割する。

分割する場面が表示されたら[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。



確定

画面の指示に従って操作してください。

分割した後にタイトル名を変更するには、[はい]を選び、文字入力画面(137ページ)で入力します。

複数の映像をひとつにしたい(タイトル結合)

次の映像(タイトル)を結合できます。

- タイトル同士。
- プレイリストタイトル同士。

1 結合画面を表示する。

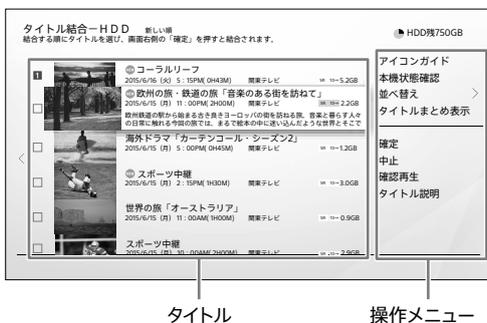
《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [タイトル編集] > [タイトル結合]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。結合したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 結合するタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。



3 確定する。

操作メニューの[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 タイトル名を設定する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。

[文字入力]を選ぶと新しくタイトル名を入力できます(137ページ)。

ご注意

- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。
- コピー制限のないタイトルを、ダビング10に対応したタイトルと結合すると、ダビング10対応タイトルに付いていた回数制限が付きます。
- 結合できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。
- タイトルを結合した場所の映像や音声が入り切ることがあります。

以下のことはできません

- 次の組み合わせでタイトルを結合すること。
 - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
 - 他機器で撮影したMP4形式の映像同士及びそれ以外のタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
 - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

映像のプレイリストを作成したい

プレイリストを作成したい

プレイリストを使うと、複数の映像(タイトル)をお好みの順序で再生できるようになります。

実際に録画した「オリジナルのタイトル」を再生したい順に並べた仮想タイトルです。オリジナルの内容に手を加えないため、プレイリストをどのように編集し直しても、プレイリストから参照されているオリジナルタイトルに影響はありません。

1 プレイリスト作成画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [プレイリスト作成]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクトレイにディスクが入っている場合、録画リストを選ぶ画面が表示されます。プレイリストを作成したいタイトルのある録画リストを選び、《決定》ボタンを押します。

2 プレイリストで再生したい順にタイトルを選ぶ。

タイトルは複数選べます。



3 確定する。

操作メニューの[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 タイトル名を設定する。

タイトル名を選び、《決定》ボタンを押します。

[文字入力]を選ぶと新しくタイトル名を入力できます(137ページ)。

ちょっと一言

- 不要な場面を削除したいときは、プレイリスト作成後に「タイトル部分削除」(66ページ)でプレイリストの不要な場面を削除できます。

ご注意

- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するとき、映像が一時停止することがあります。
- プレイリストを作成できるのは、同じ保存先にあるタイトル同士のみです。

録画した映像の録画モードを変更したい

以下のことはできません

- 次の組み合わせでプレイリストを作成すること。
 - 録画した3D映像を含むタイトルと2Dのタイトル。
 - 他機器で撮影したMP4形式の映像同士及びそれ以外のタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像と、それ以外の3Dタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像同士で、解像度やフレームレートが異なる場合。
 - 他機器で撮影した1080/60p映像と、それ以外のタイトル。

プレイリストに追加したオリジナルタイトルを編集したい

プレイリストから参照されているオリジナルタイトルは編集できません。プレイリストを削除すると、オリジナルタイトルを編集できるようになります。

1 映像(タイトル)一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集]>[タイトル変換]>[録画モード変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 録画モードを変更したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 録画モードを選ぶ。

▶を押して、[録画モード変更]>録画モード>[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。

4 録画モードを変更する。

[変更実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 一度の録画モード変更で選べるタイトルは99個までです。
- 録画モードの変更には映像の再生時間と同じくらいの時間がかかります。

以下のことはできません

- 録画中、ダビング中に録画モード変更を実行すること。録画モード変更中は録画、ダビング、ワイヤレスおでかけ転送は行われません。
- 次のタイトルの録画モードを変更すること。
 - BDに直接録画したタイトル。
 - BDやDVDにコピーしたタイトル(コピー先)。
 - プレイリスト。
 - プレイリストから参照されているオリジナルタイトル。
 - 保護設定されたタイトル。
 - 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトル。

取り込んだMP4形式のタイトルを編集するには

上記手順に従い、MP4形式の映像(タイトル)の録画モードを変更すると、編集できるようになります。

また、MP4以外のタイトルと同じディスクにダビングできるようになります。

なお、MP4(4K)の解像度は2Kに変換されます。

録画した映像のおでかけファイルを作成したい

ワイヤレスおでかけ転送できないときは、おでかけファイルを作成してください。

おでかけファイルとは

ワイヤレスおでかけ転送や「快適視聴モード」(96、97ページ)を利用するときに必要なファイルです。

「おでかけファイル」が作成されているか確認するには、転送したいタイトルを選び▶を押して[タイトル説明]を選びます(155ページ)。

1 映像(タイトル)一覧を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [タイトル変換] > [おでかけファイル作成]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 おでかけファイルを作成したいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。

3 おでかけファイルを作成する。

[作成開始]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- 一度のおでかけファイル作成で選べるタイトルは99個までです。
- [おでかけモード]で設定した画質でおでかけファイルを作成します(111ページ)。おでかけファイルの画質を変更するには、手順2で《オプション》ボタンを押して、[おでかけモード設定]を選びます。

以下のことはできません

- 録画中、ダビング中におでかけファイルを作成すること。おでかけファイル作成中は録画、ダビングは行われません。
- 次のタイトルのおでかけファイルを作成すること。
 - 再生時間が12時間を超えるタイトル。
 - MP4形式のタイトル。
 - おでかけファイルの容量が4GBを超えるタイトル。
 - 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクのタイトル。

ディスクに名前を付けた

BDに名前を付けるには

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [ディスク管理] > [ディスク名変更]を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDに名前を付けるには

ダビングの手順の中で行います(75ページ)。

BDを保護(プロテクト)したい

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [ディスク管理] > [ディスク保護]を選び、《決定》ボタンを押します。

保護(プロテクト)を解除するには

[ディスク保護解除]を選び、《決定》ボタンを押します。

BDに暗証番号を設定して再生できないようにしたい

1 BDを入れ、暗証番号設定画面を表示する。

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集] > [ディスク管理] > [BD操作ロック]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 暗証番号を設定する。

数字ボタンで暗証番号を入力し、[確定]を選び、《決定》ボタンを押します。

BDを取り出します。次からは、BDを入れたときに暗証番号の入力が必要になります。

ロックを解除するには

手順1で[BD操作ロック解除] > [はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクをファイナライズしたい

BDをファイナライズしたい

BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズが不要です。ダビング後のBDは、そのままの状態での他のBD機器で再生できます。

編集／追記できないようにするには (BDクローズ)

BD-Rを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集] > [ディスク管理] > [BDクローズ] > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 一度BD-Rをクローズすると解除できません。
- BDクローズすると、内蔵ハードディスクにタイトルを移動(ムーブバック)できなくなります。

DVDをファイナライズしたい

本機でダビングしたDVDを他のDVD機器で再生できるようにします。ダビング時にファイナライズしなかったDVDは次の手順でファイナライズしてください。

ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集] > [ディスク管理] > [DVDファイナライズ] を選び、《決定》ボタンを押します。

映像(タイトル)の記録時間が短いほど、DVDのファイナライズにかかる時間が長くなる場合があります。

ご注意

- 一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

以下のことはできません

- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすること。

本機で作成したDVDを他機器で再生したい

- 1 ファイナライズする。
ダビング時にファイナライズしなかった場合は、手動でファイナライズしてください(70ページ)。
- 2 再生機器がVRモードとCPRMの再生などに対応しているか確認する。
機器によっては、DVD-RWのVRモードに対応していても、DVD-RのVRモードに対応していないことがあります。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。

ディスクを買ってきた状態に戻したい(初期化)

BD(BD-RE)を初期化するには
ディスクを入れ、《ホーム》ボタンを押します。
[削除／編集] > [ディスク管理] > [BD初期化] > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。

DVDを初期化するには
ダビングの手順の中で行います(74ページ)。

ご注意

- BD-REの自動初期化以外の方法で初期化したディスクは、この手順で初期化できないことがあります。
- BD-R、DVD-Rは初期化できません。

ビデオカメラなどの機器から取り込んだMP4形式の映像を編集したい

他機器から取り込んだMP4形式の映像(タイトル)を編集するには、タイトルの変換が必要です。
「録画した映像の録画モードを変更したい」(68ページ)をご覧ください。

ダビングする

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

コピー／ダビングできる ディスク／映像の種類

BD

デジタル放送の番組をハイビジョン画質でダビングしたいときや、長時間の映像をダビングしたいときに最適なディスクです。

	BD-RE	BD-R
くり返し利用 ^{*1}	○	×
高速ダビング	○	○
録画した番組のダビング	○	○
他機器から取り込んだ映像のダビング (MP4形式 ^{*2} を含む)	○	○

^{*1} BD-R/BD-REは追記できます。BD-Rはクローズすると追記できません。

^{*2} MP4 (4K) 動画は4倍速以上のBDにダビングすることをおすすめします。

4倍速未満、もしくはBDに汚れや傷があるなど状態が悪い場合、再生時に映像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。そのような場合は、本機に取り込むと安定して再生できます。

- 他機器での再生互換
 - BDは、DVDとは異なる規格のため、ファイナライズは不要です(70ページ)。
 - MP4形式のタイトルをBDにダビングした場合、本機を含むソニー製ブルーレイディスクレコーダー (BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550) で再生できます。

音声／映像入力端子につないだ他機器の映像をディスクにコピーするには

内蔵ハードディスクにダビングしてから(82ページ)、ディスクにダビングしてください(73ページ)。

録画した3D番組をディスクにコピーするには

BD-REやBD-Rに高速ダビングしてください(78ページ)。

DVD

標準画質でダビングします。ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

	DVD-RW (12cm)	DVD-R (12cm)
くり返し利用	○	×
高速ダビング	×	×
録画した番組のダビング	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)	○ (CPRM対応ビデオ用／録画用)
他機器から取り込んだ映像の ダビング(MP4形式を含まない)	○	○

- 録画した番組をダビングできる記録フォーマットであるVRモードで初期化、ダビングします。
- 他機器での再生互換 (DVD-RW/DVD-R)
他機器で再生するためにはファイナライズが必要です。DVD-RWはダビング終了後、自動的にファイナライズされます。DVD-Rへのダビング時に[ファイナライズする]を選ばなかったときは、ホームメニュー>[削除/編集]>[ディスク管理]>[DVDファイナライズ]を選び、ファイナライズをしてください(70ページ)。
ダビングしたDVDはCPRMとVRに対応した機器でのみ再生できます(141ページ)。



コピー／ダビングの前に 知っておきたいこと

コピーできないディスク

- 8cmのDVD
- DVD-R DL (2層)
- DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL (2層)
- DVD-RAM
- DVDビデオフォーマット

音声／映像入力端子につないだ他機器の映像 をディスクにコピーするには

内蔵ハードディスクにダビングしてから (82ページ)、ディスクにダビングしてください (74ページ)。

コピー中の操作制限

高速ダビング中

ホームメニューからテレビ番組を見たり、内蔵／外付けのハードディスクに録画した映像 (タイトル) を再生したりできます。

ただし、次の操作はできません。

- ブラビアリンクの「見て録」。
- BDへの録画 (BDとのダビング／ムーブバック中)。
- BDやDVDの再生 (内蔵ハードディスク⇄外付けハードディスクのダビング中以外)。
- 高速ダビング中のタイトルをルームリンクから見ること。
- ダビング元とダビング先に記録されているタイトルの編集 (サムネイル設定／チャプター編集／タイトル部分削除／タイトル分割)。
- ダビング (タイトルダビング／他機器からの映像取り込み)。
- ワイヤレスおでかけ転送。
- 録画モード変更 (自動／手動)。
- おでかけファイル作成。
- 複数のMP4形式のタイトルを連続再生 (46ページ)。

DVDダビングや記録モードを変更してのダビング

高速ダビングと異なり、再生など他の操作はできません。また、予約があっても録画は行われません。

ダビング先の空き容量を確認したい

ディスクの残量 (空き容量) を確認するには

ディスクを入れ、《録画リスト》ボタンを押します。

▶を押して、[本機状態確認]を選び、《決定》ボタンを押します。

内蔵／外付けのハードディスクの残量 (空き容量) を確認するには

詳しくは、「録画先の残量を確認したい」(42ページ)をご覧ください。

ディスクにコピーしたい (タイトルダビング)

BDにコピーしたい

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- BDを用意する。



BD-RE/BD-R

☞ 次のページも参考にしてください。

- ディスクの残量を確認したい(72ページ)。

内蔵／外付けのハードディスクにたまった映像(タイトル)をBDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング]>[タイトルダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

内蔵ハードディスクからダビングするには

[内蔵HDD]または[内蔵HDD・後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

[内蔵HDD・後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

[ディスク]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きま

ダビングする全タイトル容量 ダビング先の空き容量(目安)



タイトルエリア

操作メニュー

ちょっと一言

- ダビングモードを変更できます(80ページ)。
- 1度のダビングで選べるタイトルは99個までです。100個以上のタイトルをダビングしたいときは、くり返し行ってください。

操作メニューの[表示中タイトル全選択]を選んだときはリストの上から順に99個まで選ばれます。

操作メニューの[ダビングモード自動]を選んだときはディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選べ

4 ダビングを開始する。

操作メニューの[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割することによりダビングできることがあります。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の [DR] が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、内蔵／外付けのハードディスクからは削除されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ディスク情報の処理のため、ディスプレイが開くのにかかることがあります。
- 編集したタイトルを高速ダビングすると、削除した映像が残ることがあります。
- 高速ダビング中に他の操作を行うと、ダビング所要時間が通常より長くなるため、ダビング終了後に開始するBDへの録画予約が実行されないことがあります。
- ディスクに入りきれない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、再生時間とほぼ同じ時間がかかりますが開始します。
- 他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字は録画リストで表示されません。
- [SR] などのアイコンがついたタイトルは、DRモードのままダビングされます。
- 視聴年齢制限で録画リストに表示されないタイトルは、視聴年齢制限を解除してからダビングしてください(113ページ)。
- AC3 5.1chの音声が含まれているタイトルを、ダビングモードを変更してダビングすると、2chの音声になります。
- LAN録画／LANムーブしたタイトルはBDにダビングしても他機器で再生できないことがあります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>
- MP4形式のタイトルをBDにダビングした場合、本機を含むソニー製ブルーレイディスクレコーダー(BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550)で再生できます。
- MP4(4K)動画は4倍速以上のBDにダビングすることをおすすめします。4倍速未満、もしくはBDに汚れや傷があるなど状態が悪い場合、再生時に映像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。そのような場合は、本機に取り込むと安定して再生できます。

- MP4形式のタイトルは、MP4形式以外のタイトルと同じディスクにダビングできません。
- 本機でMP4形式のタイトルをダビングしたBDに、他機器を使って追記しないでください。追記すると、本機でダビングしたMP4形式のタイトルの再生やダビングができなくなります。
- BDにダビングしたMP4形式のタイトルは、BDから外付けハードディスクにダビングできません。いったん本機の内蔵ハードディスクにダビングしても、外付けハードディスクにダビングはできません。

DVDにコピーしたい

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- CPRM対応のDVDを用意する。



CPRM対応

☞ 次のページも参考にしてください。

- コピー/ダビングできるディスク/映像の種類 (71ページ)。
- ディスクの残量を確認したい (72ページ)。

内蔵/外付けのハードディスクにたまった映像(タイトル)をDVDにダビングして保存できます。

1 ディスクを入れ、ダビング元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング]>[タイトルダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

内蔵ハードディスクからダビングするには

[内蔵HDD]または[内蔵HDD・後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けのハードディスクからダビングするには

[内蔵HDD・後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

[ディスク]を選び、《決定》ボタンを押します。

データを追記または初期化を選ぶ画面が表示されたときは

[追記]

DVDにタイトルを残し、タイトルを追加するときに選びます。

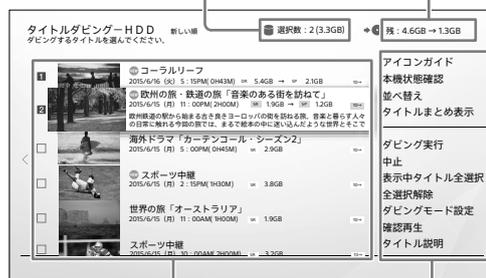
[初期化]

DVDからタイトルを削除し、新しく記録するときに選びます。すでにDVDに記録されているタイトル、写真、データなどはすべて削除されます。

3 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルエリアでタイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ダビングする全タイトル容量 ダビング先の空き容量(目安)



タイトルエリア

操作メニュー

ちょっと一言

- 画質に合わせて、本機が自動的にダビングモードを設定します。詳しくは、「内蔵ハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間」(144ページ)をご覧ください。
- ダビングモードを変更できます(80ページ)。
- 1度のダビングで選べるタイトルは99個までです。

操作メニューの[表示中タイトル全選択]を選んだときはリストの上から順に99個まで選ばれます。

操作メニューの[ダビングモード自動]を選んだときはディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。ディスクの空き容量が不足しているときに選ばれます。

4 ダビングを開始する。

操作メニューの[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

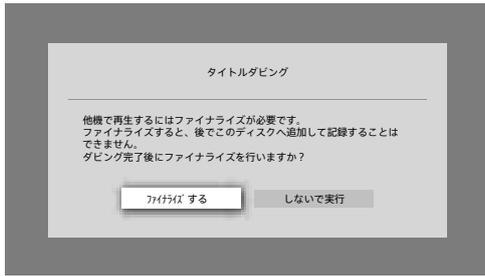
ちょっと一言

- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ディスクに入りきれない容量のタイトルを選んだ場合は、ダビングを開始できません。ダビングモードを変えるとダビングできる場合は、自動調整の画面が表示され、ダビングできます。

ファイナライズを選ぶ画面が表示されたときは



[ファイナライズする]

ダビング終了後、自動的にファイナライズします。タイトルの記録時間が短いと、ファイナライズにかかる時間が長くなることがあります。一度ファイナライズすると、DVD-Rには追記できなくなります。

[しないで実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、必要に応じてファイナライズしてください(70ページ)。

名前変更を選ぶ画面が表示されたときは



[ダビング実行]

ダビングが始まります。ダビング終了後、自動的にファイナライズします。

[名前変更]

ディスクの名前を変更できます(137ページ)。

ちょっと一言

- DVDにダビングしたタイトルは、チャプター編集などの編集はできません。あらかじめ内蔵ハードディスクで編集してから、ダビングしてください。
- 編集回数が多いタイトルはダビングできないことがありますが、そのタイトルを分割することによりダビングできることがあります。
- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- 本機のハードディスクに保存されているプレイリストは、ダビング時にタイトルとしてダビングされます。
- デジタル放送の **1** が付いたタイトルをダビングする場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはディスクにムーブされ、内蔵/外付けのハードディスクからは削除されます。

- MP4形式の映像は、録画モードを変更するとDVDへダビングできません(MP4(4K)の解像度は2K映像に変換されます)。録画モードの変更について詳しくは、「取り込んだMP4形式のタイトルを編集するには」(68ページ)をご覧ください。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ディスク情報の処理のため、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。
- 次の文字を使ったタイトルをDVDにダビングすると、ダビング時にこれらの文字は削除されます。
「①」「②」「③」「④」「⑤」「⑥」「⑦」「⑧」「⑨」「⑩」
「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」「Ⅶ」「Ⅷ」「Ⅷ」「Ⅸ」「Ⅹ」
その他特殊文字は削除されることがあります。
- **SR** などのアイコンがついたタイトルは、DRモードから本機が自動的に設定したダビングモードでダビングされます。

以下のことはできません

- 全角32文字、半角64文字を超えた文字数を、DVDのディスク名として入力すること。
他機器で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。また、一部の文字は録画リストで表示されません。
- 5.1chの音声が含まれているデジタル放送のタイトルを、5.1chの音声のままDVDにダビングすること。
DVDにダビングしたタイトルは2chの音声になります。
- DVDビデオフォーマットにダビングすること。

ディスクに保存した映像を本機にコピーしたい

BDからコピーしたい(ムーブバック)

BD-RE/BD-Rに保存したデジタル放送の映像(タイトル)を、内蔵/外付けのハードディスクに移動できます。ムーブバックしたデジタル放送のタイトルは、BDから削除されます。

1 BDを入れ、ダビング元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ダビング]>[タイトルダビング]>[ディスク]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

内蔵ハードディスクにダビングするときは
[内蔵HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクにダビングするときは
[後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 が付いているタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度のダビングで選べるタイトルは99個までです。

4 ダビングを開始する。

[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- BD-Rの場合、ムーブバックしても残量は増えません。
- ムーブバックしたタイトルは、1回だけ移動できるタイトル()になります。
- ムーブバックはタイトルごとに行われます。途中で中止すると、ムーブバックが終了したタイトルは内蔵/外付けのハードディスクに移動し、途中で中止したタイトル以降はBDに残ります。
- 他機器から取り込んだタイトルやアナログ放送を記録したタイトルなどダビング禁止の表示がないタイトルは、本機能に関係なくダビングでき、BDにも残ります。
- 読み込み中に表示される時間は目安であり、ディスクの状態によってはムーブバックに時間がかかることがあります。
- SeeQVault対応外付けハードディスクへ直接移動(ムーブ)することはできません。いったん本機の内蔵ハードディスクにタイトルを移動(ムーブ)してから、SeeQVault対応外付けハードディスクへ移動(ムーブ)をしてください。

以下のことはできません

- 次の場合にムーブバックすること。
 - 内蔵/外付けのハードディスクにムーブバックするタイトル以上の残量がない場合。
 - BDクローズされたディスクなど、追記できない状態の場合。

DVDからコピーしたい

DVDに保存したデジタル放送の映像(タイトル)は、ダビング(コピー、ムーブバック)できません。

内蔵と外付けハードディスクの間でコピーしたい

☞ あらかじめ、次のことをしてください。

- 外付けハードディスクを本機につなぐ(104ページ)。

☞ 次のページも参考にしてください。

- ダビング先の空き容量を確認したい(72ページ)。

内蔵ハードディスクから外付けハードディスクにコピーしたい

内蔵ハードディスクに保存した映像(タイトル)を外付けハードディスクに移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング] > [タイトルダビング] > [内蔵HDD] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

[前面USB機器] または [後面USB HDD] を選び、《決定》ボタンを押します。

本機に登録していないSeeQVault対応外付けハードディスクをダビング先にした場合は、手順4に進んでください。

3 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ] や [ダビング元を残してコピー] を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ] を選んだときは

タイトルは内蔵ハードディスクから削除され、外付けハードディスクにムーブします。ダビング可能回数の数字は外付けハードディスクのタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー] を選んだときは

内蔵ハードディスクのタイトルを外付けハードディスクにダビングします。内蔵ハードディスクのタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。外付けハードディスクのタイトルには  が付きます。

ちょっと一言

- ワイヤレスおでかけ転送するには、[ダビング元を残してコピー] を選び、内蔵ハードディスクにタイトルを残してください。本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクからはワイヤレスおでかけ転送できません。
-  などのアイコンがついたタイトルは、[ダビング元を残してコピー] を選ぶと、録画モード変更対象ではなくなります(DRモードのままになります)。

4 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度のダビングで選べるタイトルは99個までです。

5 ダビングを開始する。

[ダビング実行] を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクから内蔵ハードディスクにコピーしたい

外付けハードディスクに保存した映像(タイトル)を内蔵ハードディスクに移動(ムーブ)やダビングできます。

1 ダビング元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング] > [タイトルダビング] > [内蔵HDD・後面USB HDD] または [前面USB機器] を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

[内蔵HDD] を選び、《決定》ボタンを押します。

本機に登録していないSeeQVault対応外付けハードディスクをダビング元にした場合は、手順4に進んでください。

3 ダビング方法を選ぶ。

[ダビング元を消してムーブ] や [ダビング元を残してコピー] を選び、《決定》ボタンを押します。

[ダビング元を消してムーブ] を選んだときは

タイトルは外付けハードディスクから削除され、内蔵ハードディスクにムーブします。ダビング可能回数の数字は内蔵ハードディスクのタイトルに引き継がれます。

[ダビング元を残してコピー] を選んだときは

外付けハードディスクのタイトルを内蔵ハードディスクにダビングします。外付けハードディスクのタイトルからダビング可能回数の数字が減ります。内蔵ハードディスクのタイトルには  が付き、ディスクへのダビング(ムーブ)やワイヤレスおでかけ転送は1回行えます。

ちょっと一言

-  などのアイコンがついたタイトルは、[ダビング元を残してコピー] を選ぶと、録画モード変更対象ではなくなります(DRモードのままになります)。
- プレイリストと、プレイリストを作成したオリジナルタイトルをダビングする場合は、[ダビング元を残してコピー] を選んでください。プレイリストは、ダビング時にタイトルとしてダビングされます。

高画質／高速でディスクにコピーしたい

4 ダビングしたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。ダビングしたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度のダビングで選べるタイトルは99個までです。

5 ダビングを開始する。

[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- タイトルダビングする場合は、元タイトルのチャプターマークが書き込まれます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ってもダビングは継続されます。

ご注意

- ダビング中は本機の電源コードを絶対に抜かないでください。
- ダビング中に次の状態になった場合は、内蔵ハードディスクと外付けハードディスクの両方からタイトルが削除される可能性があります。
 - 外付けハードディスクの電源を切ったとき。
 - USBケーブルを抜いたとき。
 - 停電になったとき。
- 録画した3D番組は、高速ダビングしてください。
- SeeQVault対応外付けハードディスクに高速ダビング中に、タイトルの著作権保護情報を確認することがあるため、ダビングに時間がかかることがあります。
- AC3 5.1chの音声が含まれているタイトルを、ダビングモードを変更してダビングすると、2chの音声になります。
- 前面USB端子につないだ本機に登録していないSeeQVault対応外付けハードディスクをダビング元を選んだ場合、タイトルは内蔵ハードディスクに移動(ムーブ)しSeeQVault対応外付けハードディスクから削除されます。

移動したタイトルは、1回だけ移動できるタイトル(1回)になります。
- 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクと、本機後面のUSB端子につないだ外付けハードディスクの間で、タイトルを直接ダビングすることはできません。

いったん本機の内蔵ハードディスクにタイトルをダビングしてから、外付けハードディスクに移動(ムーブ)やコピーをしてください。
- 内蔵ハードディスクから本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクへダビングすると、サムネイル表示はされません。

以下のことはできません

- 本機に登録したSeeQVault非対応外付けハードディスクを前面USB端子につないでダビング先にすること。

BDにコピーしたい(高速ダビング)

☞ 次のページも参考にしてください。

- コピー中の操作制限(72ページ)。

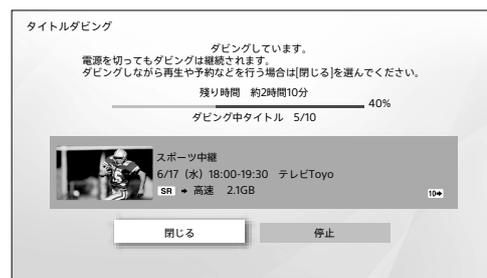
BDには、録画した画質のまま高速ダビングできます。

1 録画時のモードのままBDにダビングする(73ページ)。

ダビングモードを変更してダビングすると、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかり、画質は落ちます。

高速ダビング中に他の操作をするには

ダビング進捗画面で[閉じる]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。



ダビング所要時間が長くなりますのでご注意ください。
ダビング進捗画面に戻るには、▶を押して、[本機状態確認]>[ダビング状態]を選び、《決定》ボタンを押してください。

DVDにコピーしたい

DVDには、録画した画質のまま高速ダビングできません。
必ずダビングモードの変更が必要となります。ダビングにはダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかりますので、ご注意ください。

ディスクにおさまるようにコピーしたい

長時間番組の画質を落とさずにコピーするには
例:5時間番組(地上デジタル放送)を、録画モードDRで録画した場合

- 1 BDに記録可能な時間を調べる(143ページ)。
BD(25GB)は、約3時間なので、BDを2枚用意します。
- 2 映像(タイトル)を分割する(66ページ)。
BD(25GB)2枚に保存するため、5時間の番組を2時間30分ずつに分けます。
- 3 録画時のモードのまま、BDにダビングする(73ページ)。
分割した番組を、それぞれダビングします。

画質を落としてコピーするには

長時間番組を1枚のディスクにおさめたい場合は、画質を落としてダビングします。

タイトルダビング画面(155ページ)で[ダビングモード自動]を選ぶと、ディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。

ちょっと一言

- 画質変換ダビングは、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。
- 高速ダビングと異なり、画質変換ダビング中は録画が行われず、再生などの他の操作もできません。録画時に録画モードを設定しておくことをおすすめします。(30ページ)
- タイトルごとにダビングモードを変更したいときは、「ダビングモードを変更したい」(80ページ)で設定できます。

同じ番組名の映像をまとめてコピーするには(連ドラ一括ダビング)

- 1 ディスクを入れ、番組名ごとにまとめて表示する(50ページ)。
- 2 ダビングしたい映像(タイトル)を選ぶ。
まとめタイトルを選び、▶を押します。
[ダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。
タイトルダビング画面が表示され、まとめられたタイトルがすべて選ばれます。
- 3 ダビングを開始する。
[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

二か国語放送/字幕付きの番組をディスクにコピーしたい

二か国語放送の番組を再生時に音声切替できるようにコピーしたい

BDにダビングしてください(73ページ)。DVDにダビングするときは、次のように設定してダビングしてください。

切り換えできなくても片方の音声だけをコピーするには

映像(タイトル)に記録されている音声により操作が異なります。

再生中に《音声切替》ボタンを押し、表示された音声を確認してください(53ページ)。

ダビングには、ダビングする映像の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

[主] / [副] / [主 / 副]が表示されるときは

ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[録画/ダビング設定]>[二重音声記録]で[主音声]や[副音声]のどちらかを選び(111ページ)、DVDにダビングモードを変更してダビングします(80ページ)。

[音声1] / [音声2]が表示されるときは

タイトルダビング画面(74ページ)でタイトルを選んだ後、次の操作をしてください。

- 1 高速以外のダビングモードを選ぶ。
▶を押して、[ダビングモード設定]>高速以外のダビングモード>[設定]を選び、《決定》ボタンを押します。
- 2 音声を選び、ダビングを開始する。
▶を押して、[映像/音声選択]>ダビングしたい音声>[確定]>[実行]を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。

字幕付きの映像を再生時に字幕切替できるようにコピーしたい

BDにダビングしてください(73ページ)。DVDには字幕付きでダビングできません。

ダビングモードを変更したい

☞ 次のページも参考にしてください。

- 録画モードと録画/ダビング可能時間(143ページ)。

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。ダビングモードを変更して画質を落とせば、少ない容量でたくさん保存できます。

ダビングには、ダビングする映像(タイトル)の長さ(または再生時間)と同じくらいの時間がかかります。

ダビングモードを変更するには、タイトルダビング画面(73、74、77、155ページ)でタイトルを選び、▶を押します。
[ダビングモード設定] > 変更したいダビングモード > [設定] > [ダビング実行] を選び、《決定》ボタンを押し、ダビングを開始します。



ちょっと一言

- 編集したタイトルのダビングモードを変更すると、ダビング後のタイトル間での継ぎ目がなめらかになります。

ご注意

- ダビングモードを変えてダビングする場合、複数のタイトルを選んで合計48時間を超える場合はダビングできません。何回かに分けてダビングしてください。

コピーを途中で止めたい

1 ダビングを止める。

[停止] > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- DVDの場合、ファイナライズされずにダビングは中止します。必要に応じてファイナライズしてください(70ページ)。
- BD-RやDVD-Rへのダビングを途中で中止すると、使用可能な容量が減ります。

ビデオカメラなどの機器から動画を取り込みたい(4K映像対応)

USBケーブルを使って取り込みたい

ビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器を本機前面のUSB端子につなぐと、AVCHD/MP4形式の動画(3D・1080/60p対応)を内蔵ハードディスクに取り込めます。本機能に対応している機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

映像を取り込んでできること

MP4形式の映像はそのままの画質で内蔵ハードディスクに取り込みます。

MP4形式の映像は、内蔵ハードディスクに取り込んだ後、録画モードを変更することで編集できるようになります。変換には映像の再生時間と同じくらいの時間がかかります。

変換について詳しくは、「録画した映像の録画モードを変更したい」(68ページ)をご覧ください。

	AVCHD形式	MP4形式
削除する	○	○
早見再生する	○	×*4
編集する	○	×*4
ディスクにダビング*1	○	×*4
データディスクとしてダビング*2*3	×	○

*1 ダビングしたディスクは、一般的なBDプレーヤーなどで再生可能です。

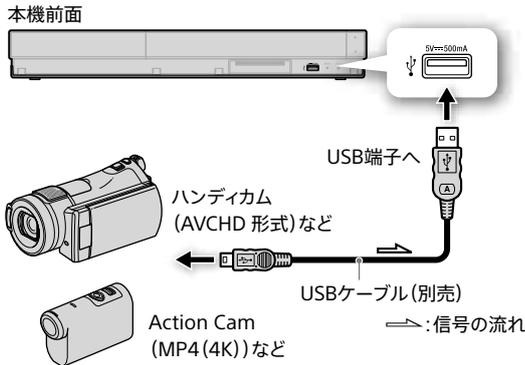
*2 本機を含むソニー製ブルーレイディスクレコーダー(BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550)で再生できます。

*3 MP4(4K)動画は4倍速以上のBDにダビングすることをおすすめします。

4倍速未満、もしくはBDに汚れや傷があるなど状態が悪い場合、再生時に映像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。そのような場合は、本機に取り込むと安定して再生できます。

*4 内蔵ハードディスクに取り込んだ後、録画モードを変更すると、早見再生・編集・ディスクへのダビングができます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。



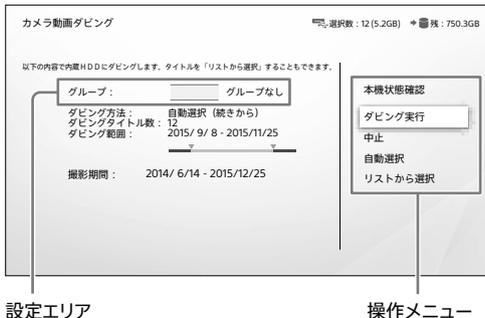
ちょっと一言

- USBケーブルについて詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器によってはモードを切り換えるなどの操作が必要となります (USB接続モードなど)。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

2 取り込み方法を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ダビング] > [カメラ動画ダビング] を選び、《決定》ボタンを押します。
画面に従って取り込みたい形式の動画を選んでください。

3 ↑↓↔で、項目を設定する。



動画(タイトル)にグループを設定するには
設定エリアでグループを選びます。取り込んだタイトルをグループごとに分類できて便利です。

操作メニューの[自動選択]を選んだときは
一度に99個まで自動で取り込まれます。

操作メニューの[リストから選択]を選んだときは
タイトルを99個まで選べます。

4 取り込みを開始する。

操作メニューの[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

[停止] > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。

ご注意

- 他機器で記録した動画を内蔵ハードディスクに取り込んだ場合、表示される録画モードが元の録画モードと異なることがありますが、画質は劣化しません。
- 1つのタイトルに80個以上のチャプターがある場合、タイトルが分割されます。他機器で編集されたタイトルは分割されません。
- MP4形式の映像をそのままの画質で取り込むため、チャプターマークは付きません。
- ビデオカメラで4K HDR撮影したタイトルを再生してもSDR映像として出力されます。

以下のことはできません

- 他機器で記録された、撮影日時などの字幕を取り込むこと (取り込んだタイトルを再生するとき、画面に撮影日時を表示することはできません)。
- 本機前面以外のUSB端子に機器をつないで取り込むこと。
- MP4形式 (フレームレート120p/240p) で記録された動画を取り込むこと。
- SD (スタンダード) 画質 (MP4を除く) で記録された動画を取り込むこと。
「音声/映像ケーブルを使って取り込みたい」(82ページ) から取り込んでください。

音声／映像ケーブルを使って取り込みたい

④ 次のページも参考にしてください。

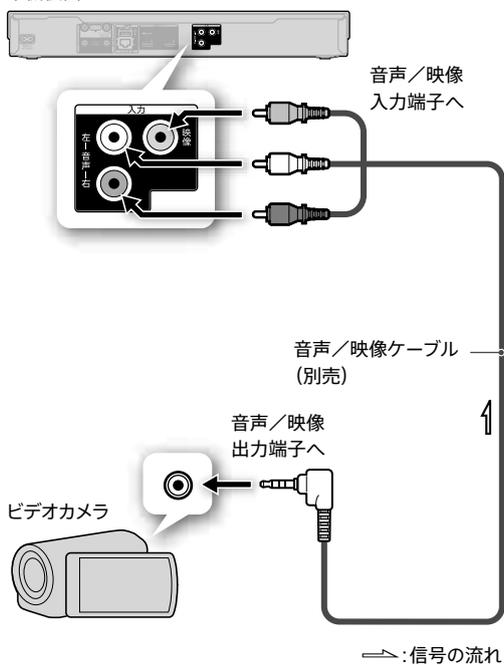
- [外部入力録画縦横比]で映像サイズを設定する(111ページ)。

ビデオカメラ、ビデオデッキなどの他機器を音声／映像ケーブルで本機につなぐと、動画を取り込めます。

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

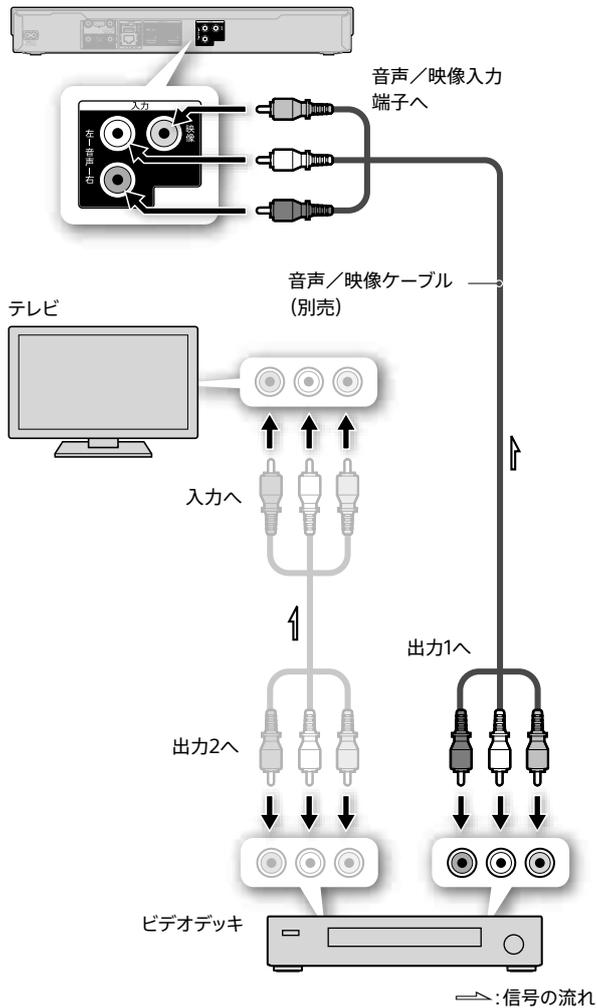
ビデオカメラをつなぐには

本機後面



ビデオデッキ、DVDレコーダーをつなぐには

本機後面



市販ビデオなどコピー制御信号が含まれている映像を再生する場合、ビデオデッキをテレビに直接つなぎます。

2 接続した機器の映像を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [外部入力を視聴]を選び、《決定》ボタンを押します。

ディスクに保存した動画を取り込みたい

3 録画モードを設定する。

《オプション》ボタンを押します。
[録画モード設定] > 録画モードを選び、《決定》ボタンを押します。



録画モードについて詳しくは、「録画モードと録画/ダビング可能時間について」(143ページ)をご覧ください。

4 接続した機器を再生一時停止状態にする。



5 本機の録画を開始する。

●《録画》ボタンを押して、本機に録画する時間を選び、録画を開始します。

6 取り込みを開始する。

接続した機器の一時停止や再生ボタンを押して再生を開始します。



ご注意

- 《録画》ボタンを押して録画時間を選んだ後、《画面表示》ボタンを押して録画経過時間が表示されるのを確認してから機器の再生を開始してください。

取り込みを途中で止めるには

■《停止》ボタンを押します。

BD、DVD (AVCHD形式) から取り込みたい

ディスクの映像(タイトル)を内蔵/外付けのハードディスクに取り込めます。

1 ディスクを入れ、取り込み元を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[ダビング] > [タイトルダビング] > [ディスク]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 ダビング先を選ぶ。

内蔵ハードディスクに取り込むときは
[内蔵HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

外付けハードディスクに取り込むときは
[後面USB HDD]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 取り込みたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。取り込みたい順に選ぶと番号が付きます。

ちょっと一言

- 1度の取り込みで選べるタイトルは99個までです。

4 取り込みを開始する。

[ダビング実行]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込みを途中で止めるには

[停止] > [はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ちょっと一言

- DVD (AVCHD形式) から取り込んだ場合は、日付単位でタイトル分割されて取り込まれます。
- BD-RE、BD-Rのプレイリストタイトルは、タイトルとして取り込まれます。

ご注意

- MP4形式のタイトルは、BDから外付けハードディスクに取り込めません。いったん本機の内蔵ハードディスクに取り込んでも、外付けハードディスクに取り込めません。
- AVCHD形式のタイトルをSeeQVault対応外付けハードディスクに直接取り込むことはできません。いったん本機の内蔵ハードディスクにタイトルを取り込んでから、SeeQVault対応外付けハードディスクへ取り込んでください。

以下のことはできません

- 市販のBD-ROMやDVDビデオから取り込むこと。
- 他機器で作成したディスクで、本機に挿入したときに「BD-R/RE BDMV」と表示されるディスクから取り込むこと。
- DVD (AVCHD形式) から録画モードを変更して取り込むこと。

写真を取り込みたい(4K写真対応)

DVD (AVCHD形式以外) から取り込みたい

DVD (AVCHD形式以外) からは取り込めません。

他のBD/DVDレコーダーから映像を取り込みたい

他機器でBDに保存した映像を本機に取り込めます(ムーブバック)。

他のBDレコーダーで映像をBD-REへ保存した後、内蔵ハードディスクに移動してください(76ページ)。

ちょっと一言

- ネットワークを経由して、他のソニー製ブルーレイディスクレコーダーの録画済み映像を内蔵ハードディスクに移動するときは、「他のBDレコーダーから取り込みたい(お引越しダビング)」(86ページ)をご覧ください。

DVDレコーダーから取り込むには

「音声/映像ケーブルを使って取り込みたい」(82ページ)の手順で、DVDレコーダーをビデオデッキの代わりに接続してください。

ご注意

- 著作権で保護された映像は、取り込めないことがあります。
- SD(スタンダード)画質での取り込みになります。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 本機で取り込み/再生できる写真について(145ページ)。

ビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器を本機前面のUSB端子につなぐと、写真を内蔵ハードディスクに取り込めます。

本機能に対応している機器については、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

1 機器をつなぎ、電源を入れる。

USBケーブルを使ってつなぎます(81ページ)。

2 写真取り込みリストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング]>[カメラ写真取り込み]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 写真を選ぶ。

取り込みたい写真を選び、《決定》ボタンを押します。

写真の左側にチェックマークが付きます。



写真取り込みリスト

4 写真を取り込む。

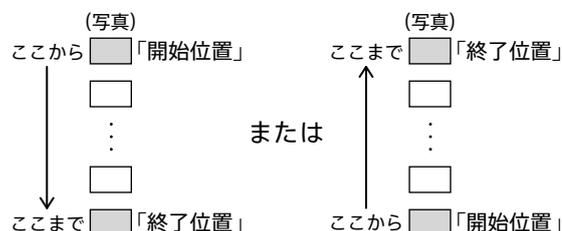
[コピー実行]>[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

取り込み範囲を指定するには

取り込みリスト上で取り込み範囲を指定(開始位置と終了位置を設定)して写真を取り込めます。

範囲指定するには、手順3で▶ボタンを押して[範囲指定コピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

<範囲指定のイメージ>



取り込んだ写真をコピーしたい

ちょっと一言

- 本機には10,000枚まで写真を保存できます。

ご注意

- 一度に取り込める写真の上限は1,000枚です。
- 写真取り込み中は、他の画面への切り換えができません。
- 取り込み済みの写真を再度本機に取り組んだ場合、同じ写真が同じファイル名で複数保存されます。
- 全角最大17文字、半角33文字を超えた文字数のファイル名は、本機の写真取り込みリストで正しく表示されません。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 写真を取り込みたい(4K写真対応)(84ページ)。

本機に取り込んだ写真を本機前面のUSB端子につないだUSBメモリーや外付けハードディスクにダビングできます。

ご注意

- USBメモリーや外付けハードディスクのフォーマットはFAT32およびexFATに対応しています。NTFSには対応しておりません。なお、すべてのUSBメモリー、外付けハードディスクについて動作を保証するものではありません。

1 前面USB端子にUSBメモリーや外付けハードディスクをつなぎ、電源を入れる。

2 写真リストを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[視聴する] > [写真を見る]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 ダビング方法を選ぶ。

写真を選び、▶ボタンを押します。

[コピー] > ダビング方法を選び、《決定》ボタンを押します。

[1ファイルコピー]を選ぶと

手順3で選んだ1つの写真をダビングします。

[日付まとめコピー]を選ぶと

手順3で選んだ写真と撮影した日付が同じ写真をまとめてダビングします。

[ファイル選択コピー]を選ぶと

写真を複数選んでダビングします。手順4に進んでください。

4 写真を選ぶ。

ダビングしたい写真を選び、《決定》ボタンを押します。

写真の左側にチェックマークが付きます。



写真リスト

他のBDレコーダーから取り 込みたい(お引越しダビング)

5 ダビングする。

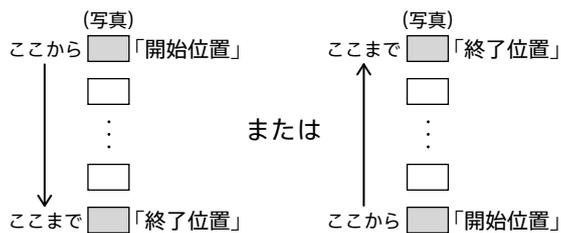
[コピー実行] > [はい]を選び、《決定》ボタンを押します。

ダビング範囲を指定するには

写真リスト上でダビング範囲を指定(開始位置と終了位置を設定)して写真を取り込めます。

範囲指定するには、手順4で▶ボタンを押して[範囲指定コピー]を選び、《決定》ボタンを押します。

<範囲指定のイメージ>



ご注意

- 回転した写真は、回転する前の状態(本機に取り込んだ状態)でダビングされます。

以下のことはできません

- BDやDVDにダビングすること。
- 後面USB端子につないだ外付けハードディスクにダビングすること。

ネットワークを経由して、他のソニー製ブルーレイディスクレコーダー(引越し元)の録画済み映像(タイトル)を、本機(引越し先)の内蔵ハードディスクに取り込めます。ブルーレイディスクレコーダーの買い替えや買い増し時などに便利です。

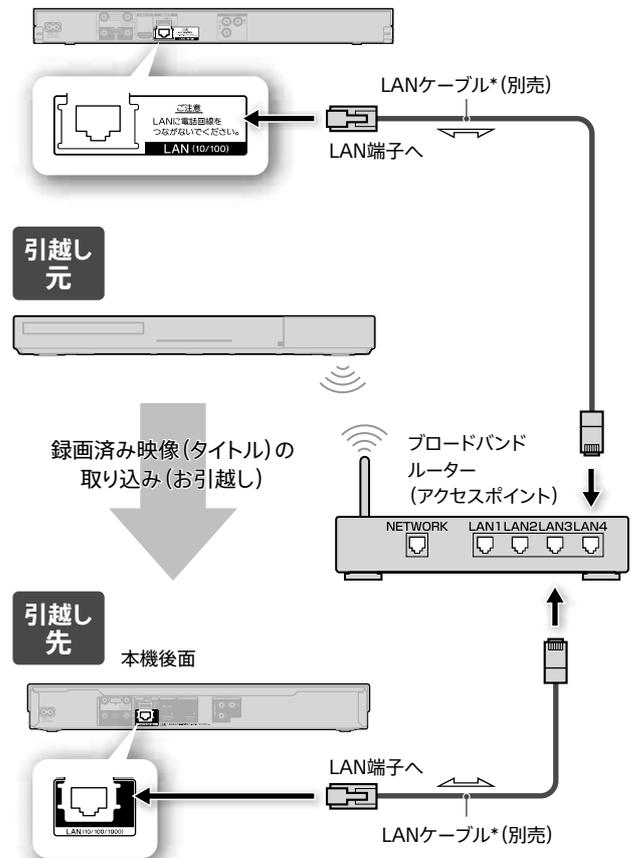
ご注意

- お引越しダビング対象機種は、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーです。
対象機種について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>
- **本機(引越し先)は、有線LANをお使いください。無線LANでのお引越しダビングはできません。**
- 本機(引越し先)で、お引越しダビングのタイトル一覧に表示されないタイトルはお引越しダビングできません。
- 本機(引越し先)にタイトルをお引越しダビング中は、ホームメニューからテレビ番組を見たり、内蔵/外付けのハードディスクに録画したタイトルの再生など他の操作はできません。
内蔵/外付けハードディスクに予約があれば録画は行われます。

1 準備する。

本機(引越し先)を有線LANで、引越し元の機器を無線LANもしくは有線LANでインターネットにつなぎます。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)



* LANケーブルは、カテゴリ5e以上のご使用をおすすめします。

「準備2:かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3:ホームサーバー上の機器を登録する」
>テレビやパソコンなどの他機器を登録する場合(95ページ)

引越し元機器のホームネットワークに本機(引越し先)がクライアント機器として登録されていることを確認してください。

2 ネットワークに登録された引越し元のブルーレイディスクレコーダーを表示する。

本機(引越し先)の《ホーム》ボタンを押します。
[ダビング]>[お引越しダビング]を選び、《決定》ボタンを押します。

3 引越し元のブルーレイディスクレコーダーを選ぶ。

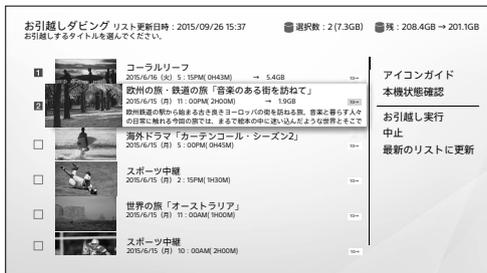
ブルーレイディスクレコーダーを選んで、《決定》ボタンを押します。



- メディアを選択する画面が表示されたら選んでください。

4 取り込みたいタイトルを選ぶ。

タイトルを選び、《決定》ボタンを押します。
取り込みたい順に選ぶと番号が付きます。
引越し元の録画リストを更新するには、[最新のリストに更新]を選びます。



5 取り込みを開始する。

[お引越し実行]を選び、《決定》ボタンを押します。
お引越しダビングが終わると、本機の録画リストに取り込んだタイトルが表示されます。

ちょっと一言

- 外付けハードディスクのタイトルをお引越しダビングする場合は、外付けハードディスクを引越し元の機器後面のUSB端子につないでください。
- 1度のお引越しダビングで選べるタイトルは99個までです。100個以上のタイトルを取り込みたいときは、くり返し行ってください。
- デジタル放送の [1] が付いたタイトルを取り込む場合は、タイトルを移動(ムーブ)してよいか確認する画面が表示されます。[はい]を選び、《決定》ボタンを押します。タイトルはムーブされ、引越し元のハードディスクからは削除されます。
- デジタル放送の [2]~[10] が付いたタイトルを取り込む場合は、引越し元のタイトルのダビング可能回数が減り、本機(引越し先)にダビングしたタイトルには [1] が表示されます。

ご注意

- お引越しダビング中は、本機および引越し元機器の電源コードを絶対に抜かないでください。
- お引越しをすると、引越し先の機器ではおでかけファイルが削除されているので、おでかけ転送するにはおでかけファイルを作成してください。
- 本機に接続している外付けハードディスクには、直接お引越しダビングできません。
いったん本機の内蔵ハードディスクにお引越しダビングしてから、外付けハードディスクに移動(ムーブ)やコピーをしてください。
- 本機で表示する引越し元の録画リストは自動で更新されません。引越ししたいタイトルが表示されない場合や、正常に取り込みが完了しない場合は、最新のリストに更新してください。
- 本機は通信速度が落ちるなどの通信品質低下により、タイトルが取り込めないことがあります。本機への取り込みが完了しない場合でも引越し元からタイトルが削除されることがあります。
- 引越し元のブルーレイディスクレコーダーを無線LANで接続したとき、無線LANでの電波が弱いとお引越しダビングできないことがあります。アクセスポイント(無線LANルーター)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確認してください。それでも改善できないときは、引越し元のブルーレイディスクレコーダーを有線LANで接続し、試してみてください。

以下のことはできません

- 次のタイトルを引越し元の機器から本機にお引越しダビングすること。
 - プレイリスト。
 - プレイリストに含まれるダビング可能回数が1回のタイトル。
 - 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル。
 - 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクのタイトル*¹。
 - 他機器で撮影した3D映像。
 - 他機器で撮影したMP4形式の映像*¹。
 - 写真*¹*²。
 - 音楽*¹。
 - 保管済みタイトルフォルダにあるタイトル(録画リストに戻すことができます)*²。
 - SeeQVault対応外付けハードディスクのタイトル*³
- *¹ 対象機種: BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550
- *² 対象機種: BDZ-ET2200 / ET1200 / EW1200 / EW520
- *³ 対象機種: BDZ-ZT2000 / ZT1000 / ZW1000 / ZW500
- 引越し元の機器で、次のような場合にお引越しダビングできません。
 - BDに録画中*²。

パソコンから音楽を取り込みたい(ハイレゾ音源対応)

- DVDのファイナライズ中
- ワイヤレスおでかけ転送中。
- おでかけ／おかえり転送中*²。
- LAN録画／LANムーブ中。
- ダビング中(タイトルダビング／思い出ディスクダビング*²／カメラ動画ダビング*¹*³／AVCHDダビング*²／ワンタッチディスクダビング*²／まるごとDVDコピー*²)。
- インターネットサービスからダウンロードしたタイトルを視聴中*²。
- BD-ROMや思い出ディスクダビング*²で作成したBD-Jメニュー付きディスクを再生中。
- タイトルを保管済みタイトルフォルダに保管中*²。
- 写真のコピー／取り込み中*¹*²。
- x-Pict Story HD作成中*²。
- ホームメニューから設定を変更しているとき。

*¹ 対象機種: BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550

*² 対象機種: BDZ-ET2200 / ET1200 / EW1200 / EW520

*³ 対象機種: BDZ-ZT2000 / ZT1000 / ZW1000 / ZW500

☞ 次のページも参考にしてください。

- 本機で取り込みできる音楽について(145ページ)。
- AVアンプやホームシアターシステムとの接続(103ページ)。

ネットワーク経由でパソコンから本機に音楽を取り込めます。AVアンプおよびハイレゾ対応のスピーカーとつなぐと、ハイレゾ音源による高音質な音楽再生を楽しめます。

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」

> テレビやパソコンなどの他機器を登録する場合(95ページ)

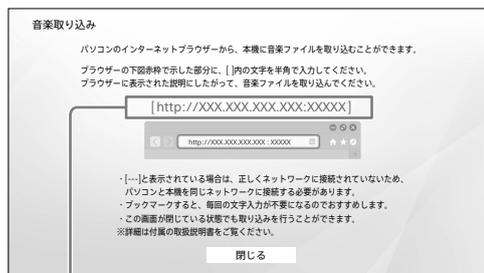
2 パソコンを本機と同じネットワークに接続する。

3 本機のIPアドレスを表示する。

《ホーム》ボタンを押します。

[ダビング] > [音楽取り込み] を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の [] 内に、http: で始まる文字が表示されます。



本機のIP アドレス

手順4でパソコンに入力するため、以下に書き写してください。

[http: _____]

4 手順3で書き写した[]内のhttp:で始まる文字をパソコンに入力する。

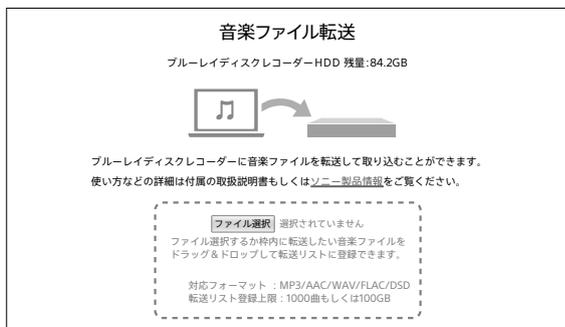
パソコンでブラウザを起動し、アドレスバーに本機のIPアドレスを入力します。

本機との接続に成功すると、転送画面が表示されます。



5 本機に転送する音楽ファイルを選ぶ。

画面に従い、音楽ファイルを選択します。ドラッグ&ドロップで取り込むこともできます。



6 音楽ファイルを転送する。

[転送開始]を選びます。



ちょっと一言

- 手順3で、音楽取り込みの画面を閉じている状態でも本機に取り込みを行うことができます。
- ネットワーク状態が変わったときに、手順3の画面に表示される文字が変わることがあります。接続できなくなった場合は、ホームメニュー>[ダビング]>[音楽取り込み]を選び、表示される文字が変わっていないか確認してください。ネットワークの通信状態によって正しく取り込めない場合は、手順1からやり直してください。
- パソコンのブラウザで転送画面をブックマークしておくとう便利です。次回以降はブックマークより転送画面を起動すると、本機に自動的に接続できます。

ご注意

- 本機に取り込んだ音楽ファイルは、パソコンに再度取り込むことはできません。パソコンの音楽ファイルを削除しないようにしてください。

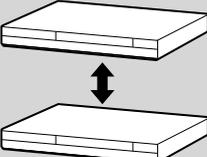
ネットワーク機能で楽しむ

(スマートフォンやタブレットで楽しむ)

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

ネットワーク機能でできること

すでにインターネットにつないでいるパソコンやスマートフォンと同じルーターに本機をつなぐと、次の機能をお使いいただけます。

<p>本機でインターネット情報を楽しむ</p> 	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• 予約ランキング(35ページ)、視聴数(48ページ)• BD特典映像(95ページ)• ドラマ・アニメガイド(32ページ)• 関連動画(49ページ)
<p>スマートフォン、タブレットと連携して楽しむ</p> 	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• ルームリンク／家じゅうどこでも視聴(96ページ)• 外からどこでも視聴(97ページ)• 外から録画予約(98ページ)• ワイヤレスおでかけ転送(98ページ)
<p>「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画する</p>  <p>「スカパー！プレミアムサービス」チューナー／CATVチューナー</p>	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• LAN録画(99ページ)• LANムーブ(100ページ)
<p>番組を別の部屋で見たり、プラビアの番組表から録画予約する</p> 	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• ネットワーク録画予約(101ページ)• ルームリンク(96ページ)
<p>他のブルーレイディスクレコーダーから取り込む</p> 	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• お引越しダビング(86ページ)
<p>パソコンから音楽を取り込む</p> 	<p>➤</p> <ul style="list-style-type: none">• 音楽取り込み(88ページ)

準備1: インターネットにつなぐ

すでにインターネットにつないでいるパソコンやスマートフォンと同じルーターに本機をつなぎます。

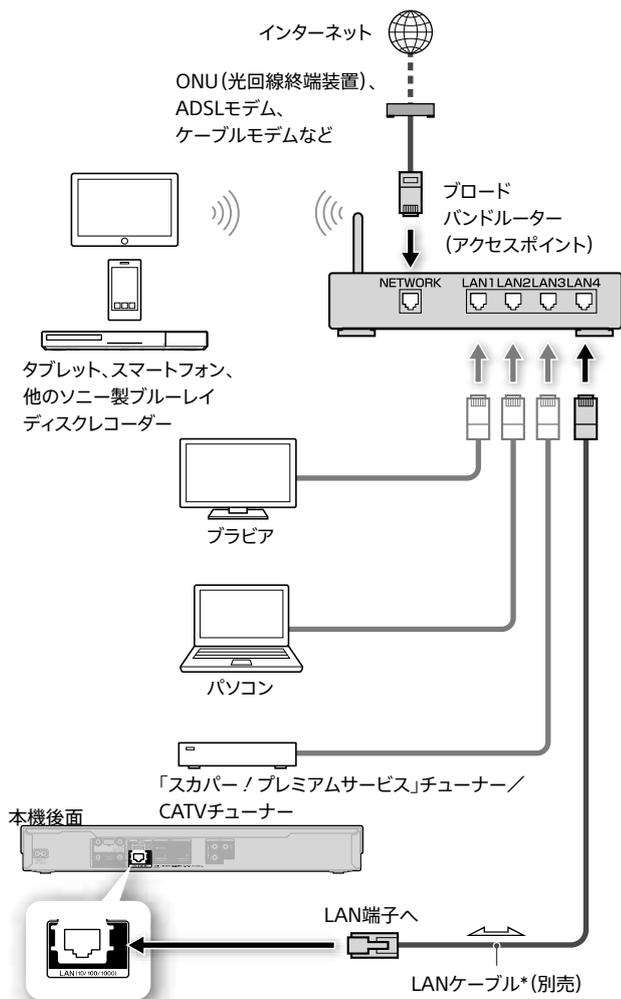
ちょっと一言

- お客様の環境について詳しくは、ご家庭でネットワークを設置された方にご確認ください。接続や設定でわからない用語は、「用語集」(160ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本機は、有線と無線を同時に利用できません。
- 推奨する無線環境はIEEE 802.11n規格です。
- 無線の電波状況によっては通信が途切れたり、正常に通信できなかったりするおそれがあります。
- 本機につなぐルーターなどは、電気通信事業法に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。

有線 (LANケーブル) でつなぐ

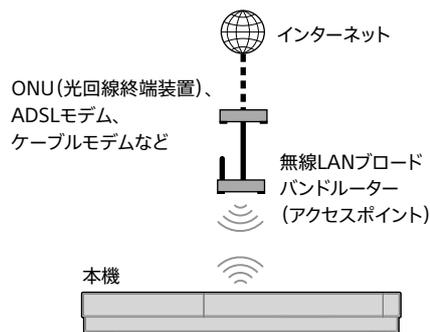


* LANケーブルは、カテゴリ5e以上のご使用をおすすめします。

無線でつなぐ

無線LANは、すべてのご利用環境で動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり、接続できなかったりすることがあります。設置、接続や使用環境について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>



準備2:かんたんネットワーク設定をする

- ④ あらかじめ、次のことをしてください。
- インターネットにつなぐ (91ページ)。

画面の指示に従って、簡単にネットワーク設定ができます。

1 準備をする。

有線でつなぐ場合

ルーターとLANケーブルの接続が終わったら、次の手順2から設定を始めてください。

無線でつなぐ場合 (内蔵無線LAN)

お使いのルーターにWi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンがあるときは*1

設定の途中で、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンを利用することができます。あらかじめボタンの位置を確認し、次の手順2から設定を始めてください。

お使いのルーターにWi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンがないときは*1

設定の途中で、SSIDや暗号キー*2が必要になります。ルーターのSSIDと暗号キーを以下に書き写してください*3。

SSID:

暗号キー:

*1 Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンの有無は、ルーターの取扱説明書でご確認ください。AOSS (バッファロー) や、らくらく無線スタート (NEC) 搭載のルーターの場合、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) に対応しているかご確認ください。

*2 暗号キーはルーターのメーカーによっては「暗号化キー」「セキュリティキー」「ネットワークキー」「KEY」「パスワード」と呼ばれています。

*3 SSIDや暗号キーがわからない場合は、ルーター本体や取扱説明書を確認するか、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

2 かんたんネットワーク設定をする。

《ホーム》ボタンを押します。

[設定/お知らせ] > [かんたん設定] > [かんたんネットワーク設定] を選び、《決定》ボタンを押します。

画面の指示に従い、最後まで設定操作を行ってください。途中で中断した場合、設定は反映されません。

ちょっと一言

- ネットワーク設定とホームサーバー設定について詳しくは、[かんたんネットワーク設定] (107ページ) をご覧ください。

有線でつなぐ準備をしたときは

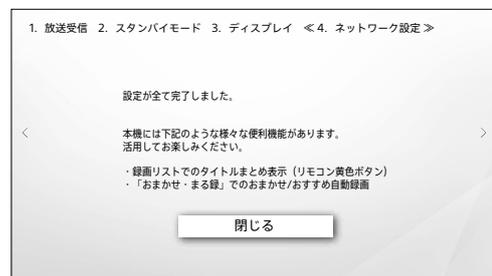
配線を確認し、接続診断を行います。画面に従って進めてください。

無線でつなぐ準備をしたときは

接続を確認し、アクセスポイントを登録します。次のいずれかの方法で登録してください。



- [かんたん登録] を選び、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンを押す。
- リストからSSIDを選び、パスワードを入力する。*
 - * 画面に表示されたキーボードでパスワードを入力するときに、《赤》ボタンを押す(または画面上の[パスワード表示]を選び、《決定》ボタンを押す)と、文字を表示しながらパスワード入力ができます。
- [アクセスポイントの情報を直接入力] を選び、登録内容を直接入力 (セキュリティ設定を含む)。セキュリティは高い設定をおすすめします。詳しくは「無線LANのセキュリティについて」(146ページ) をご覧ください。最後に接続診断を行い、本機がネットワークに接続できているか確認します。



ご注意

- [かんたん登録] で登録する場合、セキュリティが「WEP」に設定されているアクセスポイントは登録できません。
- セキュリティが「なし」に設定されているアクセスポイントは、本機で検索して登録しようとしても検索対象になりません。[かんたん登録] または [アクセスポイントの情報を直接入力] で登録してください。

- ホームサーバー機能が「入」になるため、同じネットワークに接続しているクライアント機器からアクセスが可能になります。ネットワーク環境によっては、他人からアクセスできる状態になっている可能性もあります。ルーターを設置したり、無線LANを暗号化するなど、お使いの環境にあわせてセキュリティに注意してご使用ください。お客様の環境について詳しくは、ご家庭でネットワークを設置された方にご確認ください。

ご注意

- 本機がインターネット接続を伴う機能は、インターネット接続プロバイダーへの、接続料金などの費用が発生します。
- 外出先から録画予約や視聴を行うときは、本機がインターネットに常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。

ネットワークに接続できないときは

次のことを確認して、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

- ルーターなどの電源が入っているか確認してください。

有線LANで接続できないときは

- 本機とルーターがLANケーブルで接続できているか確認してください。

無線LANで接続できないときは

- 電波が弱いかもしれません。ルーターの位置や向きを変えて試してください。
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) またはAOSS接続の場合、ルーターの電波が一時的に弱くなることがあります。接続時のみ、ルーターを近くに持っていき試してください。
- セキュリティを[なし]に設定している場合、ホームサーバー機能が使えません。ルーターでセキュリティを設定してください。

さらに詳しいQ&Aについては、「困ったときは」の「ネットワーク」(131ページ)や下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

- セキュリティ機能の種類については、「無線LANのセキュリティについて」(146ページ)をご覧ください。

インターネット接続を伴うサービスに関する免責事項

- ソニーは、理由の如何を問わず、以下について、一切の責任を負わないものとします。
 - 各サービス(ソニーグループが提供するものを含む)を提供する事業者によるサービス内容。
 - 各サービスが予告なく変更・中止されること。
 - 各サービスの提供の遅延または中断等。
 - 各サービス事業者が使用している通信回線の障害、切断、停止等を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
 - ユーザーの利用する通信回線の種別や回線交換機固有の事情を原因とするサービスの全部または一部の機能不能。
 - 上記によりユーザーまたはその他の第三者に生じた損害。

準備3: ホームサーバー上の機器を登録する

本機と通信する機器を登録してください。登録した機器から本機を操作することができるようになります。

ちょっと一言

- 登録できるクライアント機器の台数には制限があります。

スマートフォンやタブレットを登録する場合

☞ 次のページも参考にしてください。

- ルームリンク/家じゅうどこでも視聴 (96ページ)
- 外からどこでも視聴 (97ページ)
- 外から録画予約 (98ページ)
- ワイヤレスおでかけ転送 (98ページ)

設定・操作方法について詳しくは、下記Webサイトをご覧ください。

XperiaなどのAndroid™搭載機器、iPhone、iPadなどに対応した導入手順を紹介しています。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>



1 モバイル機器に「Video & TV SideView」アプリをインストールする。

「Video & TV SideView」アプリ(無料)の他、著作権保護コンテンツを再生するための「Video & TV SideView プレーヤープラグイン」*アプリ(有料)をインストールする必要があります。

* 家じゅうどこでも視聴、外からどこでも視聴、ワイヤレスおでかけ転送の機能をご利用の場合。

2 アプリを操作し、本機のクライアント機器として登録する。

登録画面に本機が表示されないときは、「困ったときは」の「ホームサーバー機能対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から本機が見つからない。」(131ページ)をご覧ください。

3 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認/登録する。

[クライアント機器登録方法]を[自動]にしている場合
ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[登録機器一覧]で本機に登録されている機器を確認できます(114ページ)。

[クライアント機器登録方法]を[手動]にしている場合
ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[未登録機器一覧]でホームネットワーク上のクライアント機器を選び、登録します(114ページ)。

「スカパー!プレミアムサービス」やCATVチューナー(STB)を登録する場合

☞ 次のページも参考にしてください。

- LAN録画 (99ページ)
- LANムーブ (100ページ)

1 チューナー側で設定をする。

チューナーで本機が録画先になるようにネットワーク設定をします。

詳しくはチューナーの取扱説明書やご加入のCATV局からのお知らせをご確認ください。ソニー製チューナーは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/cs-tuner>

2 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認/登録する。

[クライアント機器登録方法]を[自動]にしている場合
[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[登録機器一覧]で本機に登録されている機器を確認できます(114ページ)。

[クライアント機器登録方法]を[手動]にしている場合
[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[未登録機器一覧]でホームネットワーク上のクライアント機器を選び、登録します(114ページ)。

BDの特典映像を楽しみたい

BD-LIVEロゴ*が記載されたBD-ROMには、スペシャルコンテンツ(BONUSVIEW)や、インターネット経由で外部メモリー(ローカルストレージ“local storage”)にダウンロードして楽しむコンテンツ(BD-LIVE)などが用意されているものがあります。詳しくは「BDの特典映像を楽しみたい」(52ページ)をご覧ください。

* BD-LIVE™

テレビやパソコンなどの他機器を登録する場合

☞ 次のページも参考にしてください。

- ルームリンク/家じゅうどこでも視聴(96ページ)
- お引越しダビング(86ページ)
- 音楽を取り込む(88ページ)

1 テレビやパソコンなどのネットワーク関連の設定をする(お使いの機器の取扱説明書をご覧ください)。

2 ホームネットワークで本機を操作できる機器を確認/登録する。

[クライアント機器登録方法]を[自動]にしている場合
ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[登録機器一覧]で本機に登録されている機器を確認できます(114ページ)。

[クライアント機器登録方法]を[手動]にしている場合
ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[通信設定]>[ホームサーバー設定]>[未登録機器一覧]でホームネットワーク上のクライアント機器を選び、登録します(114ページ)。

人気のある番組を録画したい(予約ランキング)

予約数の多い番組をランキング表示し、人気のある番組を録画できます。

ホームメニュー>[録画する]>[ランキングから予約]を選ぶと、予約されている番組のランキングが表示されます。ランキングから番組を選んで予約できます。

ランキングに関する情報はインターネット経由で取得するため、ネットワークへの接続と設定が必要です。詳しくは、「人気のある番組を録画したい(予約ランキング)」(35ページ)をご覧ください。

ドラマ・アニメの新作番組や人気のある番組を録画したい(新作ドラマ・アニメガイド)

「ドラマ・アニメの新作番組や人気のある番組を録画したい(新作ドラマ・アニメガイド)」(32ページ)をご覧ください。

録画した番組に関連する番組を録画・再生したい(関連動画)

「録画した番組に関連する番組を録画・再生したい(関連動画)」(49ページ)をご覧ください。

番組を別の部屋で見たい(ルームリンク/家じゅうどこでも視聴)

スマートフォン・タブレット

ネットワークを経由して、次の本機コンテンツをテレビやパソコン、スマートフォン、タブレットで再生できます。

- 録画タイトル。
- 放送中のテレビ番組。

設定・操作方法について詳しくは、下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

ソニールームリンク/家じゅうどこでも視聴に対応した機器やアプリが必要です。

動作推奨機器、XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhoneやiPadのアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>

<https://www.sony.jp/support/bd/>

デジタル放送の番組を見るときのご注意

- 著作権保護されたデジタル放送の番組を見るには、DTCP-IP*規格に対応した、再生機器/アプリが必要です。
- DRモードの録画(MPEG2形式)は、多くの機器で再生できます。テレビからLAN経由で見たい番組は、DRモードの録画をおすすめします。DRモード以外(MPEG4 AVC形式)はテレビが対応しているか確認してください。ただし、DRモードで録画されていても、LAN録画/LANムーブした番組はMPEG2以外の形式になっていることがあります。
- Windows®標準のWindows Media Playerは、DTCP-IP非対応のためデジタル放送の番組は再生できません。

ちょっと一言

- ネットワーク機器やアプリがWake on LAN*2機能に対応している場合、本機が電源「切」状態でWake on LAN信号を受けると内部的に電源が入り、配信可能状態になります。

*1 DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol)とは、著作権保護を目的とした規格です。

*2 Wake on LAN(WOL、ウェイク オン ラン)は電源が入っていない状態で、ネットワークからの信号を受け取ると自動的に起動する機能のことです。お使いの機器やアプリがWake on LANの送信に対応しているかは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」

>スマートフォンやタブレットを登録する場合

(94ページ)、テレビやパソコンなどの他機器を登録する

場合(95ページ)

2 再生する/番組を見る。

テレビやパソコンのときは

テレビやパソコンから操作をします。

操作方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンやタブレットのときは

モバイル機器をホームネットワーク上で接続し、アプリから操作して視聴してください。

「快適視聴モード」とは

モバイル機器で録画タイトルを再生するまでの時間短縮など、より快適に視聴できます。

本機でおでかけファイルの作成が必要です(69、111ページ)。

他機器で操作できるコンテンツか確認するには

が表示されているタイトルは他機器で再生できます。

▶を押して[タイトル説明](158ページ)を選びます。

高速でダビング/ムーブバックしたタイトルを他機器で再生するには

BDまたはDVD(AVCHD形式)から本機に高速でダビングした映像(タイトル)は、他機器から再生操作できないことがあります。おでかけファイルを作成できるか試すことで、他機器で操作できるか確認できます。次の操作を行ってください。なお、確認には番組の長さと同程度の時間がかかります。

1 ホームメニューから[おでかけファイル作成]を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。

[削除/編集]>[タイトル変換]>[おでかけファイル作成]を選び、《決定》ボタンを押します。

2 他機器で再生したいタイトルを選んで、[作成開始]する。

タイトル情報に  が表示されれば、他機器からも操作できます。

外出先で番組を見たい (外からどこでも視聴)

スマートフォン・タブレット

ご注意

- 編集したタイトルを他機器で再生すると、映像が乱れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- 機器によっては、タイトルの名前が正しく表示されないことがあります。
- お使いのホームネットワーク環境によっては、再生中に映像や音声途切れることがあります。
- 無線LAN使用時に映像や音声途切れる場合、本機、アクセスポイント(無線LANルーター)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確認してください。それでも改善できないときは、本機を有線LANで接続し、試してみてください。
- 本機から出力される動画を他機器で再生するとき、本機で再生するときでは、見えかたが若干異なることがあります。
- 放送中の番組を見るときは、実際の放送より少し遅れます。
- 二か国語放送で、二重音声の場合、ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[録画/ダビング設定]>[二重音声記録]で選んだ音声になります。
また、[音声1]/[音声2]がある場合は、[音声1]になります。
- 字幕放送の場合、再生するクライアント機器によっては、字幕を表示できません。
- 家じゅうどこでも視聴と外からどこでも視聴を合わせて、同時にクライアント機器最大2台まで視聴できます。

以下のことはできません

- 次のタイトルを他機器で再生すること。
 - プレイリスト。
 - 録画モードなどの異なるタイトルを結合したタイトル。
 - 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクのタイトル。
 - タイトル編集中のタイトル。
 - タイトルダビング中のタイトル。
 - 視聴年齢制限付きのタイトル。
 - 他機器で撮影した3D映像や1080/60p映像。
 - MP4形式の動画。
 - BD(BD-R、BD-RE)より移動(ムーブバック)したタイトル*。
 - DVD(AVCHD形式)から内蔵ハードディスクに取り込んだタイトル*。
- * おでかけファイルを作成できるか試すことで、他機器で操作できるか確認できます。
- 写真。
- 音楽。
- 次のような場合に、本機のタイトルを他機器で再生すること。
 - 本機の通信設定を変更しているとき。
 - DVDダビングやBDなどでダビングモードを変更したダビング中。

外出先からインターネットを経由して、本機で録画した番組(タイトル)や放送中の番組をスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で視聴できます。

設定・操作方法について詳しくは、下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

外からどこでも視聴に対応した機器やアプリが必要です。動作推奨機器、XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhoneやiPadのアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>

<https://www.sony.jp/support/bd/>

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」

>スマートフォンやタブレットを登録する場合(94ページ)

2 再生する/番組を見る。

モバイル機器を外出先でインターネット接続し、アプリから操作して視聴してください。

「快適視聴モード」とは

モバイル機器で録画タイトルを再生するまでの時間短縮など、より快適に視聴できます。

本機でおでかけファイルの作成が必要です(69、111ページ)。

ちょっと一言:

- 外からどこでも視聴は、同時にクライアント機器最大1台まで視聴できます。複数のクライアント機器から同時に視聴できません。
- 放送中の番組を視聴できる放送局、詳しい情報については下記Webサイトをご覧ください。
- 「Video & TV SideView」アプリは定期的に登録期限の更新が必要です。期限の90日に近づくとアプリに警告が表示されます。ホームネットワーク上でモバイル機器側から、録画番組の視聴などを行ってください。詳しくは、下記Webサイトをご覧ください。
<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>
- 外からどこでも視聴するには、本機にアンテナケーブルを正しく接続しデジタル放送から時刻を受信する必要があります。
- 操作制限などについては、「番組を別の部屋で見たい(ルームリンク/家じゅうどこでも視聴)」の「ご注意」および「以下のことはできません」(97ページ)をご覧ください。

外出先から録画予約したい(外から録画予約)

スマートフォン・タブレット

スマートフォンやタブレットなどのリモート操作できるモバイル機器で外出先からインターネットを経由して、本機に録画予約したり、本機に録画した番組を整理したりできます(リモート録画予約)。

設定・操作方法について詳しくは、下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

外から録画予約に対応した機器やアプリが必要です。動作推奨機器、XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhoneやiPadのアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>

<https://www.sony.jp/support/bd/>

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」
>スマートフォンやタブレットを登録する場合(94ページ)

2 録画予約や録画した番組(タイトル)を整理する。

モバイル機器を外出先でインターネット接続し、アプリから操作してください。

ご注意

- リモート録画予約をしても、本機の状態や、ネットワーク回線が混雑しているときなどは、録画予約の情報が本機に届くまで時間がかかることがあります。
- 本機の修理・交換等によりリモート録画予約サービスの再登録が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

以下のことはできません

- リモート機器を6台以上本機に登録すること。
- 次の場合にリモート録画予約すること。
 - ディスクの容量が不足している場合。
 - 重複する予約を後から、本機や他の機器から行った場合。
 - 録画予約に影響する操作を本機で行った場合。
 - B-CASカードが挿入されてない場合(地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の場合)。

接続先およびその目的について

本機能では下記のサーバーへ接続しています。

- 接続先:
 - リモートからの録画予約機能などを提供するサーバー
- 運営元: ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
- 目的: リモート機器の登録や録画予約などのため

ワイヤレスおでかけ転送したい

スマートフォン・タブレット

録画した番組(タイトル)をスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器に、ワイヤレスおでかけ転送できます。HD画質の番組をそのまま転送することもできます。

設定・操作方法について詳しくは、下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

ワイヤレスおでかけ転送に対応した機器やアプリが必要です。動作推奨機器、XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhoneやiPadのアプリ、ネットワーク接続方法、よくあるご質問など、詳しい情報は下記Webサイトおよびホームページをご覧ください。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>

<https://www.sony.jp/support/bd/>

ワイヤレスおでかけ転送とは

録画した番組をネットワーク経由で無線モバイル機器に持ち出す機能です。

- ワイヤレスおでかけ転送
おでかけ転送用に画質を抑えたファイルを転送します。
- ワイヤレスおでかけ転送フルHD
HD画質の録画ファイルをそのまま転送します。

転送できる機器について

XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhone、iPadなどの無線モバイル機器

ご注意

- USB接続でおでかけ転送はできません。
- デジタル放送の **2** → ~ **10** → が付いたタイトルをワイヤレスおでかけ転送すると、本機のタイトルから移動した回数が減り、本機には戻せません。
- ワイヤレスおでかけ転送は、DLNAの技術とDTCP-IPの暗号化技術を利用しています。
転送先の無線モバイル機器側がDLNAやDTCP-IPに対応していないと、ワイヤレスおでかけ転送はできません。

「スカパー！プレミアムサービス」 やCATVを録画したい(LAN録画)

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」
> スマートフォンやタブレットを登録する場合 (94ページ)

2 録画後におでかけファイルが作成される設定にする。

[録画後自動作成]を[入]にします(111ページ)。

3 ワイヤレスおでかけ転送する。

モバイル機器にインストールしたアプリを操作して転送してください。

おでかけファイルとは

ワイヤレスおでかけ転送に必要なファイルです。
録画したタイトルをワイヤレスおでかけ転送したい場合は、事前に「おでかけファイル」を作成してください。
「おでかけファイル」が作成されているか確認するには、転送したいタイトルを選び▶を押して[タイトル説明]を選びます(155ページ)。

おでかけファイルを作成するには

ワイヤレスおでかけ転送できないときは、おでかけファイルを作成してください。
「録画した映像のおでかけファイルを作成したい」(69ページ)をご覧ください。

ご注意

- ワイヤレスおでかけ転送が正常にできないときは、本機を有線LANで接続し、試してみてください。
- モバイル機器の性能によっては転送できないことや、転送できても再生できないことがあります。
- 視聴年齢制限付きタイトルは転送できないことがあります。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 本機への録画可能時間について(143ページ)。
- 録画が重なったときに優先順位を変更したい(38ページ)。

「スカパー！プレミアムサービス」やCATVチューナー(STB)の番組表から、本機に有線LAN経由で録画予約したり、対応チューナー(STB)で録画した番組を本機にムーブしたりできます。

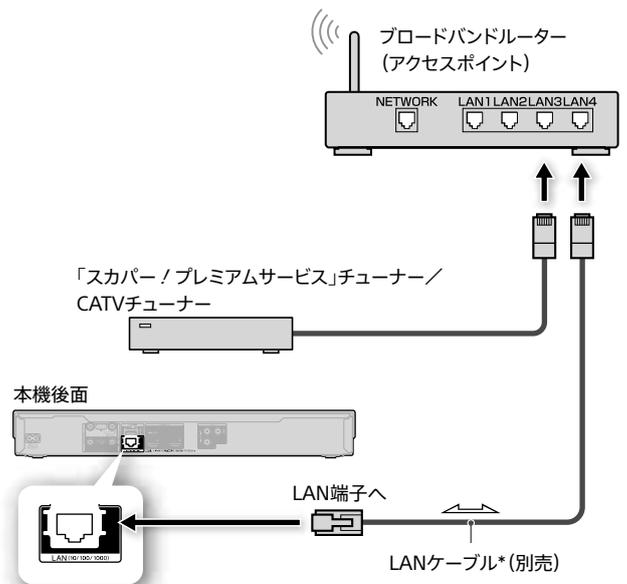
ご注意

- 「スカパー！プレミアムサービス」は、本機で受信可能なBSや110度CSのスカパー！とは異なります。対応アンテナとチューナーが必要です。
- **有線LANをお使いください。無線LANでのLAN録画はできません。**
- 無線LANから有線LANに設定を変更した場合は、チューナー側で録画機器の再設定をしてください。
- 本機能は通信速度が落ちるなどの通信品質低下により、映像の乱れや、番組が録画/ムーブされないことがあります。ムーブ元チューナーの仕様によっては、本機へのムーブが完了しない場合でもムーブ元チューナーから番組が削除されることがあります。詳しくはチューナーの取扱説明書をご覧ください。

1 準備する。

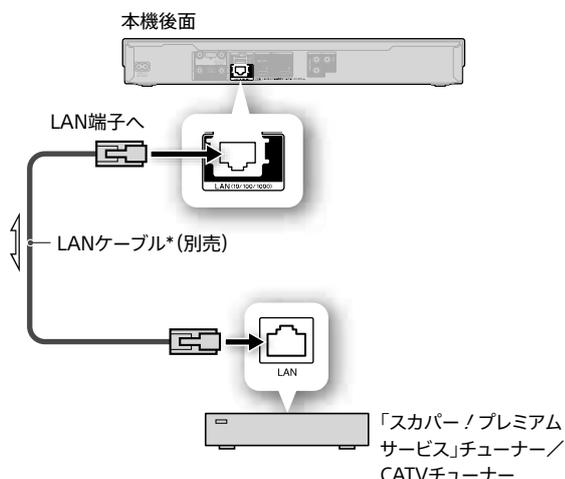
本機と「スカパー！プレミアムサービス」チューナー/ CATVチューナーをつなぎます。
ネットワーク経由でつなぐ方法とLANケーブルで直接つなぐ方法があります。

ネットワーク経由でつなぐには
ネットワークへは有線LANで接続してください。



* LANケーブルは、カテゴリ5e以上のご使用をおすすめします。

直接LANケーブルでつなぐには
インターネットを使わない場合、直接LANケーブルをつ
ないで利用できます。



* LANケーブルは、カテゴリ5e以上のご使用をおすすめしま
す。

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ペー
ジ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」
> 「スカパー！プレミアムサービス」やCATVチューナー
(STB) を登録する場合」(94ページ)

2 録画予約する。

チューナーと本機の電源を入れ、テレビの入力をチュー
ナーに切り換えて、チューナー側で録画予約します。
チューナー側で録画予約すると、チューナーから本機に
予約設定が転送され、録画予約が行われます。
録画が開始されると本機の録画リストに録画中の番組が
表示されます。

ご利用のCATVチューナー (STB) が、LAN録画に対応して
いることを確認してください。
「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画) に対応する
「スカパー！プレミアムサービス」チューナーについて詳
しくは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>

予約状況を確認するには

チューナーと本機の電源を入れ、本機側で予約状況を確認し
ます (38ページ)。

予約を削除するには

チューナーと本機の電源を入れ、テレビの入力をチューナー
に切り換えて、チューナー側で予約を削除します。

録画途中の番組を追いかけ再生するには

《録画リスト》ボタンを押します。

録画中のタイトル (●のアイコンが付いている) を選び、《決
定》ボタンを押します。

ハードディスク内蔵チューナーに録画した番組
を本機にコピーするには (LANムーブ)

操作方法については、チューナー側の取扱説明書をご覧くだ
さい。

チューナー側が「スカパー！プレミアムサービスLink」(ダビン
グ) や、LAN経由のダビング／ムーブ機能に対応している必要
があります。

番組の長さと同程度の時間がかかります。

対応チューナーについては、下記ホームページでご確認くだ
さい。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

ご注意

- 録画モードはDRモードとなり、チューナーからの入力をそのまま記
録します。画質はチューナー側の入力によります。
- [自動チャプターマーク] (111ページ) を [入] にしても、約6分間
ごとのチャプターに区切られます。
- 12時間を超えるタイトルのLAN録画やLANムーブはできません。時
間指定予約などで12時間以下になるように分けてください。
- LAN録画／LANムーブしているときは、チューナーの電源を切らな
いください。録画が中断されます (本機のみ電源を切っても、
録画は行います)。
- 視聴年齢制限のある番組は、必ずチューナーの番組表から録画予
約してください。日時指定で録画予約した場合、録画中に視聴年齢
制限の設定が異なる番組に切り換わると、録画が中断されること
があります。
- LAN録画／LANムーブは、番組の最初と最後が記録されないこと
があります。

以下のことはできません

- LANムーブ中のタイトルを再生すること。
- ラジオ番組をLAN録画／LANムーブすること。

ブラビアの番組表から録画予約したい(ネットワーク録画予約)

ネットワーク録画予約対応のブラビアをお使いの場合、ブラビアの番組表から本機に録画予約できます。

1 準備する。

ネットワーク機能を使う準備をします。

「準備1: インターネットにつなぐ」(91ページ)

「準備2: かんたんネットワーク設定をする」(92ページ)

「準備3: ホームサーバー上の機器を登録する」
> テレビやパソコンなどの他機器を登録する場合 (95ページ)

2 ブラビアの番組表で録画予約する。

本機に予約設定が転送され、録画予約が行われます。

ネットワーク録画予約に対応するブラビアについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

ちょっと一言

- 「ブラビアリンク」に対応した一部のブラビアでは、「ネットワーク録画予約」に対応していても、ブラビアの番組表から録画予約できません。
詳しくは、「ブラビアリンクを設定したい」(117ページ)をご覧ください。
ブラビアの設定についてはブラビアの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ブラビアの番組表からの録画予約は、番組放送日時が変更になっても、変更に従わず指定された日時で録画します。必要に応じて、本機の番組表からの録画予約をしてください。

他のBDレコーダーから取り込みたい(お引越しダビング)

「他のBDレコーダーから取り込みたい(お引越しダビング)」(86ページ)をご覧ください。

パソコンから音楽を取り込んで聴きたい(ハイレゾ音源対応)

パソコンから音楽を取り込みたい

「パソコンから音楽を取り込みたい(ハイレゾ音源対応)」(88ページ)をご覧ください。

パソコンから取り込んだ音楽を再生したい

「パソコンから取り込んだ音楽を再生したい(ハイレゾ音源対応)」(57ページ)をご覧ください。

その他の機器と接続して使う

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

CATVやスカパー！との接続

STB (CATVチューナー)がない場合

「接続と準備をする」(10ページ)をご覧ください。

STB (CATVチューナー)がある場合

CATV会社によって、放送と伝送方式が異なります。方式によって、本機での録画の方式が異なりますので、ご利用のCATV会社や施設の管理者にご確認ください。

A社の例

地上デジタル放送: パススルー方式
BS/110度CS放送: トランスモジュレーション方式
「接続と準備をする」(13ページ)をご覧ください。

B社の例

地上デジタル/BS放送: パススルー方式
110度CS放送: トランスモジュレーション方式

C社の例

地上デジタル放送: トランスモジュレーション方式
BS/110度CS放送: トランスモジュレーション方式
「CATVやスカパー！チューナーなどを外部入力につないで録画したい」(103ページ)をご覧ください。

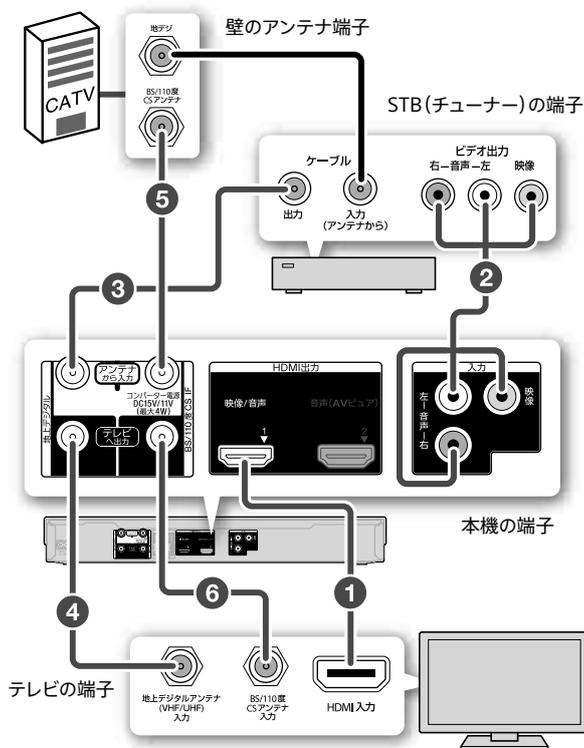
ちょっと一言

- パススルー方式の場合、STB (チューナー)と本機をアンテナケーブルで接続することで放送を受信できます。番組表から録画予約できます。
- トランスモジュレーション方式の場合、STB (チューナー)を使って放送を受信する必要があります。STB (チューナー)と本機を音声/映像ケーブルで接続し、外部入力を受信します。録画するには、外部入力録画 (43ページ)、またはLAN録画 ((99ページ)を使います。

CATVやスカパー！をネットワークにつないで、高画質で録画したい

ネットワークにつなぐと、「スカパー！プレミアムサービス」やCATVチューナー (STB) の番組表から、本機に有線LAN経由で録画予約できるようになります。ご利用のCATVチューナー (STB) が、LAN録画に対応していることを確認してください。詳しくは、「スカパー！プレミアムサービス」やCATVを録画したい (LAN録画) (99ページ)をご覧ください。

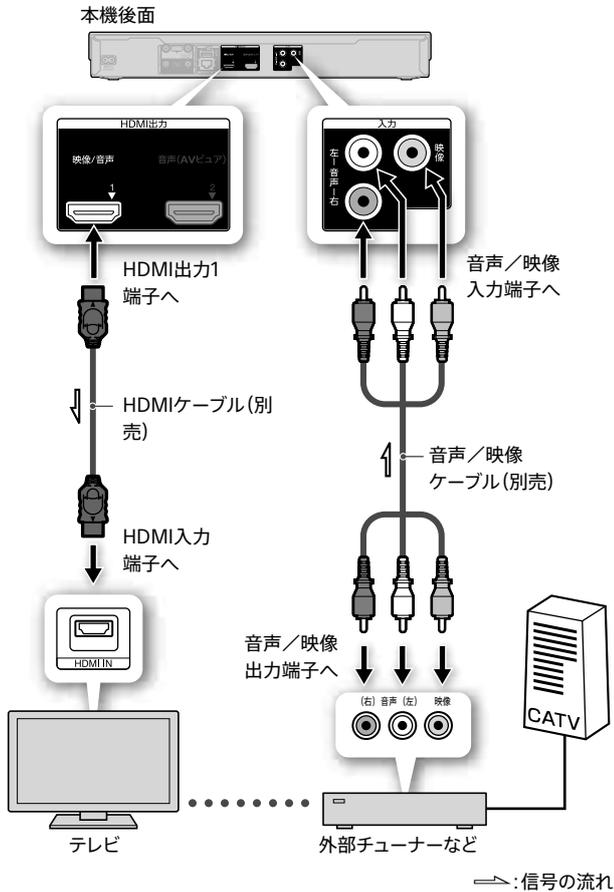
<https://www.sony.jp/support/bd/>



5、6の接続には別売のBS/CSアンテナケーブルをお使いください。その他のケーブルについては、「接続と準備をする」(13ページ)をご覧ください。

AVアンプやホームシアターシステムとの接続

CATVやスカパー！チューナーなどを外部入力につないで録画したい



録画するには

この接続では本機の番組表から録画予約できません。「外部入力から録画するには」(43ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- ソニー製のHDMIハイスピードケーブルを推奨します。

ご注意

- 著作権者等によって複製を制限する旨の信号が含まれている番組は録画できないことがあります。
- 映像が乱れる場合、外部チューナーを直接テレビにつないで視聴してください。
- 本機には標準画質で映像が入力されるため、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画できません。
- AVマウスでの録画には対応していません。

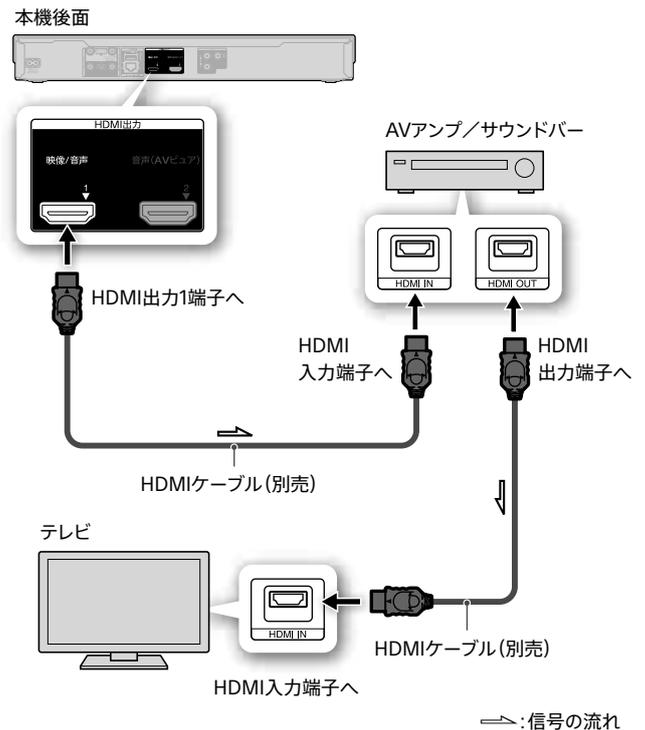
AVアンプやホームシアターシステム、サウンドバーをつなぐと、本機から出力される音声を高音質で楽しめます。お使いの環境に合わせて「音声設定」を正しく設定してください(109ページ)。

ハイレゾ音源を楽しむには

AVアンプおよびハイレゾ対応のスピーカーやサウンドバーなどをつなぐと、ネットワーク経由でパソコンから本機に取り込んだハイレゾ音源を高音質で再生できます(57ページ)。

高音質で再生したい

次の図のようにつなぐと、本機のHDMI出力1端子から映像と音声が出されます。音声はAVアンプやホームシアターシステム、サウンドバーで再生され、映像はAVアンプやホームシアターシステム、サウンドバー経由でテレビに出力されます。つなぐ機器すべてが4K/3Dに対応していると、4K/3D映像をそのままの画質でテレビに表示できます。



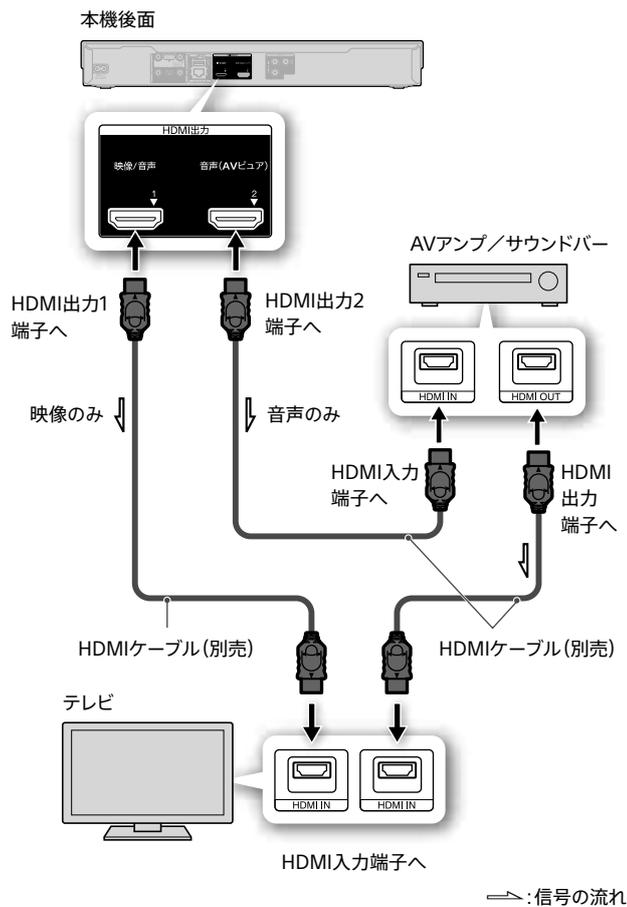
ちょっと一言

- 4K/HDR映像を楽しむには、テレビやAVアンプ、ホームシアターシステム、サウンドバーなどの接続と設定を確認してください。
 - プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps対応のHDMIケーブルで、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)に対応したHDMI端子につないでいるか確認してください。
 - テレビやAVアンプのHDMI信号フォーマット設定を確認してください。ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。

外付けハードディスクとの接続／登録(SeeQVault対応)

より高画質／高音質で再生したい (AVピュア出力)

次の図のように映像と音声を別々のHDMIケーブルでつなぐと、HDMI出力1端子からは映像のみ、HDMI出力2端子から音声のみが出力され、より高画質／高音質を楽しめます。この接続の場合、AVアンプやホームシアターシステム、サウンドバーが4K/3D非対応でも、テレビが4K/3Dに対応していると、本機で再生する4K/3D映像をそのままの画質でテレビに表示することができます。



→ : 信号の流れ

高画質／高音質で再生するには

映像(タイトル)を再生中に《オプション》ボタンを押し、[画質／音声設定] > [AVピュア出力設定] > [自動]または[入]を選び、《決定》ボタンを押します。

詳しくは「高画質／高音質で再生したい (AVピュア出力)」(55ページ)をご覧ください。

ご注意

- AVアンプやサウンドバーをテレビとつないでいる場合、設定によっては、AVアンプ／サウンドバーの音が出なかったりすることや、AVピュア出力機能が自動で有効になったり解除されたりを繰り返すことがあります。対処方法については「困ったときは」の「AVピュア出力機能使用時に音声が出ない」(130ページ)をご覧ください。

☞ 次のページも参考にしてください。

- 外付けハードディスクに録画する (27ページ)。
- 外付けハードディスクにダビングする (77ページ)。
- 外付けハードディスクから内蔵ハードディスクにダビングする (77ページ)。
- 本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスク内の番組や映像を再生したい (44ページ)。

外付けハードディスクでできること

本機後面のUSB端子に容量32GB～6TBの外付けハードディスクをつないで、番組の録画、録画した番組の再生やダビング、編集をすることができます。

本機前面のUSB端子は、SeeQVault対応外付けハードディスクのみつなぐことができます。

SeeQVault対応外付けハードディスクの使いかたについては、「SeeQVault対応外付けハードディスクの特長」(105ページ)をご覧ください。

動作推奨機器について詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

	後面USB端子 (USB3.0対応)	前面USB端子 (USB 2.0対応)
対応している外付けハードディスク	SeeQVault対応／SeeQVault非対応とも使用可	SeeQVault対応のみ使用可
録画	○*1	×
再生	○	○
削除	○	○
タイトル検索	○	×
編集	○	×
ダビング(ダビング10)	○*2	×
ダビング(1回移動/ムーブ)	○	○
ワイヤレスおでかけ転送	○	×
ルームリンク/家じゅうどこでも視聴	○	×
外からどこでも視聴	○	×
お引越しダビング	○*3	×

*1 USB3.0対応外付けハードディスクは、複数番組を同時録画できます。USB2.0対応外付けハードディスクは、同じ時間に1番組しか録画できません。

*2 もう一台のSeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーにつなぐと、ダビングできる回数は10回から1回だけ移動になります。

*3 引越し先としては使用できません。

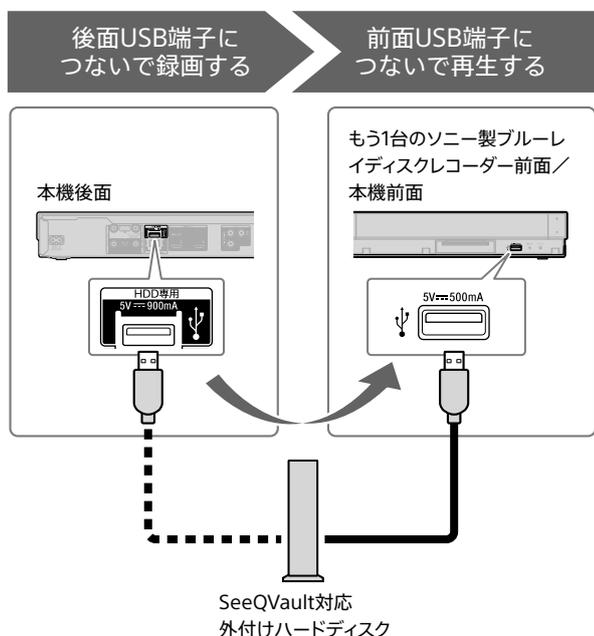
SeeQVault対応外付けハードディスクの特長

本機はSeeQVaultに対応しています。

SeeQVaultはハイビジョン画質のコンテンツをさまざまな機器で楽しむための著作権保護技術です。

SeeQVault対応外付けハードディスクを本機後面につないで番組を録りためると、もう1台のSeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーの前面USB端子につないで、再生したり、タイトルを移動(ムーブ)したりすることができます。移動したタイトルは、SeeQVault対応外付けハードディスクから削除されます。

初期化・登録したSeeQVault対応外付けハードディスクは、登録を削除した後も、本機やもう1台のソニー製ブルーレイディスクレコーダーの前面USB端子につないで使用できます。



対象機種や、本機につなぐことができるSeeQVault対応外付けハードディスクについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

外付けハードディスクの初期化・登録／取り外し

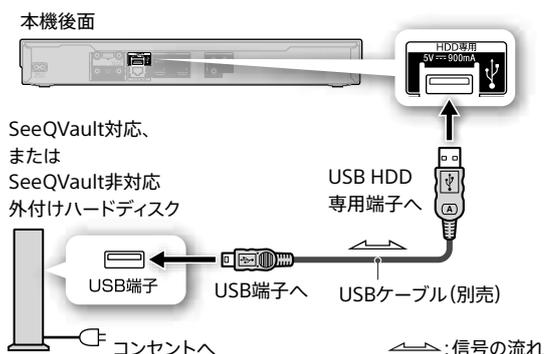
後面USB端子につないで初期化・登録する

- 未使用の外付けハードディスクを本機ではじめて使用するとき、初期化・登録が必要です。10台まで本機に登録できます。
- 本機で操作できない外付けハードディスクを本機で操作するには、初期化・登録が必要です。10台まで本機に登録できます。

登録／削除のご注意

登録または削除した後に再登録をすると、登録する機器専用に初期化され、外付けハードディスクの内容はすべて削除されます。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 本機後面のUSB端子にSeeQVault対応、または非対応の外付けハードディスクを接続する。



- 3 外付けハードディスクを登録する。

《電源》ボタンを押します。

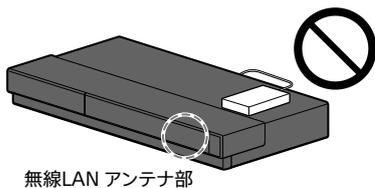
登録されていない外付けハードディスクを本機にはじめて接続したときは、画面に従って登録を行ってください。

ちょっと一言

- 外付けハードディスクの登録／削除は、ホームメニュー>[設定／お知らせ]>[詳細設定]>[本体設定]>[外付けUSB HDD設定]>[USB HDD登録]からも行えます(112ページ)。
- USBケーブルについて詳しくは、外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 外付けハードディスク1台に保存できるタイトル数は、最大10,000です。
- 外付けハードディスクが動作しない場合、外付けハードディスクのコンセントが接続されているか確認してください。本機のHDD USB専用端子からの電源供給だけでは足りないことがあります。

ご注意

- 外付けハードディスクは一時的な記録場所としてお使いいただき、大切なタイトルはBDなどにコピーすることをおすすめします。
- USB3.0対応外付けハードディスクを使用すると、2.4 GHz帯への電波干渉によってネットワークの通信速度が低下したり、不安定になることがあります。以下をお試しください。
 - 802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線LANブロードバンドルーターをお使いの場合、5 GHzで使用する。
 - 無線LANブロードバンドルーターが2.4 GHzのみの場合、外付けハードディスクは本機の上に置かない。本機の無線LANアンテナ部からできるだけ離して設置する。



以下のことはできません

- 本機に登録したSeeQVault非対応の外付けハードディスクを、他機器につないで再生すること。
- ハブを使って外付けハードディスクをつなぐこと。本機に直接つないでください。
- 論理セクタサイズが512B以外の外付けハードディスクを使うこと。

外付けハードディスクを取りはずすときは

1 設定画面を表示する。

《ホーム》ボタンを押します。
[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [外付けUSB HDD設定] > [USB HDD取り外し] (112ページ) を選び、《決定》ボタンを押します。

取りはずす外付けハードディスクを選ぶ画面が表示された場合

取りはずしたい外付けハードディスクを接続しているUSB端子 > [はい] を選び、《決定》ボタンを押します。処理が完了すると、外付けハードディスクを安全に取りはずすことができる旨のメッセージが表示されます。

2 メッセージを確認してから、外付けハードディスクを取りはずす。

ご注意

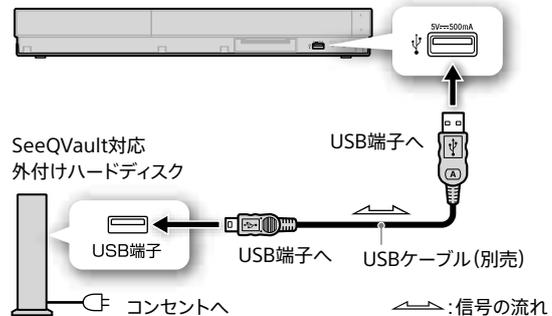
- 必ず、外付けハードディスクを安全に取りはずすことができる旨のメッセージを確認してから、外付けハードディスクを取りはずしてください。

もう1台のSeeQVault対応ソニー製ブルーレイディスクレコーダーの前面USB端子につなぐ

本機後面のUSB端子につないで番組を録画したSeeQVault対応外付けハードディスクを、もう1台のソニー製SeeQVault対応ブルーレイディスクレコーダー前面のUSB端子につなぎかえて使うことができます。外付けハードディスクの取りはずしかたについて詳しくは、「外付けハードディスクを取りはずすときは」(106ページ)をご覧ください。

1 SeeQVault対応の外付けハードディスクを接続する。

もう1台のソニー製ブルーレイディスクレコーダー



ビデオデッキとの接続

「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」(82ページ)の手順1をご覧ください。

ビデオカメラなどの機器との接続

USBケーブルでつなぐ

「USBケーブルを使って取り込みたい」(80ページ)の手順1をご覧ください。

映像ケーブルでつなぐ

「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」(82ページ)の手順1をご覧ください。

設定を変更する

これらの情報はWebでもご覧いただけます <https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

本機の設定を変更したい

設定画面でチャンネルや画質／音質などのさまざまな設定ができます。

1 ホームメニューから[設定／お知らせ]を選ぶ。

《ホーム》ボタンを押します。
[設定／お知らせ]を選びます。



2 項目を選ぶ。

設定したい項目を選び、《決定》ボタンを押します。

- かんたん設定 (107ページ)
- 詳細設定 (108ページ)
- 設定値一覧 (115ページ)
- お知らせ (115ページ)
- 困ったときは (116ページ)

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

- **ディスプレイ設定**
お使いのディスプレイに合わせて画質を設定します。
- **リモコン設定**
テレビの操作も本機のリモコンで行う場合に設定します。
- **番組表取得**
2日分の番組表を取得できます。
- **時刻設定**
地デジ／BSが受信できていれば表示されません。

かんたんネットワーク設定

ネットワーク機能 (90ページ) を使うための設定です。

- **ホームサーバー設定**
ホームサーバー機能を使用するために、次のとおり自動で設定されます。
サーバー機能: [入] に設定されます。
クライアント機器登録方法: [自動] に設定されます。
外からどこでも視聴: [許可する] に設定されます。
- **ネットワーク設定**
IPアドレス／DNS: DHCPサーバー機能を使って、自動で割り当てられます。
プロキシサーバー: [使用しない] に設定されます。
無線接続の場合は、アクセスポイントを [かんたん登録] または [アクセスポイントの情報を直接入力] のいずれかで登録します。
IPアドレスの手動設定やWi-Fi Protected Setup™ (WPS) PINコード方式入力など、詳細な設定をする場合は、ホームメニュー > [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [ネットワーク設定] で行えます (113ページ)。

かんたん設定

かんたん初期設定

本機を使ううえで必要な設定です。引越しやテレビの買い替え時などに再設定します。

- **地上デジタル放送受信設定**
郵便番号を入力してチャンネル設定します。ブラビアから連動できる場合もあります。
- **BS/CSデジタル放送受信設定**
- **スタンバイモードの設定**
待機状態からの起動を速くするか、消費電力を抑えるかを設定します。

詳細設定

映像設定

HDMI出力モード

お好みのHDMI出力モードを選ぶと、[HDMI出力解像度設定]や[4Kアップコンバート設定]などを自動で設定します。
[カスタム]を選ぶと、詳細設定ができます。

4Kブラビア専用高画質	「4K対応ブラビア」と連携し、高画質な映像をお楽しみいただけます。
高画質	接続されているディスプレイに応じて、最適な映像を表示します。
録画優先	長時間同時録画 (AVC) を優先して動作します。
安定出力	画質を下げることで安定した映像を表示します。 映像が映らない、乱れる場合にのみご使用ください。 「困ったときは」の「映像」の「映像が出ない、乱れる」(125ページ)をご覧ください。
カスタム	下記の詳細設定ができます。

HDMI出力解像度設定: HDMI1出力端子から出力される映像の解像度を [480p]、[720p]、[1080i]、[1080p]、[2160p] に変更できます。

通常は [自動] のままでお使いください。

Deep Color出力: 通常は [自動] に設定します。映像が乱れたときや色が不自然なときに [切] に設定します。

4Kブラビア最適画質: [入] を選ぶと、4K対応ブラビアに最適な画質で出力します。また、2K映像は2Kのまま出力します。

4Kアップコンバート設定: 4K対応テレビやプロジェクターなどに接続したとき、本機で視聴している番組および内蔵/外付けハードディスクやディスクのタイトルなどを4K映像にアップコンバートするかを設定します。

4K出力帯域制限: 通常は [自動] のままでお使いください。映像が乱れたり不安定になったりするときは、[入] に設定します。

ご注意

- [HDMI出力モード]の[CUSTOM]で[HDMI出力解像度設定]を設定する場合、4K出力は、[自動]または[2160p]のときのみ有効です。4K映像にアップコンバートするときは、[自動]または[2160p]に設定してください。
- [HDMI出力モード]の[CUSTOM]で[HDMI出力解像度設定]を設定する場合、[480p]のときは広色域情報は出力されません。

ディスプレイ種類

画質を最適化するために、お使いのディスプレイの種類を選びます。

画面モード

フル	画面いっぱいに表示したいときに選びます (放送やタイトルによっては、できないことがあります)。
ノーマル	映像の横縦比は維持したまま、映像サイズを変更します。

3D出力

自動	通常はこの設定にします。HDMI出力端子につないだ機器が3D表示に対応している場合に、3D映像の信号を出力します。
切	3D映像の信号を出力しません。2Dと3Dが混在したBD-ROMを2D再生する場合も、この設定にしてください。

BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ

3D映像を効果的に再現するために、お使いのテレビのサイズを選びます。[サイズ指定]を選ぶと、お使いのテレビサイズに合わせてサイズを指定できます。

HDMI映像出力フォーマット

自動	通常はこの設定にします。
Y Cb Cr (4:2:2) Y Cb Cr (4:4:4)	Y Cb Crを4:2:2や4:4:4の比率で色変換を行います。
RGB (16-235) RGB (0-255)	出力信号をRGB 16~235やRGB 0~255の範囲で色変換を行います。

HDR出力設定

自動	通常は [自動] のままでお使いください。再生する映像とディスプレイの両方ともHDRに対応している場合にHDR画像を出力します。映像が乱れたり、見え方が不自然になったりするときは [切] に設定します。その場合はSDR画像を出力します。
切	

ご注意

- HDR映像を楽しむにはディスプレイおよび、経由するAVアンプ機器などがHDRに対応している必要があります。

BD-ROM専用画質モード

入	[入] を選ぶと、再生時の画質設定 (55ページ) で、Ultra HD Blu-ray/BD-ROMとそれ以外で別々に画質設定できます。
切	

シネマ変換モード

自動	通常はこの設定にします。ビデオ素材 (テレビドラマやアニメーション) とフィルム素材 (映画フィルム) の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。
ビデオ	ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

一時停止モード

自動	通常はこの設定にします。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
フレーム	動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

音声設定

HDMI音声出力

自動	お好みの設定にできます。[自動]を選ぶと、テレビやAVアンプで受けられる最適な音声信号を出力します。
PCM	

ちょっと一言

- [PCM]に設定している場合、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタル音声、DTS音声のときは2チャンネルPCMで音声信号を出力します。
- AVアンプ経由でドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD MA/HR、Dolby ATMOS^{*1}やDTS:X^{*2}などを楽しむには、本設定を[自動]、[BD音声出力] (109ページ)を[ダイレクト]に設定してください。

^{*1}ドルビーアトモスはドルビーラボラトリーの商標です。

^{*2}DTS:X is a registered trademark and/or trademark of DTS, Inc. in the United States and/or other countries.

オーディオDRC (Ultra HD Blu-ray/BD/DVDのみ)

自動	通常はこの設定にします。
スタンダード	小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
ワイドレンジ	迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

ご注意

- オーディオDRC機能のないUltra HD Blu-rayやBD、DVDを再生しているときは効果がありません。

ダウンミックス

ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応しているオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかった音声信号を2チャンネルに処理して出力します。
ノーマル	ドルビーサラウンド(プロロジック)に対応していないオーディオ機器につないでいるときに選びます。ドルビーサラウンド(プロロジック)効果のかかっていない音声信号を出力します。

ちょっと一言

- セカンダリオーディオやインタラクティブオーディオをミキシングして音声出力する場合やAVCHD形式の動画を再生する場合、[ノーマル]になります。

BD音声出力

ダイレクト	セカンダリオーディオ(映画の解説など)・インタラクティブオーディオ(効果音など)が含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングせずにプライマリオーディオのみを出力します。
ミックス	セカンダリオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれるBDを再生する場合、それらをミキシングして出力します。

ちょっと一言

- HDMI出力端子からドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS-HD MA/HR、Dolby ATMOS^{*1}やDTS:X^{*2}などを楽しむには、本設定を[ダイレクト]、[HDMI音声出力] (109ページ)を[自動]に設定してください。

^{*1}ドルビーアトモスはドルビーラボラトリーの商標です。

^{*2}DTS:X is a registered trademark and/or trademark of DTS, Inc. in the United States and/or other countries.

画音同期調整

映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせませす(0~120ミリ秒)。

ご注意

- AVピュア出力機能を使用している間、つないだ他機器側に画音同期調整の設定がある場合は、本機側ではなくつないだ他機器側で設定をしてください。

AVピュア出力設定

自動	HDMI出力2端子につないだ他機器の電源を本機が「入」と判断したときだけ、HDMI出力1端子からの出力が映像のみ、HDMI出力2端子からの出力が音声のみになります。HDMI出力2端子につないだ他機器の電源が「切」のときは、HDMI出力1端子からの出力が映像/音声になり、HDMI出力2端子からの出力はありません。
切	HDMI出力1端子からの出力が映像/音声になります。HDMI出力2端子からの出力はありません。
入	HDMI出力1端子からの出力が映像のみ、HDMI出力2端子からの出力が音声のみになります。

ご注意

- AVピュア出力設定を使用している間はHDMI機器制御機能が無効になります。
- 設定が[自動]の場合、他機器の設定によっては本機が他機器の電源を「入」と判断していることがあります。その場合にHDMI1端子から音声を出力するには、設定を[切]にしてください。

放送受信設定

地上デジタルチャンネル登録

＋／－選局	必ず選局:《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。[プリセット選局]が選ばれているときに設定されます。 選局する:《チャンネル＋／－》ボタンで選局できます。番組を共有しているチャンネルを[選局する]に設定しても、番組表に表示されないことがあります。 選局しない:《チャンネル＋／－》ボタンや番組表で選局できません。 [全選局]を選ぶとすべてのチャンネルが[選局する]または[必ず選局]になり、[プリセット選局]は初期スキャンのときの状態に戻ります。[全選局解除]を選ぶと、[プリセット選局]の設定もすべて解除されます。
プリセット選局	リモコンの数字ボタンに、好みのチャンネルを登録できます。

地上デジタル自動チャンネル設定

初期スキャン	全チャンネルを再設定します。領域が変わった場合は[領域]を設定してから行ってください。
再スキャン	新しく受信できたチャンネルが追加されます。領域を変更した場合は選べません。

地上デジタル自動再スキャン

入	通常は[入]に設定します。地上デジタル放送のチャンネル変更情報を受信したら、本機がチャンネルを自動的に再設定します。
切	

地上デジタルアンテナレベル

チャンネルを選んで、地上デジタル放送の受信状態を確認できます。

地上デジタルアッテネーター

入	電波の送信元付近の地域などで、電波が強く近隣チャンネルなどの干渉を受けたり、映らないチャンネルがある場合、[入]にしてください。
切	

BSデジタルチャンネル登録

受信しているBSデジタル放送の選局方法などが設定できます。「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(110ページ)。

CSデジタルチャンネル登録

受信している110度CSデジタル放送の選局方法などが設定できます。「地上デジタルチャンネル登録」をご覧ください(110ページ)。

BS/CSデジタルアンテナレベル

BS/110度CSデジタル放送の映像がテレビに映った状態で、必要に応じて[最大値]の数字がより大きくなるようにBS/110度CSアンテナを動かして固定します。

ちょっと一言

- 《BS》ボタン、《CS》ボタンを押して、BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を切り換えることができます。

BS/CSデジタルアンテナ電源

自動	通常は[自動]に設定します。本機の電源を入れたときに、本機がBS/110度CSアンテナに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。
切	

BS/CSデジタルアンテナ出力

入	本機の電源の入／切にかかわらず、つないだテレビなどにデジタルアンテナ信号を出力します。
切	本機の電源が切れているときは、デジタルアンテナ信号を出力しません。BS/110度CSアンテナから本機を通してテレビなどにつないでいる場合は、本機の電源「切」時にテレビなどでBS/110度CSデジタル放送を受信できません。

デジタル放送地域設定

郵便番号	数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力します。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の番組情報を誤って受信したりしてしまいます。
領域	お住まいの地域を選びます。

文字スーパー表示

切	文字スーパーを表示しません。放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、[切]に設定しても文字スーパーを消せません。
第1言語	文字スーパー放送が行われているときに、第1言語や第2言語の文字スーパーを表示します。
第2言語	

データ取得中表示

入	データ取得中の表示状態を設定します。[入]を選ぶと表示します。[切]を選ぶと、独立データサービス受信時、および《d連動データ》ボタンを押したときに表示します。
切	

録画／ダビング設定

自動チャプターマーク

入切	通常は[入]に設定します。録画時に、画面と音声の変化(本編とCMの切り換わりなど)から自動的にチャプターマークを付けます。ただし、必ずしも正確なものではありません。LAN録画／LANムーブしたタイトル、外部入力録画したタイトルや変化の少ない番組では、約6分間隔でマークを付けます。
----	--

グループ名設定

タイトルを分類するためのグループ名をお好みに変更できます。

二重音声記録

主音声	次の場合に、主音声／副音声の含まれるタイトルの音声を選びます。
副音声	<ul style="list-style-type: none">録画したモード以外でダビングをするとき。おでかけファイルを録画後に作成するとき。

外部入力録画横縦比

16:9	外部入力(映像)から録画やダビングするとき、
4:3	映像サイズを16:9や4:3の横縦比にします。

予約録画「録画先」初期値

HDD	録画先の初期値を、内蔵ハードディスクまたは外付けハードディスクのどちらかに設定します。
後面USB	

BD/DVD視聴設定

BD/ DVDメニュー言語

言語コード指定	「言語コード一覧」(146ページ)を参照して、言語コードを入力します。
---------	-------------------------------------

音声言語

オリジナル	ディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
言語コード指定	「言語コード一覧」(146ページ)を参照して、言語コードを入力します。

字幕言語

言語コード指定	「言語コード一覧」(146ページ)を参照して、言語コードを入力します。
---------	-------------------------------------

BDインターネット接続

許可する	[許可する]を選ぶと、BD-LIVE機能によるインターネット接続を許可します。
許可しない	

BD-LIVEデータ削除

BD-LIVE機能でUSBメモリーにダウンロードしたコンテンツを削除します。

おでかけ設定

録画後自動作成

入切	[入]を選ぶと、録画後におでかけファイルを作成します。
----	-----------------------------

おでかけモード

画質優先 (VGA2.0M)	約30万画素の高画質でおでかけファイルを作成します。
標準 (VGA1.0M)	
サイズ優先 (QVGA0.7M)	約7.5万画素の高画質でおでかけファイルを作成します。
サイズ最優先 (QVGA0.3M)	

ちょっと一言

- お使いの機器によっては対応していないおでかけモードがあります。対応していないおでかけモードを設定して転送した場合は、画面の指示に従ってください。

本体設定

現在時刻／時刻設定

地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送を正しく受信している場合は、正しい時刻を自動的に設定し、表示します。時刻を自動で設定できなかった場合に、手動で設定します。

本体表示の明るさ

明	センターLEDと表示窓、ランプは明るく点灯します。
暗	センターLEDと表示窓、ランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。
消灯(再生時のみ)	電源「入」時にセンターLEDと表示窓が暗く点灯します。ただし、タイトルや音楽、写真の再生時にはセンターLEDと表示窓は消灯しません。ランプは暗く点灯します。消費電力を軽減できます。

自動画面表示

入切	通常は[入]に設定します。番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示したりします。
----	--

スタンバイモード

瞬間起動	最大1日12時間の時間帯限定で、すぐに起動できる待機状態にします。起動後は、すばやくチャンネル切り換えや入力切り換えなどができます。待機していない時間帯は[バランス]になります。 学習 :よく使う時間帯を本機が自動的に選びます。学習効果が反映されるのに1週間程度かかります。 時間帯指定 :すぐに起動したい時間帯を2時間ごとに最大12時間まで手動で設定できます。
バランス	[瞬間起動]より、電源を入れてから操作できるまでの時間がかかりますが、消費電力を抑えることができます。
低消費待機	待機状態のときの消費電力を抑えます。リモート録画予約やHDMI機器制御の高速連動はできません。

ちょっと一言

- [スタンバイモード]を[低消費待機]にしている場合、次のときは自動的に[バランス]に設定されます。
 - [リモート機器(スマートフォン等)登録]をしたとき(114ページ)。
 - 無線LANで[サーバー機能]を[入]に設定したとき(114ページ)。

ご注意

- [瞬間起動]で、すぐに起動できる待機状態のときはファンが回る場合があります。また、内蔵ハードディスクが動作することもありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- [瞬間起動]に設定した場合、[バランス]よりも消費電力は増加します。

自動電源オフ

入	[入]を選ぶと、操作しない状態が3時間続くと、自動で待機状態になります。
切	

リモコンモード

「本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは」(119ページ)をご覧ください。

リモコンTVメーカー設定

本機のリモコンでテレビの操作ができるように設定します(118ページ)。

ソフトウェアアップデート

自動	通常は[自動]に設定します。デジタル放送を受信できる場合、ソフトウェアのバージョンアップデータを受信し、本機の電源が「切」のときに自動的に本機のソフトウェアを更新します。
切	

外付けUSB HDD設定

USB HDD登録	後面のUSB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクを登録します。
USB HDD名称変更	後面のUSB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクの名称を変更します。名称を変更するには本機に登録が必要です。
USB HDD登録確認/削除	後面のUSB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクの登録を確認したり削除したりします。
USB HDD動作診断	後面のUSB HDD専用端子につないだ外付けハードディスクが正しく動作するか診断します。
USB HDD取り外し	本機に接続された外付けハードディスクの取り外しを行います。

カード情報

B-CASカードのカードID番号などを表示します。カードを本機から取り出さなくても、カードID番号を確認できます。

本体情報

本機ソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

ソフトウェアライセンス情報

本機で使われているソフトウェア使用許諾契約を確認できます。

HDMI機器制御設定

HDMI機器制御

入	ブラビアリンクを使うときに[入]を選びます。
切	

高速連動

入	[入]を選ぶと、本機の電源が「切」のとき、テレビの電源を「入」にすると、本機が起動待機状態になります。テレビの電源を「切」にすると、本機の起動待機状態は解除されます。
切	

ちょっと一言

- [スタンバイモード](112ページ)が[低消費待機]の場合、[高速連動]を[入]にすると、[スタンバイモード]は自動的に[バランス]に設定されます。

ご注意

- 起動待機状態では、電源が入っている状態と同等の消費電力になり、同時にファンが回り続けます。
- HDMI機器制御機能は、HDMI出力1端子のみ有効です。ただし、AVピュア出力設定を使用している間はHDMI機器制御機能が無効になります。

レコーダー→テレビ電源連動

入	本機の電源を入れると、テレビの電源も「入」になり、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。
切	本機の電源を入れると、テレビの入力を本機につないだ入力に切り換えます。

ちょっと一言

- [HDMI機器制御]を[入]にすると[レコーダー→テレビ電源連動]も自動的に[入]になります。

ご注意

- HDMI AVピュア出力機能を使用している間はHDMI機器制御機能が無効になるため、[レコーダー→テレビ電源連動]の設定も無効になります。

年齢制限設定

暗証番号設定

視聴年齢制限のための暗証番号を設定または変更できます。次の制限を利用するときに必要になります。

- BS/CSデジタル視聴年齢制限
- HDDタイトル視聴年齢制限
- BD視聴年齢制限
- DVD視聴年齢制限

暗証番号を設定／変更するには

暗証番号設定を選んだときに表示される画面の説明に従って設定してください。

初めての場合、新しい暗証番号を入力します。

変更の場合、現在の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力します。

登録した暗証番号を忘れてしまったときは

ホームメニュー>[設定／お知らせ]>[詳細設定]>[設定初期化]>[お買い上げ時の状態に設定]>[年齢制限設定]>[はい]を選ぶと以前の暗証番号が削除されます(115ページ)。

BS/CSデジタル視聴年齢制限

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。制限した放送は、[暗証番号設定](113ページ)で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できません。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

HDDタイトル視聴年齢制限

LAN録画／LANムーブしたタイトル、BS/110度CSデジタルで録画したタイトルを、見る人の年齢によって、再生などができないように制限できます。

タイトルの制限レベルによって、制限方法が異なります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

- 20歳未満制限付きタイトルの場合
本機で視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。
- 19歳未満制限付きタイトルの場合
本機で[19歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。

- 18歳未満制限付きタイトルの場合
本機で[19歳]や[18歳]以外の視聴年齢制限を設定すると、録画リストなどに表示されなくなります。
- 上記以外の制限付きタイトルの場合
録画リストなどには表示されますが、本機の設定年齢以上の制限付きタイトルは、暗証番号を入力しないと再生、ダビングなどができません。
- 制限のないタイトルの場合
本機で視聴年齢制限を設定しても、制限できません。
- LAN録画／LANムーブした視聴年齢制限タイトルの場合
ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスして再生するときは、LAN録画／LANムーブした元の機器のみできます。

ちょっと一言

- 視聴年齢制限の設定は、内蔵ハードディスクと本機後面のUSB端子につないだ外付けハードディスクのタイトルが対象となります。本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクのタイトルは対象外です。

BD視聴年齢制限

BD-ROMには、見る人の年齢によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し替えたりして再生します。年齢の数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。[年齢指定]を選ぶと、0歳から25歳までの年齢を入力できます。

DVD視聴年齢制限

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって、場面の視聴を制限できるものがあります。制限された場面をカットしたり、別の場面に差し替えたりして再生します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。[制限しない]を選ぶと、視聴年齢制限が解除されます。

通信設定

ネットワーク設定

☞ 次のページも参考にしてください。

- 無線LANのセキュリティについて(146ページ)。

画面の指示に従って操作してください。

有線LAN	ネットワークにつなぐ方法を選びます(91ページ)。
無線LAN	

アクセスポイント	<p>かんたん登録:アクセスポイントがWi-Fi Protected Setup™ (WPS)に対応しているときに選びます。アクセスポイントのボタンを押すだけで自動的にアクセスポイントを登録できます。AOSSボタンでWi-Fi Protected Setup™ (WPS)に対応しているものもあります。</p> <p>アクセスポイント検索:次の[検索して登録]または[手動登録]でアクセスポイントを登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 検索して登録:検索結果一覧から使いたいアクセスポイントを選び、暗号キーを入力することでアクセスポイントを登録できます。 • 手動登録:次の[アクセスポイントの情報を直接入力]または[Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) PINコード方式]でアクセスポイントを登録できます。 <ul style="list-style-type: none"> – アクセスポイントの情報を直接入力:アクセスポイントのSSID/セキュリティ方式/暗号キーを入力することで登録できます。 – Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) PINコード方式:本機に表示されるPINコードをアクセスポイントへ入力することで登録できます。
IPアドレス/プロキシサーバー設定	<p>自動設定:ルーターやプロバイダーのDHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。通常はこの設定にしてください。</p> <p>詳細設定:IPアドレス設定/DNS設定を自動や手動で設定するときに選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ。 • プライマリDNS/セカンダリDNS*1 *2。 • プロキシサーバー/アドレス/ポート。

ちょっと一言

- SSID、WEP/WPAキーは、アクセスポイント(無線LANルーター)に接続するときに必要なセキュリティ情報の一種です。一般的には、パソコンを使ってアクセスポイントに設定します。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。
- WEPキーを使って無線LANに接続する場合、アクセスポイントへの接続が成功しても、通信ができないことがあります。WEPキーが、アクセスポイントの設定と合っているか、確認してください。

ご注意

- ネットワーク設定を[無線LAN]と[有線LAN]で切り換えた場合、ネットワークにつながらなくなることがありますので、[ネットワークの設定確認と接続診断]を行ってください。
- 無線LANのセキュリティ設定を[なし]にすると、本機のホームサーバー機能は使えません。

*1 自動取得は、DHCP利用時のみ有効となります。IPアドレスの値を手動で入力したときはDNSの値も手動で入力する必要があります。

*2 [DNS設定]を[手動]にすると、プライマリDNSとセカンダリDNSのアドレスを手動で設定できます。この場合、必ずプライマリDNSは

入力してください。入力しない場合ネットワークが正しく設定されません。

ネットワークの設定確認と接続診断

詳細確認	現在の設定を表示します。
接続診断	ネットワークが正しく接続されているか診断します。

リモート機器設定

リモート機器(スマートフォン等)登録	リモート録画予約の登録パスワードを本機に設定します。登録パスワードの入力方法は、本機の画面を見ながらリモコンのボタン操作により入力します。登録パスワードはパソコンやスマートフォン、タブレットからアクセスしたサービスの画面に表示されます。
登録リモート機器一覧	本機に登録されている機器などを一覧で確認できます。登録した機器の情報確認や削除も行えます。

ホームサーバー設定

サーバー機能	<p>入:本機のホームサーバー機能を有効にします。</p> <p>切:本機のホームサーバー機能を無効にします。</p>
外からどこでも視聴	[サーバー機能]が[入]のときに[許可する]を選ぶと、外からどこでも視聴に対応した機器からの接続を許可します。
サーバー名	本機の機器名称を設定します。ホームサーバー機能対応機器から本機にアクセスしたときに、ホームサーバー機能対応機器側でこの名前が表示されます。
クライアント機器登録方法	<p>自動:本機にアクセスしてきたクライアント機器を自動的に登録します。</p> <p>手動:本機にアクセスできるクライアント機器を手動で登録します。</p> <p>詳しくは、「クライアント機器について」(114ページ)をご覧ください。</p>
登録機器一覧	ホームサーバー機能の利用を許可したクライアント機器の確認や削除ができます。外からどこでも視聴にも対応したクライアント機器は機器情報にアプリ名が表示されます。
未登録機器一覧	ホームサーバー機能の利用を許可していないクライアント機器の[機器登録](利用許可)や確認、削除ができます。

クライアント機器について

[ホームサーバー設定]のクライアント機器とは、本機に接続してLAN経由でタイトルを再生したり、本機に録画予約したりする機器のことです。

クライアント機器は10台まで登録できます。そのうち、外からどこでも視聴は6台のみ登録可能です。

クライアント機器を確認/削除するには登録済みのクライアント機器は[登録機器一覧]で確認/削除できま

す。

- 1 《ホーム》ボタンを押し、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [ホームサーバー設定] を選び、《決定》ボタンを押す。
- 2 [登録機器一覧] を選び、《決定》ボタンを押す。
- 3 機器を選び、《決定》ボタンを押す。
機器名、MACアドレス、アプリ名 (外からどこでも視聴に対応した機器のみ) を確認できます。
登録を削除するには、[機器削除] を選び《決定》ボタンを押します。
[すべて削除] を選ぶと、表示されているすべての機器を削除できます。
削除した機器は、[未登録機器一覧] に表示されます。

クライアント機器を手動で登録するには

かんたんネットワーク設定 (92ページ) を行うと、接続してきたクライアント機器を自動で登録しますが、接続してきた機器を選んで許可を与えることもできます。

- 1 《ホーム》ボタンを押し、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [ホームサーバー設定] を選び、《決定》ボタンを押す。
- 2 [クライアント機器登録方法] > [手動] に設定する。
- 3 [サーバー機能] > [入] に設定する。
- 4 クライアント機器の登録準備として、接続したい機器を操作して本機に接続を試み、[未登録機器一覧] に表示する。
- 5 クライアント機器を登録する。
[未登録機器一覧] から接続する機器を選び、[機器登録] を選びます。
接続候補機器が多すぎて接続したい機器が表示されないときは、[未登録機器一覧] から不要な機器を削除し、手順4から試してください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

機能使用に関する情報送信の同意確認

<input type="checkbox"/> 同意する	番組をよりかんたんに見つける機能 (「新作ドラマ・アニメガイド」、「予約ランキング」および「視聴数」) の使用に伴う情報送信に同意します。
<input type="checkbox"/> 同意しない	

設定初期化

お買い上げ時の状態に設定

設定ごとに、お買い上げ時の設定に戻せます。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

ご注意

- [リモコンモード] や [外付けUSB HDD設定] は、お買い上げ時の設定には戻りません。[本体設定] (111ページ) で、それぞれ設定してください。

学習情報の初期化

おまかせ・まる録や二度録り回避、瞬間起動などで本機が学習した情報を初期化します。

個人情報の初期化

本機を廃棄したり譲渡したりするときは、次の個人情報などのデータを本機から削除することを強くおすすめします。

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど。
- 視聴年齢制限レベルと暗証番号。
- 語句登録した単語。
- キーワード履歴。
- よく録る人名／よく録る番組、録れた人名／録れた番組のキーワード。
- 検索履歴。
- お知らせ。
暗証番号を設定しているときは、暗証番号の入力画面が表示されません。

ご注意

- 個人情報などの登録・設定データは項目ごとに削除できません。一度初期化すると、すべての登録・設定データが削除されます。
- [通信設定] (113ページ) で入力したIPアドレスを始めとする通信接続情報や、[放送受信設定] (110ページ) で入力した県域、郵便番号などの情報は、削除されません。[お買い上げ時の状態に設定] (115ページ) でそれぞれの設定を選んで削除してください。

HDD初期化

内蔵ハードディスクを初期化します。初期化すると記録されているタイトルやBD-ROMデータ、音楽ファイル、写真がすべて削除され、元に戻すことができません。

また、外付けハードディスク内にあるタイトルの関連動画を表示するためのデータも削除されます。

設定値一覧

主な設定の現在の設定値を確認できます。

本機のIPアドレス、本機が接続しているルーターのSSIDなどを一覧で確認できます。

お知らせ

お知らせはお客様自身で削除できません。

放送からのお知らせ (地上／BS／CSデジタル)

放送局からお客様へのお知らせを見ることができます。受信してから14日以上経つと、まだ読んでいなくても (156ページ) 自動的に削除されます。

本機からのお知らせ

《ホーム》ボタンを押します。[設定／お知らせ] > [お知らせ] > [本機からのお知らせ] を選び、《決定》ボタンを押します。予約や録画、ダビングの結果、アップデートなど、本機が発行したお知らせを見ることができます。《黄》ボタンを押すと、すべてのお知らせを開封済みにします。30通を超えると、まだ読んでいなくても (156ページ) 古いお知らせから自動的に削除されます。

以下は正常に録画できなかった場合の「本機からのお知らせ」の主な内容です。対処方法をご確認ください。

本機からのお知らせ	対処方法
動作中の電源切断 もしくは動作異常からの回復処理をおこなっていたため	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源が切れていた(停電だった)可能性があります。本機の電源は切っても、電源コードを抜かないでください。 • スイッチ付き電源タップをお使いのときは、電源タップの電源が「入」になっていることを確認してください。 • 停電が起こっていなくても、本機の一時的な不具合によって自動でリセット(再起動)がかかった場合も、正常に録画が開始されないことがあります。くり返し表示される場合は、修理相談窓口(裏表紙)にご相談ください。
録画時に電源コードが抜かれたか、停電などにより電源が落ちた、もしくは、リセットや本機の動作異常により再起動したため	
正しく受信できなかったため	
降雨などの理由により受信状態が悪くなかったため	<ul style="list-style-type: none"> • 「放送が受信できない」(124ページ)を確認してください。 • 録画できなかった番組の放送局の受信状態を「本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする」(124ページ)で確認してください。
BS/CSアンテナもしくはアンテナケーブルに問題があり、BS/CSアンテナ電源(コンバーター電源)がショートしていたため	
B-CASカードが正しく挿入されていない、もしくは情報が読めなかったため	<ul style="list-style-type: none"> • B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください(9ページ)。 • B-CASカードを抜き差しすることにより、改善することもあります。 • 録画できなかった番組の放送局の受信状態を「本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする」(124ページ)で確認してください。
タイトル数が録画先メディアでの上限を超えるため	<ul style="list-style-type: none"> • 不要なタイトルや曲を削除してください。管理情報について詳しくは、「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。」(128ページ)をご覧ください。
タイトル数またはタイトル管理情報がいっぱいになったため	

その他の「本機からのお知らせ」でお困りの点がありましたら、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

困ったときは

商品のお取り扱い方法などのお問い合わせ先が表示されません。

ボード(CSデジタル)

110度CSデジタル放送から利用者全員への共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。

ブラビアリンクを設定したい

ブラビアとブラビアリンクに対応した機器をHDMIケーブルでつないで、ブラビアのリモコンひとつで簡単操作ができます。

本機を操作できるブラビアについて

ブラビアの機種によって使える機能が異なります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bravialink/>

ブラビアリンクに対応している機器



リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bravialink/>

このロゴが表記されていても、一部のブラビアのマルチリモコンでは、ご利用いただけない機能があります。

- X7000 / X5050 / X5000 / W5000 / V5000シリーズ。
これらの機種は、テレビのリモコンでの操作はできません。本機付属のリモコンで操作してください。
- ZX5 / W5 / F5シリーズ、KDL-32JE1 / KDL-32J1、V5 / XR1 / X1 / W1 / ZX1 / F1 / V1シリーズ。
これらの機種は、リンクメニューのみ利用できます。「見る」、「見て録」、「予約する」は、利用できません。

ブラビアリンクの接続・設定をする

HDMIケーブルで接続すれば、特に設定することなく利用できます。利用できない場合、下記を確認してください。

- [HDMI機器制御]が[入]になっているか？(112ページ)
- テレビ側のHDMI機器制御の設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラビアのリモコンに本機の登録が必要な場合

お使いのブラビアの機種がKDL-32J5 / 26J5 / 22J5 / 19J5 / 26J1 / 20J1 / 46V3000 / 40V3000の場合、本機のリモコンモードがお買い上げ時の設定 (BD3) 以外のときは、ブラビアのリモコンに本機のリモコンモードの登録が必要です。登録方法は、ブラビアの取扱説明書または下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bravialink/>

ブラビアのリモコンで操作する

ブラビアのリモコンで操作します。

使えるボタンは機種によって異なります。下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bravialink/>

ご注意

- 次の条件や放送では、「見て録」はできません。
 - 内蔵ハードディスクの残量が不足している。
 - デジタル放送のラジオ放送、データ放送。
 - コピー制御信号により録画できない番組。
 - 本機で受信できない番組。
 - 未購入の番組。
 - 視聴年齢制限を超えた番組。
- 「見て録」中の放送時間の変更には対応できません。
- 本機の次の機能を利用しているときに「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
 - タイトル再生 / タイトル編集。
- 次の機能を利用しているときは、「見て録」はできません。
 - 複数番組同時録画。
 - ダビング。
 - 録画モード変更中。

本機とテレビの電源「入」、「切」連動について

本機やテレビのHDMI機器制御の設定によって、電源操作を連動します。

- ブラビアのリモコンで電源を切ると、本機の電源も切れます。
- 本機で次の操作をすると、自動的にテレビの電源が入り、本機の映像に切り換わります。
 - 次のリモコンのボタンを押す。
《電源》 / 《ホーム》 / 《再生》 / 《番組表》 / 《録画リスト》
 - ディスクの挿入。

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、CEC (Consumer Electronics Control) で使用されている、HDMI (High-Definition Multimedia Interface) のための相互機器機能の規格です。

HDMI機器制御対応のソニーのテレビなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

本機のリモコンの設定を 変更したい

本機のリモコンの《TV操作》ボタンを使うと、本機のリモコンに登録したテレビを操作できるようになります。

テレビ操作に利用できる主なボタン

登録したテレビのリモコンにないボタンは利用できません。機種によっては同じボタンがあっても操作できないことがあります。

ボタン	ブラビア	他社製テレビ
<ul style="list-style-type: none"> • TV電源 • カラーボタン • TV入力切替 • 番組表 • 決定 • 戻る • ホーム • 音量+/- • チャンネル+/- • 消音 • 連動データ • 音声切替 • 字幕切替 • 放送切替(地デジ/BS/CS) • 数字ボタン 	○	○
<ul style="list-style-type: none"> • オプション • 前/次 • 10秒戻し/15秒送り • 早戻し/早送り • 再生 • 録画 • 一時停止 • 停止 • 画面表示 • 番組説明 	○	×

本機のリモコンでテレビを操作したい

- 《TV操作》ボタンを押す。
《TV操作》ボタンが点灯している間は、テレビの操作ができます。
最後の操作から、約60秒でボタンは消灯します。

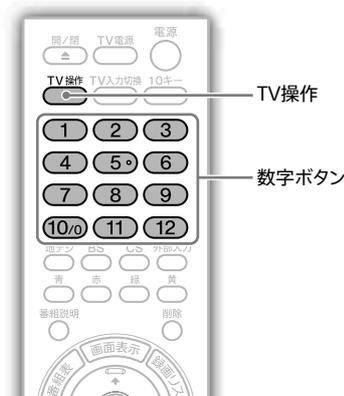


本機のリモコンにテレビを登録したい

お使いのテレビのメーカーを設定すると、《TV操作》ボタンでテレビを操作することができます。

お買い上げ時は、ソニーに設定されています。

- 登録したいテレビのメーカー番号を下の表で確認する。
- 《TV操作》ボタンを押しながら、メーカー番号の数字ボタンを1秒以上押す。
指を離して《TV操作》ボタンが2回点滅すると、設定が完了します。



メーカー	メーカー番号
ソニー	1*
パナソニック	2
シャープ	3
東芝	4 5
日立	6
三菱	7
パイオニア	8 9
LG	10

* 《TV操作》ボタンのお買い上げ時の設定です。テレビに **■** マークが付いています。

メーカー番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。メーカーの記載がない場合は使えません。

本機のリモコンで他のソニー製機器が動作してしまうときは

他のソニー製機器のリモコンモードが、本機と同じに設定されているためです(お買い上げ時の設定:BD3)。
以下、どちらかの方法でリモコンモードを変更してください。

- 他機器のリモコンモードを変更する
他機器側の取扱説明書を参照してください。
- 本機側のリモコンモードを変更する
下記の「リモコンモードを変更する」を行ってください。

リモコンモードを変更する (本体、リモコン)

他機器と重複しないように、本機のリモコンモードをBD1～BD6に設定します。
BD1はBDプレーヤー、BD4はBDポータブルプレーヤーでも使用しています。

1 本体側のリモコンモードを変更する。

《ホーム》ボタンを押します。
[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [リモコンモード]を選び、《決定》ボタンを押します。
設定したいリモコンモードを選びます。

2 リモコン側のリモコンモードを変更する。

画面に従って、本機のリモコンで、手順1で選んだリモコンモード番号と同じ《1》～《6》の数字ボタンを押しながら、《決定》ボタンを1秒以上押します。

3 《決定》ボタンを押す。

《決定》ボタンを押さないまま3分経過すると、本体側のリモコンモードは元に戻ります。

変更できない場合は、もう一度手順2を行ってください。

ご注意

- リモコンと本体のリモコンモードが一致せず操作できない場合は、手順2でBD1～BD6のリモコンモードを順に設定し、操作をお試しください。

本機のリモコンで本機の操作ができなくなったときは

本機側とリモコン側のリモコンモードが一致していないと、リモコンで本機を操作できなくなります。
本機の電源を入れた状態でリモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に、本機側のリモコンモード(BD1～BD6)のいずれかが表示されます。

本機の表示例



本機のリモコンで、表示窓に表示された本機側のリモコンモード番号の数字ボタンを押しながら、《決定》ボタンを1秒以上押します。リモコン側のリモコンモードが変わります。

困ったときは

これらの情報はWebでもご覧いただけます：<https://www.sony.jp/support/bd/manual/>

1. こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのに
ファンなどの動作音がする



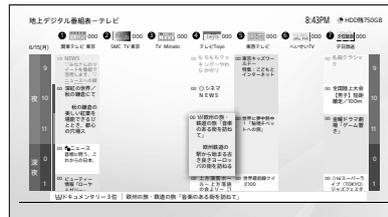
電源が「切」でも、次のような場合、本機が動作することがあります。

- 番組表データの取得時。
- 録画中（予約、おまかせ・まる録など）。
- ダビング中、ワイヤレスおでかけ転送中、お引越しダビング中。
- ルームリンク、LAN録画／LANムーブなどLAN機能利用時。
- 瞬間起動設定時（瞬間起動の待機時）。
- ソフトウェアのアップデート時（138ページ）。
- 新作ドラマ・アニメガイドおよび関連動画の情報の自動取得時。
- 予約ランキング／視聴数情報の自動取得時。
- [HDMI機器制御設定]の[高速連動]を[入]に設定時。
- リモート録画予約機能の利用時。
- スカパー！の無料視聴期間サービスの利用時。
- 録画モード変更中。

など

このような場合、内部で動作しているので音がすることがあります。

番組表の全部または一部が表示されない



番組表は少しずつ取得します。視聴中の放送局や、電源を切っているときに各放送局から取得します。放送局ロゴも取得されるまでお待ちください。

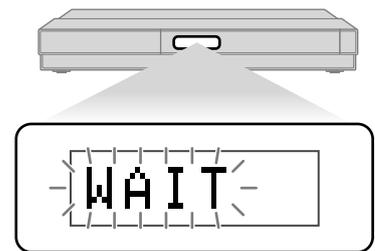
下記のように番組表データがない場合は表示されません。

- 初めてのご使用時。
- 電源コードをコンセントから抜いていた。
- 放送を受信できていない。
- 地デジやBS/CSのアンテナが正しく接続されていない。

番組表を取得するには

- 電源を切っておく（一晩ほどお待ちください）。
- 表示させたい放送局をしばらく視聴する。
- 番組表表示中に、《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選ぶ。

「WAIT」と点滅表示され、なかなか起動しない



本機の起動中は、本体表示窓に「WAIT」が点滅表示されます。

本機の起動には数十秒かかりますので、そのままお待ちください。

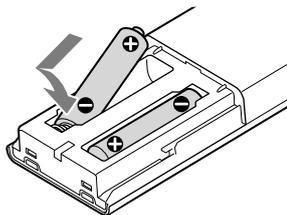
起動時間を短くするには、[瞬間起動]に設定してください（112ページ）。[瞬間起動]に設定すると、[バランス]よりも消費電力は増えます。

電源が勝手に切れる

本機の内部温度が上昇すると、保護のため本機の電源が自動で切れます。本機は熱のこもらない場所に設置し、本機と他の機器や物を重ねて置かないでください（150ページ）。

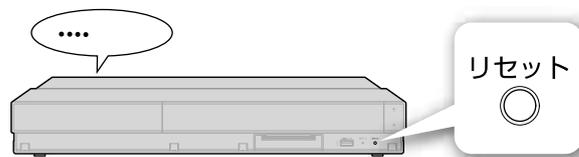
2. 操作を受け付けなくなった場合は

リモコンが働かない



リモコンの電池残量がなくなると、効きが悪くなったり、操作できなくなったりします。2本とも新しい電池に交換してください。電池を交換するときは、アルカリ電池をおすすめします。

電源「切」にできない、本体表示窓に「Exxxx」や「ERROR」が表示されている



電源「切」にできない、本体表示窓に「Exxxx」や「ERROR」が表示されている場合、リセット(再起動)を試してください。

リセット(再起動)手順

リセットを行う上でのご注意

リセットとは本機を再起動することで内部ソフトウェアに起きた一時的な問題を解消する操作であり、録画データや設定を初期化したりするものではありません。

ただし、本機の状況によっては以下の症状がごくまれに発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

- ハードディスク内の記録内容が消えてしまう。
- 本機が正常に起動しなくなる。

次の状態のときはリセットを行わないでください。録画が途切れたり、故障の原因となったりします。

- 本体表示窓に「UPxx」が表示されているとき(アップデート中)
- 録画中
- 録画予約の開始時刻の直前(約10分前)

リセットを行う

- 1 外付けハードディスクを取り外す(106ページ)。ディスクを取り出す。
外付けハードディスクを取り外すことができないとき、《開/閉》ボタンを押してもディスクトレイが開かないときは、手順2に進んでください。
- 2 前面の扉を開き、《リセット》ボタンを押す。
本体表示窓に「WAIT」が点滅します。表示が消えて電源が切れるまでお待ちください。
- 3 本体の《電源》ボタンを押して、電源を入れる。

ご注意

- リセット後、番組表データが一時的に表示されませんが、表示させたい放送局をしばらく視聴すると番組表を再取得します。

3. 本機のメッセージを確かめる



表示窓

表示文字	状態	対処方法
Exxxx (xは任意の数)	異常を未然に防ぐため自己診断が働いています。	リセット(再起動)を試してください(121ページ)。それでも改善されない場合、表示メッセージ「Exxxx」をソニーの修理相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
ERROR	一時的な不具合の可能性があります。	リセット(再起動)を試してください(121ページ)。それでも改善されない場合はソニーの修理相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
E5001	本機の内部温度が上昇しています。	内部温度を下げるため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。切れない場合は、そのまま電源プラグをコンセントから抜いてください。本機を熱のこもりやすい所に設置しないでください。
UPxx	ソフトウェア更新中です。操作できません。	表示中は絶対に電源コードを抜いたり、「リセット」ボタンを押したりしないでください。
BD1～BD6	本機に設定されているリモコンモードです。リモコンと本機でリモコンモードが違う場合に表示します。	本機を操作するには、本機とリモコンのリモコンモードを合わせる必要があります(119ページ)。
LINE	外部入力端子(音声/映像入力端子)からの映像を表示しています。入力映像がない場合は画面に「本機の外部入力(赤/白/黄)に信号が入力されていません。」と表示されます。	リモコンの《地デジ》/《BS》/《CS》ボタンを押して、入力を切り換えてください。 外部入力端子(音声/映像入力端子)につないだ機器の電源が入っていることを確認してください。
OFF	点滅中は電源が切れる準備をしています。	そのままお待ちください。電源「切」まで数十秒かかることがあります(148ページ)。
WAIT	点滅中は起動の準備をしています。	そのままお待ちください。起動まで数十秒かかることがあります(120ページ)。

ランプ

ランプ表示	状態	対処方法
「録画予約」が点滅	以下の理由で録画が開始できない可能性がある2日以内の予約があります。 <ul style="list-style-type: none"> 内蔵/外付けのハードディスクやBDの容量が不足しています。 録画可能なBDが入っていません。 録画可能な外付けハードディスクが接続されていません。 	録画先の不要なタイトル(視聴済み/ダビング済など)を削除してください(60ページ)。 録画可能なBDや外付けハードディスクに交換してください。

4. よくあるトラブルと解決方法

このページにはお問い合わせの多い内容を記載しています。詳細な事例については、125～132ページをご覧ください。

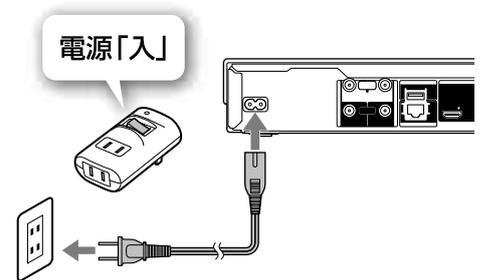
電源を入れても動作しない

1 電源コードが接続されていることを確認する。

→ 本機後面側、コンセント側の両方を確認してください。

ご注意

- スイッチ付き電源タップをお使いのときは、電源タップの電源が「入」になっていることを確認してください。



2 リモコンの電池が入っていることを確認する。

→ リモコンの《TV操作》ボタンを押して、点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、新しい電池で試してください。



動作または動作音はするが、テレビに映像が表示されない

1 HDMIケーブルを抜き、もう一度つなぎ直す。

- しっかり差し込まれていない可能性があります。本機後面側、テレビ側の両方で試してください。
- 他のハイスピードタイプのHDMIケーブルで、つないで試してください。
断線している可能性があります。
- テレビなどの映像機器をHDMI1出力端子(映像/音声)に、つないでいるか確認してください。
HDMI2出力端子は音声出力のみのため映像出力できません。

2 テレビの電源、本機の電源が入っていることを確認する。

3 本機をつないだテレビのHDMI端子(番号)を確認する(HDMI1など)。

→ テレビのリモコンで入力切換をして、本機をつないだHDMI端子に切り換えてください。

ご注意

- 入力を切り換えてから表示されるまで数秒かかることがあります。
- AVアンプなどを経由して接続している場合は、AVアンプについても上記の手順1～3を確認してください。



解決しないときは

- 本体の電源ボタンを押してください。本体表示窓に「OFF」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。
- 本体表示窓の表示が「HELLO」から「WAIT」の点滅になり、しばらくして別の表示に切り換わったら、リモコンの■《停止》ボタン(8ページ)を10秒以上押ししてください。
一番低い解像度に設定が変わるため、ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[映像設定]>[HDMI出力モード]を設定してください(108ページ)。映像が乱れる場合は、最適な解像度に設定してください。
録画中などは、■《停止》ボタンを10秒以上押ししても解像度の設定は変わりません。

それでも解決しないときは

リセット(再起動)を試してください(121ページ)。
本体表示窓に「WAIT」が点滅し、しばらくして表示が消えたら電源を入れ直してください。

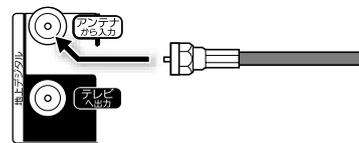
放送が受信できない

1 本機にアンテナケーブルが正しく接続されていますか？

→「接続と準備をする」(10ページ)をご覧ください、接続してください。

→BS・110度CSによる4K・8K放送対応チューナー搭載機器(テレビ、STB、録画機器など)と接続するときは、下記ホームページをご覧ください。

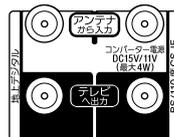
<https://www.sony.jp/support/bd/>



2 アンテナケーブルが、壁から「アンテナから入力」へ、「テレビへ出力」からテレビへ接続されていますか？

→「地上デジタル」と「BS/110度CS」を間違えていませんか？

→「アンテナから入力」と「テレビへ出力」を間違えていませんか？



ご注意

- アンテナケーブルの芯線が曲がると、外周部の金属部分に触れてショートの原因となります。
- 本機で番組の視聴や録画をするには、本機へのアンテナ接続が必要です。テレビでも番組を視聴する場合は、テレビにもアンテナを接続してください。

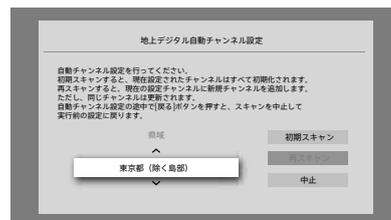


3 地上デジタル放送のチャンネルスキャンを行う。

→本機の電源を入れ、ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[放送受信設定]>[地上デジタル自動チャンネル設定]で、お住まいの地域に合わせて初期スキャンを行ってください。

ご注意

- 地上デジタル放送は接続しただけでは受信できません。必ず初期スキャンを行ってください。



本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする

1 受信状態(アンテナレベル)を確認する。

確認したいチャンネルを選局し、ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[放送受信設定]>[地上デジタルアンテナレベル]または[BS/CSデジタルアンテナレベル]を選び、[決定]ボタンを押します。

ちょっと一言

- [地上デジタルアンテナレベル]の画面で[伝送チャンネル]を変更すると、各チャンネルのアンテナレベルを確認できます。
- [BS/CSデジタルアンテナレベル]の画面で[BS]/[CS]ボタンを押すと、BS/CSそれぞれのアンテナレベルが確認できます。
- アンテナレベルが弱い場合、アンテナケーブルの入力と出力を間違えていることがあります。

2 アンテナレベルの値が緑色の範囲になるように、アンテナの向きを調整したり、アンテナケーブルに断線がないか確認する。

断線している場合はアンテナケーブルを交換してください。

125 ~127ページの事例もご確認ください。

地上デジタルアンテナレベルの表示例



青いバーが赤や黄色の範囲内だと受信電波が弱い状態。

青いバーが緑色の範囲内になるようにアンテナを調整してください。

それでもアンテナレベルが上がらないときは

お住まいの環境によっては、放送波にノイズが入るなどの影響を受け、放送波が一時的に弱くなっていると考えられます。お近くの電気店、またはマンションなどの共同受信システムではマンション管理会社(または管理人や管理組合など)へのご相談をおすすめします。

本書では次の項目のよくあるトラブルと解決方法を記載しています。
解決方法がない場合は、「5. それでも困ったときは」(133ページ)をご覧ください。

リモコン

リモコンが働かない。

- 乾電池を交換してください。乾電池を交換すると、リモコンモードやメーカー番号がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。リモコン側のリモコンモードや登録したテレビのメーカー番号を合わせ直してください(118ページ)。
- 本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なると操作できません。本体とリモコンのリモコンモードを合わせてください(119ページ)。
- リモコンを本体のリモコン受光部  マークに向けてたり、本体に近づけたりして操作してください。
- テレビを操作するときは、《TV操作》ボタンを押してから操作してください(118ページ)。

本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のBD対応機器が同時に動いてしまった。

- 本機のリモコンモードを変更してください。お買い上げ時は「BD3」になっています(119ページ)。

表示

本体前面の「録画予約」ランプが点滅している。

- 次のことを確認してください(42、60、62、141ページ)。
 - 内蔵/外付けのハードディスクやBDの残量を確認してください。残量が足りない場合、不要なタイトルを削除してください。
 - 録画できるBDが本機に入っているか確認してください。
 - BDが保護(プロテクト)されていないか確認してください。

録画モードが正しく表示されない。

- 10分未満の録画/ダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、設定した録画モードとは異なるモードが表示されることがあります。録画やダビング時の録画モードと異なるモードが表示されても、実際は設定したモードで録画やダビングされています。
これは、本機が可変ビットレート方式(VBR)を採用しているためです。

本体表示窓にエラーメッセージ『E5001』などが表示されている。

- 「3. 本機のメッセージを確かめる」(122ページ)をご覧ください。

映像

映像が出ない、乱れる。

- 初めに「動作または動作音はするが、テレビに映像が表示されない」(123ページ)を確認してください。
- テレビの入力が本機に切り換わっているか確認してください。
- HDMIケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。本機とテレビのHDMIケーブルを差し直してください。
- テレビなどの映像機器をHDMI1出力端子(映像/音声)に、つないでいるか確認してください。
HDMI2出力端子は音声出力のみのため映像出力できません。
- HDMI変換器を利用してHDMI端子のないテレビと接続した場合、音声や映像が乱れることがあります。ソニーは動作を保証するものではありません。
- テレビとの間にAVアンプや変換機など他の機器をつないでいる場合は、直接つないでみてください。
- 次の場合には映像/音声が一瞬途切れたり、映像が乱れたりすることがあります。
 - 2層以上のBD/DVDを再生する場合、レイヤー(層)が切り換わる時。
 - DVD再生時などでプログレッシブ映像に切り換わる時。
 - 24p True Cinemaに対応したBD-ROMの再生をする時。
- ホームサーバー機能を無線LANでお使いのときは、有線LANに切り換えてみてください。
- 放送受信状態やハードディスクの特性上、ごくまれに発生することがあります。複数回発生する場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
- アンテナケーブルが正しく接続されていない状態で、かんたん初期設定を行うと、電源を入れたときに外部入力の映像が表示されます。入力映像がない場合は、画面に何も表示されません。アンテナケーブルの差し間違いやゆるみがないか確認してください(124ページ)。正しく接続したあと、かんたん初期設定をやり直してください。
- 4K出力の場合、4K対応テレビ(ディスプレイ)の接続と設定を確認してください。
 - プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps対応のHDMIケーブルで、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでいるか確認してください。つなぎかえた後にかんたん設定のやり直しを試してください。
 - テレビのHDMI信号フォーマット設定を確認してください。ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。詳しくは、つないだテレビの取扱説明書や下記ホームページをご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>

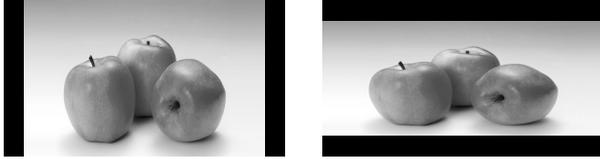
本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない。

- ホームメニュー>[視聴する]>[外部入力を視聴]を選ぶ、または《外部入力》ボタンを押して、本体表示窓に「LINE」(音声/映像入力端子)を表示させてください。
- 他機器で再生や受信している映像に、著作権保護のための信号が含まれていることがあります。この場合は、プレーヤーやチューナーなどの機器をテレビに直接つないでください。

本機の入力端子につないだ機器の画面の横縦比がおかしい。

- 録画する映像に合った映像サイズを設定してから録画してください(111ページ)。

- テレビ側の設定や、本機の[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [映像設定]で[画面モード]の設定を確認してください(108ページ)。放送や映像によっては、設定にかかわらず画面の左右や画面の上下に黒帯が入ることがあります。



4K/HDR (18Gbps) の映像

「4K/HDR (18Gbps) の映像表示に対応していません」と画面に表示された。または4K/HDR (18Gbps) の映像が表示できない。

- 4K対応テレビ(ディスプレイ)の接続と設定を確認してください。
 - プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18Gbps対応のHDMIケーブルで、18Gbps対応の4K信号(4K/HDRや4K/60p)入力に対応したHDMI端子につないでいるか確認してください。つなぎかえた後にかんたん設定のやり直しを試してください。
 - テレビのHDMI信号フォーマット設定を確認してください。ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」の設定を「拡張フォーマット」に変更してください。詳しくは、つないだテレビの取扱説明書や下記ホームページをご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/tv/>
- 再生しているコンテンツが4K Ultra HDのHDR映像であるか確認してください。

ホームメニューの表示が白くなる。

- Ultra HD Blu-rayの再生を停止し、ホームメニュー画面に戻るときに、通常よりも白く画面が見えることがあります。テレビなどのディスプレイ側がHDRからSDRに切り換わる途中で発生する事象であり、本機の故障ではありません。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。

- 初めに「放送が受信できない」(124ページ)、「本機で受信した放送が乱れたり、録画した番組が途切れたりする」(124ページ)を確認してください。
- 地上デジタル放送が受信できなくなった場合は、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [放送受信設定] > [地上デジタル自動チャンネル設定]で[初期スキャン] (110ページ)を選んで受信設定してください。
- 本体の表示窓に「LINE」と表示されている場合、外部入力が表示されています(122ページ)。放送を視聴したい場合は、リモコンの《地デジ》／《BS》／《CS》ボタンを押して、入力を切り換えてください。
- CATVの場合、BS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式(パススルー)と、CATVチューナーで受信し、本機に音声／映像ケーブルで入力する方式(トランスモジュレーション等)があります。

ご利用のCATV局に、それぞれの放送が「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください(102ページ)。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。

- BS/CSデジタルアンテナレベルの表示を見ながら、BS/110度CS対応アンテナの向きを調整してください(124ページ)。
- 降雨など天候が悪い場合や雪やゴミがアンテナに付着していると、電波妨害により放送が映らなくなったり、映像や音声が乱れたりします。
- [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [放送受信設定] > [BS/CSデジタルアンテナ電源] (110ページ)を[自動]に設定していても番組が映らない場合は、BS/110度CS対応アンテナがショートしている可能性があります。本機とテレビの電源を入れ直してください。
- 分波器や分配器には電流通過型をお使いください。それ以外の場合は、BS/CSアンテナに電源が供給されず、放送が映りません。
- アンテナレベルを確認してください(124ページ)。マンションなどの共同受信システムでアンテナレベルが低いときは、共同受信システムに問題がないかを、マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に確認してください。

BS・110度CSによる4K・8K放送が映らない。

- 本機は、2018年12月開始のBS・110度CSによる4K・8K放送に対応していないため、視聴や録画はできません。

本機で受信しているテレビ放送の映像が乱れる。

- アンテナレベルを確認してください(124ページ)。アンテナレベルが低い場合、電波の送信元に近い地域では地上デジタル放送の電波が強く、他のチャンネルが干渉を受けて放送がうまく映らないことがあります。[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [放送受信設定] > [地上デジタルアッテネーター] (110ページ)を[入]に設定して確認してください。また、お近くの電気店やマンション管理会社などへご相談ください。
- アンテナレベルを確認してください(124ページ)。アンテナレベルが低く電波が弱い場合は、別売のアンテナブースターで電波信号の増幅を試すなど、お近くの電気店やマンション管理会社などへご相談ください。

テレビチャンネルを切り換えることができない。

- 複数番組同時録画中*は、本機では録画中のチャンネルのみ見ることができます。他のチャンネルを見たい場合は、テレビの入力切替設定で、入力をテレビ側に切り換えてお使いのテレビのチューナーで視聴してください。テレビ側でチャンネルが切り換えられない場合には、テレビの取扱説明書をご覧ください。
* BDZ-FW2000 / FW1000 / FW500は2番組録画中。
BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000は3番組録画中。
- 本機のリモコンの《地デジ》／《BS》／《CS》ボタンを押して、映像が映るように入力を地上デジタル放送またはBS/110度CSデジタル放送に合わせてください。《チャンネル＋／－》ボタンを押してテレビのチャンネルを切り換えてください。

放送局のロゴが表示されない。

- 本機では各放送局のロゴデータを放送局から順次取得していきませんが、お急ぎの場合は表示させたい放送局をしばらく視聴していると自動的にロゴデータが受信され、表示されるようになります。

ブラビアとチャンネル設定の連動を行ったのに、本機とチャンネル設定が違う。

- テレビ側で次の設定を確認してください。
 - 郵便番号設定。
 - 地上デジタル放送のスキャン。
- チャンネル設定連動を行った後に、ブラビアで設定を変更した場合、本機に反映されません。かんたん初期設定をやり直してください。

番組表

番組表が表示されない。

- 番組表表示中に、《オプション》ボタンを押して[番組表取得]を選んでください。
- 放送が受信できていれば、視聴している放送局から順次取得します。
 - 放送が受信できているか確認してください(124ページ)。
 - CATVの場合、BS/110度CSデジタル放送や地上デジタル放送は、本機で直接受信できる方式(パススルー)と、CATVチューナーで受信し、本機に音声/映像ケーブルで入力する方式(トランスモジュレーション等)があります。ご利用のCATV局に、それぞれの放送が「直接受信できるかどうか」をお問い合わせください(102ページ)。

番組表に表示されない放送局がある。

- [設定/お知らせ] > [詳細設定] > [放送受信設定] > [地上デジタルチャンネル登録]や[BSデジタルチャンネル登録]、[CSデジタルチャンネル登録]の[+/-選局](110ページ)を[選局する]に設定してください。

番組表に表示されない番組がある。

- 初めに「1. こんな場合は故障ではありません」の「番組表の全部または一部が表示されない」(120ページ)を確認してください。
- 本機にアンテナをつないで初期設定を終えた直後や、数日以上本機の電源コードを抜いていた場合は、地上デジタル放送の番組表の一部が表示されません。電源コードを抜かないで1日程度お待ちください。
- 1時間に複数の番組があると、番組名が表示されず、番組の開始時刻のみ表示されます。開始時刻のみ表示されている欄を選び、**⇄**を押すと、番組名を見ることができます。また、《黄》ボタンを押して番組表を拡大表示すると番組名が表示されることがあります。

間違った放送局名が表示される。

- [設定/お知らせ] > [詳細設定] > [設定初期化] > [お買い上げ時の状態に設定](115ページ)の[放送受信設定]を選び、実行すると削除できます。削除後は[地上デジタル自動チャンネル設定](110ページ)をしてください。

録画・予約

録画中、テレビのチャンネルを変えられない。

- 「テレビの受信」の「テレビチャンネルを切り換えることができない。」(126ページ)をご覧ください。

録画中に■《停止》ボタンを押してもすぐに録画が止まらない。

- 録画が止まる前に内蔵/外付けのハードディスクやBDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によって、かかる時間は異なります。

「見て録」開始時に「カードエラー」と表示される。

- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください(9ページ)。
- 番組表データを取得してください(120ページ)。

予約したのに録画されていない。

- 録画したタイトルが表示されないときは、録画リストのタイトル分類で[ジャンル] > [すべて]を選んでください(47ページ)。
- 番組が中止になったり、変更になったりした可能性があります。
- 番組名で毎回録画予約しても、番組名が大幅に変更された場合は、録画されないことがあります。《ホーム》ボタンを押して、[録画する] > [予約リスト確認]で録画予約する番組を確認しても予約リストにない場合は、番組表からの録画予約をおすすめします(30ページ)。
- おまかせ・まる録は、他の録画やダビング、ワイヤレスおでかけ転送、学習情報の変化などで録画されないことがあります。確実に録画したい場合は、[予約リスト]の[自動録画]から録画予約に変更してください(40ページ)。
- 録画予約した番組が延長となり、録画できる番組数を超えた場合、録画できないことがあります。また、録画予約が重なった場合は、後から予約した番組が優先されるため、最初に予約した番組は録画できないことがあります。録画予約の重複を確認して、優先順位などを修正してください(38ページ)。
- 本機からのお知らせを確認してください。録画ができなかった状況などをお知らせしています(115ページ)。
- おでかけファイル作成中は、録画予約があっても録画は開始されません。作成終了後に録画が開始されます。
- アンテナレベルが低いと正しく録画できないことがあります。アンテナケーブルが正しく接続されているか確認し、録画できなかったチャンネルのアンテナレベルを確認してください(124ページ)。
- チャンネル設定を変更した場合、録画に失敗することがあります。録画予約をやり直してください。
- ブラビアの番組表からネットワーク録画予約した録画予約は日時指定のため、時間変更には追従できません。番組の中止や変更となった可能性があります。本機の番組表からの録画予約をしてください(30、101ページ)。
- お使いのテレビの番組表から録画予約した可能性があります。本機の番組表から録画予約してください(30ページ)。
- 外部入力録画の場合、録画開始時刻が本機の時計とずれた可能性があります。地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルが接続されていれば、自動で時刻が設定されます。アンテナケーブルの接続を確認してください(10ページ)。アンテナを接続できない/受信できないときは、[設定/お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [時刻設定]で設定してください(111ページ)。
- B-CASカードは正しく挿入されていますか？(9ページ)
- 契約の必要な有料放送の場合、受信契約されたB-CASカードが挿入されていますか？

予約した内容の先頭が切れている。

- LAN経由で録画する場合、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [スタンバイモード] (112ページ) を [瞬間起動] や [バランス] に設定してください。

本体前面の「録画予約」ランプが点滅している。

- 内蔵／外付けのハードディスクやBDの残量が足りない場合や、最大録画番組数 (139ページ) に達した場合など、録画できない場合に点滅します (122ページ)。不要なタイトルを削除してください (60ページ)。

以前録画した内容がなくなっている。

- 上書き録画されているときは、録画予約設定画面の [上書き] を [しない] にしてください (31ページ)。
- 内蔵／外付けのハードディスクの容量がなくなると、おまかせ・まる録で録画されたタイトルが自動的に削除されます (39ページ)。

勝手に録画されている。

- タイトル名の先頭に★が付いている場合は、おまかせ・まる録のおすすめで自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、[自動録画] を [切] にしてください (40ページ)。
- タイトル名の先頭に🌀が付いている場合は、あらかじめ設定したジャンルやキーワードから自動録画されたタイトルです。自動録画をやめるには、おまかせ自動録画設定を変更または取り消してください (39ページ)。
- 二度録り回避で、本機が録画を回避するのは録画から約半年の間です (32ページ)。

同じ番組が録画されてしまう。

- 複数の予約方法によって同じ番組が予約対象となった場合、複数録画予約されることがあります。予約リストで、同じ番組の重複予約がないか確認してください。予約リストを表示中に《オプション》ボタンを押し、[削除] または [今回の予約のみ削除] で重複した録画予約を削除することができます。

外から録画予約できない。

- ネットワークに接続されているか確認してください (91ページ)。
- 外から録画予約するための設定を確認してください (98ページ)。

WSRなどのアイコンがついたタイトルが、なかなか変更されない／変更できない。

- 録画モードの自動変更は、録画予約が設定されていない空き時間に行います。変更が終わるまでには時間がかかることがあります (28ページ)。
- 自動変更に必要な空き時間がなかったり、操作などにより変更が中止された可能性があります。
- プレイリストから参照されているタイトルは変更されません。プレイリストを削除すると変更されます。
- 保護設定されているタイトルは変更されません。保護設定を解除すると変更されます。

- おでかけファイルを作成したタイトルは変更対象ではなくなります。録画モード変更とおでかけファイル作成を一緒に行いたい場合は、自動変更を待つか、手動で変更してください (29ページ)。
- 内蔵／外付けのハードディスクの残量が足りない可能性があります。足りない場合は不要なタイトルを削除してください。

予約登録時に「録画残量が足りません」と表示された。

- 不要なタイトルを削除して、残量を増やしてください。本機は長時間録画 (AVC) の際、一時的に多くの容量を必要とします。そのため、予約登録時点で必要な残量が無い場合は不足と判断します。録画時に一時的に使用する容量は、予約リストをご確認ください。

「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。

- 管理情報とは、タイトルや曲の容量とは別に記録される情報で、この管理情報が極端に多くなると内蔵／外付けのハードディスクやディスクの残量が充分に残っていても、録画、編集ができないことがあります。次のことを行ってください。
 - 不要なタイトルを削除してください (60ページ)。
 - 不要な曲を削除してください (57ページ)。
 - 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください (66ページ)。

ダビング

ダビングの途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。次の映像やディスクは、ダビングできないことがあります。
 - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
 - 無許諾のBD/DVD (海賊版など)。詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。Cinaviaオンラインお客様情報センター <http://www.cinavia.com>
- [本機からのお知らせ] で詳細を確認してください。[設定／お知らせ] > [お知らせ] > [本機からのお知らせ] でお知らせを選びます。

動画の取り込みができない。

- USB接続で取り込む場合、AVCHD/MP4形式以外の映像は、内蔵ハードディスクに取り込めません (80ページ)。SD (スタンダード) 画質で記録された映像を取り込むには「音声／映像ケーブルを使って取り込みたい」(82ページ) に記載されている方法で取り込んでください。
- 市販のBDやDVDに入っているコピー制御信号が付いた場面は取り込めません。
- DVD (AVCHD形式以外) からは取り込めません。

写真の取り込みができない。

- 残量が足りないため、コピーできません。
コピーする写真を減らすか、コピー先の不要なデータを削除してください。
- ファイル形式などは「本機で取り込み／再生できる写真について」(145ページ)をご覧ください。

USB機器を認識しない。

- USBケーブルがしっかり差し込まれていない可能性があります。
USBケーブルを差し直してください(80ページ)。
- 利用する機能に対応したUSB端子に、USB機器をつないでいるか確認してください。
- 本機とのUSB接続に対応している機器かどうか、下記ホームページで最新情報を確認してください。
<https://www.sony.jp/support/bd/>
- ソニー製デジタルスチルカメラをつなぐ場合、USB接続設定が標準(Mass Storageモード)になっているか確認してください。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器をUSB接続モードなどに設定してください(81ページ)。

ダビングできない。

- 映画などの市販ソフトはコピーできません(71ページ)。
- BDやDVDに汚れや傷が付いていないか確認してください。
- DVD-R DL(2層)やDVD+R、DVD+RW、DVD+R DL(2層)、DVD-RAMにはダビングできません(71ページ)。

ダビングしたディスクを他機器で再生できない。

- DVD-R/DVD-RWにダビングした場合、他機器で再生するためにはファイナライズが必要です(70ページ)。DVD-RWにダビングした場合には、自動でファイナライズされます。
- ダビングしたDVD-R/DVD-RWはVRモードに対応した機器でのみ再生できます。ご利用の再生機器の取扱説明書などを確認してください。
- CPRM対応のDVDにダビングした場合、CPRMに対応した機器でのみ再生できます(71ページ)。

「管理情報がいっぱいです」と画面に表示された。

- 管理情報とは、タイトルや曲の容量とは別に記録される情報で、この管理情報が極端に多くなると内蔵／外付けのハードディスクやディスクの残量が充分に残っていても、ダビング、編集ができないことがあります。次のことを行ってください。
 - 不要なタイトルを削除してください(60ページ)。
 - ダビング先のタイトルを削除してください。
 - ダビングするタイトルを減らしてください(73ページ)。
 - 不要な曲を削除してください(57ページ)。
 - 編集回数が多いタイトルの場合、タイトルを分割してください(66ページ)。

再生

再生が途切れる／止まる。

- 編集回数が多いタイトルは、再生中に途切れたり、止まったりすることがあります。

- チャプター編集の削除や、タイトル部分削除で削除した場所の映像や音声途切れることがあります。
- プレイリストを作成すると、編集した場面を再生するときに映像が一時停止することがあります。

ディスクの再生ができない。

- ディスクに指紋や汚れが付いている場合、柔らかい布やクロスなどで傷が付かないように拭き取ってください(151ページ)。
- BDやDVD、CDが裏返しや斜めにずれて入っていないか確認してください。
- CD-ROMなどの再生できないディスクが入っていないか確認してください(142ページ)。
- BDやDVDの地域番号(リージョンコード)が本機で再生できる番号になっているか確認してください(142ページ)。
- 他機器で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生できません(142ページ)。

内蔵／外付けのハードディスクやBD、DVDの再生が最初から始まらない。

- 《オプション》ボタンを押して[はじめから再生]を選んでください(159ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、BDやDVDメニューの画面が表示されるBDやDVDの場合、画面に表示されるメニューに従って再生してください。

前回のつづきから再生できない。

- 市販のソフトによっては、つづきから再生できないことがあります。
- 次の場合は最初から再生されます。
 - ディスクトレイを開けたとき。
 - タイトル結合したとき。
 - 他のタイトルを再生したとき(DVDやCD)。
 - 再生の途中で停止し、停止した場面を編集で削除したとき。
 - [設定／お知らせ]>[詳細設定]>[映像設定]や[BD/DVD視聴設定]、[年齢制限設定]を変更したり、[設定初期化]をしたりしたとき(内蔵／外付けのハードディスクを除く)。

再生が自動的に始まる／止まる。

- BDやDVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。再生を続ける場合は操作をしてください。

再生の途中で画面にメッセージが表示され、止まる。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
次の映像やディスクは、再生できないことがあります。
 - ビデオカメラで撮影中に、市販のBD-ROMや一部のDVD再生中の音声が入った場合。
 - 無許諾のBD/DVD(海賊版など)。詳細は、画面の指示に従って下記をご覧ください。
Cinaviaオンラインお客様情報センター
<http://www.cinavia.com>

音声言語を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の言語が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。

字幕を変更できない。

- 再生しているBDやDVDに複数の字幕が記録されているかディスクのメニューから確認して操作してください。

タイトルが表示されない。

- LAN録画／LANムーブしたタイトル、BS/110度CSデジタルで録画したタイトルのうち、18歳未満視聴禁止またはより厳しい視聴制限のあるタイトルは、視聴年齢制限されていると、録画リストなどに表示されません。視聴年齢制限を解除してください(113ページ)。
- 録画したタイトルが表示されないときは、録画リストのタイトル分類で[ジャンル]>[すべて]を選んでください(47ページ)。

タイトルのサムネイルが表示されない。

- 一度再生して停止してください。
- 内蔵ハードディスクから本機前面のUSB端子につないだSeeQVault対応外付けハードディスクへダビングすると、サムネイル表示はされません。

追いかけて再生できない。

- アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けたりしていると、記録状態が不安定となり追いかけて再生できないことがあります。

市販の3Dソフト(BD-ROM)の3D再生ができない。

- 本機と3D対応テレビは、必ずハイスピードHDMIケーブルでつないでください(52ページ)。
- 本機と3D対応テレビの間に、ホームシアターシステムやAVアンプなどをつないでいる場合、それらの機器も3D対応している必要があります。対応していない機器をつないでいる場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぎ、テレビの光デジタル出力からホームシアターシステムやAVアンプなどにつないでください。

- HDMI出力1端子から映像／音声を出力するときは、[設定／お知らせ]>[詳細設定]>[音声設定]>[AVピュア出力設定]を[自動]に変更してください(109ページ)。設定が[自動]であっても、つないだ他機器の設定によっては本機が他機器の電源を「入」と判断していることがあります。HDMI1端子から音声出力されていないときは設定を[設定／お知らせ]>[詳細設定]>[音声設定]>[AVピュア出力設定]>[切]にして試してください(109ページ)。

AVピュア出力機能使用時に音が出ない

- 本機とつないでいるAVアンプやサウンドバーをテレビとつないでいる場合、設定によっては、本機の入力に切り換わらなかったりすることや、AVピュア出力機能が自動で有効になったり解除されたりを繰り返すことがあります。以下のことを確認してください。
 - HDMIケーブルが、本機のHDMI出力2端子から、AVアンプやサウンドバーのHDMI入力端子に接続されているか確認してください。本機からAVアンプやサウンドバーのHDMI出力端子に接続しないでください。
 - AVアンプ側で本機の入力に切り換えてください。
- 上記を確認して解決しないときは、次のいずれかの方法を試してください。
 - AVアンプやテレビのHDMI機器制御機能の設定を「切」にしてください。「切」にすると、テレビとAVアンプのHDMI機器制御機能が使えなくなります。
 - テレビのARC対応HDMI入力端子にAVアンプをつないでいる場合、次の図のようにHDMIケーブルを外してください。この場合、テレビの音がAVアンプから出なくなります。テレビの音を出すには、テレビとAVアンプを光デジタルケーブル(別売)でつないでください。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。<https://www.sony.jp/support/bd/>

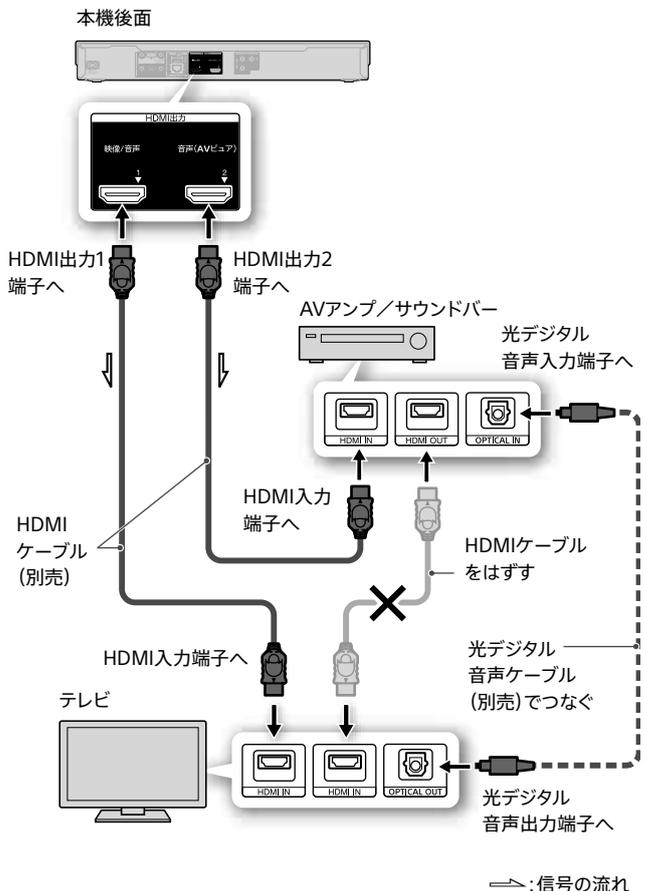
音声

音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(103ページ)。
- 接続ケーブルが断線している可能性があります。ケーブルを交換してください。
- AVアンプの入力切換で本機の音声が出るようになっているか確認してください。

HDMI接続したとき、音が出ない。

- HDMI出力端子につないだ機器が対応している音声信号のフォーマットに変更してください。
[設定／お知らせ]>[詳細設定]>[音声設定]>[HDMI音声出力]を[PCM]に設定してください(109ページ)。



音が小さい。

- テレビの音量に比べ、本機に入力を切り換えたときの音量が小さい場合、お使いのテレビで、本機をつないだ外部入力端子の音量を調節してください。詳しくは、テレビの取扱説明書などを確認してください。
- Ultra HD Blu-ray/BD/DVDによっては、再生時の音量が小さいことがあります。[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [音声設定] > [オーディオDRC]を[スタンダード]に設定すると、改善されることがあります(109ページ)。

二か国語放送の音声切り換えられない。

- DVDにダビングする場合は、ダビングの前に[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [録画／ダビング設定] > [二重音声記録] > 記録したい音声を選んでください(79ページ)。
- HDMI出力端子に他機器をつないでいる場合、内蔵／外付けのハードディスクやBD、DVD-RW/-R(VR)、DVD-RAMの主音声や副音声を本機のリモコンを使って切り換えるには、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [音声設定] > [HDMI音声出力]を[PCM]に設定してください(109ページ)。
- 外部チューナーやビデオデッキを使って二重音声放送を記録する場合、外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声や副音声に切り換えてください。
外部チューナーやビデオデッキの外部音声出力設定を主音声＋副音声中に設定したい場合、本機で視聴中に《オプション》ボタンを押して[画質／音声設定] > [音声設定] > [外部入力音声] > [二重音声](56ページ)を選びます。視聴中の主音声や副音声は本機のリモコンの《音声切換》ボタンを押して切り換えることができます(53ページ)。

ネットワーク

本機がネットワークにつながらない、とぎれる。

- ルーターなどの電源が入っているか確認してください。
- ルーターを買い替えた場合、ネットワークの接続を確認したり、かんたんネットワーク設定を再設定してみてください(91ページ)。
- 有線接続の場合、LANケーブルが接続されているか確認してください。
- 無線接続の場合、本機と無線LANルーターの設置場所を確認してください。
次のような環境では、電波干渉を受けている可能性があります。
 - 本機が他の無線機器や電子レンジ、蛍光灯の近くに設置されている。
 - 本機と無線LANルーターの間に床や壁がある。
- USB3.0対応外付けハードディスクを使用すると、2.4 GHz帯への電波干渉によってネットワークの通信速度が低下したり、不安定になることがあります。以下をお試しください。
 - 802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線LANブロードバンドルーターをお使いの場合、5 GHzで使用する。
 - 無線LANブロードバンドルーターが2.4 GHzのみの場合、外付けハードディスクは本機の上に置かない。本機の無線LANアンテナ部からできるだけ離して設置する(106ページ)。
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)やAOSSで無線接続登録中は、通常よりも電波出力が下がることがあります。
 - 接続時のみ、ルーターを近くに持っていき試してください。

- [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [ネットワーク設定]で、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)やAOSSを使わずに[検索して登録]や[手動登録]を試してください。
- 無線接続時に検索で見つけれない場合、以下も確認してください。
 - 電波が弱いかもしれません。アンテナの向きや位置を変えてみてください。
 - SSIDや暗号キーの入力を間違えているかもしれません、再度入力してみてください。
 - SSIDにひらがなや漢字などの全角文字が含まれていないか、ルーターの設定を確認してください。全角文字が含まれている場合は、SSIDをすべて半角文字に変更してから設定をやり直してください。SSIDの確認や変更方法についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- IPアドレスを確認してください。《ホーム》ボタンを押し、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [ネットワークの設定確認と接続診断]の[詳細確認]で確認できます。
 - IPアドレス「169.254.xxx.xxx」(xは任意の数字)は、DHCPサーバーに接続できなかったとき設定されるIPアドレスです。ケーブル接続を確認し、ネットワークを設定し直してみてください。
 - IPアドレスが「---.---.---.---」で表示されている場合は、IPアドレスが設定されていません。かんたんネットワーク設定をし直してみてください(92ページ)。

ホームサーバー機能対応の他機器から本機のタイトルを再生できない。または、他機器から本機が見つからない。

- 本機がホームネットワークに接続、設定されているか確認してください(91ページ)。
- スマートフォンやタブレットなどの他機器が、本機とは別のネットワークに接続されているかもしれません。
本機と同じネットワークのSSIDに接続していることを確認してください。本機のSSIDは[設定／お知らせ] > [設定値一覧]で、▼を押して画面をスクロールし、[通信設定] > [2:SSID]で確認できます。
- ルーターのプライバシーセパレーター機能またはネットワーク分離機能をお使いの場合は、本機にアクセスできないことがあります。これらの機能を無効に設定してください。設定状態の確認や設定方法については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組をDRモード以外で録画した場合や、LAN録画／LANムーブした場合は、他機器で再生できないことがあります。対応機器についてはソニー製品情報のホームページ(<https://www.sony.jp/support/dlna/>)または、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

[通信設定]の接続診断で、「DNSが応答しません」と表示された。

- インターネットへの接続を確認できなかったときに表示されます。
 - 画面に表示されたメッセージを確認してください。
 - ネットワーク機器の電源や接続を確認してください。
 - 他機器から、インターネットに接続できるか確認してください。
 - プロバイダーへ問い合わせてください。
 - ネットワーク機器の電源を入れ直してください。

LAN録画

予約したのに録画されていない。

- LAN経由でのCATV録画/「スカパー/プレミアムサービスLink」(録画)の予約が正しく設定されたか確認したいときは、チューナーを操作して確認します。詳しくはお使いのチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 通信が不安定になっている可能性があります。本機側とチューナー側のLANケーブルの抜き差しを試してください(99ページ)。

予約した内容の先頭が切れている。

- LAN経由で録画する場合、[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[本体設定]>[スタンバイモード](112ページ)を[瞬間起動]や[パランス]に設定してください。

CATVや「スカパー/プレミアムサービス」の番組を録画できない。

- 録画開始時刻が本機の時計とずれた可能性があります。地上デジタル放送やBS/110度CSデジタル放送のアンテナケーブルが接続されていれば、自動で時刻が設定されます。アンテナケーブルの接続を確認してください(10ページ)。アンテナを接続できない/受信できないときは、[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[本体設定]>[時刻設定]で設定してください(111ページ)。

Video & TV SideView

XperiaなどのAndroid搭載機器、iPhoneやiPadなどで「Video & TV SideView」アプリを使って、家じゅうどこでも視聴、外からどこでも視聴、外から録画予約、ワイヤレスおでかけ転送の機能が操作できない、よくあるご質問などの詳しい情報は下記Webサイトをご覧ください。

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>



外付けハードディスク

録画、コピー、再生ができない。

- お使いの外付けハードディスクによっては、本機後面のUSB HDD専用端子から電源供給ができないことがあります。お使いの外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 「外付けハードディスクとの接続/登録(SeeQVault対応)」(104ページ)も確認してください。

その他

電源が「切」のときに本機の動作音ができる。

- 番組表データの取得などの内部動作により、音がすることがあります(120ページ)。

HDMI機器制御機能が働かない。

- [設定/お知らせ]>[詳細設定]>[HDMI機器制御設定]>[HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください(112ページ)。
- つないだ機器がHDMI機器制御機能に対応しているか、つないだ機器のHDMI機器制御機能の設定を確認してください(つないだ機器の取扱説明書をご覧ください)。
- AVアンプを通してテレビにつないだ場合、HDMI接続を変更したり、電源コードの抜き差しをしたり、停電などがあると、AVアンプからの映像出力が出なくなることがあります。AVアンプの入力を本機からの入力に切り換えて、本機の[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[HDMI機器制御設定]>[HDMI機器制御]を[切]にし、その後[入]に再設定してください。お使いのAVアンプの取扱説明書もご覧ください。
- 1台のテレビでHDMI機器制御できる録画機器は3台までです。
- HDMI機器制御機能は、HDMI出力1端子のみ有効です。ただし、AVピュア出力機能を使用している間はHDMI機器制御機能が無効になります。

操作を受け付けない。

- リセット(再起動)を試してください(121ページ)。

▲《開/閉》ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- BDやDVDに録画やダビング、編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがあります。これは、本機がBDやDVDにディスク情報を追加しているためです。
- どうしてもディスクトレイが開かないときは、電源を切って電源コードを抜きます。本機前面の▲《開/閉》ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら▲《開/閉》ボタンをはなしてください。ディスクを取り出した後、リセット(再起動)を試してください(121ページ)。

5. それでも困ったときは

操作を受け付けなくなった場合は、リセット(再起動)を行うと改善する場合があります。

詳しくは「2. 操作を受け付けなくなった場合は」(121ページ)をご覧ください。

サポートホームページで調べる

ブルーレイディスク/DVDレコーダーサポート・お問い合わせ

パソコンなどでインターネットに接続できるときは、「ブルーレイディスク/DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ

<https://www.sony.jp/support/bd/>

スマートフォンやタブレットの設定については、

<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>

をご覧ください。

「ブルーレイディスク/DVDレコーダー」サポート・お問い合わせ」では、ブルーレイディスクレコーダーに関するトラブル解決方法や活用方法、ブルーレイディスクレコーダーを安心してお使いいただくための最新情報やソフトウェアアップデートの情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

電話で問い合わせる

放送・サービスに関するお問い合わせ

有料BS/110度CSデジタル放送局

問い合わせ先	
WOWOW	電話番号: 0120-580-807 受付時間: 9:00~20:00(年中無休) ホームページ: http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル	電話番号: 0570-013-111または 044-540-0809 受付時間: 10:00~18:00(年中無休) ホームページ: http://www.star-ch.jp/

「スカパー！」について

問い合わせ先	
スカパー！カスタマーセンター	電話番号: 0120-211-855 受付時間: 10:00~20:00(年中無休) ホームページ: https://www.skyperfectv.co.jp/

受信地域(エリア)や受信方法などのデジタル放送全般について

問い合わせ先	
(社)放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)	ホームページ: http://www.apab.or.jp/

B-CASカードについて

問い合わせ先	
B-CASカスタマーセンター	電話番号: 0570-000-250 受付時間: 10:00~20:00(年中無休)

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容(コンテンツ)については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容(コンテンツ)の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではBDレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

修理をご依頼される前に

故障箇所の特定や修理を迅速に行うため、「修理カルテ」(135ページ)に不具合の症状をご記入ください。ご記入の際は「修理カルテ」を切り取るか、コピーしてください。お買い上げ店または修理相談窓口にて修理をご依頼されるときは、保証書とともに「修理カルテ」をお送りください。

型名と製造番号の確認方法

本機後面



型名(MODEL NO.)
製造番号

修理カルテ

該当する項目にチェックおよびご記入をお願いします。型名と製造番号の確認方法は134ページをご覧ください。

型名:

製造番号:

1. 不具合の症状

- 操作を受け付けない
- ディスクトレイが開閉しない
- 電源が入らない
- 予約した番組が録画できない

- ・番組の数 : 1番組 複数番組
- ・放送局 : 特定の局 地デジ放送の複数局 BS/CS放送の複数の局
- ・予約方法 : 1回予約 毎週(毎日)予約 番組名予約 おまかせ・まる録

・番組情報(日時、放送局名、番組名) :

- ディスクの再生・ダビングができない

- ・再生できない : 一部のタイトルのみ すべてのタイトル
- ・ダビングできない : ダビングに失敗する ダビングしたディスクが再生できない
- ・ディスクの種類 : 市販のBD/DVDソフト(タイトル名)

- BD-R/RE DVD-R/-RW/+R/RAM その他

・ディスクの容量 : 4.7GB 9.4GB 25GB 50GB それ以上

・ディスクのメーカー名 :

- 接続している機器の不具合が発生している

- ・機器の種類 : 外付けハードディスク(SeeQVault対応含む) テレビ
- ビデオカメラ、デジタルカメラ
- AVアンプ、ホームシアターシステムなどのオーディオ機器 その他

・メーカー名と型番 :

・詳しい症状 :

裏面につづく →

1. 不具合の症状(つづき)

ネットワーク機能の不具合が発生している

・プロバイダー名、プロバイダー提供機器：

・ブロードバンドルーターのメーカー名、型番：

・接続(視聴)機器： スマートフォン タブレット テレビ パソコン その他
メーカー名、型番

・使用アプリ： Video & TV SideView PC TV with nasne その他

・詳しい症状：

その他の不具合が発生している

不具合の症状についての補足などご自由にご記入ください。

2. 本機の表示窓の状態

メッセージ「Exxxx」(xは任意の数)が表示されている場合、ご記入ください。

3. 不具合が発生した時期

・最初に発生した時期：

・最後に発生した時期：

・不具合発生のきっかけ(設定変更や環境の変化など)：

4. 不具合の発生頻度

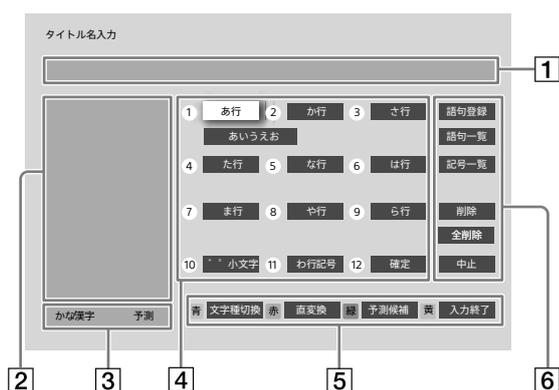
・発生頻度： ごくまれに とくどき(同じ操作で発生するときとしないときがある)
 毎回(特定の操作で毎回発生する)

・不具合が発生する操作方法：

キ
リ
ト
リ
線

文字入力のしかた

文字入力画面は、文字を入力する項目を選ぶと表示されます。文字入力はキーワードで番組を検索したり、録画したタイトル名を変えたりするときに使います。



1 入力文字表示エリア

主な入力項目と最大文字数は次のとおりです。

	全角文字数	半角文字数
内蔵／外付けのハードディスク、BDに録画したタイトル名	40文字	80文字
BDディスク名	69文字	138文字
DVDディスク名	32文字	64文字
キーワード入力	13文字	26文字
タイトルグループ名	20文字	40文字
外付けハードディスク名	16文字	32文字

2 候補パネルエリア

予測変換候補などを表示します。

3 入力文字／変換モードエリア

選んでいる入力文字の種類と、候補パネルの表示が予測候補文字か変換文字かを表示します。

4 文字選択／変換／確定ボタンエリア

リモコンの数字ボタン(《1》～《12》)を押して入力する方法と、**↕↔**で入力する方法があります(137ページ)。

5 機能ボタンエリア

項目	できること
文字種切換	《青》ボタンを押して文字の種類を切り換えます。
直変換	《赤》ボタンを押して漢字／カタカナに変換したり、英字や数字入力中は全角／半角を切り換えたりします。
予測候補	《緑》ボタンを押して予測変換候補を表示します。英字入力中は大文字／小文字を切り換えます。
入力終了	《黄》ボタンを押して入力した文字を確定し、文字入力画面を終了します。

6 操作メニュー

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアの語句を20件まで登録できます。
語句一覧	登録した語句の一覧を表示できます。登録解除もできます。
記号一覧	記号の一覧を表示できます。
削除	カーソルの後の1文字を削除できます。後に文字がないときは、前の1文字を削除できます。
全削除	入力した文字をすべて削除できます。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアの文字は記録されません。

ちょっと一言

- 文字入力画面の[記号一覧]から選べる **☐** (二か国語放送)や **☒** (字幕放送)は、キーワード検索で使えます。
- 文字を削除するときは、リモコンの《削除》ボタンでもできます。

ご注意

- 電源コードを抜き差ししたり、再起動(リセット)したりすると、変換に関する学習データが削除されます。

文字を入力するには

1 文字を入力する。

数字ボタンで入力するには

対応する数字ボタンをくり返し押します。

↕↔で入力するには

[あ行]などを選び、《決定》ボタンを押します。

▶で[お]など入力したい文字を選び、《決定》ボタンを押します。

ソフトウェアアップデートについて

- 2 変換する。
《赤》ボタンを押します。
- 3 候補パネルエリアから変換候補を選ぶ。
変換候補を選び、《決定》ボタンを押します。
- 4 入力を終了する。
《黄》ボタンを押します。

文字を挿入するには

入力文字表示エリアにカーソルを動かした後、挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。数字ボタンや▲▼↔を使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデート(更新)する機能が搭載されています。

お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

自動アップデートの条件について

次の条件を満たしていれば、自動でアップデートが行われます。

条件1: 地上デジタル放送を安定して受信できている(更新用ソフトウェアは放送波に含まれます)。

条件2: [ソフトウェアアップデート]が[自動](お買い上げ時の設定)になっている(112ページ)。

条件3: 本機の電源が「切」になっている。

ちょっと一言

- アップデートの完了は、本機からのお知らせで確認できます(115ページ)。
- アップデート中は表示窓に進行状況が表示されます(122ページ)。
完了して表示窓が消灯するまで、電源コードを抜かないでください。
- 録画中、または直前に録画予約がある場合、アップデートはその後に開始します。

ソフトウェアのバージョン確認について

ホームメニュー>[設定/お知らせ]>[設定値一覧]の[ソフトウェアバージョン]で本機ソフトウェアのバージョンを確認できます。下記ホームページから、最新のバージョンかどうか確認してください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

自動アップデートできないときは

USBメモリーを使ってアップデートすることができます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd/>

主な仕様

システム

形式:BD/DVD/ハードディスクレコーダー
受信チャンネル:地上デジタルチューナー:UHF、CATV
BS/110度CSデジタルチューナー:1032~2071MHz
アンテナ入出力:地上デジタル:75Ω F型コネクタ
BS/110度CS IF:75Ω F型コネクタ
(コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、
芯線側+、メニューにて自動/切を切り換え)

映像記録方式:

MPEG-2(録画モードDR) / (DVDダビング)
MPEG-4 AVC(録画モードDR以外) / (ワイヤレスおでかけ転送)
LAN録画/LANムーブは送信元の方式のまま。

音声記録方式/ビットレート:

MPEG-2 AAC
Dolby Digital (2ch 256kbps) (DVDダビング/外部入力録画)
LAN録画/LANムーブは送信元の方式のまま。

入力/出力端子

映像入力:入力1系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
音声入力:入力1系統、ピンジャック入力レベル:2 Vrms
(入力インピーダンス:22 kΩ以上)

HDMI出力:

19ピン標準コネクタ(TypeA)2系統
(HDMI1出力端子(映像/音声)、HDMI2出力端子(音声))

USB AV周辺機器用端子:

Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)1系統
(デジタルカメラ、デジタルハイビジョンビデオカメラ、USBメモリー、外付けハードディスク(写真書き出し用)、SeeQVault対応外付けハードディスク接続用)

USB HDD専用端子:

SuperSpeed USB(USB 3.0準拠)1系統
(外付けハードディスク/SeeQVault対応外付けハードディスク接続用)

内蔵無線LAN:

通信方式 IEEE 802.11a/b/g/n準拠
(W52/W53/W56)



LAN端子:10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T

(ネットワークの使用環境により、通信速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

電源・その他

電源:AC100 V、50/60 Hz

消費電力(動作時/待機時*):

BDZ-FT3000:33 W / 0.04 W
BDZ-FT2000 / FT1000:32 W / 0.04 W
BDZ-FW2000:31 W / 0.04 W
BDZ-FW1000 / FW500:30 W / 0.04 W

* スタンバイモード[低消費待機]、HDMI機器制御[切]、BS/CSデジタルアンテナ出力[切]、サーバー機能[切]時。

最長録画時間:12時間

最大チャプターマーク数:98個

最大録画番組数(タイトル数):

内蔵ハードディスク:10,000
外付けハードディスク:10,000(1台につき)
BD-R/BD-RE:200

最大予約数:130件

写真の最大取り込み枚数:10,000枚

一度に取り込める最大写真数:1,000枚

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)(最大突起含む):

430.0×58.7×227.2 mm

ハードディスク容量:

BDZ-FT3000:3テラバイト
BDZ-FT2000 / FW2000:2テラバイト
BDZ-FT1000 / FW1000:1テラバイト
BDZ-FW500:500ギガバイト

本体質量:

BDZ-FT3000 / FT2000 / FW2000:約3.7 kg
BDZ-FT1000 / FW1000 / FW500:約3.5 kg

許容動作温度/許容動作湿度:

5℃~35℃/25%~80%

付属品

- B-CASカード使用許諾契約約款(1部)
- B-CASカード(1)(B-CASカードは台紙に貼り付けてあります)
- リモコン(1個)
- 単4形乾電池(2本)*1
- アンテナケーブル(1本)
- 電源コード(1本)*2
- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)

*1 付属の電池はお試用です。電池を交換するときは、アルカリ電池をおすすめします。

*2 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機の省エネ対応について

本機動作時は、本体表示の明るさ設定(111ページ)によって消費電力を軽減できます。
待機時の消費電力と起動時間の関係については、次の表をご覧ください。表の数値は目安です。

▶ 対象機種:BDZ-FT3000

スタンバイモード	消費電力				起動時間*6
低消費待機	0.04 W*1 *3				約30秒(約45秒)
バランス	5.4 W*1	5.5 W*2	6.5 W*4	約15 W*5	約5秒(約15秒)
瞬間起動*2	約16 W				約0.5秒(約1秒)

▶ 対象機種:BDZ-FT2000 / FW2000

スタンバイモード	消費電力				起動時間*6
低消費待機	0.04 W*1 *3				約30秒(約45秒)
バランス	5.4 W*1	5.5 W*2	6.5 W*4	約15 W*5	約5秒(約12秒)
瞬間起動*2	約15.5 W				約0.5秒(約1秒)

▶ 対象機種:BDZ-FT1000 / FW1000 / FW500

スタンバイモード	消費電力				起動時間*6
低消費待機	0.04 W*1 *3				約30秒(約45秒)
バランス	5.4 W*1	5.5 W*2	6.5 W*4	約15 W*5	約5秒(約12秒)
瞬間起動*2	約15 W				約0.5秒(約1秒)

- *1 [HDMI機器制御] (112ページ) [切]、[BS/CSデジタルアンテナ出力] (110ページ) [切]、[サーバー機能] (114ページ) [切]時。
*2 [HDMI機器制御] (112ページ) [入]、[BS/CSデジタルアンテナ出力] (110ページ) [入]、[サーバー機能] (114ページ) [切]時。
*3 お買い上げ時の設定状態です。
*4 [HDMI機器制御] (112ページ) [入]、[BS/CSデジタルアンテナ出力] (110ページ) [入]、[サーバー機能] (114ページ) [入]時。
*5 [リモート機器(スマートフォン等)登録] (114ページ) ありのとき。
[外からどこでも視聴] > [許可する]に設定し、外からどこでも視聴に対応したクライアント機器の登録があるとき(114ページ)。
*6 本機の画面が表示されるまでの時間です。()内は記録/再生などの操作可能になるまでの時間です。

ご注意

- [スタンバイモード]を[瞬間起動]にすると、1日最大12時間が表中の消費電力となり、それ以外の時間は[バランス]の消費電力となります。
- 起動時間は本機内に録画されたコンテンツの数や、本機の動作状態などにより、遅くなることがあります。

利用できるディスク一覧

本機で録画／ダビングできるディスク(12cmのみ)

DVDビデオフォーマットへのダビングはできません。

	BD-RE	BD-R	DVD-RW (VR)	DVD-R (VR)
対応バージョン／倍速	Ver.2.1(1層／2層)、Ver.3.0(3層)に対応した2倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2/1.3(1層／2層)に対応した6倍速メディア、Ver.2.0(3層／4層)に対応した4倍速メディアまで	Ver.1.1/1.2 CPRMに対応した6倍速メディアまで	Ver.2.0/2.1 CPRMに対応した16倍速メディアまで
本機で行いたいこと				
デジタル放送番組の直接録画*1	○*2	○*2	×	×
デジタル放送、ビデオカメラ映像をハイビジョン画質のままダビング	○	○	×	×
デジタル放送番組などの録画映像を標準画質でダビング	○	○	○(CPRM)	○(CPRM)
他機器から取り込んだ映像を標準画質でダビング	○	○	○	○
他機器から取り込んだMP4形式の映像をダビング	○*3	○*3	×	×
二か国語放送の両音声を記録	○	○	×	×
字幕付きの放送を再生時に字幕切替できるように記録	○	○	×	×
1つのタイトルに16:9/4:3の映像を混在して記録	○	○	○	○
ディスク上のタイトルを編集	○	○	×	×
ディスクの互換性	多くのBD機器で再生可能*4	多くのBD機器で再生可能*4	VRモード対応の機器で再生可能	VRモード対応の機器で再生可能(要ファイナライズ)
他機器から取り込んだ写真をダビング	×	×	×	×

*1 LAN経由のCATV/「スカパー！プレミアムサービス」チューナーの番組は直接録画できません。

*2 録画モードはDRモードとなります。

*3 MP4形式のタイトルは、MP4形式以外のタイトルと同じディスクにダビングできません。本機を含むソニー製ブルーレイディスクレコーダー(BDZ-FT3000 / FT2000 / FT1000 / FW2000 / FW1000 / FW500 / ZT3500 / ZT2500 / ZT1500 / ZW2500 / ZW1500 / ZW550)で再生できません。

*4 DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rにダビングした場合、MPEG-4 AVC形式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。BD-RE XL(3層)／BD-R XL(3層／4層)は、BD-RE XL(3層)／BD-R XL(3層／4層)に対応したBD機器で再生できます。

本機への取り込み／再生できる他機器録画ディスク

本機は12cmと8cmの両方のディスクに対応しています。

BD	BD-RE (1層／2層／3層)／BD-R (1層／2層／3層／4層)
DVD	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL (2層) (AVCHD形式)*
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL (2層) (AVCHD形式)*

* 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。

再生のみできるディスク

BD	Ultra HD Blu-ray/BD-ROM
DVD	DVDビデオ
	DVD-RW/DVD-R/DVD-R DL (2層)* ¹
	DVD+RW/DVD+R/DVD+R DL (2層)* ¹
	DVD-RAM* ²
CD	音楽CD (CD-DA)
	Super Audio CD* ³

*¹ 他機器で記録したディスクは、記録した機器でファイナライズ処理が必要です。

*² DVD-RAMは、Ver.2.0、Ver.2.1、Ver.2.2に対応。カートリッジ方式 (Type1を除く)のDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出してお使いください。

*³ CDレイヤーのみ。

ご注意

- 表に記載のないディスクは、本機で対応していません。
- 大切な録画やダビングを行う場合には、BD-REなどのくり返し録画できるディスクや内蔵／外付けのハードディスクで必ず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 本機でダビングしたDVD-RW (VR) やDVD-R (VR) は、DVD-RW (VR) やDVD-R (VR) 対応プレーヤーでのみ再生できます。通常のDVDプレーヤーでは再生できませんのでご注意ください。
- 2層など複数レイヤー (層) のBD/DVDを再生する場合、レイヤー (層) が切り換わるときに映像・音声が一瞬途切れることがあります。
- 他機器で録画したBD-REやBD-Rは、録画や再生、編集ができないことがあります。
- 記録済みのBD-RE/BD-R、DVD+RW/DVD+R、DVD-RW/DVD-R、DVD-RAM、またはCD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、BD/DVD/CD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、BD-RE/BD-R、DVD-RAM以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないDVD、CDは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 他機器で録画したディスクは、ディスク情報画面で正しく表示されないことがあります。
- 本製品は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。DualDiscおよび著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品では再生を保証致しません。
- DRモード以外の録画モードでBD-RE、BD-Rにダビングした場合、MPEG-4 AVC形式の映像再生に対応したレコーダーやプレーヤーでのみ再生できます。
- パソコンで記録したデータのうち、本機で読み込めないデータは、削除されることがあります。
- MP4 (4K) 動画は4倍速以上のBDにダビングすることをおすすめします。4倍速未満、もしくはBDに汚れや傷があるなど状態が悪い場合、再生時に映像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。そのような場合は、本機に取り込むと安定して再生できます。

以下のことはできません

- 地域番号 (リージョンコード) が「A」を含まないBD-ROMを再生すること。
- 地域番号 (リージョンコード) が「2」や「ALL」以外のDVDを再生すること。
- NTSC以外のカラーテレビ方式で記録されたディスクを再生すること。
- DVD-RW/DVD-Rを単独で初期化すること。ダビング時にのみ初期化できます。BD-REは、ホームメニューから単独で初期化できます (70ページ)。
- デジタルカメラで作成したフォトムービーなどを本機に取り込むこと。

録画モードと録画／ダビング可能時間について

表の数値は目安です。記録する内容によって変化することがあります。

本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります(長時間録画のモードでは、特にその差が著しくなります)。残量に余裕がある状態で記録してください。

- DRモードでの録画は、放送により転送レートが異なるため、本機の表示が実際と異なることがあります。本機では、残量表示は24Mbps、録画時の使用容量は、地上デジタル放送は17Mbps、BS/110度CSデジタル(HD)放送は24Mbpsをもとに計算しています。

内蔵ハードディスク／BDの録画モードと録画可能時間

録画モード		HDDへの録画可能時間*(目安)				BDへの録画／記録可能時間*(目安)			
		BDZ-FT3000	BDZ-FT2000 / FW2000	BDZ-FT1000 / FW1000	BDZ-FW500	25GB (1層)	50GB (2層)	100GB (3層)	128GB (4層)
DR (放送画質***)	地上デジタル(HD)放送 録画時	約390時間	約260時間	約129時間	約64時間	約3時間	約6時間 5分	約12時間 20分	約15時間 45分
	BS/110度CSデジタル(HD)放 送録画時	約276時間	約183時間	約90時間	約44時間	約2時間 10分	約4時間 20分	約8時間 45分	約11時間 10分
	地上・BS/110度CSデジタル (SD)放送録画時	約600時間	約399時間	約198時間	約99時間	約4時間 40分	約9時間 30分	約19時間 5分	約24時間 25分
XR (AVC16M)	↑ 高画質 大容量 標準 ↓ 低画質 小容量	約400時間	約260時間	約130時間	約60時間	約3時間 10分	約6時間 25分	約12時間 50分	約16時間 30分
XSR (AVC11M)		約570時間	約380時間	約190時間	約90時間	約4時間 35分	約9時間 15分	約18時間 30分	約23時間 40分
SR (AVC8M)		約760時間	約510時間	約250時間	約120時間	約6時間 5分	約12時間 20分	約24時間 40分	約31時間 35分
LSR (AVC4M)		約1,540時間	約1,020時間	約510時間	約250時間	約12時間 15分	約24時間 45分	約49時間 35分	約63時間 25分
LR (AVC3M)		約2,190時間	約1,460時間	約720時間	約360時間	約17時間 30分	約35時間 15分	約70時間 40分	約90時間 25分
ER (AVC2M)		約3,100時間	約2,060時間	約1,030時間	約510時間	約24時間 45分	約49時間 55分	約100時間	約127時間 50分
EER (AVC1.5M)		約4,240時間	約2,820時間	約1,400時間	約700時間	約34時間 45分	約69時間 50分	約140時間	約179時間

*1 次のようなときに録画時間が異なることがあります。

- 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合。
- 編集されたBDに追加して録画する場合。
- 静止画像や音声のみを録画し続けた場合。
- 動きの激しい動画を録画した場合。
- [録画後自動作成]を[入]に設定した場合(111ページ)、HDDの録画時間が短くなります。
- タイトル数の制限(ハードディスク:10,000、BD:200)に達した場合や、管理情報がいっぱいになった場合。

*2 デジタル放送をそのままの画質で録画できます(標準テレビ放送(SD)の番組は、そのままのSD画質で録画されます)。LAN経由のCATV録画でも、放送によって画質は異なります。

*3 BDへの直接録画では、録画モードはDRモードのみとなり、変更できません。

- 録画モードによって音声ビットレートは変わりません。
- 録画可能時間は JEITA「CPR-3104準拠 録画基準画像」でも確認しております。

内蔵ハードディスクからBDへの高速ダビング所要時間(60分番組の場合)

表中の所要時間は目安です。ディスク管理情報の作成時間も加わります。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間が変わります。

録画モード		2倍速メディア使用時	4倍速メディア使用時	6倍速メディア使用時
DR	地上デジタル(HD)放送	約16分00秒	約8分30秒	約5分20秒
	BS/110度CSデジタル(HD)放送	約22分30秒	約12分00秒	約7分30秒
	地上・BS/110度CSデジタル(SD)放送	約10分22秒	約5分30秒	約3分27秒
XR	(高画質)	約15分00秒	約8分00秒	約5分00秒
XSR	↑ (標準) ↓	約10分20秒	約5分30秒	約3分30秒
SR		約7分30秒	約4分00秒	約2分30秒
LSR		約3分45秒	約2分00秒	約1分15秒
LR		約2分50秒	約1分30秒	約1分00秒
ER		約1分55秒	約1分00秒	約0分40秒
EER	(長時間録画)	約1分30秒	約0分50秒	約0分30秒

内蔵ハードディスクからDVDへのダビングモードと記録可能時間

ダビングモード	DVDへの記録可能時間*(目安)
XP (高画質)	約1時間
SP (標準)	約2時間
LP (長時間録画)	約4時間

* 次のようなときに記録時間が異なることがあります(SP~LPのみ対象)。
 - 受信状態が悪いテレビ放送など画質が悪い番組をダビングする場合。
 - 編集されたDVDに追加してダビングする場合。

「スカパー！プレミアムサービス」チューナーが受信する番組と本機の録画可能時間

録画可能時間について詳しくは、下記ホームページをご覧くださいか、スカパー！カスタマーセンター(133ページ)までお問い合わせください。

ホームページ: <http://sptvhd.jp/rokuga>

「スカパー！プレミアムサービスLink」の録画可能時間目安

「スカパー！プレミアムサービス」チューナーと本機では、録画時間の残量表示が異なることがあります。

「スカパー！プレミアムサービス」チューナーが受信する番組	本機の録画可能時間			
	BDZ-FT3000	BDZ-FT2000 / FW2000	BDZ-FT1000 / FW1000	BDZ-FW500
スカパー！プレミアムサービス ハイビジョンチャンネル	約720時間 (約390~900時間)* ¹	約480時間 (約260~600時間)* ¹	約240時間 (約130~300時間)* ¹	約120時間 (約65~150時間)* ¹
スカパー！プレミアムサービス 標準画質チャンネル	約1,230時間 (約780~2,370時間)* ¹	約820時間 (約520~1,580時間)* ¹	約410時間 (約260~790時間)* ¹	約205時間 (約130~395時間)* ¹
地上デジタル* ²	約390時間	約260時間	約129時間	約64時間

*¹ 録画可能時間は録画する番組により異なります。()の時間は変動する録画可能時間の目安です。

*² SP-HR200H、SP-HR250H、CS-HD300利用時。

本機で取り込みできる音楽について

本機で取り込みできる音楽は、次の形式となります。

フォーマット	拡張子	サンプリング周波数
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III) * ¹	.mp3	32, 44.1, 48 kHz
AAC (MPEG4 AAC) * ²	.aac, .mp4, .m4a	8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz
LPCM (WAV) * ³	.wav	8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz
FLAC * ³	.flac, .fla	
DSD	.dff, .dsf	2.8MHz(DSD64)/5.6MHz(DSD128)

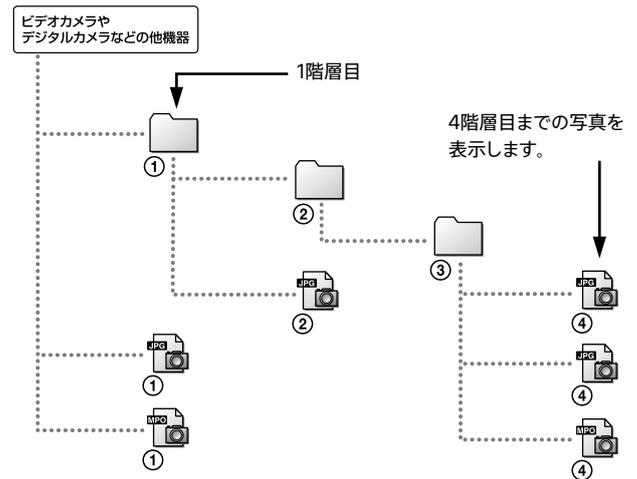
*¹ ビットレート: 32 - 320 kbps

*² ビットレート: 16 - 320 kbps

*³ 量子化ビット数: 16 bit, 24 bit

本機で取り込み／再生できる写真について

本機で取り込み／再生できる写真は、圧縮方式がJPEG方式で、ファイル名形式がDCF形式*のものです。ビデオカメラやデジタルカメラなどの他機器直下(ルート)を第1階層とした場合、本機は4階層目までの写真を本機へ取り込むときに表示します。



ご注意

- 一度に取り込める写真の上限は1,000枚です。
- 全角最大17文字、半角33文字を超えた文字数のファイル名は、写真リストやコピー先で正しく表示されません。
- 次のファイルを内蔵ハードディスクに取り込むこと、再生することはできません。
 - 縦や横のいずれかが、16,384ドット以上の写真。
 - 縦や横のいずれかが、31ドット以下の写真。
 - ファイルサイズが64MBを超える写真。
 - 横縦のサイズ比が50:1より横長、または1:50より縦長の写真。
 - プログレッシブJPEG形式の写真。

* (社) 電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”のことです。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を使って行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。802.11nなどの無線LAN規格によっては、選択できない暗号化の種類があります。

強度	暗号化の種類	Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)
高い ↑ ↓ 低い	WPA2-PSK (AES)	対応
	WPA-PSK (AES)	対応
	WPA-PSK (TKIP)	対応
	WEP	非対応
低い	セキュリティなし	対応

◆WPA2-PSK (AES)、WPA-PSK (AES)
WEPやTKIPより高度なセキュリティです。

◆WPA-PSK (TKIP)
WEPより高度なセキュリティです。

◆WEP (おすすめしません)
本機はOpen認証方式のみ対応しています。解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、WPA2/WPA非対応のアクセスポイントを利用する場合にお使いください。

◆セキュリティなし (おすすめしません)
セキュリティなしでは、ホームサーバー機能は利用できません。誰でも無線電波を利用できるため、ネットワークに侵入され、不正アクセスや通信内容を傍受されるおそれがあります。

言語コード一覧

詳しくは、111ページをご覧ください。

1027	Afar	1345	Malagasy
1028	Abkhazian	1347	Maori
1032	Afrikaans	1349	Macedonian
1039	Amharic	1350	Malayalam
1044	Arabic	1352	Mongolian
1045	Assamese	1353	Moldavian
1051	Aymara	1356	Marathi
1052	Azerbaijani	1357	Malay
1053	Bashkir	1358	Maltese
1057	Belarusian	1363	Burmese
1059	Bulgarian	1365	Nauru
1060	Bihari	1369	Nepali
1061	Bislama	1376	Dutch
1066	Bengali; Bangla	1379	Norwegian
1067	Tibetan	1393	Occitan
1070	Breton	1403	(Afan)Oromo
1079	Catalan	1408	Oriya
1093	Corsican	1417	Punjabi
1097	Czech	1428	Polish
1103	Welsh	1435	Pashto; Pushto
1105	Danish	1436	Portuguese
1109	German	1463	Quechua
1130	Bhutani	1481	Rhaeto-Romance
1142	Greek	1482	Kirundi
1144	English	1483	Romanian
1145	Esperanto	1489	Russian
1149	Spanish	1491	Kinyarwanda
1150	Estonian	1495	Sanskrit
1151	Basque	1498	Sindhi
1157	Persian	1501	Sangho
1165	Finnish	1503	Singhalese
1166	Fiji	1505	Slovak
1171	Faroese	1506	Slovenian
1174	French	1507	Samoan
1181	Frisian	1508	Shona
1183	Irish	1509	Somali
1186	Scots Gaelic	1511	Albanian
1194	Galician	1512	Serbian
1196	Guarani	1513	Siswati
1203	Gujarati	1514	Sesotho
1209	Hausa	1515	Sundanese
1217	Hindi	1516	Swedish
1226	Croatian	1517	Swahili
1229	Hungarian	1521	Tamil
1233	Armenian	1525	Telugu
1235	Interlingua	1527	Tajik
1239	Interlingue	1528	Thai
1245	Inupiak	1529	Tigrinya
1248	Indonesian	1531	Turkmen
1253	Icelandic	1532	Tagalog
1254	Italian	1534	Setswana
1257	Hebrew	1535	Tonga
1261	Japanese	1538	Turkish
1269	Yiddish	1539	Tsonga
1283	Javanese	1540	Tatar
1287	Georgian	1543	Twí
1297	Kazakh	1557	Ukrainian
1298	Greenlandic	1564	Urdu
1299	Cambodian	1572	Uzbek
1300	Kannada	1581	Vietnamese
1301	Korean	1587	Volapük
1305	Kashmiri	1613	Wolof
1307	Kurdish	1632	Xhosa
1311	Kirghiz	1665	Yoruba
1313	Latin	1684	Chinese
1326	Lingala	1697	Zulu
1327	Laothian	1703	無指定
1332	Lithuanian		言語名表記はISO639:1988 (E/F)に準拠
1334	Latvian; Lettish		

商標などについて

- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、Blu-ray 3D™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、BDXL™、Ultra HD Blu-ray™、及びロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- “DVD ロゴ”はDVDフォーマットロゴライセンス株式会社の商標です。
- HDMI®、High-Definition Multimedia Interface、プレミアム ハイスピード HDMIケーブル、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together, Digital Surround, and the DTS 2.0+Digital Out logo, are registered trademarks and/or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- “AVCHD”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA™, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」は、スカパーJSAT株式会社の商標です。
- “TRILUMINOS”および“TRILUMINOS”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- DCS—人名辞書データ(著作権者・提供者: 日外アソシエーツ株式会社)
- DCS—ニュース・シソーラス 第四版
 - 新聞・放送ニュース検索のための主題14000語: 著編者・廣木守雄、服部信司
〔編〕/提供: 日外アソシエーツ株式会社
- 「Wi-Fi CERTIFIED™」のロゴはWi-Fi Alliance®の認証マークです。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 「Xperia」はSony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- Ubiquitous DLNA/DTCP-IP Copyright© 2001-2018 Ubiquitous Corp. この製品には株式会社ユビキタスが開発したDLNA/DTCP-IP対応ソフトウェアを使用しています。
- SeeQVault は NSM Initiatives LLC の商標です。
- DSEE HXはソニー株式会社の登録商標です。
- 「テレビ王国」はソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- TiVoおよびGガイドは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- らくらく無線スタートはNECプラットフォームズ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各社の登録商標あるいは商標です。なお、TM、®マークは省略している場合があります。



使用上のご注意

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクでは長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しめますが、大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。また、不安定な場所では使用しない。
- 結露（露つき）の原因となるため、急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）を与えない。
- 本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグをコンセントから抜く前に、以下を確認してください。
 - － [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [スタンバイモード]（112ページ）で[バランス]か[低消費待機]に設定されていること。
 - － 本機の電源を切ってから、1分以上待つこと。
 - － 本体前面の動作中ランプが消灯していること。
 - － 録画、ダビング、データ取得、通信中など動作中でないこと（「電源を「切」にしているときのご注意」（148ページ）もご覧ください）。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。
- 何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。
- ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適していないため、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含まれます）。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機の起動と終了について

電源ボタンを押しても、実際に起動するまでや電源が切れるまでには、しばらく時間がかかります。

本体表示窓に、起動中は「WAIT」が、電源が切れるときには「OFF」が、点滅表示されます。

電源が切れる前や本体前面の動作中ランプが点灯しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

操作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、リセット（再起動）を試してください（121ページ）。

電源を「切」にしているときのご注意

ソフトウェアのアップデートは電源「切」のときに行います。また、電源を切った状態でも本機のシステムの一部は動作しているため、本機が温かくなったり、ファンやハードディスクが動作したりすることがありますが、故障ではありません。

- 番組表データの取得時。
- 録画中（予約、おまかせ・まる録など）、ダビング中。
- ワイヤレスおでかけ転送中／お引越しダビング中。
- ルームリンク、LAN録画／LANムーブなどLAN機能利用時。
- [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [本体設定] > [スタンバイモード] > [瞬間起動] に設定時で、起動待機状態のとき（112ページ）。
- 新作ドラマ・アニメガイドおよび関連動画の情報の自動取得時。
- 予約ランキング／視聴数情報の自動取得時。
- [設定／お知らせ] > [詳細設定] > [HDMI機器制御設定] > [高速連動] > [入] に設定時。
- リモート録画予約機能の利用時。
- スカパー！の無料視聴期間サービスの利用時。
- 録画モード変更中（自動／手動）。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。通常、本体の電源ボタンで電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを更新する機能があります。
(138ページ)

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内に記録されている個人情報などのデータを[設定初期化] (115ページ)で削除することを強くおすすめします。削除をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報第三者に知られてしまう可能性があります。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
 - 各種機能の設定時のIPアドレスなど。
 - お知らせ、番組購入履歴など。
 - 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど。
 - リモート録画予約で登録した機器などに設定されている「ニックネーム」および「機器名」。
 - 固有の番号(機器固有番号)、IPアドレス、ご使用情報および視聴履歴等、本機のご使用状況に関する情報についての送信は、[設定／お知らせ] > [詳細設定] > [通信設定] > [機能使用に関する情報送信の同意確認] (115ページ)でいつでも無効にできます。
- 本機を譲渡または廃棄するときは、提供元の規約に従い、必ずネットワーク機能の登録情報を削除してください。
 - リモート録画予約を提供するサービス。
- 本製品内に記録された情報は、サービス利用時に合意の上で各サービス事業者や提供元へ送信されますが、個人を特定する情報は含まれません。
 - リモート録画予約サービス利用時、録画予約およびタイトルに関する情報。
 - 予約数／視聴数の情報を取得したタイトルに関する情報。
 - 本機の状態および本機の機能とサービスの使用状況に関する情報。
 - 録画番組視聴時の再生操作情報、削除したタイトルに関する情報。
 - ディスクメディア再生操作に関する情報。

記録内容の補償に関する免責事項

本機やネットワークの不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

内蔵無線LANについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4GHz/5GHz帯です。2.4GHz帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(以下他の無線局と略す)が運用されており、本製品と電波干渉を起こす場合があります。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、機器の運用を停止してください。
- 3 その他、わからないときや困ったときは、お買い上げのお店または使い方相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

2.4DS/OF4 この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置の記載内容を消すこと。

法令により5GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。



本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本製品を近くで使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは利用を控える
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



その他

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- コピー制御信号が含まれている映像・音声は、本機で録画・録音できない場合があります。また、同様の信号が、本機の出力端子からの映像・音声に含まれる場合、他機で録画・録音できなかつたり、録画したものを正常な映像で再生できない場合があります。
- 本機は、無許諾のBD/DVD(海賊版等)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて映像の表示範囲を選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード設定等を利用してオリジナルと異なる見えかたで再生などを行いますと、著作権法で保護されている著作権などの権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- 著作権の対象になっている画像やデータの記録された外部メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia技術に関する詳細情報は、
<http://www.cinavia.com>
のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2012 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出る場合があります。3D映像を視聴するときは、

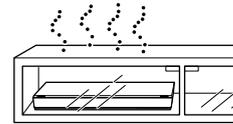
定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書、ご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ

(<https://www.sony.jp/support/>)をご覧ください。なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 熱のこもりやすい所、熱に弱い所
(本機は放熱のため、底面が熱くなりますが故障ではありません。)
- 底面の通風孔をふさぐような所
(じゅうたんやダンボールなど、本機がしずみ込む材質の上)



- 振動の多い所
- 直射日光が当たる所、湿度や温度が高い所
- 極端に寒い所

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

- ディスクを取り出してから行ってください。
入れたまま移動するとディスクを傷めることがあります。
- 本機は放熱のため底面が熱くなります。底面に触れないようご注意ください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起ることがあります。

結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。

- 電源を入れていない場合
電源を入れずに、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
電源を入れたまま放置してください。
結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げてください。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽などを楽しむときは

映画や音楽などをお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たる所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

- 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
 - 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

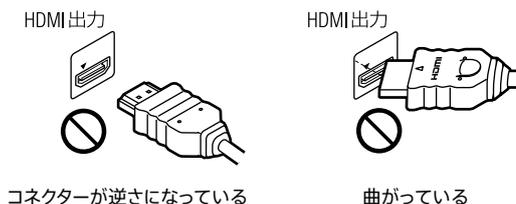


- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

HDMI出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI出力端子やコネクタを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI出力端子とコネクタの形や向きに注意してください。



- 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。



- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクタをまっすぐ持ってください。コネクタをねじ曲げたり、HDMI出力端子に強く押しこんだりしないでください。

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
どうぞございます。

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。

お客様による本製品の使用開始をもって、下記のソフトウェア使用許諾契約書とソフトウェアライセンスの各お知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。ソフトウェアライセンスの各お知らせは、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせに記載しているもの他、本機のホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[本体設定]の「ソフトウェアライセンス情報」でご確認いただけます。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」とします)は、お客様(以下「使用者」とします)と弊社(以下「ソニー」とします)との間で、ご購入頂いたブルーレイディスクレコーダー(以下「本製品」とします)に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)の使用許諾に関する条件について規定するものです。なお、許諾ソフトウェアには、ソニーが許諾を受けている第三者のソフトウェアが含まれており、本契約と本機のホームメニュー>[設定/お知らせ]>[詳細設定]>[本体設定]の「ソフトウェアライセンス情報」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各お知らせにかかるソフトウェアの範囲において、各お知らせに記載されております使用許諾条件が優先致します。

第1条(総則)

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作権者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条(使用権)

1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条(許諾条件)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

5. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切(全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます)を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者(以下原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーおよび原権利者の免責)

ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけるものとしません。

第7条(自動アップデート)

1. 許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。

2. 使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、(A)許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および(B)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条(契約の解除)

ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条(許諾ソフトウェアの更新)

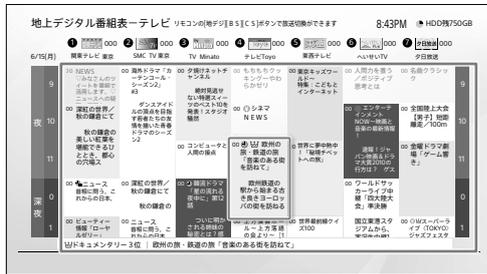
1. 使用者が、ネットワークからのダウンロード(第7条に定める自動アップデートを含む)により許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。
2. 前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください(裏表紙)。

第12条(その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

画面別アイコン一覧

番組表(22ページ)



アイコン	説明
●(赤)	録画中の番組
⌚(赤)	録画予約されている番組
⌚(灰)	重複している予約の中で録画優先順位が低いため、一部またはすべてが録画できない番組
⌚(赤)	日時指定予約されている番組
⌚(灰)	日時指定予約により一部が録画されない、または重複している予約の中で録画優先順位が低いため、一部またはすべてが録画できない番組
¥	有料番組
👑	予約ランキングに入っている番組

2

アイコン	説明
¥	有料番組
契約済	契約済みの番組
未契約	未契約の番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
録画不可	コピー制御信号により、録画できない番組
🔒	視聴年齢制限付き番組
🗨️	字幕放送
d	テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組
📻	ラジオ放送
👑	予約ランキングに入った番組の予約数

番組説明

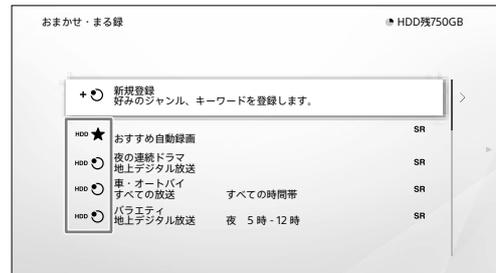
番組説明は、番組視聴中などにリモコンの《番組説明》ボタンを押すと表示できます。



1

アイコン	説明
●(赤)	録画中の番組
⌚(赤)	録画予約されている番組
⌚(灰)	予約の一部が録画できない番組

おまかせ・まる録設定一覧 (39ページ)



アイコン	説明
HDD ★/USB ★	内蔵/外付けのハードディスクへ自動録画する場合の、デジタル放送おすすめ設定
★(黒)	自動録画しない場合のデジタル放送おすすめ設定
HDD ☺/USB ☺	内蔵/外付けのハードディスクへキーワードまたは詳細設定したおまかせ設定
HDD ☺/USB ☺	内蔵/外付けのハードディスクへジャンル設定したおまかせ設定

その他

予約リスト (38ページ)



1

アイコン	説明
HDD	内蔵ハードディスクへの録画予約
BD	BDへの録画予約
USB	外付けハードディスクへの録画予約

2

アイコン	説明
	重複している予約の中で録画優先順位が低いため、番組の一部またはすべてが録画できない予約
● (赤)	録画予約した番組を録画しているときに表示
● (青)	同じ時刻に他の予約と重なっている部分以外はすべて録画可能
● (灰)	録画不可 <ul style="list-style-type: none"> 録画先に設定されたディスクが残量不足の場合。 他の予約と重なっているため、予約された時間すべてを録画できない可能性がある場合。 録画に対応したディスクが挿入されていない場合。 番組名予約で該当する番組が見つからなかった場合。 録画先を外付けハードディスクに設定していたが、内蔵ハードディスクに振り替えて録画される場合。
	対象番組なし。 予約に該当する番組を追跡できない可能性があるときに表示
	予約ランキングに入っている番組

3

アイコン	説明
¥	有料番組
[DR] など	録画時の録画モード
[SR] など	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変更や、おでかけファイルの作成がされる場合に表示

4

アイコン	説明
毎週など	毎回録画で予約した場合に表示

5

アイコン	説明
♡ など	録画予約時に設定したグループ
	毎回録画で前回のタイトルを上書きする場合に表示

予約情報

予約情報は、予約リスト (38ページ) を表示中に → を押して [予約情報] を選ぶと表示できます。



1

アイコン	説明
	リモート/ネットワーク録画予約、または「見て録」を利用して番組を録画している場合に表示

2

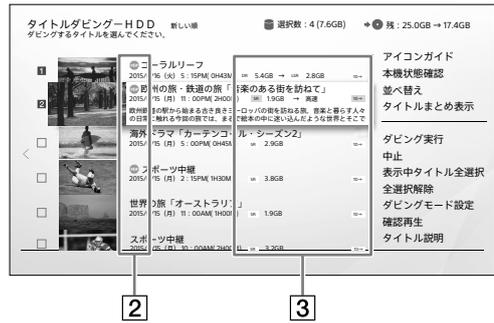
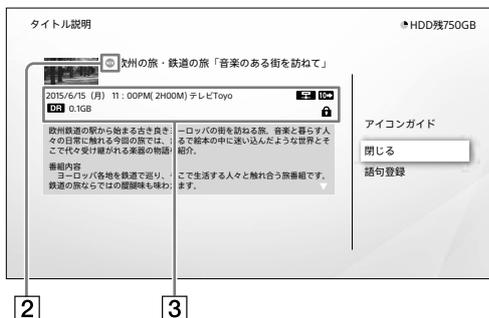
アイコン	説明
[DR] など	録画時の録画モード
[SR] など	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変更や、おでかけファイルの作成がされる場合に表示
♡ など	録画予約時に設定したグループ

3

アイコン	説明
¥	有料番組
コピー制限	コピー制御信号により、録画後のコピー回数が制限される番組
🔒	視聴年齢制限付きの番組で、設定されている制限レベルに該当するため年齢制限を解除して予約した場合に表示
🗨️	字幕がある番組のとき表示
d	連動データがある番組のとき表示
HD	デジタルハイビジョン信号の番組
SD	標準テレビ信号の番組
👑	予約ランキングに入った番組の予約数

録画リスト、タイトル説明、タイトルダビング(44、73ページ)

タイトル説明は、録画リストを表示中に➡️を押して[タイトル説明]を選ぶと表示できます。



1

アイコン	説明
2 など	同じ番組名や毎回予約の設定ごとにまとめたタイトルのタイトル数

2

アイコン	説明
NEW *1	再生されていないタイトル
≡	プレイリスト
★ *2	おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画されたタイトル
NEW★(金) *2	おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW★(青) *2	おまかせ・まる録のおすすめ設定により録画され、再生されていないタイトル
🔄 *2	おまかせ・まる録のおまかせ設定により録画されたタイトル。🔄の付いたタイトルで🗑️が付いているタイトルは、内蔵/外付けハードディスクがいっぱいになったときに自動的に削除されます。
NEW🔄(金) *2	おまかせ・まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトルの中でおすすめ度が高いもの
NEW🔄(青) *2	おまかせ・まる録のおまかせ設定により録画され、再生されていないタイトル
●(赤)	録画中
🔄(ピンク)	内蔵ハードディスクにダビング中のタイトル
🔄(灰)	内蔵ハードディスクにダビング予定のタイトル
🔄(ピンク)	ディスクにダビング中のタイトル
🔄(灰)	ディスクにダビング予定のタイトル
🔄(ピンク)	外付けハードディスクにダビング中のタイトル
🔄(灰)	外付けハードディスクにダビング予定のタイトル
📶(ピンク)	スマートフォンやタブレットなどにワイヤレスおでかけ転送中のタイトル
📶(灰)	引越し元の機器で、お引越しダビング中のタイトル

その他

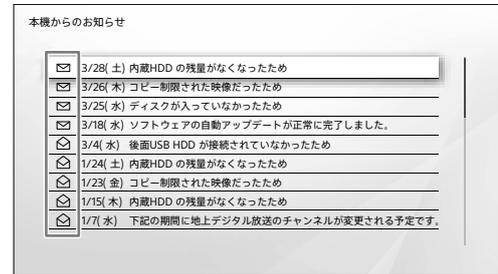
3

アイコン	説明
♥🔒 など *1	録画予約時や録画したタイトルに設定したグループ
3D	他機器などで撮影した3D映像
4K	4K画質で撮影した映像
1→	コピー制御信号により、1回だけ移動(ムーブ)できるタイトル(内蔵/外付けのハードディスクからBD/DVDのCPRM対応ディスクへのダビング、BDから内蔵/外付けのハードディスクへのダビング、内蔵/外付けのハードディスク間のダビング)。 ダビングすると元のタイトルは削除されます。
2→ 10→ 各種	ダビング可能回数2~10回のタイトル。数字の回数だけ、BD/DVDのCPRM対応ディスクや、内蔵ハードディスクと外付けハードディスク間でダビングできます。ダビングすると数字が減り、ダビング可能回数に達すると、コピー制御信号によりダビング元のタイトルは削除されます。
→X	ダビングできないタイトル
DR など *1	録画モード(DR/XR/XSR/SR/LSR/LR/ER/EER)
SR など *1	いったんDRモードで録画され、録画後に予約時に設定した録画モードへの変更や、おでかけファイルの作成がされるタイトル
MP4	MP4形式のタイトル
↺ *2	毎回録画で前回分を上書きしたタイトル
▶📁	録画後におでかけファイルが作成されるタイトル
🔒	保護設定(プロテクト)されたタイトル
🗑️ *1	おまかせ・まる録で録画されたタイトルや、自動削除設定をしたタイトル。保護設定や編集、自動削除設定を解除すると、自動削除対象からはずれません。
🔒 *2	視聴年齢制限付きタイトル
📺	他機器で再生できるタイトル
📶📁	スマートフォンやタブレットなどにワイヤレスおでかけ転送できるタイトル
視聴 *2	視聴数情報(視聴された回数)
🔌	USB端子に接続した機器のタイトル

*1 本機に登録していないSeeQVault対応外付けハードディスクを前面USB端子につないだ場合、本機に登録していないSeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトルには表示されません。

*2 SeeQVault対応外付けハードディスクを前面USB端子につないだ場合、SeeQVault対応外付けハードディスク内のタイトルには表示されません。

お知らせ(115ページ)



アイコン	説明
📧	すでに読んだお知らせ
📧	まだ読んでいないお知らせ。 お知らせはお客様自身で削除できません。

新作ドラマ・アニメガイド(32ページ)



アイコン	説明
🕒(灰)	先行予約されている番組
🕒(赤)	録画予約されている番組

アイコン	説明
🕒(赤)	先行予約対象
🕒(赤)	先行予約対象の番組

オプション項目一覧

▶または《オプション》ボタンを押すと、設定や操作などその画面ごとにできることをメニュー表示します。表示されるメニューは、選択タイトルの状態や録画中など本機の動作状況によって変化します。番組表や再生中など一部の画面では《オプション》ボタンのみ有効です。

あ行

オプション機能	できること
アイコンガイド	アイコンガイドを表示します。
映像／音声選択	<ul style="list-style-type: none"> 複数の映像／音声が記録された映像をモードを変えてダビングする場合、ダビングする映像／音声信号を設定します。 複数の映像／音声が記録されている映像からおでかけファイルを作成するとき、選択する映像／音声信号を設定します。録画後に自動で作成されたおでかけファイルには音声1が設定されています。
映像切換	違うアングルなど、複数の映像があるときに切り換えます。
追いかけて再生	録画中の番組を再生します(44ページ)。
おでかけモード設定	おでかけファイルを作成するとき、おでかけファイルの画質を変更できます。
お引越し実行	選んだタイトルをお引越しダビングします(86ページ)。
音楽リスト切換	音楽リストの対象メディアを切り換えます。
音声設定	56ページをご覧ください。

か行

オプション機能	できること
回転	
左に回転	写真を左に回転します(58ページ)。
右に回転	写真を右に回転します(58ページ)。
180度回転	写真を180度回転します(58ページ)。
確認再生	削除やダビングする前にタイトルを再生して、内容を確認できます。
画質／音声設定	55、56ページをご覧ください。
気になる語句で検索	
人名	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれる人名が表示されます。表示されている人名を使って番組やタイトルを検索します(37、48ページ)。
ワード	視聴中の番組や、タイトルの情報に含まれるキーワードが表示されます。表示されているキーワードを使って番組やタイトルを検索します(37、48ページ)。
グループ選択へ	タイトルに設定するグループを選びます(63ページ)。
降雨対応映像切換	降雨などで通常放送が正常に受信できないときに降雨対応放送に切り換えます。

オプション機能	できること
この条件で自動録画	設定している検索条件をおまかせ自動録画条件として設定します(37ページ)。
語句登録	表示されている番組名と番組の情報から、キーワードを選んで登録します。
コピー	
1ファイルコピー	1つの写真をダビングします(85ページ)。
日付まとめコピー	撮影した日付が同じ写真をまとめてダビングします(85ページ)。
ファイル選択コピー	写真を複数選んでダビングします(85ページ)。
コピー実行	選んだ写真をダビングします(85ページ)。
今回の予約のみ削除	毎回予約を設定している場合、直近1回の予約だけ削除します。

さ行

オプション機能	できること
再生	
つづきから再生	タイトルを前回中断したところから再生します。
はじめから再生	タイトルをはじめから再生します。
再生操作	音楽の再生／一時停止操作を行います。
削除	
1タイトル削除	1つのタイトルを削除します。
1ファイル削除	1つの写真を削除します(62ページ)。
日付まとめ削除	撮影した日付が同じ写真をまとめて削除します(62ページ)。
ファイル選択削除	写真を複数選んで削除します(62ページ)。
まとめタイトル削除	同じ番組名のタイトルをまとめて削除します。
選択して削除	タイトルを複数選んで削除します。
削除実行	選んだ録画予約またはタイトル、写真を削除します(38、61、62ページ)。
シーンサーチ	見たい場面をすばやく探します(54ページ)。
写真表示	写真を表示します。
次回番組予約	録画したタイトルの次回の予約をします。
視聴中映像録画	見ている映像を録画します。
HDD	内蔵ハードディスクに録画します。
後面USB	外付けハードディスクに録画します。
BD	BDに録画します。
視聴中番組録画	見ている番組を録画します。
自動選択	他機器から取り込み時に自動でタイトルを選択します。

オプション機能	できること
自動録画条件確認	タイトルの自動録画条件を表示します。
自動録画情報	自動録画情報を表示します。
詳細予約設定へ	録画予約の条件を変更できます(31ページ)。
情報表示	音楽CDのトラック番号などを表示します。
新規登録	自動録画設定を新規登録します。
スライドショーの速さ	スライドショーの速さを変更します(58ページ)。
スライドショー表示	写真のスライドショーを行います(58ページ)。
設定削除	登録している自動録画設定を削除します。
設定取消	設定した条件を取り消します。
設定変更	自動録画設定を変更します。
選局	番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
選局番組表	放送中の番組の番組情報を表示します。
全選択/全選択解除	絞り込み状態にかかわらず、すべてのタイトルを選択/選択を解除します。
選択して一括予約	新作ドラマ・アニメガイドの録画予約で複数の番組を選ぶときに選びます(33ページ)。
全チャンネル表示/設定チャンネル表示	全チャンネル表示⇔設定チャンネル表示を切り換えます。

た行

オプション機能	できること
タイトル管理/編集	
タイトル名変更	名前を変更します(63ページ)。
未視聴設定	タイトルに  マークを付けます(64ページ)。
グループ設定	タイトルにグループを設定します(63ページ)。
自動削除設定	録画したタイトルを自動で削除する/しないを設定します(64ページ)。
サムネイル設定	タイトルのサムネイル画像を変更します(64ページ)。
チャプター編集	チャプターを分割/削除/結合します(65ページ)。
タイトル部分削除	タイトル内の一部分を選んで削除します(66ページ)。
タイトル分割	1つのタイトルを分割します(66ページ)。
タイトル結合	複数のタイトルを結合します(67ページ)。
プレイリスト作成	複数のタイトルを選び、新しいプレイリストを作成します(67ページ)。
タイトル個別表示	タイトルをまとめて表示します。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします。

オプション機能	できること
タイトル説明	タイトルの詳細情報を表示します。表示される情報が多い場合は、  で画面をスクロールしてください。
タイトル変換	
録画モード変更	 などのアイコンがついた、録画後に録画モードが自動変更されるタイトルをすぐに変更します。また録画モードを変更して画質やサイズを変更できます(29、68ページ)。
おでかけファイル作成	選んだタイトルのおでかけファイルを作成します(69ページ)。
タイトルまとめ表示	同じ番組名や毎回予約の設定ごとにタイトルをまとめて表示します(24、50ページ)。
ダビング	ダビングしたいタイトルを選びます。
ダビング実行	選んだタイトルをダビングします(73、76ページ)。
ダビングモード自動	タイトルダビング時にディスクの残量に応じてダビングモードを自動で調整します。
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(80ページ)。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします。
チャンネル指定	週間番組表の表示チャンネルを切り換えます。
重複確認	時間が重なっている録画予約を確認します(39ページ)。
つづきから再生	タイトルを前回中断したところから再生します。
ディスク管理	
ディスク名変更	BDの名前を変更します。文字入力については137ページをご覧ください。
ディスク保護/解除	BDが削除、編集されないよう保護/保護を解除します(69ページ)。
BD操作ロック/解除	BDを再生できないように、ロック/ロックを解除します(69ページ)。
BDクローズ	BD-Rを録画できないようにします(70ページ)。
DVDファイナライズ	DVDをファイナライズします(70ページ)。
BD初期化	BD-REを初期化します(70ページ)。
トップメニュー	ディスクのメニュー画面を表示します。

な行

オプション機能	できること
並べ替え	タイトルを日付順(新しい順/古い順)、タイトル名順などで並べ替えます。
日時指定	日時を選んで番組表を表示します。
二度録り回避	録画した番組が再放送されるときに、同一話の録画を回避します。

は行

オプション機能	できること
はじめから再生	タイトルをはじめから再生します。
早見／早見解除	タイトルを早見再生／早見再生を解除します。
範囲指定コピー	リスト上で範囲を指定して、写真の取り込み／ダビングを行います(84、85ページ)。
範囲指定削除	リスト上で範囲を指定して、写真を削除します(62ページ)。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します。
番組追跡情報	地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送で毎回録画に設定した番組の番組追跡情報を表示します。
番組表取得	番組情報を取得します。
番組名検索情報	番組名で毎回録画するときに、番組名の確認や変更ができます。
番組名順表示	検索結果を番組名順に表示します。
番組予約へ変更	予約リストのうち、日時指定予約で指定した予約を番組予約に変更できます(38ページ)。
日付順表示	予約を日付順に表示します。
表示設定	
ジャンル色	地上デジタルやBS、CSデジタル番組表で表示される色に好みのジャンルを割り当てます。
表示サイズ	番組表の表示タイプと文字サイズを変えられます。
表示中タイトル全設定／表示中タイトル全解除	分類／絞り込み検索結果表示されているタイトルすべてを設定／設定解除します。
表示中タイトル全選択	分類／絞り込み検索結果表示されているタイトルすべてを選択します。
表示中チャンネル全選択／表示中チャンネル全解除	番組検索の対象チャンネルを設定するとき、表示されているチャンネルすべてを選択／選択解除します(37ページ)。
放送／サービス切換	
テレビ／ラジオ／データ	テレビ番組／ラジオ番組／データ放送のチャンネルをそれぞれ表示します。
放送切換	
地上デジタル／BSデジタル／CSデジタル	<ul style="list-style-type: none"> 予約ランキングの放送を切り換えます(35ページ)。 番組検索やおまかせ・まる録の対象チャンネルを設定するとき、放送を切り換えます(37、39ページ)。
保護設定／保護解除	内蔵／外付けのハードディスクやディスクのタイトルが削除、編集されないよう保護／保護を解除します(62ページ)。
ポップアップ	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。

オプション機能	できること
本機状態確認	本機の録画状態やダビング進行状況、メディア情報を表示します。

ま行

オプション機能	できること
メニュー	DVDビデオのメニューやBD-ROMのポップアップメニューなどを表示します。

や行

オプション機能	できること
録画優先順変更	予約の優先順位を変更します。
予約削除	録画予約を取り消します(38ページ)。
予約した番組の確認	対象番組なしアイコン(⚠)が表示された予約について、元の予約番組と今回録画される番組の情報を確認できます(38ページ)。
予約修正	録画予約情報を修正します(38ページ)。
予約情報	予約情報を表示します。
予約へ変更	おまかせ・まる録で予約されている番組を、自動録画から、番組表からの予約と同じように、優先順位を上げて録画します。
予約名変更	予約名を変更します。

ら行

オプション機能	できること
リピート再生設定	音楽の再生方法(リピート)を設定します。
連続再生(MP4のみ)	MP4形式のタイトルを連続再生します。
録画モード設定	録画先や録画する時間、画質に合わせて設定します。
録画モード変更	タイトルの録画モードを手動で変更するとき、録画モードを変更できます。
録画優先順表示	予約を優先順に表示します。
録画予約	番組表で選んでいる番組の録画予約をします(30ページ)。また、確実に録画したい番組を録画予約します。
録画リスト切換	録画リストの対象メディアを切り換えます。

アルファベット

オプション機能	できること
AVピュア出力設定	HDMI出力1端子から高画質の映像を、HDMI出力2端子から高音質の音声を同時に出力するように設定します。

用語集

五十音順

アクセスポイント (91ページ)

無線LANの中継機器です。無線LANルーターは、無線LANアクセスポイントとブロードバンドルーター機能を内蔵し、無線LANと有線LANの橋渡しをします。

解像度 (108ページ)

ディスプレイの表示能力として、出力される映像の情報量の細かさを表現する単位。この値が高いほどより自然に近い画質が得られます。

サムネイル (64ページ)

複数の動画や画像を一覧表示するために縮小された画像。本機の録画リストなどに表示されます。

字幕放送 (53ページ)

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

タイトル (44ページ)

ハードディスクやBD、DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたります。本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいます。

ダビング10

著作権保護のため、10回までダビングすることが許可されています。ダビング可能回数の数字はアイコンで表示されます(156ページ)。



ハブ

有線LANで、家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を、相互に接続したりできます。

ブロードバンドルーター (91ページ)

家庭内にある複数のパソコンやデジタル家電を相互に接続できるネットワーク機器です。LAN録画/LANムーブ、ソニールームリンク、リモート録画予約などのネットワーク機能利用時に使います。

分配器

入力された信号を、同じ周波数で複数に分けるための機器です。ただし、信号を分けることにより信号のレベルが小さくなります。

分波器 (12ページ)

地上波、BS/CSなどが合成された信号を、それぞれの信号に分けて出力する機器です。

ムーブ (移動)

録画リストで **1→** が表示されているタイトルは、ハードディスクからディスクなどに、1回だけムーブ (移動) できます。BDに保存したタイトルは、内蔵ハードディスクに移動できます。ハードディスクから外付けハードディスクには、ダビング可能回数の1回分を含めて、タイトルを移動できます。



アルファベット順

BD-R (BD Recordable)

ハイビジョン映像の記録・再生に対応した一度だけ書き込めるBD。記録したコンテンツは上書きできないため、大切な映像の保管・配布に使えます。

BD-RE (BD Rewritable)

ハイビジョン映像の記録・再生に対応した書き換えができるBD。上書きができるため、さまざまな編集や、テレビ番組の録画などに適しています。

BD-ROM (BD Read Only Media)

映画などの映像を記録して市販される読み込み専用のBD。映画などの映像素材をハイビジョン画質で収録できることに加え、双方向性コンテンツ、ポップアップメニューによるメニュー操作、字幕のさまざまな表示方法や、スライドショーなどの拡張機能があります。

BDAV (BD Audio/Visual)

デジタル放送の番組などを記録したディスクの規格です。BD-R、BD-REにデジタル放送の番組を録画したりコピーしたりできます。

BDMV (BD Video)

映像・音声・字幕・メニュー表示に関する情報を記録できる、ディスクの規格です。「BD-ROM」で利用されているアプリケーションフォーマットの一種です。

CPRM (Content Protection for Recordable Media)

著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-Rに録画したタイトルは、CPRMに対応した機器でのみ再生できます。

DHCP

IPアドレスなど必要な情報を自動で割り当てる機能。本機はDHCPに対応しています。

DVD-R (DVD Recordable)

映像の記録・再生に対応した一度だけ書き込めるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。映像の保管・配布に使えます。

DVD-RW (DVD ReWritable)

映像の記録・再生に対応した書き換えができるDVD。デジタル放送はCPRM対応のみコピーできます。映像の保管にくり返し使えます。

GB (GigaByte)

ギガバイトと読みます。ハードディスクやBD、DVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送れるインターフェースです。ハイビジョン映像を高画質、高音質で楽しめます。

HDR

映像本来の明るさ、コントラスト、鮮やかな色を再現する「HDR (ハイダイナミックレンジ)」信号に対応。広いダイナミックレンジの輝度情報を扱えるようになり、肉眼で見ているかのような奥行き感や立体感のある映像を創出します。

LAN (Local Area Network)

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピューターや通信機器などを接続し、データをやり取りするネットワーク。

SeeQVault

ハイビジョン画質のコンテンツをさまざまな機器で楽しむことができる著作権保護技術です。本機はSeeQVaultに対応しています。

SSID

無線LANブロードバンドルーター (アクセスポイント) に登録されているネットワーク名です。SSIDが同じであれば同じネットワークに接続されています。

STB (CATVチューナー)

セットトップボックス。ケーブルテレビ放送の放送信号を受信して、テレビで視聴できる信号に変換する機器です。

TB (TeraByte)

テラバイトと読みます。ハードディスクなどの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量になります。1テラバイトは1ギガバイトの1,024倍です。

Ultra HD Blu-ray

高精細な4K解像度 (3,840×2,160画素) に加え、広いダイナミックレンジの輝度情報を持つHDR信号に対応した高画質メディア規格です。従来のブルーレイディスクでは表現できなかった色再現を可能にします。

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)

無線LAN機器の接続やセキュリティ設定を簡単に行える機能。本機はWi-Fi Protected Setup™ (WPS) に対応しています。

索引

五十音順

あ行

空き容量 42, 72
アクセスポイント 114
頭出し 54
アングル 157
暗証番号設定 113
アンテナ 10
アンテナレベル 124
地上デジタルアンテナレベル 110
BS/CSデジタルアンテナレベル 110
家じゅうどこでも視聴 96
一発予約 30
上書き 31, 36
映像設定 108
追いかけ再生 44, 45, 100
お買い上げ時の状態に戻す 115
お知らせ 115, 156
おでかけ設定 111
おでかけファイル作成 69
お問い合わせ 116
お引越しダビング 86
オプション 157
おまかせ・まる録 39, 153
音楽 51, 57, 88
音声切替 53
音声設定 56, 57, 109
音声付き早見 45

か行

外出先で番組を見たい
(外からどこでも視聴)
..... 97, 114
解像度 108, 160
快適視聴モード 96, 97
外部チューナー 43, 99, 102
外部入力 43, 51
外部入力録画横縦比 111
画質設定 55
画面モード 108
かんたん設定 16, 107
関連動画 49
気になる語句で検索 37, 48
クイックタイマー 41
クライアント 94, 95, 114
グループ 63, 156
ケーブルテレビ 99, 102
高速ダビング 78, 144

語句登録 137
コピー 71
コピー制御信号 150

さ行

サーバー 90, 96, 114
再起動 121
再生 44, 142
削除 60
サムネイル 24, 44, 64, 160
残量 42, 72
シーンサーチ 54
視聴数 48
字幕
切り換え 53
コピー 79
用語集 160
録画 42
写真 62, 84, 85
瞬間起動 112
詳細設定 31
初期化 70, 74, 105, 115
新作ドラマ・アニメガイド 32
スカパーノプレミアムサービス
..... 90, 99, 144
スマートフォン 96, 97, 98
スロー再生 53
整理 50
セキュリティ 146
設定初期化 115
先行予約 33
外からどこでも視聴 97, 114
外から録画予約 98
外付けハードディスク
..... 27, 44, 77, 104
ソニールームリンク
..... 90, 96, 114
ソフトウェアアップデート 138
ソフトウェアのバージョン
..... 112, 138

た行

タイトル
アイコン 155
コピー 71
再生 44
削除 60
並べ替え 50
編集 60
用語集 160
タイトルサーチ 158
タイトルダビング 73

タイトル部分削除 66
ダウンミックス 109
他機器の操作
ブラビアリンク 117
ダビング 71
ダビング10 160
ダビング進行状況 78
ダビングモード 80, 144
タブレット 96, 97, 98
地上デジタル放送 10, 110
チャプターサーチ 54
チャプター編集 65
チャプターマーク 65, 111
通信設定 113
つづき再生 44
ディスク
コピー 71
再生 51
削除 61
対応ディスク 27, 71, 141
編集 60
録画 27
データ放送 8
デジタルカメラ 80
デジタル放送地域設定 110
デジタル放送用ICカード
(B-CASカード) 9, 112
同時操作制限 28, 72
登録 112, 114, 117, 118
トラック 53
取り込む 80
ドルビーTrueHD 109
ドルビーデジタルプラス 109

な行

内蔵無線LAN 91
並べ替え 50
二か国語放送
切り換え 53
コピー 79
録画 42
二重音声記録 111
日時指定予約 36
二度録り回避 32
ネットワーク 90, 113, 131
ネットワーク録画予約 101
年齢制限設定 113

は行

ハードディスク 148
ハイレゾ 57, 58, 88
パソコン 90

早見再生 45
番組 42, 44, 51
番組検索 37
番組説明 153
番組追跡録画 32
番組表 22, 30, 127, 153
番組表一発予約 30
番組名予約 30, 32
ビデオカメラ 80
ビデオデッキ 82
表示窓 6, 122
ファイナライズ 70
フォーマット(初期化)
BD-RE 70
DVD 74
HDD(内蔵ハードディスク)
..... 115
USB HDD(外付けハード
ディスク) 104
付属品 139
ブラビア 90
ブラビアリンク 117
ブルーレイディスク(BD)
コピー 71
再生 51
削除 61
設定 109, 111
対応ディスク 27, 141
編集 61
録画 27
プレイリスト作成 67
編集 60
放送受信設定 110
ホームサーバー 90, 114
ホームメニュー
削除/編集 60
視聴する 44, 51
設定/お知らせ 107
ダビング 73
録画する 35, 36, 37
保護設定(プロテクト) 62
ポップアップメニュー 53
本体設定 111

ま行

毎回録画 30, 32
まとめタイトル 24, 50
ムーブ 77, 100, 160
ムーブバック 76
無線LAN 91, 113
文字入力 137

や行

- よく録る人名 37, 47
- よく録る番組 37, 47
- 予約 30
- 予約ランキング 35
- 予約リスト 38, 40, 154

ら行

- ランプ 7, 122
- リセット 6, 121, 122
- リモート録画予約 98, 114
- リモコン 8, 53, 118, 125
- リモコンモード 119
- ルームリンク 90, 96, 114
- 連ドラ一括ダビング 79
- 録画
 - CATVチューナー ... 99, 102
 - 空き容量 42
 - おまかせ・まる録 39
 - 音声/字幕 42
 - 外部入力 43, 103
 - 確認 38
 - ケーブルテレビやスカパー/チューナー 102, 103
 - 検索 37
 - スカパー/プレミアムサービス 99
 - 同時録画 42
 - 取り消す 38
 - 日時指定 36
 - ブラビア 101
 - 放送中の番組 41
 - ランプ 7
 - 録画先 27
 - 録画/ダビング設定 111
 - 録画モード 29, 143
- 録画/ダビング設定 111
- 録画モード 29, 143
- 録画モード変更 68
- 「録画予約」ランプ 7
- 録画リスト 24

わ行

- ワイヤレスおでかけ転送 98

数字順/アルファベット順

数字

- 110度CSデジタル放送 10, 110
- 2番組同時録画 28, 42
- 3D
 - コピー 71
 - 再生 45, 52
 - 取り込み 80
- 3番組同時録画 28, 42
- 4K
 - アップコンバート 108
 - 取り込み 80, 84
- 4Kアップコンバート設定 108
- 4Kブラビア最適画質 108

アルファベット

- AOSS 92
- AVアンブ 103
- B-CASカード 9
- BD
 - コピー 71
 - 再生 51
 - 削除 61
 - 設定 109, 111
 - 対応ディスク 27, 141
 - 編集 61
 - 録画 27
- BDAV 161
- BD/DVD視聴設定 111
- BD-LIVE 52, 111
- BDMV 161
- BD-R 27, 71, 141
- BD-RE 27, 71, 141
- BD-ROM 52, 142
- BDクローズ 70
- BONUSVIEW 95
- BSデジタル放送 10, 110
- CATVチューナー 90, 99, 161
- CD 142
- CPRM 71, 141, 161
- CS放送 10, 110
- Deep Color出力 108
- DTS-HD 109
- DVD
 - コピー 71
 - 再生 51
 - 削除 61
 - 設定 109, 111
 - 対応ディスク 71, 141

- DVDビデオ 51
- HDMI 103, 117, 161
- HDMI映像出力フォーマット 108
- HDMI音声出力 109
- HDMI機器制御設定 112
- HDMI出力モード 108
- HDR出力設定 108
- IPアドレス 114
- JPEG 145
- LAN 113
- LANムーブ 100
- LAN録画 99
- MACアドレス 112
- MP4
 - カム取り込み 80
- SeeQVault 27, 104
- SSID 92, 161
- Super Audio CD 142
- Ultra HD Blu-ray 9, 52, 161
- USB 80
- Video & TV SideView 94, 132
- VRモード 71, 141
- Wake on LAN 96
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) 161



お問い合わせの前に、もう一度下記の内容をご確認ください。

- 本書の「困ったときは」で調べる
 こんな場合は故障ではありません(120ページ)
 操作を受け付けなくなった場合は(121ページ)
 本機のメッセージを確かめる(122ページ)
 よくあるトラブルと解決方法(123ページ)
- よくあるお問い合わせと解決方法(Q&A)をサポートホームページで調べる
<https://www.sony.jp/support/bd/>



- スマートフォンやタブレット(Video & TV SideView)の設定・操作方法をWebサイトで調べる
<https://www.sony.co.jp/tsvapp/>



電話でのお問い合わせの前に

ソニーの相談窓口へご相談になるときは、以下の内容をご用意ください。



型名(MODEL NO.)

- 型名(本機前面扉の内側に記載):
 BDZ-FT3000 / BDZ-FT2000 / BDZ-FT1000 / BDZ-FW2000 /
 BDZ-FW1000 / BDZ-FW500
- ディスクの種類:
- つないでいるテレビやアンプのメーカー名と型名:
- 故障の状態:できるだけ詳しく
- 購入年月日:

修理をご依頼される前に

本書の「修理カルテ」(135ページ)に不具合の症状をご記入ください。
 お買い上げ店または修理相談窓口にて修理をご依頼される場合は、保証書とともに「修理カルテ」をお送りください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
 携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
 携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**
 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、最初の
 ガイダンスが流れている間に

「100」+「#」

を押してください。直接、
 担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1